

中高地区
人権に係る住民意識調査
報告書

令和8年3月

中野市
山ノ内町
木島平村
野沢温泉村

目次

■調査概要	1
A 人権や差別についての考え方・知識について	
問1 差別をなくすための諸意見への考え	4
問2 一般的な「差別」というものに対する考え*	10
問3 人権に関する法令や宣言の認知度*	26
問4 差別に関する相対する意見への近さ*	42
B 人権問題に対する様々な課題について	
問5 子どもの結婚相手への同意*	45
問6 子どもの人権問題*	54
問7 女性の人権問題*	60
問8 高齢者の人権問題*	67
問9 障がい者の人権問題*	73
問10 外国人の人権問題*	80
問11 ハンセン病や感染症患者等に関する人権問題*	86
問12 L G B T Q等の性的少数者の人権問題	92
問13 犯罪被害者やその家族の人権問題	99
問14 インターネット上の人権問題	105
C 人権問題や差別への対応について	
問15 人権が侵害されるようなことがあったときの対応*	112
問15-1 相談する相手*	113
問16 知り合いで差別問題解消や人権擁護の取組を行っている人の有無*	115
問16-1 取組を行っている人の属性*	116
D 同和問題（部落問題）に関する学習経験について	
問17 学校での同和問題についての学習経験*	118
問17-1 学習を受けたことへの感想*	119
問18 地域や職場での同和問題についての学習や研修への参加*	120
問18-1 最も印象に残っている研修会の内容*	123
問18-2 どのような研修会であれば参加できるか	124
E 同和問題（部落問題）の認知や意識について	
問19 差別を受けている地区や住民があることの認知度*	126
問19-1 初めて知ったきっかけ*	127
問20 「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ*	128
問21 「同和地区」の人に対する差別的な発言があったときの対応*	136
問22 部落差別（同和問題）に関する人権侵害や問題	138
問23 部落差別は将来なくすることができるか	146
問24 「同和地区はこわい」という話を聞いたことの有無*	148
問24-1 こわいという話は誰から聞いたか*	149
問24-2 話を聞いたときの感想*	150
問24-3 内容（自由記載）（項目別）	152
問25 同和地区の人との結婚でもめたり、反対されたこと*	152
問26 同和地区居住者との付き合いの有無*	153
問26-1 付き合いの具体的内容*	154
F あなた自身のことについて	
問27 回答者の属性*	157
G 自由意見	
問28 人権問題や差別に関する自由意見（項目別）	163
■2025年「中高地区人権に係る住民意識調査」の考察（奥田均）	169
■調査票	201

※は前回調査（2015年8月）との比較を記載

中高地区人権に係る住民意識調査の概要

1 調査の目的

「中高地区人権に係る住民意識調査」（以下、「本調査」）は、長野県中高地区4市町村（中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村）において、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえでの基礎資料として活用するため、住民の人権問題や人権についての考え方及び中高地区としての地区特性を把握することを目的とする。

2 実施主体

長野県中高地区4市町村（中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村）

3 調査対象

令和7年8月1日現在、長野県中高地区4市町村に在住する18歳以上の男女各1,500人、合計3,000人

4 抽出方法

住民基本台帳から男女別・年齢別に無作為抽出

年齢	性別	抽出数		抽出数 合計	年齢	性別	抽出数		抽出数 合計	
		男(人)	女(人)				男(人)	女(人)		
18歳～19歳	中野市	28	28	56	50歳代	中野市	142	142	284	
	山ノ内町	8	8	16		山ノ内町	40	40	80	
	木島平村	5	5	10		木島平村	16	16	32	
	野沢温泉村	3	3	6		野沢温泉村	10	10	20	
20歳代	中野市	142	142	284	60歳代	中野市	142	142	284	
	山ノ内町	40	40	80		山ノ内町	40	40	80	
	木島平村	16	16	32		木島平村	16	16	32	
	野沢温泉村	10	10	20		野沢温泉村	10	10	20	
30歳代	中野市	142	142	284	70歳代	中野市	142	142	284	
	山ノ内町	40	40	80		山ノ内町	40	40	80	
	木島平村	16	16	32		木島平村	16	16	32	
	野沢温泉村	10	10	20		野沢温泉村	10	10	20	
40歳代	中野市	142	142	284	80歳以上	中野市	142	142	284	
	山ノ内町	40	40	80		山ノ内町	40	40	80	
	木島平村	16	16	32		木島平村	16	16	32	
	野沢温泉村	10	10	20		野沢温泉村	10	10	20	
					市町村計	中野市	1,022	1,022	2,044	
						山ノ内町	288	288	576	
						木島平村	117	117	234	
						野沢温泉村	73	73	146	
					中高地区合計	1,500	1,500	3,000		

5 調査方法

郵送配布・郵送またはweb回答

6 調査期間

令和7年8月22日～9月22日

7 調査項目

- (1) 人権や差別についての考え方・イメージ・知識について
- (2) 人権問題に対する様々な課題について
- (3) 人権問題や差別への対応について
- (4) 同和問題（部落問題）に関する学習経験について
- (5) 同和問題（部落問題）の認知や意識について
- (6) 回答者の属性
- (7) 自由意見

8 調査票の集計

電子計算機による集計

9 調査結果の見方

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、比率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 複数回答が可能な設問については、比率の合計が100%を超えることがある。
- (3) 「前回調査」とは、2015（平成27）年に実施した「中高地区人権に係る住民意識調査」をさす。

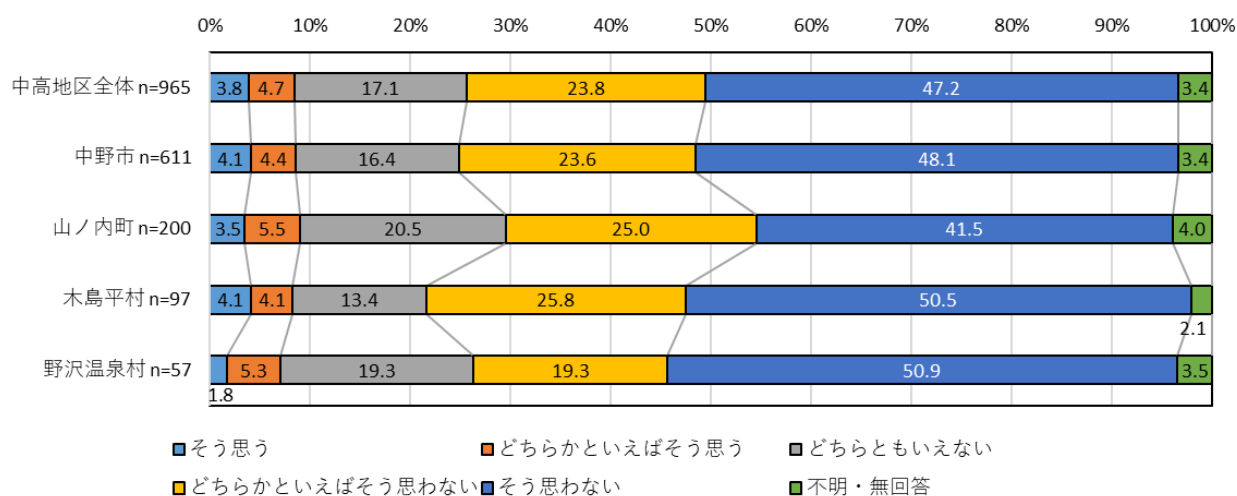
調查結果

A 人権や差別についての考え方・知識について

問1 次のような意見があります。あなたはごどう思ひますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に、例にならって○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思ふ	2 どちらかといえはそう思ふ	3 どちらともいえない	4 どちらかといえはそう思わない	5 そう思わない
例: 法律で禁止すれば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5
(1) 外国人差別は、そつとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
(2) 障がい者差別は、そつとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
(3) HIV陽性者やハンセン病回復者(及びその家族)に対する差別は、そつとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
(4) 部落差別は、そつとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5

(1) 外国人差別は、そつとしておけば自然になくなる



【中高地区全体】

- 外国人差別は、そつとしておけば自然になくなるについてみると、「そう思わない」が47.2% (455人) で最も高く、次いで「どちらかといえはそう思わない」が23.8% (230人)、「どちらともいえない」が17.1% (165人) の順となっている。
- “思わない” (「そう思わない」+「どちらかといえはそう思わない」) が71.0% (685人)、「思う」 (「そう思ふ」+「どちらかといえはそう思ふ」) が8.5% (82人) と“思わない”が7割以上となっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思わない」が48.1% (294人) で最も高く、次いで「どちらかといえはそう思わない」が23.6% (148人) と「そう思わない」が7割以上となっている。

「いえばそう思わない」が 23.6% (144 人)、「どちらともいえない」が 16.4% (100 人) の順となっている。

- ・“思う”が 8.5% (52 人)、“思わない”が 71.7% (438 人) と“思わない”が“思う”の約 8.4 倍で、その差は 63.2 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が 41.5% (83 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 25.0% (50 人)、「どちらともいえない」が 20.5% (41 人) の順となっている。
- ・“思う”が 9.0% (18 人)、“思わない”が 66.5% (133 人) と“思わない”が“思う”の約 7.4 倍で、その差は 57.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が 50.5% (49 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 25.8% (25 人)、「どちらともいえない」が 13.4% (13 人) の順となっている。
- ・“思う”が 8.2% (8 人)、“思わない”が 76.3% (74 人) と“思わない”が“思う”の約 9.3 倍で、その差は 68.1 ポイントとなっている。

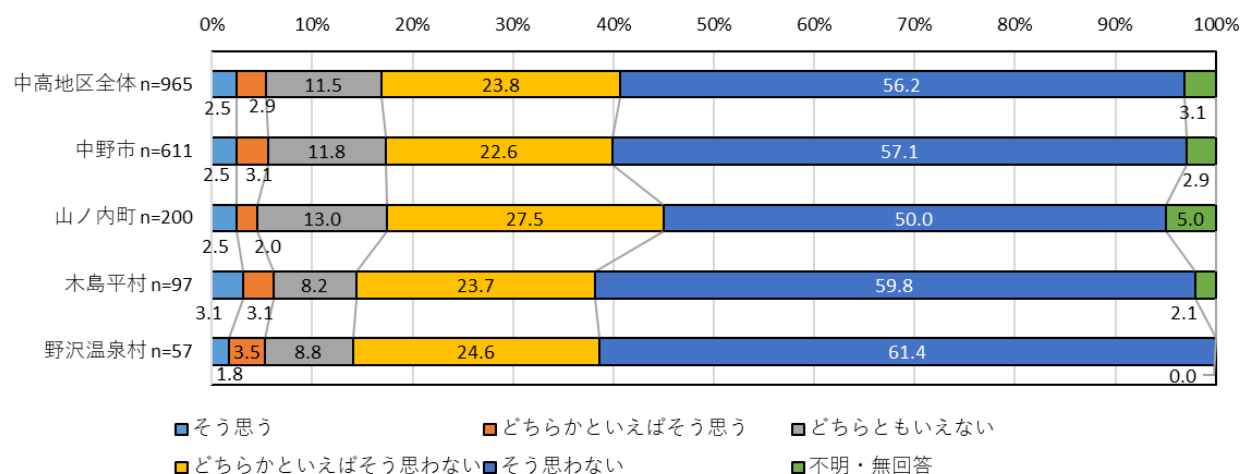
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 50.9% (29 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」「どちらともいえない」が同率で 19.3% (11 人) となっている。
- ・“思う”が 7.1% (4 人)、“思わない”が 70.2% (40 人) と“思わない”が“思う”の 10 倍で、その差は 63.2 ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 76.3% (74 人)、次いで『中野市』で 71.7% (438 人)、『野沢温泉村』で 70.2% (40 人) の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 9.0% (18 人)、次いで『中野市』で 8.5% (52 人)、『木島平村』で 8.2% (8 人) の順となっている。

(2) 障がい者差別は、そっとしておけば自然になくなる



【中高地区全体】

- ・障がい者差別は、そっとしておけば自然になくなるについてみると、「そう思わない」が 56.2% (542 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.8% (230 人)、「どちらともいえない」が 11.5% (111 人) の順となっている。
- ・“思わない”（「そう思わない」＋「どちらかといえばそう思わない」）が 80.0% (772 人)、“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が 5.4% (52 人) と“思わない”が 8 割以上となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が 57.1% (349 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.6% (138 人)、「どちらともいえない」が 11.8% (72 人) の順となっている。
- ・“思う”が 5.6% (34 人)、“思わない”が 79.7% (487 人) と“思わない”が“思う”の約 14.3 倍で、その差は 74.1 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が 50.0% (100 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 27.5% (55 人)、「どちらともいえない」が 13.0% (26 人) の順となっている。
- ・“思う”が 4.5% (9 人)、“思わない”が 77.5% (155 人) と“思わない”が“思う”の約 17.2 倍で、その差は 73.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が 59.8% (58 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.7% (23 人)、「どちらともいえない」が 8.2% (8 人) の順となっている。
- ・“思う”が 6.2% (6 人)、“思わない”が 83.5% (81 人) と“思わない”が“思う”の約 13.5 倍で、その差は 77.3 ポイントとなっている。

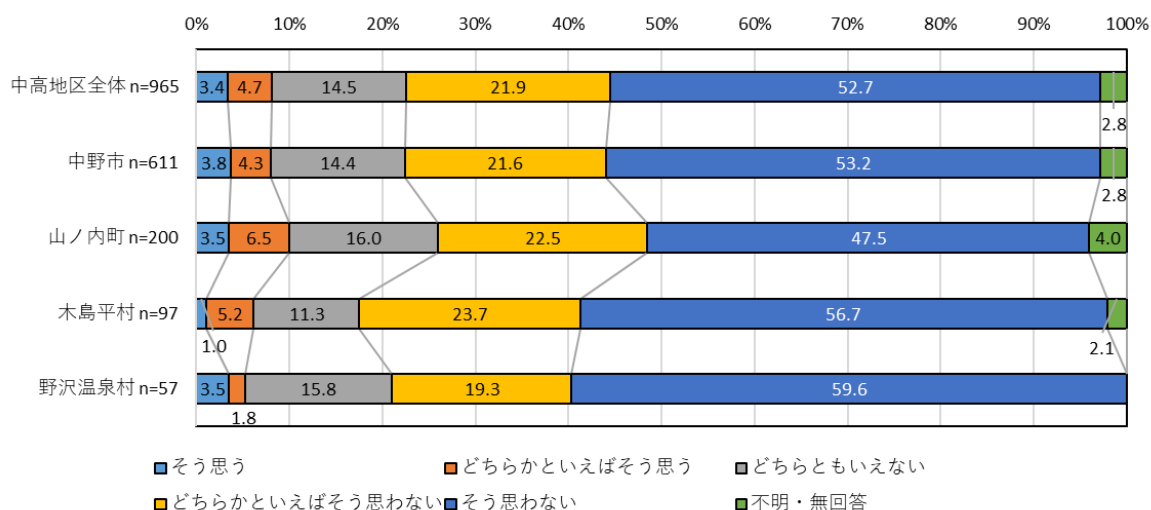
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては「そう思わない」が 61.4% (35 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.6% (14 人)、「どちらともいえない」が 8.8% (5 人) の順となっている。
- ・“思う”が 5.3% (3 人)、“思わない”が 86.0% (49 人) と“思わない”が“思う”の約 16.3 倍で、その差は 80.7 ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 86.0% (49 人)、次いで『木島平村』で 83.5% (81 人)、『中野市』で 79.7% (487 人) の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 6.2% (6 人)、次いで『中野市』で 5.6% (34 人)、『野沢温泉村』で 5.3% (3 人) の順となっている。

(3) HIV陽性者やハンセン病回復者（及びその家族）に対する差別は、そっとしておけば自然になくなる



【中高地区全体】

- HIV陽性者やハンセン病回復者（及びその家族）に対する差別は、そっとしておけば自然になくなるについてみると、「そう思わない」が52.7%（509人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.9%（211人）、「どちらともいえない」が14.5%（140人）の順となっている。
- “思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が74.6%（720人），“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が8.1%（78人）と“思わない”が7割以上となっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思わない」が53.2%（325人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.6%（132人）、「どちらともいえない」が14.4%（88人）の順となっている。
- “思う”が8.0%（49人），“思わない”が74.8%（457人）と“思わない”が“思う”の約9.3倍で、その差は66.8ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「思わない」が47.5%（95人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が22.5%（45人）、「どちらともいえない」が16.0%（32人）の順となっている。
- “思う”が10.0%（20人），“思わない”が70.0%（140人）と“思わない”が“思う”の7倍で、その差は60.0ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「思わない」が56.7%（55人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が23.7%（23人）、「どちらともいえない」が11.3%（11人）の順となっている。

- ・“思う”が6.2%（6人），“思わない”が80.4%（78人）と“思わない”が“思う”の13倍で、その差は74.2ポイントとなっている。

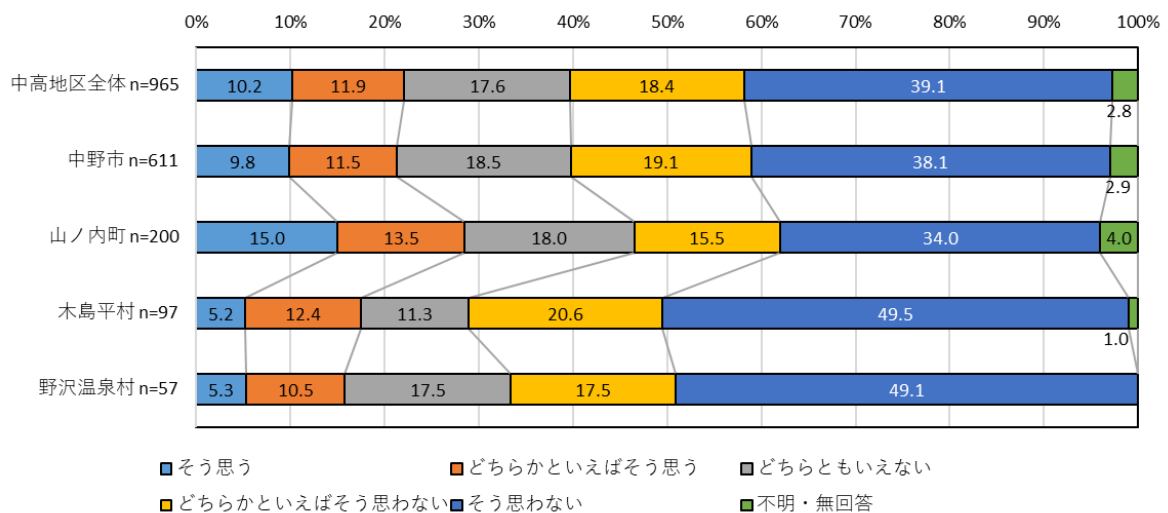
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「思わない」が59.6%（34人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.3%（11人）、「どちらともいえない」が15.8%（9人）の順となっている。
- ・“思う”が5.3%（3人），“思わない”が78.9%（45人）と“思わない”が“思う”の15倍で、その差は73.6ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で80.4%（78人）、次いで『野沢温泉村』で78.9%（45人）、『中野市』で74.8%（457人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で10.0%（20人）、次いで『中野市』で8.0%（49人）、『木島平村』で6.2%（6人）の順となっている。

（４）部落差別は、そっとしておけば自然になくなる



【中高地区全体】

- ・部落差別は、そっとしておけば自然になくなるについてみると、「そう思わない」が39.1%（377人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が18.4%（178人）、「どちらともいえない」が17.6%（170人）の順となっている。
- ・“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が57.5%（555人），“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が22.1%（213人）と“思わない”が5割以上となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が38.1%（233人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.1%（117人）、「どちらともいえない」が18.5%（113人）の

順となっている。

- ・“思う”が21.3% (130人)、“思わない”が57.3% (350人)と“思わない”が“思う”の約2.7倍で、その差は36.0ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が34.0% (68人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が18.0% (36人)、「どちらかといえばそう思わない」が15.5% (31人)の順となっている。
- ・“思う”が28.5% (57人)、“思わない”が49.5% (99人)と“思わない”が“思う”の約1.7倍で、その差は21.0ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が49.5% (48人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が20.6% (20人)、「どちらかといえばそう思う」が12.4% (12人)の順となっている。
- ・“思う”が17.5% (17人)、“思わない”が70.1% (68人)と“思わない”が“思う”の4倍で、その差は52.6ポイントとなっている。

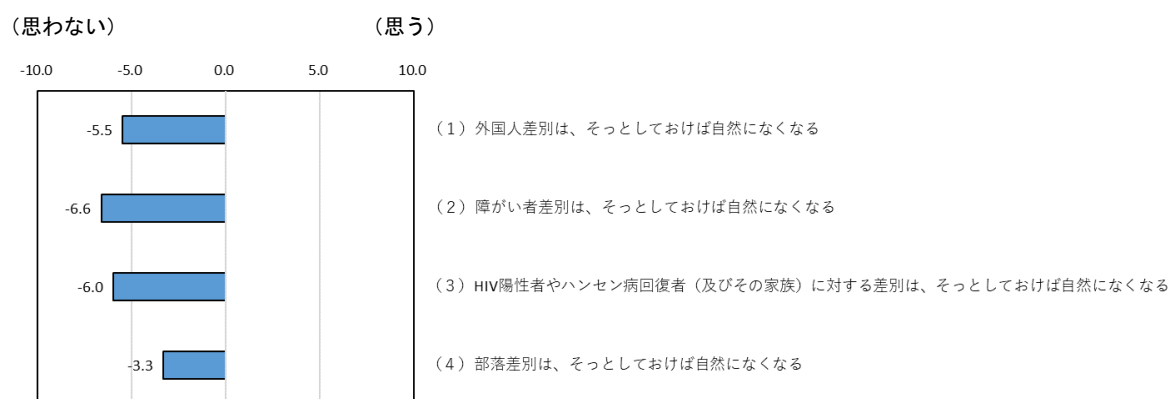
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が49.1% (28人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」、「どちらともいえない」が同率で17.5% (10人)の順となっている。
- ・“思う”が15.8% (9人)、“思わない”が66.7% (38人)と“思わない”が“思う”の約4.2倍で、その差は50.9ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で70.1% (68人)、次いで『野沢温泉村』で66.7% (38人)、『中野市』で57.3% (350人)の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で28.5% (57人)、次いで『中野市』で21.3% (130人)、『木島平村』で17.5% (17人)の順となっている。

【設問間比較】



- ・“思わない”について「障がい者差別は、そっとしておけば自然になくなる」でマイナス 6.6 と最も低く、次いで「H I V陽性者やハンセン病回復者（及びその家族）に対する差別は、そっとしておけば自然になくなる」でマイナス 6.0、「外国人差別は、そっとしておけば自然になくなる」でマイナス 5.5 の順となっている。

〈比較の方法〉

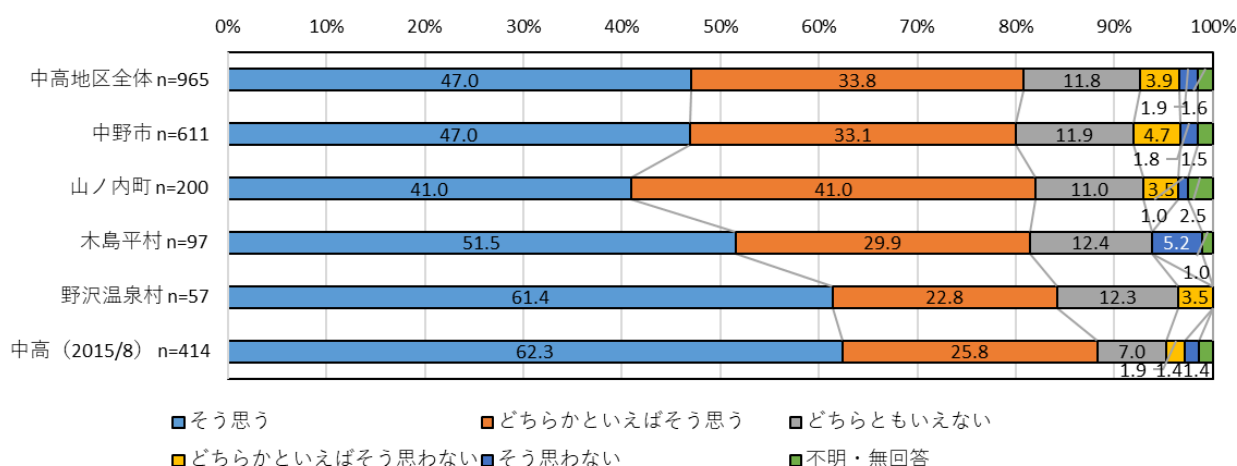
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・ そう思う…………… 10点 ・ そう思わない…………… -10点
- ・ どちらかといえばそう思う… 5点 ・ どちらかといえばそう思わない… -5点
- ・ どちらともいえない…………… 0点

問2 あなたは、「差別」というものについて、どのようなお考えをお持ちですか。次の（1）～（10）のすべてについて、あなたのお考えに一番近い番号に○をしてください。

	1 そう思う	2 どちらかとい えばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかとい えばそう 思わない	5 そう 思わない
(1) 差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである	1	2	3	4	5
(2) 差別は世の中に必要なこともある	1	2	3	4	5
(3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(4) 差別の原因は、差別される人の側に問題がある	1	2	3	4	5
(5) 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である	1	2	3	4	5
(7) 差別される人の話をきちんと聴く必要がある	1	2	3	4	5
(8) 思いやりややさしさを持てば、差別問題は解決できる	1	2	3	4	5
(9) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらう必要がある	1	2	3	4	5
(10) 差別の原因は、差別をする人の側に問題がある	1	2	3	4	5

(1) 差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである



【中高地区全体】

- ・差別は人間として最も恥ずべき行為の一つであるについてみると、「そう思う」が 47.0% (454 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.8% (326 人)、「どちらともいえない」が 11.8% (114 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 80.8% (780 人)、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 5.8% (56 人) と“思う”が 8 割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が 7.3 ポイント (80.8-88.1) 低くなっており、一方“思わない”が 2.5 ポイント (5.8-3.3) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が 47.0% (287 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.1% (202 人)、「どちらともいえない」が 11.9% (73 人) の順となっている。
- ・“思う”が 80.0% (489 人)、“思わない”が 6.5% (40 人) と“思う”が“思わない”の約 12.3 倍で、その差は 73.5 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」が同率で 41.0% (82 人)、次いで「どちらともいえない」が 11.0% (22 人) の順となっている。
- ・“思う”が 82.0% (164 人)、“思わない”が 4.5% (9 人) と“思う”が“思わない”の約 18.2 倍で、その差は 77.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が 51.5% (50 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 29.9% (29 人)、「どちらともいえない」が 12.4% (12 人) の順となっている。
- ・“思う”が 81.4% (79 人)、“思わない”が 5.2% (5 人) と“思う”が“思わない”の約 15.8 倍で、その差は 76.2 ポイントとなっている。

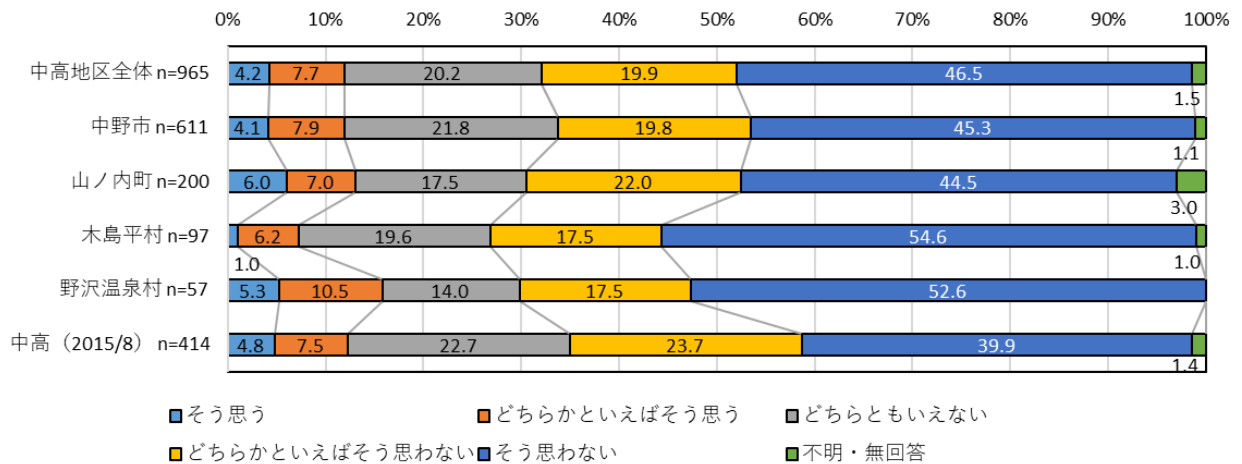
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が61.4%（35人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が22.8%（13人）、「どちらともいえない」が12.3%（7人）の順となっている。
- ・“思う”が84.2%（48人），“思わない”が3.5%（2人）と“思う”が“思わない”の約24倍で、その差は80.7ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で84.2%（48人）、次いで『山ノ内町』で82.0%（164人）、『木島平村』で81.4%（79人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『中野市』で6.5%（40人）、次いで『木島平村』で5.2%（5人）、『山ノ内町』で4.5%（9人）の順となっている。

(2) 差別は世の中に必要なこともある



【中高地区全体】

- ・差別は世の中に必要なこともあるについてみると、「そう思わない」が46.5%（449人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が20.2%（195人）、「どちらかといえばそう思わない」が19.9%（192人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が11.9%（115人），“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が66.4%（641人）と“思わない”が6割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が0.4ポイント（11.9-12.3）低くなっており、一方“思わない”が2.8ポイント（66.4-63.6）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が45.3%（277人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が21.8%（133人）、「どちらかといえばそう思わない」が19.8%（121人）の順となっている。

- ・“思う”が11.9% (73人)、“思わない”が65.1% (398人)と“思わない”が“思う”の約5.5倍で、その差は53.2ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が44.5% (89人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が22.0% (44人)、「どちらともいえない」が17.5% (35人)の順となっている。
- ・“思う”が13.0% (26人)、“思わない”が66.5% (133人)と“思わない”が“思う”の約5.1倍で、その差は53.5ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が54.6% (53人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が19.6% (19人)、「どちらかといえばそう思わない」が17.5% (17人)の順となっている。
- ・“思う”が7.2% (7人)、“思わない”が72.2% (70人)と“思わない”が“思う”の10倍で、その差は65.0ポイントとなっている。

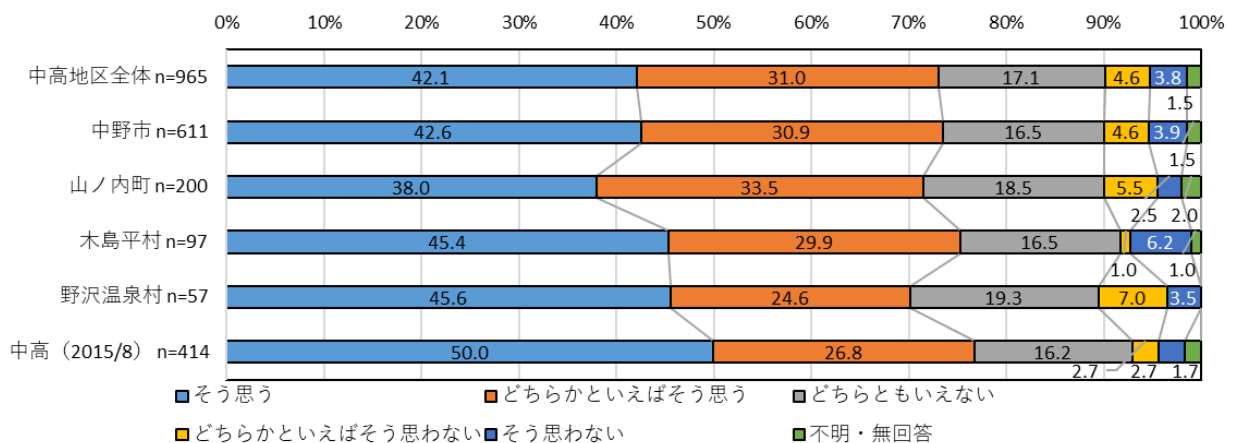
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が52.6% (30人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が17.5% (10人)、「どちらともいえない」が14.0% (8人)の順となっている。
- ・“思う”が15.8% (9人)、“思わない”が70.2% (40人)と“思わない”が“思う”の約4.4倍で、その差は54.4ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で72.2% (70人)、次いで『野沢温泉村』で70.2% (40人)、『山ノ内町』で66.5% (133人)の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で15.8% (9人)、次いで『山ノ内町』で13.0% (26人)、『中野市』で11.9% (73人)の順となっている。

(3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある



【中高地区全体】

- ・あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要があるについてみると、「そう思う」が42.1%（406人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.0%（299人）、「どちらともいえない」が17.1%（165人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が73.1%（705人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が8.4%（81人）と“思う”が7割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が3.7ポイント（73.1-76.8）低くなっており、一方“思わない”が3.0ポイント（8.4-5.4）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が42.6%（260人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.9%（189人）、「どちらともいえない」が16.5%（101人）の順となっている。
- ・“思う”が73.5%（449人）、“思わない”が8.5%（52人）と“思わない”が“思う”の約8.6倍で、その差は65.0ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」が38.0%（76人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.5%（67人）、「どちらともいえない」が18.5%（37人）の順となっている。
- ・“思う”が71.5%（143人）、“思わない”が8.0%（16人）と“思わない”が“思う”の約8.9倍で、その差は63.5ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が45.4%（44人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.9%（29人）、「どちらともいえない」が16.5%（16人）の順となっている。
- ・“思う”が75.3%（73人）、“思わない”が7.2%（7人）と“思わない”が“思う”の約10.4倍で、その差は68.1ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

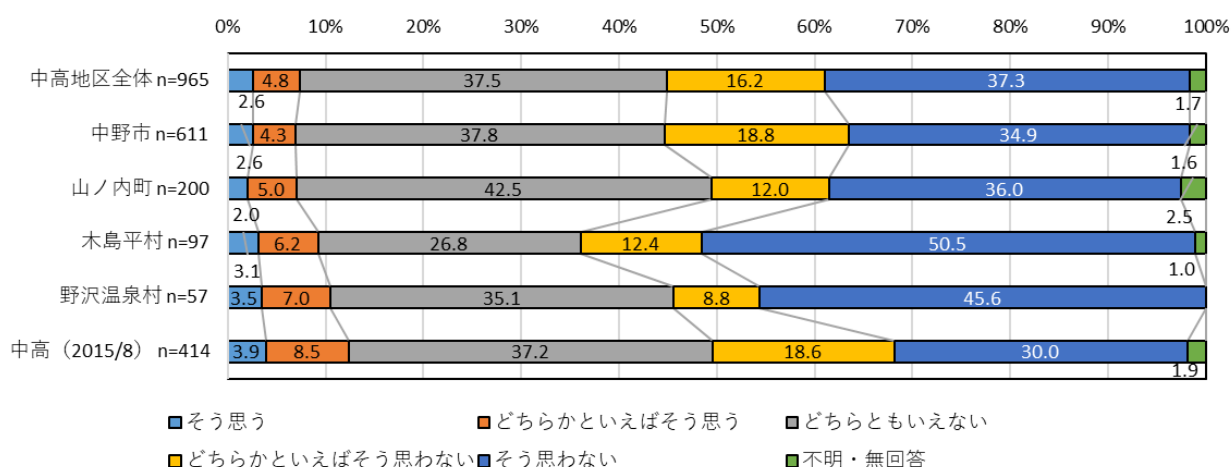
- ・野沢温泉村においては「そう思う」が45.6%（26人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.6%（14人）、「どちらともいえない」が19.3%（11人）の順となっている。
- ・“思う”が70.2%（40人）、“思わない”が10.5%（6人）と“思わない”が“思う”の約6.7倍で、その差は59.7ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で75.3%（73人）、次いで『中野市』で73.5%（449人）、『山ノ内町』で71.5%（143人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で10.5%（6人）、次いで『中野市』で8.5%（52人）、『山ノ内町』で8.0%（16人）の順

となっている。

(4) 差別の原因は、差別される人の側に問題がある



【中高地区全体】

- 差別の原因は、差別される人の側に問題があるについてみると、「どちらともいえない」が37.5% (362人) で最も高く、次いで「そう思わない」が37.3% (360人)、「どちらかといえばそう思わない」が16.2% (156人) の順となっている。
- “思う” (「思う」+「どちらかといえば思う」) が7.4% (71人)、“思わない” (「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」) が53.5% (516人) と“思わない”が5割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が5.0ポイント (7.4-12.4) 低くなっており、一方“思わない”が4.9ポイント (53.5-48.6) 高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が37.8% (231人) で最も高く、次いで「そう思わない」が34.9% (213人)、「どちらかといえばそう思わない」が18.8% (115人) の順となっている。
- “思う”が6.9% (42人)、“思わない”が53.7% (328人) と“思わない”が“思う”の約7.8倍で、その差は46.8ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が42.5% (85人) で最も高く、次いで「そう思わない」が36.0% (72人)、「どちらかといえばそう思わない」が12.0% (24人) の順となっている。
- “思う”が7.0% (14人)、“思わない”が48.0% (96人) と“思わない”が“思う”の約6.9倍で、その差は41.0ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思わない」が50.5% (49人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.8% (26人)、「どちらかといえばそう思わない」が12.4% (12人) の

順となっている。

- ・“思う”が9.3%（9人）、“思わない”が62.9%（61人）と“思わない”が“思う”の約6.8倍で、その差は53.6ポイントとなっている。

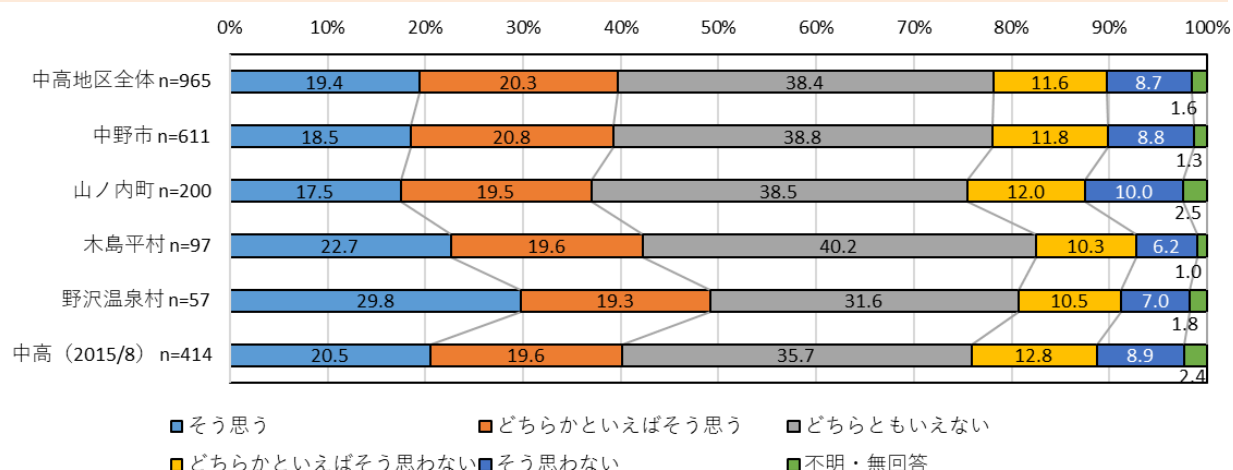
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が45.6%（26人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.1%（20人）、「どちらかといえばそう思わない」が8.8%（5人）の順となっている。
- ・“思う”が10.5%（6人）、“思わない”が54.4%（31人）と“思わない”が“思う”の約5.2倍で、その差は43.9ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で62.9%（61人）、次いで『野沢温泉村』で54.4%（31人）、『中野市』で53.7%（328人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で10.5%（6人）、次いで『木島平村』で9.3%（9人）、『山ノ内町』で7.0%（14人）の順となっている。

(5) 差別は法律で禁止する必要がある



【中高地区全体】

- ・差別は法律で禁止する必要があるについてみると、「どちらともいえない」が38.4%（371人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が20.3%（196人）、「そう思う」が19.4%（187人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が39.7%（383人）、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が20.3%（196人）と“思う”が“思わない”の約2倍で、その差は19.4ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が0.4ポイント（39.7-40.1）低くなっており、一方“思わない”も1.4ポイント（20.3-21.7）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 38.8% (237 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.8% (127 人)、「そう思う」が 18.5% (113 人) の順となっている。
- ・“思う” が 39.3% (240 人)、“思わない” が 20.6% (126 人) と “思う” が “思わない” の約 1.9 倍で、その差は 18.7 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 38.5% (77 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 19.5% (39 人)、「そう思う」が 17.5% (35 人) の順となっている。
- ・“思う” が 37.0% (74 人)、“思わない” が 22.0% (44 人) と “思う” が “思わない” の約 1.7 倍で、その差は 15.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が 40.2% (39 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 22.7% (22 人)、「どちらかといえばそう思う」が 19.6% (19 人) の順となっている。
- ・“思う” が 42.3% (41 人)、“思わない” が 16.5% (16 人) と “思う” が “思わない” の約 2.6 倍で、その差は 25.8 ポイントとなっている。

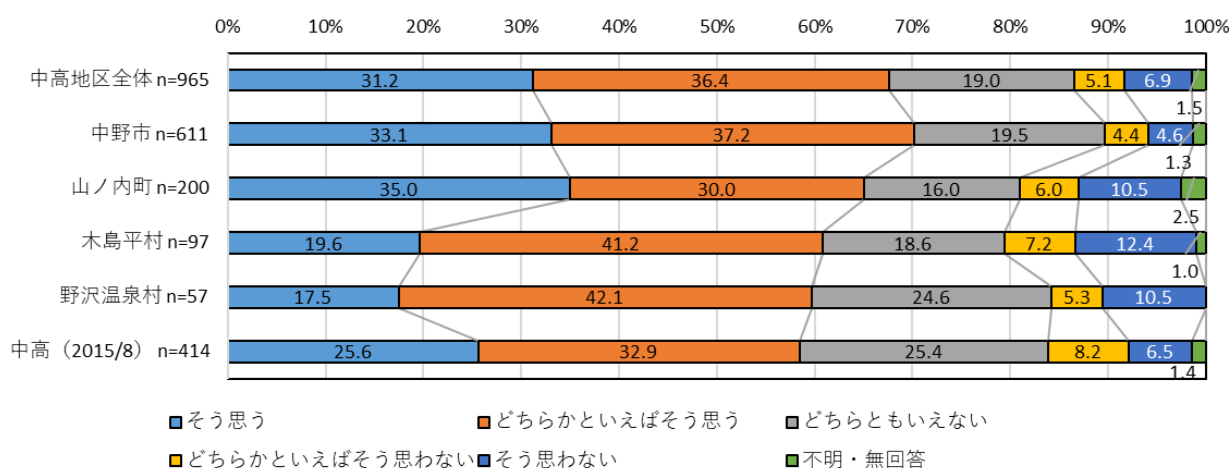
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 31.6% (18 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 29.8% (17 人)、「どちらかといえばそう思う」が 19.3% (11 人) の順となっている。
- ・“思う” が 49.1% (28 人)、“思わない” が 17.5% (10 人) と “思う” が “思わない” の 2.8 倍で、その差は 31.6 ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “思う” が高くなっており、“思う” が最も高いのは『野沢温泉村』で 49.1% (28 人)、次いで『木島平村』で 42.3% (41 人)、『中野市』で 39.3% (240 人) の順となっている。一方、“思わない” が最も高いのは『山ノ内町』で 22.0% (44 人)、次いで『中野市』で 20.6% (126 人)、『野沢温泉村』で 17.5% (10 人) の順となっている。

(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である



【中高地区全体】

- どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理であるについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 36.4% (351 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 31.2% (301 人)、「どちらともいえない」が 19.0% (183 人) の順となっている。
- “思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 67.6% (652 人)、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 12.0% (116 人) と“思う”が 6 割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が 9.1 ポイント (67.6-58.5) 高くなっており、一方“思わない”が 2.2 ポイント (12.0-14.2) 低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が 37.2% (227 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 33.1% (202 人)、「どちらともいえない」が 19.5% (119 人) の順となっている。
- “思う”が 70.2% (429 人)、“思わない”が 9.0% (55 人) と“思う”が“思わない”の 7.8 倍で、その差は 61.2 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が 35.0% (70 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.0% (60 人)、「どちらともいえない」が 16.0% (32 人) の順となっている。
- “思う”が 65.0% (130 人)、“思わない”が 16.5% (33 人) と“思う”が“思わない”の約 3.9 倍で、その差は 48.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が 41.2% (40 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 19.6% (19 人)、「どちらともいえない」が 18.6% (18 人) の順となっている。
- “思う”が 60.8% (59 人)、“思わない”が 19.6% (19 人) と“思う”が“思わない”の

約 3.1 倍で、その差は 41.2 ポイントとなっている。

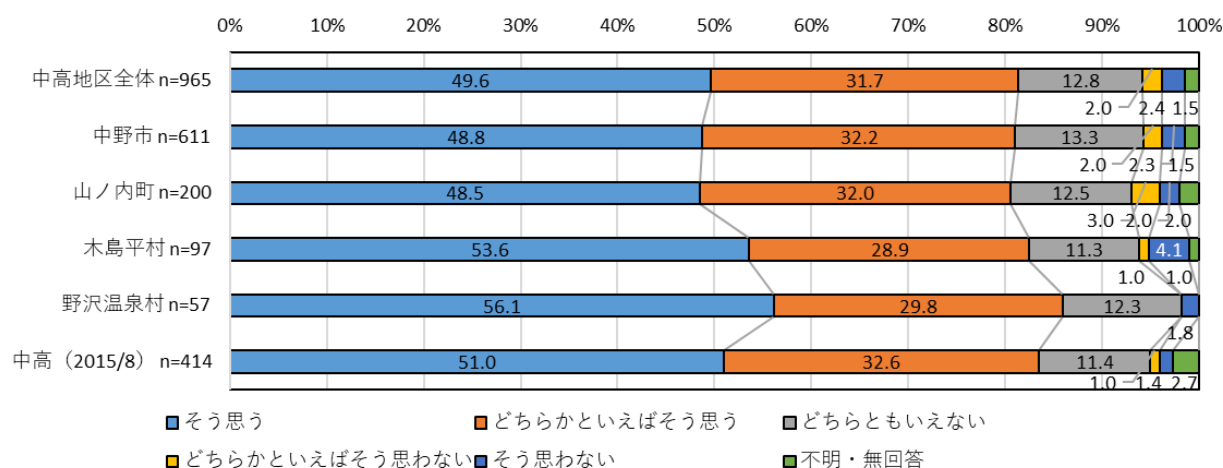
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 42.1% (24 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.6% (14 人)、「そう思う」が 17.5% (10 人) の順となっている。
- ・“思う”が 59.6% (34 人)、“思わない”が 15.8% (9 人) と “思う” が “思わない” の約 3.8 倍で、その差は 43.8 ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “思う” が高くなっており、“思う” が最も高いのは『中野市』で 70.2% (429 人)、次いで『山ノ内町』で 65.0% (130 人)、『木島平村』で 60.8% (59 人) の順となっている。一方、“思わない” が最も高いのは『木島平村』で 19.6% (19 人)、次いで『野沢温泉村』で 15.8% (9 人)、『山ノ内町』で 16.5% (33 人) の順となっている。

(7) 差別される人の話をきちんと聴く必要がある



【中高地区全体】

- ・差別される人の話をきちんと聴く必要があるについてみると、「そう思う」が 49.6% (479 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.7% (306 人)、「どちらともいえない」が 12.8% (124 人) の順となっている。
- ・“思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が 81.3% (785 人)、“思わない” (「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」) が 4.4% (42 人) と “思う” が 8 割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う” が 2.3 ポイント (81.3-83.6) 低くなっており、一方 “思わない” が 2.0 ポイント (4.4-2.4) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が 48.8% (298 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.2% (197 人)、「どちらともいえない」が 13.3% (81 人) の順となっ

いる。

- “思う”が81.0% (495人)、“思わない”が4.3% (26人)と“思う”が“思わない”の19倍で、その差は76.7ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が48.5% (97人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.0% (64人)、「どちらともいえない」が12.5% (25人)の順となっている。
- “思う”が80.5% (161人)、“思わない”が5.0% (10人)と“思う”が“思わない”の16.1倍で、その差は75.5ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が53.6% (52人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.9% (28人)、「どちらともいえない」が11.3% (11人)の順となっている。
- “思う”が82.5% (80人)、“思わない”が5.1% (5人)と“思う”が“思わない”の16倍で、その差は77.3ポイントとなっている。

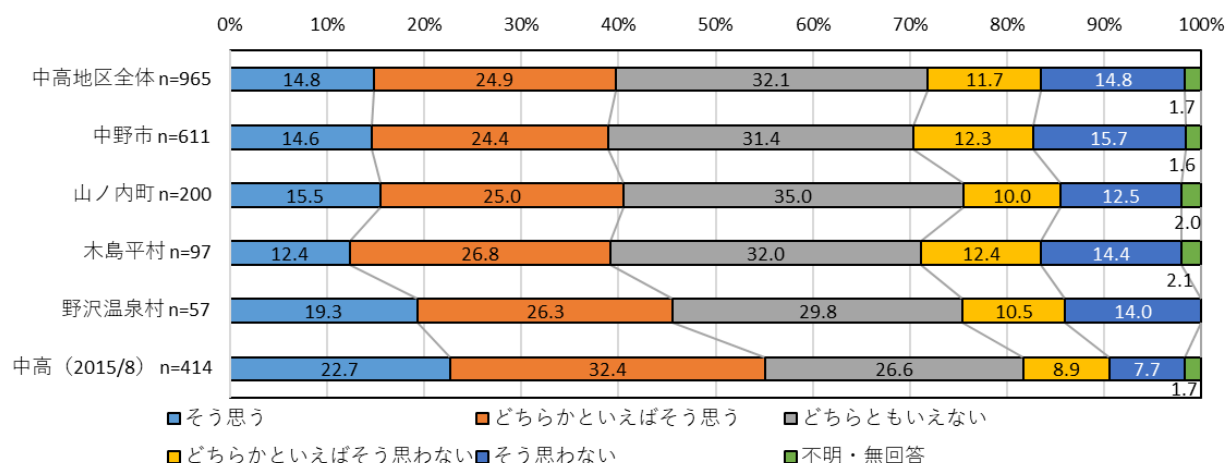
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「そう思う」が56.1% (32人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.8% (17人)、「どちらともいえない」が12.3% (7人)の順となっている。
- “思う”が86.0% (49人)、“思わない”が1.8% (1人)と“思う”が“思わない”の49倍で、その差は84.2ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で86.0% (49人)、次いで『木島平村』で82.5% (80人)、『中野市』で81.0% (495人)の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で5.2% (5人)、次いで『山ノ内町』で5.0% (10人)、『中野市』で4.3% (26人)の順となっている。

(8) 思いやりややさしさを持てば、差別問題は解決できる



【中高地区全体】

- ・思いやりやさしさを持たば、差別問題は解決できるについてみると、「どちらともいえない」が32.1% (310人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.9% (240人)、「そう思う」「そう思わない」が同率で14.8% (143人) の順となっている。
- ・“思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が39.7% (383人)、“思わない” (「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」) が26.5% (256人) と“思う”が“思わない”の約1.5倍で、その差は13.2ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が15.4ポイント (39.7-55.1) 低くなっており、一方“思わない”が9.9ポイント (26.5-16.6) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が31.4% (192人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.4% (149人)、「そう思わない」が15.7% (96人) の順となっている。
- ・“思う”が39.0% (238人)、“思わない”が28.0% (171人) と“思う”が“思わない”の約1.4倍で、その差は11.0ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が35.0% (70人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.0% (50人)、「そう思う」が15.5% (31人) の順となっている。
- ・“思う”が40.5% (81人)、“思わない”が22.5% (45人) と“思う”が“思わない”の1.8倍で、その差は18.0ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が32.0% (31人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.8% (26人)、「そう思わない」が14.4% (14人) の順となっている。
- ・“思う”が39.2% (38人)、“思わない”が26.8% (26人) と“思う”が“思わない”の約1.5倍で、その差は12.4ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

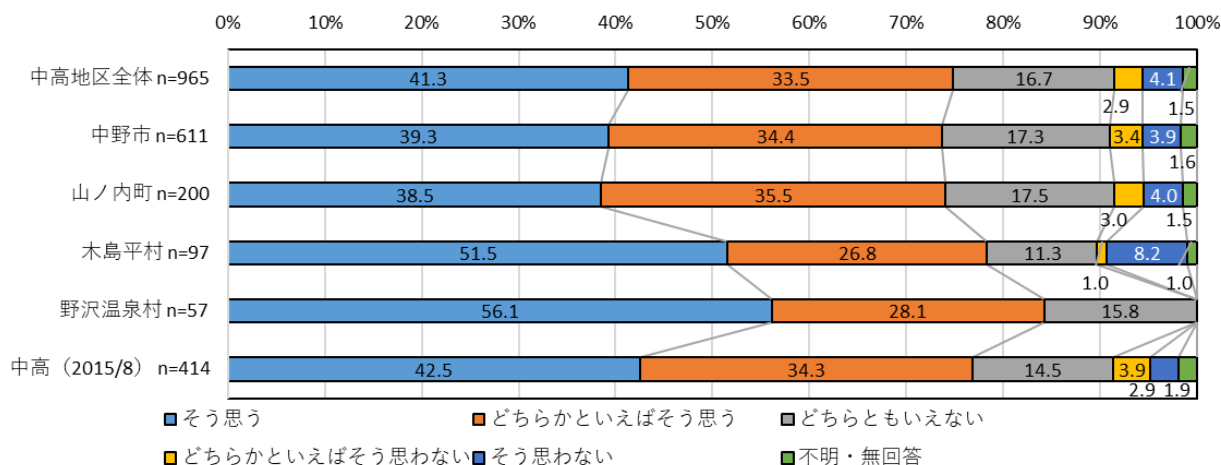
- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が29.8% (17人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.3% (15人)、「そう思う」が19.3% (11人) の順となっている。
- ・“思う”が45.6% (26人)、“思わない”が24.6% (14人) と“思う”が“思わない”の約1.9倍で、その差は21.0ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で45.6% (26人)、次いで『山ノ内町』で40.5% (81人)、『木島平村』で39.2% (38人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『中野市』で28.0% (171人)、次いで『木島平村』で26.8% (26人)、『野沢温泉村』で24.6% (14人) の順

となっている。

(9) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である



【中高地区全体】

- 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要であるについてみると、「そう思う」が41.3% (399人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.5% (323人)、「どちらともいえない」が16.7% (161人) の順となっている。
- “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が74.8% (722人)、“思わない” (「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」) が7.0% (68人) と“思う”が7割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が2ポイント (74.8-76.8) 低くなっており、一方“思わない”が0.2ポイント (7.0-6.8) 高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が39.3% (240人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.4% (210人)、「どちらともいえない」が17.3% (106人) の順となっている。
- “思う”が73.6% (450人)、“思わない”が7.4% (45人) と“思う”が“思わない”の10倍で、その差は66.2ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が38.5% (77人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が35.5% (71人)、「どちらともいえない」が17.5% (35人) の順となっている。
- “思う”が74.0% (148人)、“思わない”が7.0% (14人) と“思う”が“思わない”の約10.6倍で、その差は67.0ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が 51.5% (50 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.8% (26 人)、「どちらともいえない」が 11.3% (11 人) の順となっている。
- ・“思う”が 78.4% (76 人)、“思わない”が 9.3% (9 人) と“思う”が“思わない”の約 8.4 倍で、その差は 69.1 ポイントとなっている。

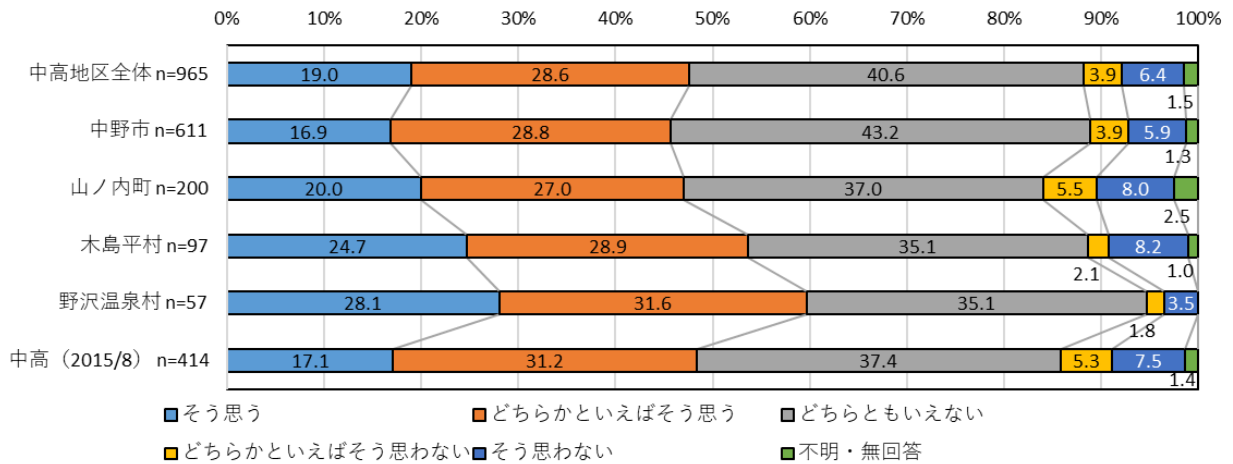
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が 56.1% (32 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.1% (16 人)、「どちらともいえない」が 15.8% (9 人) の順となっている。
- ・“思う”が 84.2% (48 人)、“思わない”が 0.0% (0 人) で、その差は 84.2 ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 84.2% (48 人)、次いで『木島平村』で 78.4% (76 人)、『山ノ内町』で 74.0% (148 人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 9.3% (9 人)、次いで『中野市』で 7.4% (45 人)、『山ノ内町』で 7.0% (14 人) の順となっている。

(10) 差別の原因は、差別をする人の側に問題がある



【中高地区全体】

- ・差別の原因は、差別をする人の側に問題があるについてみると、「どちらともいえない」が 40.6% (392 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.6% (276 人)、「そう思う」が 19.0% (183 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 47.6% (459 人)、“思わない”（「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」）が 10.4% (100 人) と“思う”が“思わない”の約 4.6 倍で、その差は 37.2 ポイントとなっている。

- ・前回調査と比較すると、“思う”が0.7ポイント(47.6-48.3)低くなっており、一方“思わない”も2.4ポイント(10.4-12.8)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が43.2%(264人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.8%(176人)、「そう思う」が16.9%(103人)の順となっている。
- ・“思う”が45.7%(279人)、“思わない”が9.8%(60人)と“思う”が“思わない”の約4.7倍で、その差は35.9ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が37.0%(74人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.0%(54人)、「そう思う」が20.0%(40人)の順となっている。
- ・“思う”が47.0%(94人)、“思わない”が13.5%(27人)と“思う”が“思わない”の約3.5倍で、その差は33.5ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が35.1%(34人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.9%(28人)、「そう思う」が24.7%(24人)の順となっている。
- ・“思う”が53.6%(52人)、“思わない”が10.3%(10人)と“思う”が“思わない”の5.2倍で、その差は43.3ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が35.1%(20人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.6%(18人)、「そう思う」が28.1%(16人)の順となっている。
- ・“思う”が59.6%(34人)、“思わない”が5.3%(3人)と“思う”が“思わない”の約11.3倍で、その差は54.3ポイントとなっている。

【市町村比較】

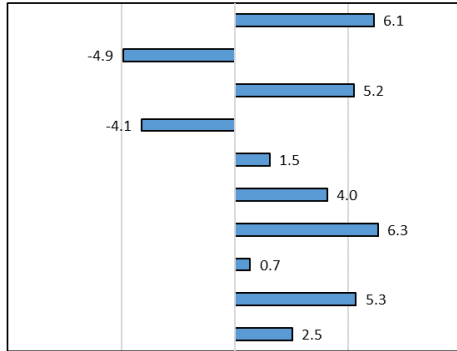
- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で59.6%(34人)、次いで『木島平村』で53.6%(52人)、『山ノ内町』で47.0%(94人)の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で13.5%(27人)、次いで『木島平村』で10.3%(10人)、『中野市』で9.8%(60人)の順となっている。

【設問間比較】

(思わない)

(思う)

-10.0 -5.0 0.0 5.0 10.0



- (1) 差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである
- (2) 差別は世の中に必要なこともある
- (3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある
- (4) 差別の原因は、差別される人の側に問題がある
- (5) 差別は法律で禁止する必要がある
- (6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である
- (7) 差別される人の話をきちんと聴く必要がある
- (8) 思いやりやさしさを持てば、差別問題は解決できる
- (9) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である
- (10) 差別の原因は、差別をする人の側に問題がある

- ・“思わない”について「差別は世の中に必要なこともある」でマイナス4.9、「差別の原因は、差別される人の側に問題がある」でマイナス4.1となっている。一方、“思う”について「差別される人の話をきちんと聴く必要がある」で6.3と最も高く、次いで「差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである」で6.1、「差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である」で5.3の順となっている。

〈比較の方法〉

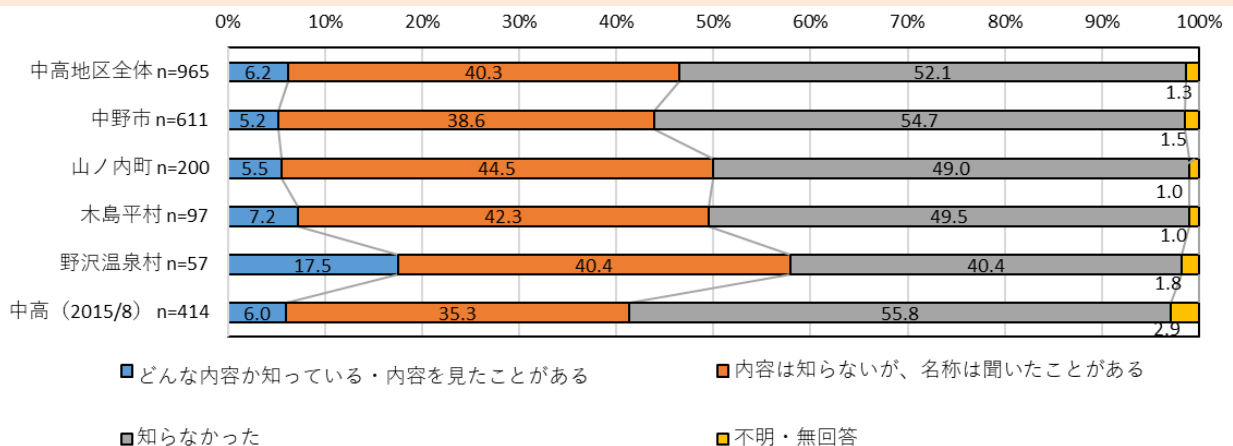
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ・ そう思う…………… 10点 | ・ そう思わない…………… -10点 |
| ・ どちらかといえばそう思う… 5点 | ・ どちらかといえばそう思わない… -5点 |
| ・ どちらともいえない…………… 0点 | |

問3 あなたは、次の人権に関する法令や宣言等があることをどの程度ご存じですか。次の(1)～(14)のすべてについて、該当する番号に○をしてください。(それぞれ○は1つ)

	1 どんな内容か 知っている・内容を 見たことがある	2 内容は知らない が、名称は聞いた ことがある	3 知らなかった
(1) あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例	1	2	3
(2) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	1	2	3
(3) 個人情報保護法	1	2	3
(4) 同和対策審議会答申	1	2	3
(5) 世界人権宣言	1	2	3
(6) いじめ防止対策推進法	1	2	3
(7) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3
(8) LGBT理解増進法	1	2	3
(9) アイス施策推進法	1	2	3
(10) 障害者差別解消法	1	2	3
(11) ヘイトスピーチ解消法	1	2	3
(12) 部落差別解消推進法	1	2	3
(13) 高齢者の虐待防止法	1	2	3
(14) ハンセン病問題基本法	1	2	3

(1) あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例



【中高地区全体】

- ・あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例についてみると、「知らなかった」が52.1% (503人) で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が40.3% (389人)、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が6.2% (60人) の順となっており、「知らなかった」が5割以上、「どんな内容か知っている」が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が0.2ポイント (6.2-6.0) 高くなっ

ており、一方「知らなかった」が3.7ポイント（52.1-55.8）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「知らなかった」が54.7%（334人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が38.6%（236人）、「どんな内容か知っている」が5.2%（32人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「知らなかった」が49.0%（98人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が44.5%（89人）、「どんな内容か知っている」が5.5%（11人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「知らなかった」が49.5%（48人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が42.3%（41人）、「どんな内容か知っている」が7.2%（7人）の順となっている。

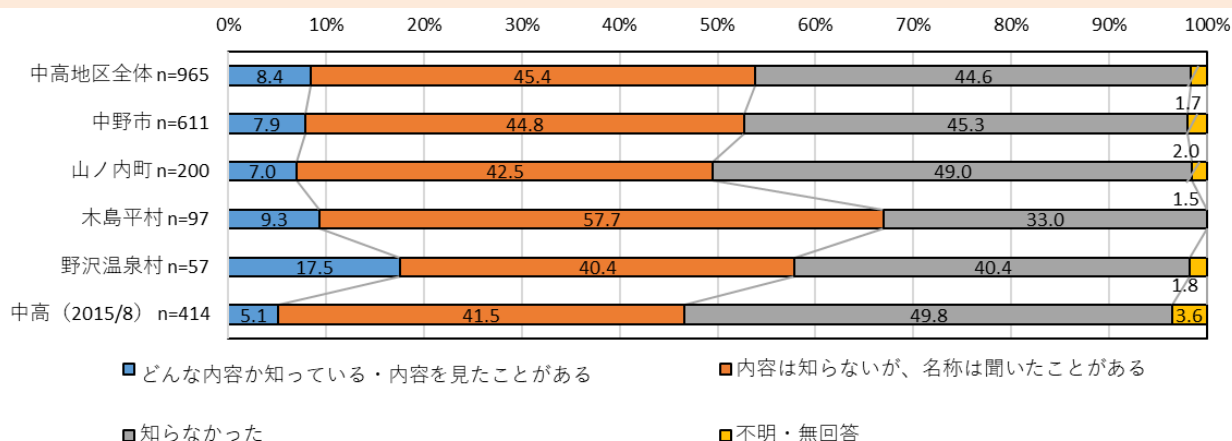
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「知らなかった」、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が同率で40.4%（23人）、次いで「どんな内容か知っている」が17.5%（10人）の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で「知らなかった」、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『中野市』で54.7%（334人）、次いで『木島平村』で49.5%（48人）、『山ノ内町』で49.0%（98人）の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で17.5%（10人）、次いで『木島平村』で7.2%（7人）、『山ノ内町』で5.5%（11人）の順となっている。

(2) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律



【中高地区全体】

- ・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律についてみると、「内容は知らないが、名称は聞

いたことがある」が45.4% (438人) で最も高く、次いで「知らなかった」が44.6% (430人)、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が8.4% (81人) の順となっており、「知らなかった」が4割以上、「どんな内容か知っている」が1割にも満たない。

- ・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が3.3ポイント (8.4-5.1) 高くなっており、一方「知らなかった」が5.2ポイント (44.6-49.8) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「知らなかった」が45.3% (277人) で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が44.8% (274人)、「どんな内容か知っている」が7.9% (48人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「知らなかった」が49.0% (98人) で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が42.5% (85人)、「どんな内容か知っている」が7.0% (14人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が57.7% (56人) で最も高く、次いで「知らなかった」が33.0% (32人)、「どんな内容か知っている」が9.3% (9人) の順となっている。

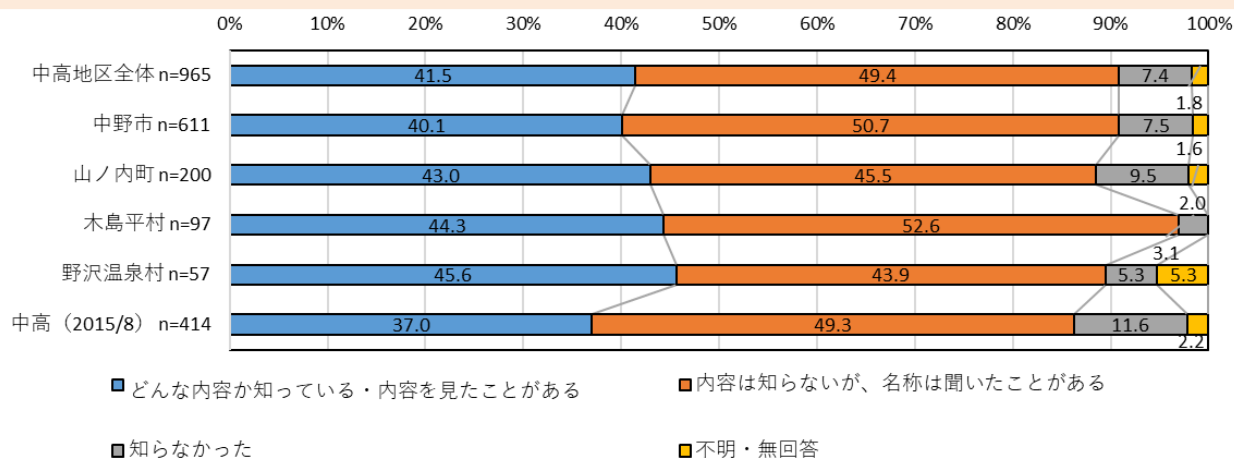
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「知らなかった」「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が同率で40.4% (23人) で、次いで「どんな内容か知っている」が17.5% (10人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』で「知らなかった」、『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で49.0% (98人)、次いで『中野市』で45.3% (277人)、『野沢温泉村』で40.4% (23人) の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で17.5% (10人)、次いで『木島平村』で9.3% (9人)、『中野市』で7.9% (48人) の順となっている。

(3) 個人情報保護法



【中高地区全体】

- ・個人情報保護法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が49.4% (477人)で最も高く、次いで「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が41.5% (400人)、「知らなかった」が7.4% (71人)の順となっており、「どんな内容か知っている」が4割以上、「知らなかった」が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が4.5ポイント(41.5-37.0)高くなっており、一方「知らなかった」が4.2ポイント(7.4-11.6)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が50.7% (310人)で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が40.1% (245人)、「知らなかった」が7.5% (46人)の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が45.5% (91人)で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が43.0% (86人)、「知らなかった」が9.5% (19人)の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が52.6% (51人)で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が44.3% (43人)、「知らなかった」が3.1% (3人)の順となっている。

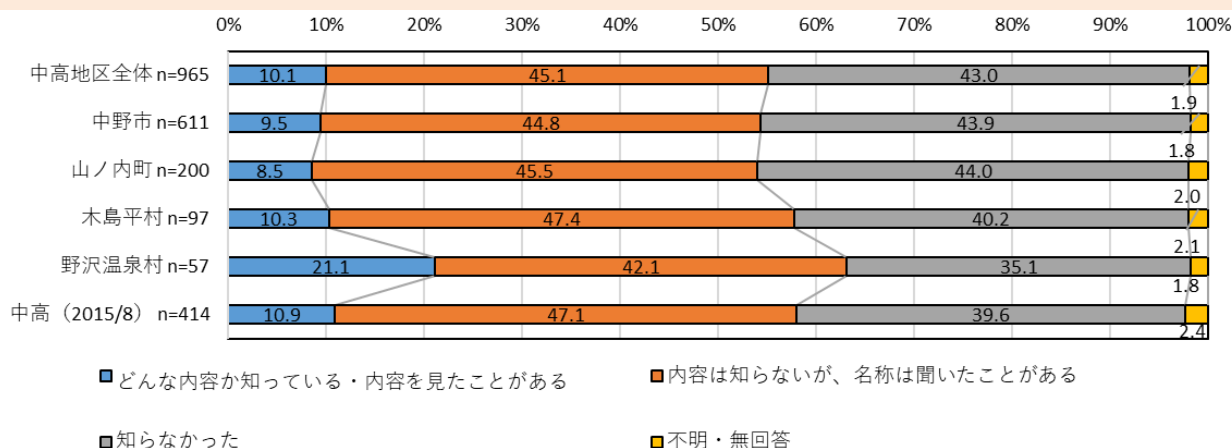
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どんな内容か知っている」が45.6% (26人)で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が43.9% (25人)、「知らなかった」が5.3% (3人)の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」、『野沢温泉村』で「どんな内容か知っている」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で52.6% (51人)、次いで『中野市』で50.7% (310人)、『山ノ内町』で45.5% (91人)の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で9.5% (19人)、次いで『中野市』で7.5% (46人)、『野沢温泉村』で5.3% (3人)の順となっている。

(4) 同和対策審議会答申



【中高地区全体】

- ・同和対策審議会答申についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が45.1% (435人) で最も高く、次いで「知らなかった」が43.0% (415人)、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が10.1% (97人) の順となっており、「知らなかった」が4割以上、「どんな内容か知っている」が1割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が0.8ポイント (10.1-10.9) 低くなっており、一方「知らなかった」が3.4ポイント (43.0-39.6) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が44.8% (274人) で最も高く、次いで「知らなかった」が43.9% (268人)、「どんな内容か知っている」が9.5% (58人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が45.5% (91人) で最も高く、次いで「知らなかった」が44.0% (88人)、「どんな内容か知っている」が8.5% (17人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が47.4% (46人) で最も高く、次いで「知らなかった」が40.2% (39人)、「どんな内容か知っている」が10.3% (10人) の順となっている。

【野沢温泉村】

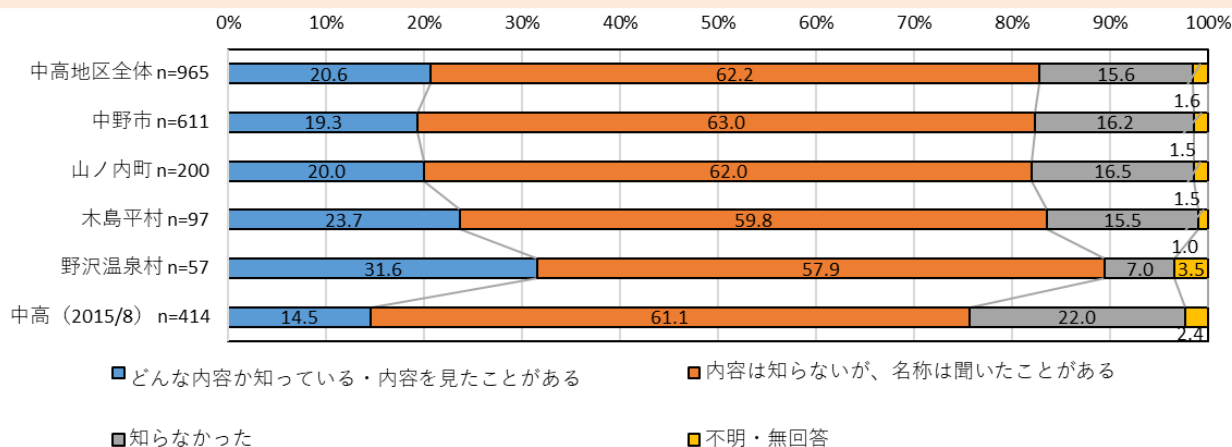
- ・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が42.1% (24人) で最も高く、次いで「知らなかった」が35.1% (20人)、「どんな内容か知っている」が21.1% (12人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で47.4% (46人)、次いで『山ノ内町』で45.5% (91人)、『中野市』で44.8% (274人) の順となっている。

人)の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で44.0% (88人)、次いで『中野市』で43.9% (268人)、『木島平村』で40.2% (39人)の順となっている。

(5) 世界人権宣言



【中高地区全体】

- 世界人権宣言についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が62.2% (600人)で最も高く、次いで「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が20.6% (199人)、「知らなかった」が15.6% (151人)の順となっており、「どんな内容か知っている」が2割以上、「知らなかった」が1割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が6.1ポイント(20.6-14.5)高くなっており、一方「知らなかった」が6.4ポイント(15.6-22.0)低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が63.0% (385人)で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が19.3% (118人)、「知らなかった」が16.2% (99人)の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が62.0% (124人)で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が20.0% (40人)、「知らなかった」が16.5% (33人)の順となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が59.8% (58人)で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が23.7% (23人)、「知らなかった」が15.5% (15人)の順となっている。

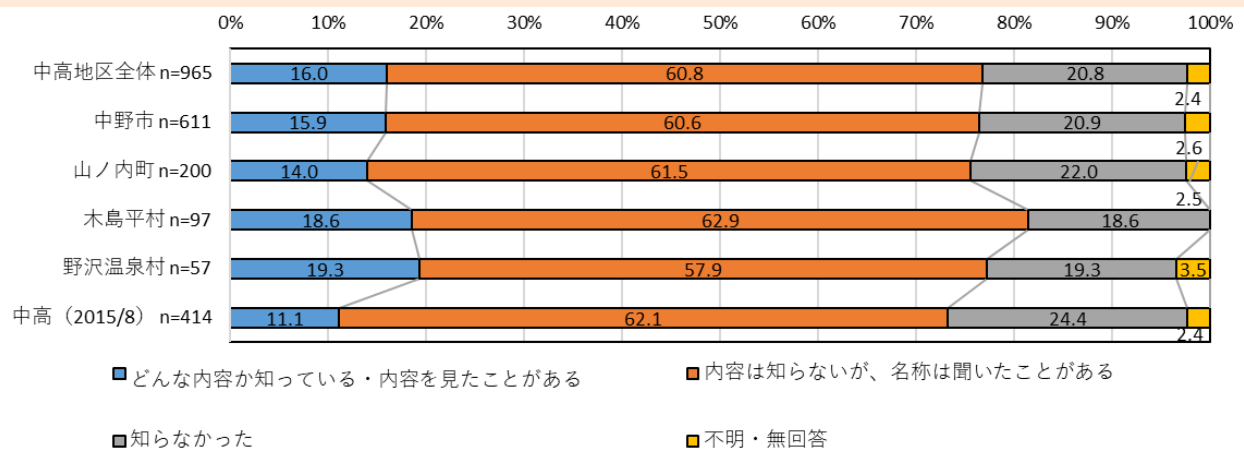
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が57.9% (33人)で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が31.6% (18人)、「知らなかった」が7.0% (4人)の順となっている。

【市町村比較】

- ・ 4市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』で63.0%（385人）、次いで『山ノ内町』で62.0%（124人）、『木島平村』で59.8%（58人）の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で16.5%（33人）、次いで『中野市』で16.2%（99人）、『木島平村』で15.5%（15人）の順となっている。

(6) いじめ防止対策推進法



【中高地区全体】

- ・ いじめ防止対策推進法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が60.8%（587人）で最も高く、次いで「知らなかった」が20.8%（201人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が16.0%（154人）の順となっており、「知らなかった」が2割以上、「どんな内容か知っている」が1割以上となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が5.9ポイント（16.0-11.1）高くなっており、一方「知らなかった」が3.6ポイント（20.8-24.4）低くなっている。

【中野市】

- ・ 中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が60.6%（370人）で最も高く、次いで「知らなかった」が20.9%（128人）、「どんな内容か知っている」が15.9%（97人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・ 山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が61.5%（123人）で最も高く、次いで「知らなかった」が22.0%（44人）、「どんな内容か知っている」が14.0%（28人）の順となっている。

【木島平村】

- ・ 木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が62.9%（61人）で最も高く、次いで「知らなかった」「どんな内容か知っている」が同率で18.6%（18人）の順となっている。

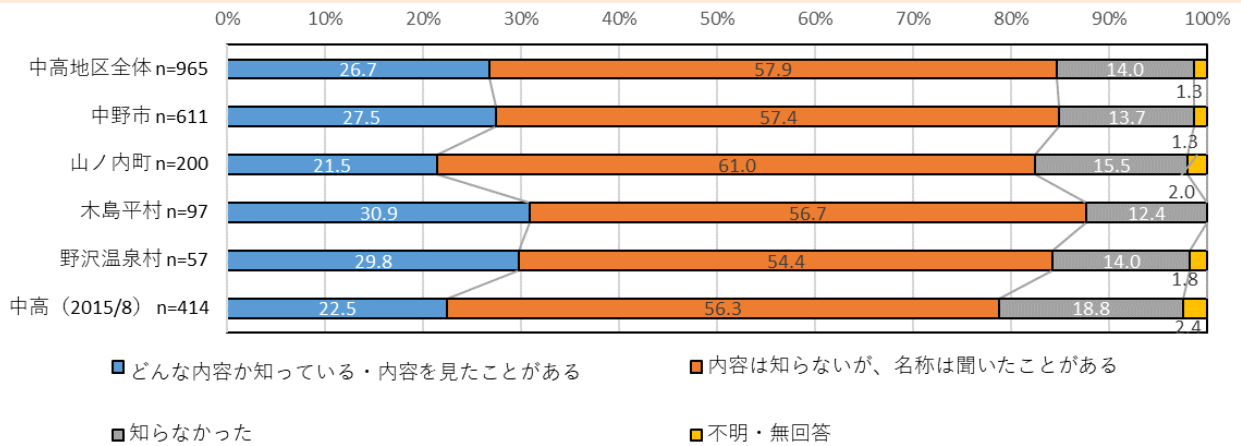
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.9% (33 人) で最も高く、次いで「知らなかった」「どんな内容か知っている」が同率で 19.3% (11 人) の順となっている。

【市町村比較】

- 4 市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 62.9% (61 人)、次いで『山ノ内町』で 61.5% (123 人)、『中野市』で 60.6% (370 人) の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 22.0% (44 人)、次いで『中野市』で 20.9% (128 人)、『野沢温泉村』で 19.3% (11 人) の順となっている。

(7) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)



【中高地区全体】

- 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法) についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.9% (559 人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 26.7% (258 人)、「知らなかった」が 14.0% (135 人) の順となっており、「どんな内容か知っている」が 2 割以上、「知らなかった」が 1 割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が 4.2 ポイント (26.7-22.5) 高くなっており、一方「知らなかった」が 4.8 ポイント (14.0-18.8) 低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.4% (351 人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 27.5% (168 人)、「知らなかった」が 13.7% (84 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 61.0% (122 人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 21.5% (43 人)、「知らなかった」が

15.5% (31人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 56.7% (55人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 30.9% (30人)、「知らなかった」が 12.4% (12人) の順となっている。

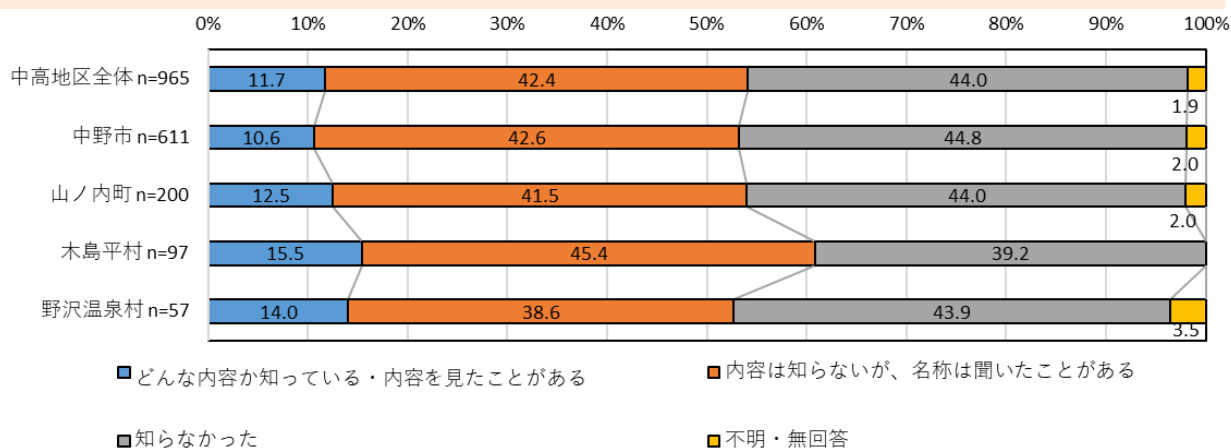
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 54.4% (31人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 29.8% (17人)、「知らなかった」が 14.0% (8人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『山ノ内町』で 61.0% (122人)、次いで『中野市』で 57.4% (351人)、『木島平村』で 56.7% (55人) の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 15.5% (31人)、次いで『野沢温泉村』で 14.0% (8人)、『中野市』で 13.7% (84人) の順となっている。

(8) L G B T理解増進法



【中高地区全体】

- ・LGBT理解増進法についてみると、「知らなかった」が 44.0% (425人) で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 42.4% (409人)、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 11.7% (113人) の順となっており、「どんな内容か知っている」が 1割以上、「知らなかった」が 4割以上となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「知らなかった」が 44.8% (274人) で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 42.6% (260人)、「どんな内容か知っている」が 10.6% (65人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「知らなかった」が44.0%（88人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が41.5%（83人）、「どんな内容か知っている」が12.5%（25人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が45.4%（44人）で最も高く、次いで「知らなかった」が39.2%（38人）、「どんな内容か知っている」が15.5%（15人）の順となっている。

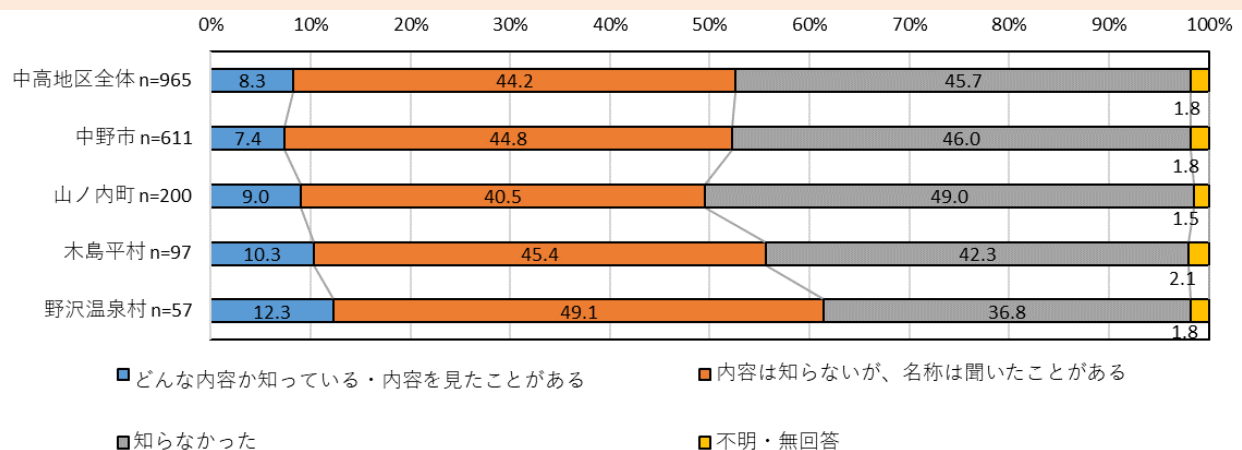
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「知らなかった」が43.9%（25人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が38.6%（22人）、「どんな内容か知っている」が14.0%（8人）の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『野沢温泉村』で「知らなかった」、『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『中野市』で44.8%（274人）、次いで『山ノ内町』で44.0%（88人）、『野沢温泉村』で43.9%（25人）の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『木島平村』で15.5%（15人）、次いで『野沢温泉村』で14.0%（8人）、『山ノ内町』で12.5%（25人）の順となっている。

（9）アイヌ施策推進法



【中高地区全体】

- ・アイヌ施策推進法についてみると、「知らなかった」が45.7%（441人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が44.2%（427人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が8.3%（80人）の順となっており、「知らなかった」が4割以上、「どんな内容か知っている」が1割にも満たない。

【中野市】

- ・中野市においては、「知らなかった」が46.0%（281人）で最も高く、次いで「内容は知ら

ないが、名称は聞いたことがある」が 44.8% (274 人)、「どんな内容か知っている」が 7.4% (45 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「知らなかった」が 49.0% (98 人) で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 40.5% (81 人)、「どんな内容か知っている」が 9.0% (18 人) の順となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.4% (44 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 42.3% (41 人)、「どんな内容か知っている」が 10.3% (10 人) の順となっている。

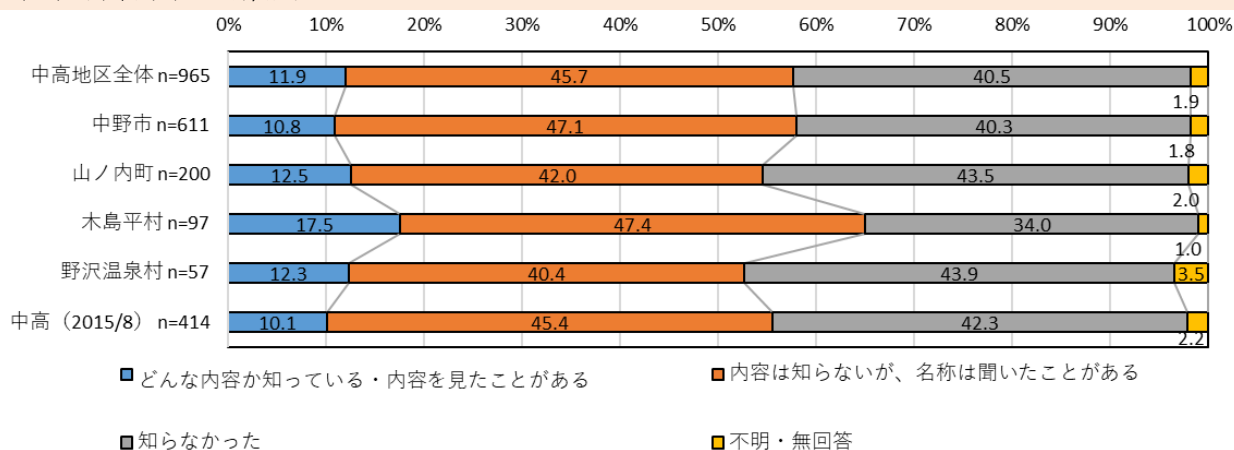
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 49.1% (28 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 36.8% (21 人)、「どんな内容か知っている」が 12.3% (7 人) の順となっている。

【市町村比較】

- 4 市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』で「知らなかった」、『木島平村』『野沢温泉村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 49.0% (98 人)、次いで『中野市』で 46.0% (281 人)、『木島平村』で 42.3% (41 人) の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で 12.3% (7 人)、次いで『木島平村』で 10.3% (10 人)、『山ノ内町』で 9.0% (18 人) の順となっている。

(10) 障害者差別解消法



【中高地区全体】

- 障害者差別解消法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.7% (441 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 40.5% (391 人)、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 11.9% (115 人) の順となっており、「知らなかった」が 4 割以上、「どんな内容か知っている」が 1 割以上となっている。

- ・前回調査と比較すると、「どんな内容か知っている」が1.8ポイント(11.9-10.1)高くなっており、一方「知らなかった」が1.8ポイント(40.5-42.3)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が47.1%(288人)で最も高く、次いで「知らなかった」が40.3%(246人)、「どんな内容か知っている」が10.8%(66人)の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「知らなかった」が43.5%(87人)で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が42.0%(84人)、「どんな内容か知っている」が12.5%(25人)の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が47.4%(46人)で最も高く、次いで「知らなかった」が34.0%(33人)、「どんな内容か知っている」が17.5%(17人)の順となっている。

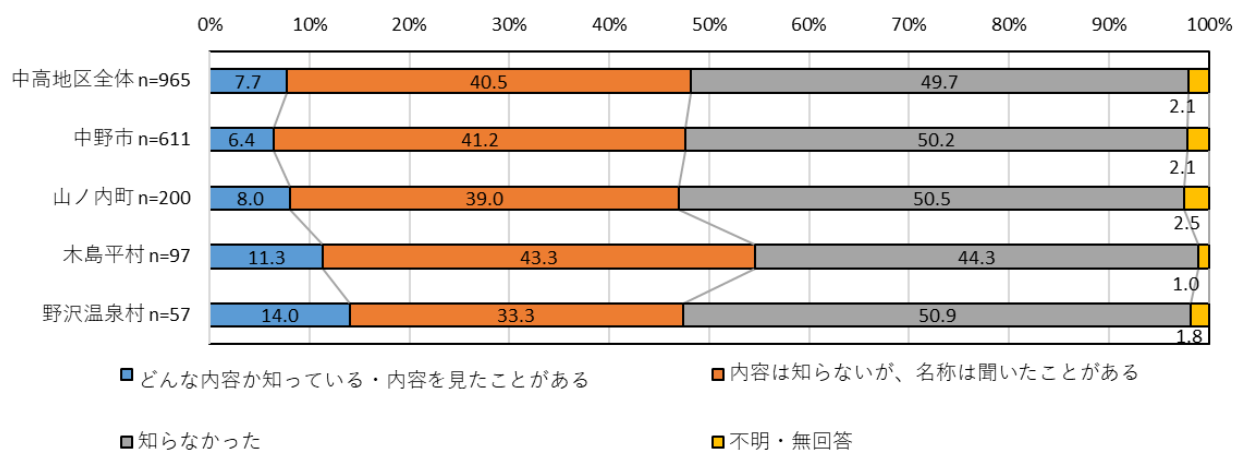
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「知らなかった」が43.9%(25人)で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」40.4%(23人)、「どんな内容か知っている」が12.3%(7人)の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」、「山ノ内町』『野沢温泉村』で「知らなかった」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で47.4%(46人)、次いで『中野市』で47.1%(288人)、『山ノ内町』で42.0%(84人)の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『木島平村』で17.5%(17人)、次いで『山ノ内町』で12.5%(25人)、『野沢温泉村』で12.3%(7人)の順となっている。

(11) ヘイトスピーチ解消法



【中高地区全体】

- ・ヘイトスピーチ解消法についてみると、「知らなかった」が49.7%（480人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が40.5%（391人）、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が7.7%（74人）の順となっており、「知らなかった」が4割以上、「どんな内容か知っている」が1割にも満たない。

【中野市】

- ・中野市においては、「知らなかった」が50.2%（307人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が41.2%（252人）、「どんな内容か知っている」が6.4%（39人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「知らなかった」が50.5%（101人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が39.0%（78人）、「どんな内容か知っている」が8.0%（16人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「知らなかった」が44.3%（43人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が43.3%（42人）、「どんな内容か知っている」が11.3%（11人）の順となっている。

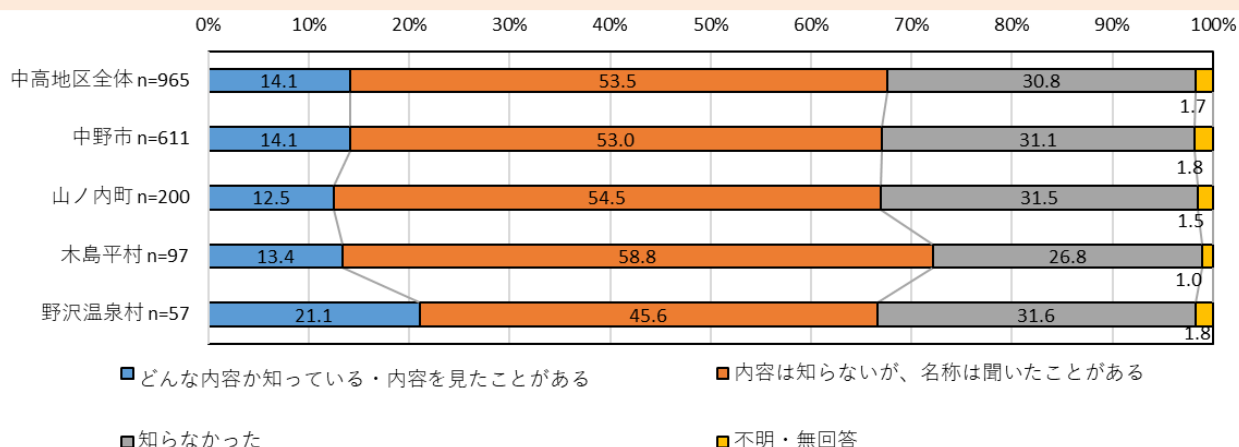
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「知らなかった」が50.9%（29人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が33.3%（19人）、「どんな内容か知っている」が14.0%（8人）の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「知らなかった」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『野沢温泉村』で50.9%（29人）、次いで『山ノ内町』で50.5%（101人）、『中野市』で50.2%（307人）の順となっている。一方、「知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で14.0%（8人）、次いで『木島平村』で11.3%（11人）、『山ノ内町』で8.0%（16人）の順となっている。

(12) 部落差別解消推進法



【中高地区全体】

- ・ 部落差別解消推進法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 53.5% (516 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 30.8% (297 人)、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 14.1% (136 人) の順となっており、「知らなかった」が 3 割以上、「どんな内容か知っている」は 1 割以上となっている。

【中野市】

- ・ 中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 53.0% (324 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 31.1% (190 人)、「どんな内容か知っている」が 14.1% (86 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・ 山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 54.5% (109 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 31.5% (63 人)、「どんな内容か知っている」が 12.5% (25 人) の順となっている。

【木島平村】

- ・ 木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 58.8% (57 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 26.8% (26 人)、「どんな内容か知っている」が 13.4% (13 人) の順となっている。

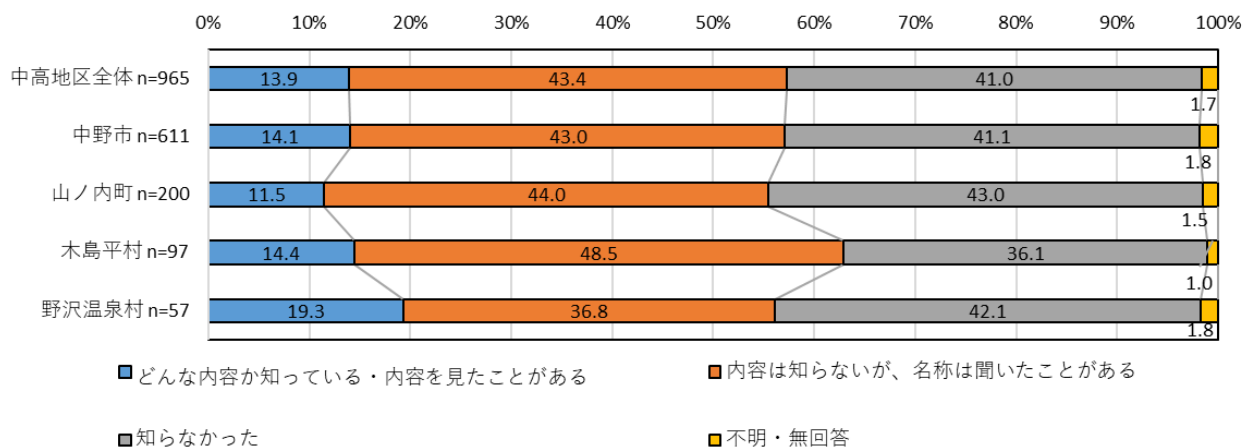
【野沢温泉村】

- ・ 野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.6% (26 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 31.6% (18 人)、「どんな内容か知っている」が 21.1% (12 人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・ 4 市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 58.8% (57 人)、次いで『山ノ内町』で 54.5% (109 人)、『中野市』で 53.0% (324 人) の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『野沢温泉村』で 31.6% (18 人)、次いで『山ノ内町』で 31.5% (63 人)、『中野市』で 31.1% (190 人) の順となっている。

(13) 高齢者の虐待防止法



【中高地区全体】

- ・高齢者の虐待防止法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が43.4% (419人) で最も高く、次いで「知らなかった」が41.0% (396人)、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が13.9% (134人) の順となっており、「知らなかった」が4割以上、「どんな内容か知っている」が1割以上となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が43.0% (263人) で最も高く、次いで「知らなかった」が41.1% (251人)、「どんな内容か知っている」が14.1% (86人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が44.0% (88人) で最も高く、次いで「知らなかった」が43.0% (86人)、「どんな内容か知っている」が11.5% (23人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が48.5% (47人) で最も高く、次いで「知らなかった」が36.1% (35人)、「どんな内容か知っている」が14.4% (14人) の順となっている。

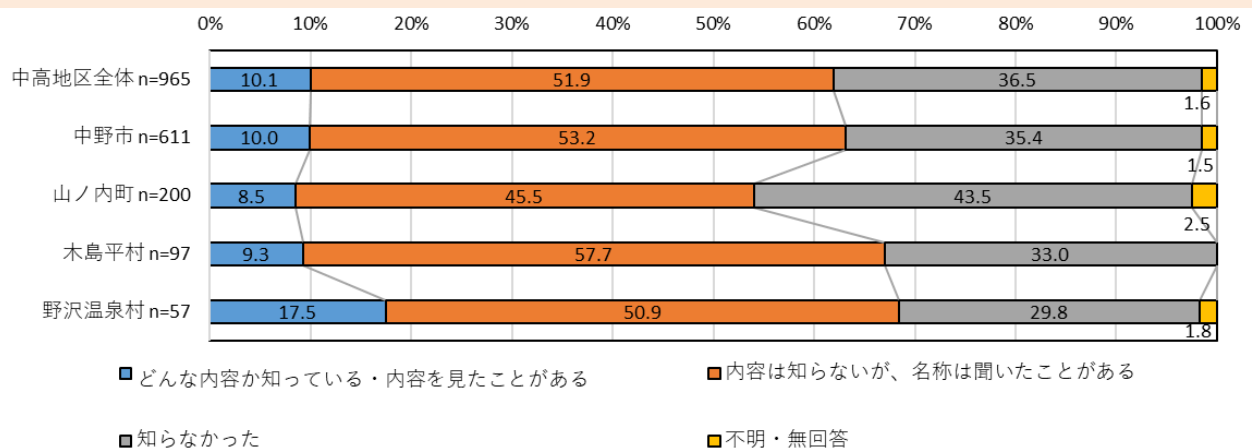
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「知らなかった」が42.1% (24人) で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が36.8% (21人)、「どんな内容か知っている」が19.3% (11人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」、『野沢温泉村』で「知らなかった」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で48.5% (47人)、次いで『山ノ内町』で44.0% (88人)、『中野市』で43.0% (263人) の順となっている。一方、「どんな内容か知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で19.3% (11人)、次いで『木島平村』で14.4% (14人)、『中野市』で14.1% (86人) の順となっている。

(14) ハンセン病問題基本法



【中高地区全体】

- ・ハンセン病問題基本法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 51.9% (501 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 36.5% (352 人)、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」が 10.1% (97 人) の順となっており、「知らなかった」が 3 割以上、「どんな内容か知っている」が 1 割以上となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 53.2% (325 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 35.4% (216 人)、「どんな内容か知っている」が 10.0% (61 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.5% (91 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 43.5% (87 人)、「どんな内容か知っている」が 8.5% (17 人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.7% (56 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 33.0% (32 人)、「どんな内容か知っている」が 9.3% (9 人) の順となっている。

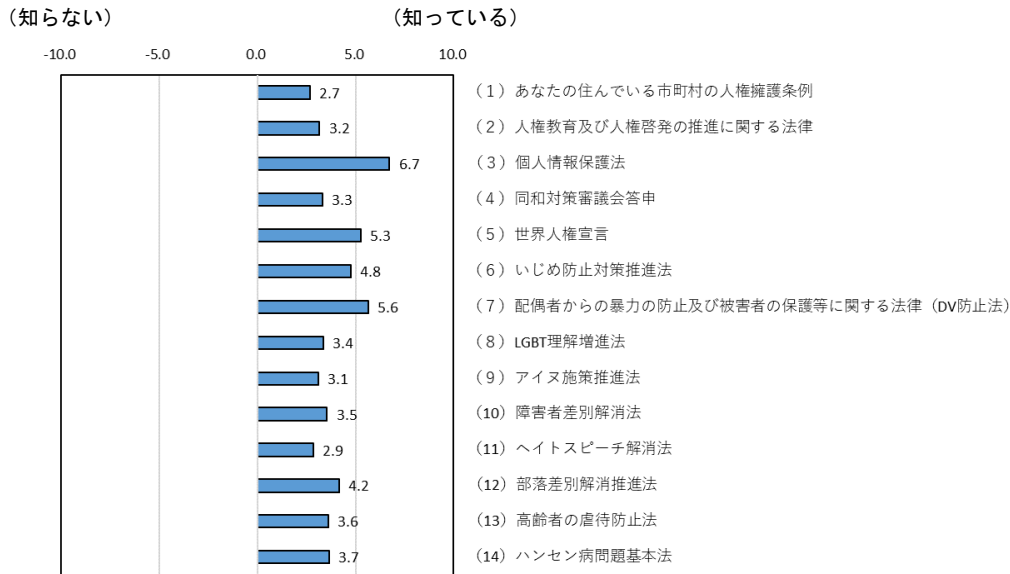
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 50.9% (29 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 29.8% (17 人)、「どんな内容か知っている」が 17.5% (10 人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で 57.7% (56 人)、次いで『野沢温泉村』で 50.9% (29 人)、『中野市』で 53.2% (325 人) の順となっている。一方、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 43.5% (87 人)、次いで『中野市』で 35.4% (216 人)、『木島平村』で 33.0% (32 人) の順となっている。

【設問間比較】



・“知っている”について「個人情報保護法」で6.7と最も高く、次いで「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」で5.6、「世界人権宣言」で5.3の順となっている。

〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・どんな内容か知っている・内容を見たことがある…… 10点
- ・内容は知らないが、名称は聞いたことがある…… 5点
- ・知らなかった…… -10点

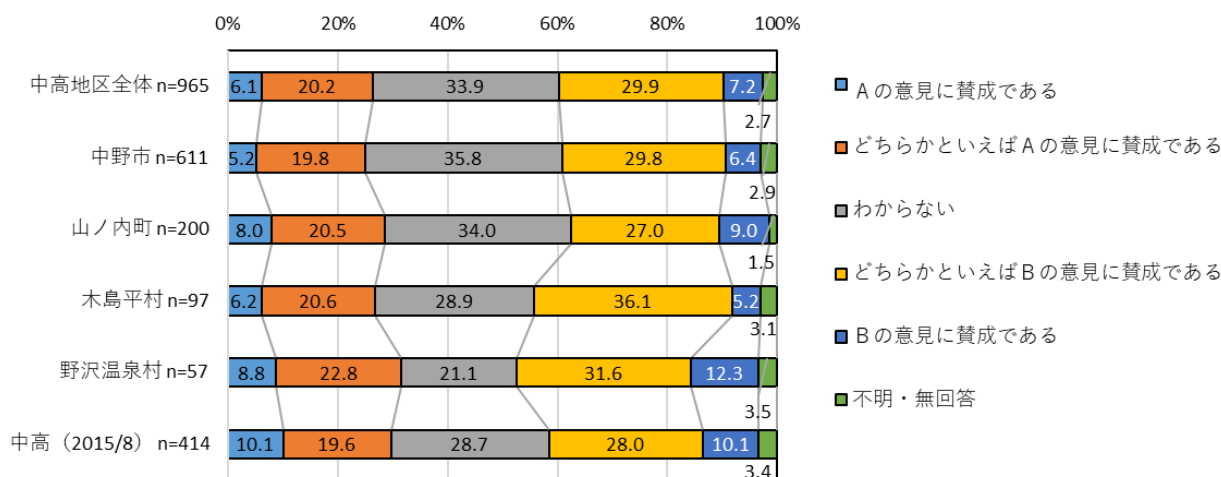
問4 差別について、A、B二人の意見が次のように分かれました。

Aの意見: 今日では差別は許されない状況にあり、差別をする人がやがて孤立してしまう。

Bの意見: 世間ではまだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立してしまう。

→あなたは次のAとBのどちらの意見に近いですか。(○は1つ)

- 1 Aの意見に賛成である
- 2 どちらかといえばAの意見に賛成である
- 3 わからない
- 4 どちらかといえばBの意見に賛成である
- 5 Bの意見に賛成である



【中高地区全体】

- 差別に関する相対する意見への近さについてみると、「わからない」が33.9% (327人)で最も高く、次いで「どちらかといえばBの意見に賛成である」が29.9% (289人)、「どちらかといえばAの意見に賛成である」が20.2% (195人)の順となっている。
- “Aへの賛成意見”（「Aの意見に賛成である」+「どちらかといえばAの意見に賛成である」）が26.3% (254人)、“Bの意見への賛成意見”（「Bの意見に賛成である」+「どちらかといえばBの意見に賛成である」）が37.1% (358人)となっており、“Bへの賛成意見”が10.8ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“Aへの賛成意見”が3.4ポイント (26.3-29.7) 低くなっており、一方“Bへの賛成意見”も1.7ポイント (37.1-38.8) 低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「わからない」が35.8% (219人)で最も高く、次いで「どちらかといえばBの意見に賛成である」が29.8% (182人)、「どちらかといえばAの意見に賛成である」が19.8% (121人)の順となっている。
- “Aへの賛成意見”が25.0% (153人)、“Bへの賛成意見”が36.2% (221人)となっており、“Bへの賛成意見”が11.2ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「わからない」が34.0% (68人)で最も高く、次いで「どちらかといえばBの意見に賛成である」が27.0% (54人)、「どちらかといえばAの意見に賛成である」が20.5% (41人)の順となっている。
- “Aへの賛成意見”が28.5% (57人)、“Bへの賛成意見”が36.0% (72人)となっており、“Bへの賛成意見”が7.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらかといえばBの意見に賛成である」が36.1% (35人)で最も高く、次いで「わからない」が28.9% (28人)、「どちらかといえばAの意見に賛成である」が20.6% (20人)の順となっている。
- “Aへの賛成意見”が26.8% (26人)、“Bへの賛成意見”が41.2% (40人)となっており、

“Bへの賛成意見”が14.4ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばBの意見に賛成である」が31.6%（18人）で最も高く、次いで「どちらかといえばAの意見に賛成である」が22.8%（13人）、「わからない」が21.1%（12人）の順となっている。
- ・“Aへの賛成意見”が31.6%（18人）、“Bへの賛成意見”が43.9%（25人）となっており、“Bへの賛成意見”が12.3%ポイント高くなっている。

【市町村比較】

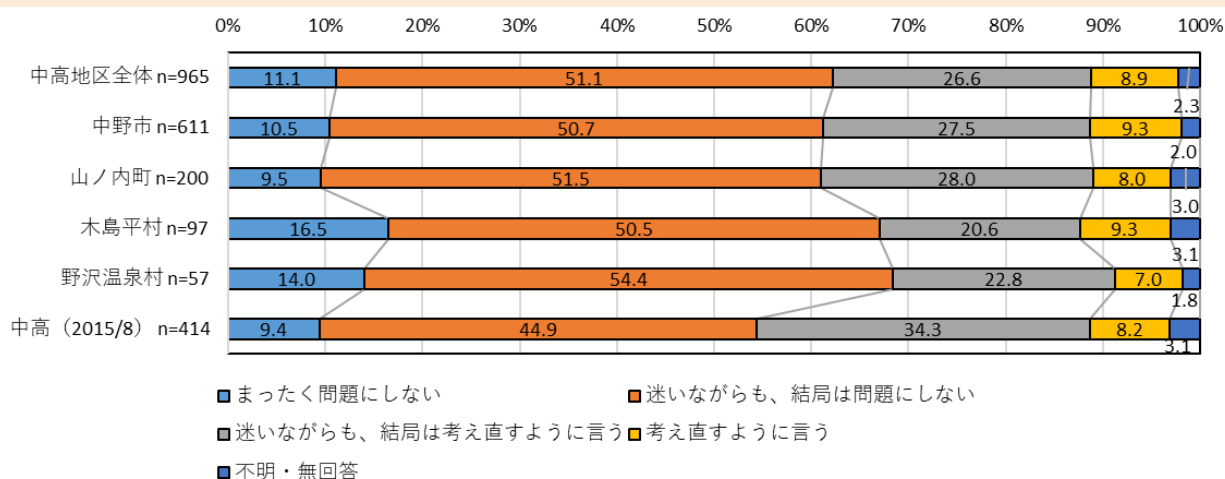
- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“Bへの賛成意見”が高くなっており、“Bへの賛成意見”が最も高いのは『野沢温泉村』で43.9%（25人）、次いで『木島平村』で41.2%（40人）、『中野市』で36.2%（221人）の順となっている。一方、“Aへの賛成意見”が最も高いのは『野沢温泉村』で31.6%（18人）、次いで『山ノ内町』で28.5%（57人）、『木島平村』で26.8%（26人）の順となっている。

B 人権問題に対する様々な課題について

問5 あなたのお子さんが恋愛をし、結婚を考えている相手またはパートナーとして考えている相手が次の人であれば、あなたはどのような態度をとると思いますか。次の(1)～(6)のすべてについて、あてはまる番号に○をしてください(お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください)。(それぞれに○は1つ)

	1 まったく問題に しない	2 迷いながらも、 結局は問題に しない	3 迷いながらも、 結局は考え直すよ うに言う	4 考え直すように 言う
(1) 障がい者	1	2	3	4
(2) 外国人	1	2	3	4
(3) 同和地区出身者	1	2	3	4
(4) ハンセン病回復者の家族	1	2	3	4
(5) HIV陽性者	1	2	3	4
(6) LGBTQ等の性的少数者	1	2	3	4

(1) 障がい者



【中高地区全体】

- 障がい者についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が51.1% (493人) で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が26.6% (257人)、「まったく問題にしない」が11.1% (107人) の順となっている。
- “問題にしない”(「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」)が62.2% (600人)、“考え直す”(「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」)が35.5% (343人) となっており、“問題にしない”が6割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、“問題にしない”が7.9ポイント(62.2-54.3)高くなっており、一方“考え直す”が7.0ポイント(35.5-42.5)低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が50.7% (310人) で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が27.5% (168人)、「まったく問題

にしない」が 10.5% (64 人) の順となっている。

- ・“問題にしない”が 61.2% (374 人)、“考え直す”が 36.8% (225 人) と “問題にしない”が “考え直す”に比べ 24.4 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 51.5% (103 人) で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 28.0% (56 人)、「まったく問題にしない」が 9.5% (19 人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が 61.0% (122 人)、“考え直す”が 36.0% (72 人) と “問題にしない”が “考え直す”に比べ 25.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 50.5% (49 人) で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 20.6% (20 人)、「まったく問題にしない」が 16.5% (16 人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が 67.0% (65 人)、“考え直す”が 29.9% (29 人) と “問題にしない”が “考え直す”に比べ 37.1 ポイント高くなっている。

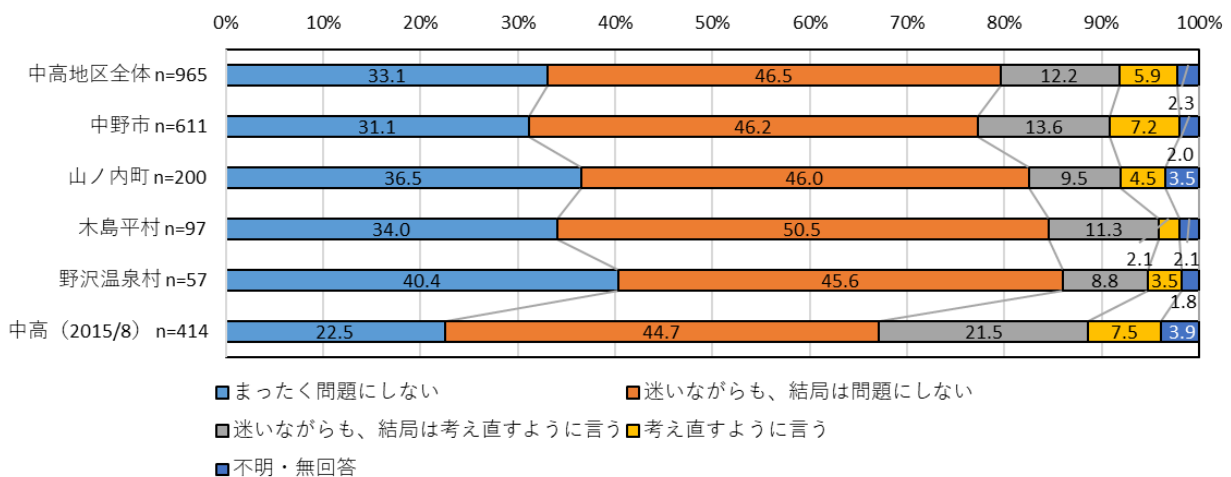
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 54.4% (31 人) で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 22.8% (13 人)、「まったく問題にしない」が 14.0% (8 人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が 68.4% (39 人)、“考え直す” 29.8% (17 人) と “問題にしない”が “考え直す”に比べ 38.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 68.4% (39 人)、次いで『木島平村』で 67.0% (65 人)、『中野市』で 61.2% (374 人) の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で 36.8% (225 人)、次いで『山ノ内町』で 36.0% (72 人)、『木島平村』で 29.9% (29 人) の順となっている。

(2) 外国人



【中高地区全体】

- ・外国人についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が46.5%（449人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が33.1%（319人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が12.2%（118人）の順となっている。
- ・“問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が79.6%（768人），“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が18.1%（175人）となっており、“問題にしない”が7割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“問題にしない”が12.4ポイント（79.6-67.2）高くなっており、一方“考え直す”が10.2ポイント（18.8-29.0）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が46.2%（282人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が31.1%（190人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が13.6%（83人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が77.3%（472人），“考え直す”が20.8%（127人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ56.5ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が46.0%（92人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が36.5%（73人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が9.5%（19人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が82.5%（165人），“考え直す”が14.0%（28人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ68.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が50.5%（49人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が34.0%（33人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が11.3%（11人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が84.5%（82人），“考え直す”が13.4%（13人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ71.1ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

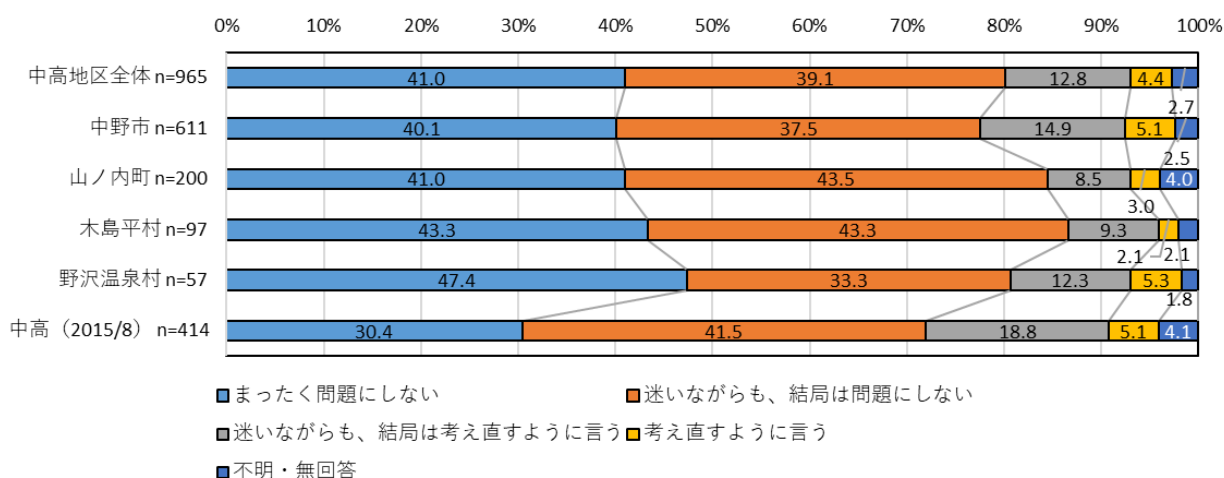
- ・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が45.6%（26人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が40.4%（23人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が8.8%（5人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が86.0%（49人），“考え直す”が12.3%（7人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ73.7ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で86.0%（49人）、次いで『木島平村』で84.5%（82人）、『山ノ内町』で82.5%（165人）の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で20.8%（127人）、次いで『山ノ内町』で14.0%（28人）、『木島平村』で

13.4%（13人）の順となっている。

（3）同和地区出身者



【中高地区全体】

- ・同和地区出身者についてみると、「まったく問題にしない」が41.0%（396人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が39.1%（377人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が12.8%（124人）の順となっている。
- ・“問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が80.1%（773人）、「考え直す」（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が17.2%（166人）となっており、“問題にしない”が8割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“問題にしない”が8.2ポイント（80.1-71.9）高くなっており、一方“考え直す”が6.7ポイント（17.2-23.9）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「まったく問題にしない」が40.1%（245人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が37.5%（229人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が14.9%（91人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が77.6%（474人），“考え直す”が20.0%（122人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ57.6ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が43.5%（87人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が41.0%（82人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が8.5%（17人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が84.5%（169人），“考え直す”が11.5%（23人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ73.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「まったく問題にしない」「迷いながらも、結局は問題にしない」が同率で43.3%（42人）で、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が9.3%（9人）となっている。

人)の順となっている。

- ・“問題にしない”が86.6% (84人)、“考え直す”が11.3% (11人)と“問題にしない”が“考え直す”に比べ75.3ポイント高くなっている。

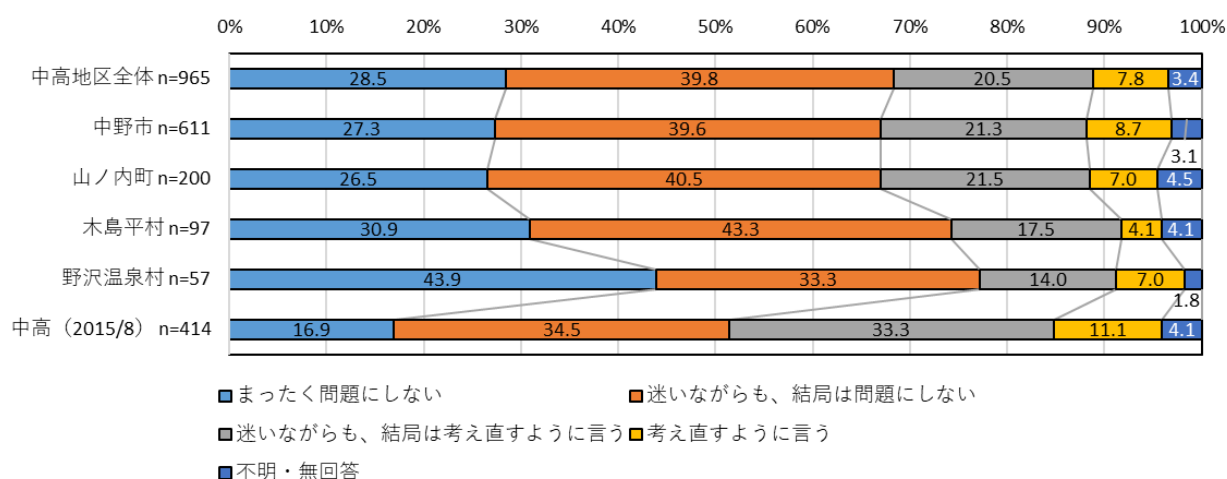
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「まったく問題にしない」が47.4% (27人)で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が33.3% (19人)、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が12.3% (7人)の順となっている。
- ・“問題にしない”が80.7% (46人)、“考え直す”が17.5% (10人)と“問題にしない”が“考え直す”に比べ63.2ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『木島平村』で86.6% (84人)、次いで『山ノ内町』で84.5% (169人)、『野沢温泉村』で80.7% (46人)の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で20.0% (122人)、次いで『野沢温泉村』で17.5% (10人)、『山ノ内町』で11.5% (23人)の順となっている。

(4) ハンセン病回復者の家族



【中高地区全体】

- ・ハンセン病回復者の家族についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が39.8% (384人)で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が28.5% (275人)、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が20.5% (198人)の順となっている。
- ・“問題にしない”(「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」)が68.3% (659人)、“考え直す”(「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」)が28.3% (273人)となっており、“問題にしない”が6割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“問題にしない”が16.9ポイント (68.3-51.4)高くなっており、一方“考え直す”が16.1ポイント (28.3-44.4)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 39.6% (242 人) で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 27.3% (167 人)、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 21.3% (130 人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が 66.9% (409 人)、“考え直す”が 30.0% (183 人) と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 36.9 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 40.5% (81 人) で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 26.5% (53 人)、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 21.5% (43 人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が 67.0% (134 人)、“考え直す”が 28.5% (57 人) と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 38.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 43.3% (42 人) で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が 30.9% (30 人)、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 17.5% (17 人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が 74.2% (72 人)、“考え直す”が 21.6% (21 人) と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 52.6 ポイント高くなっている。

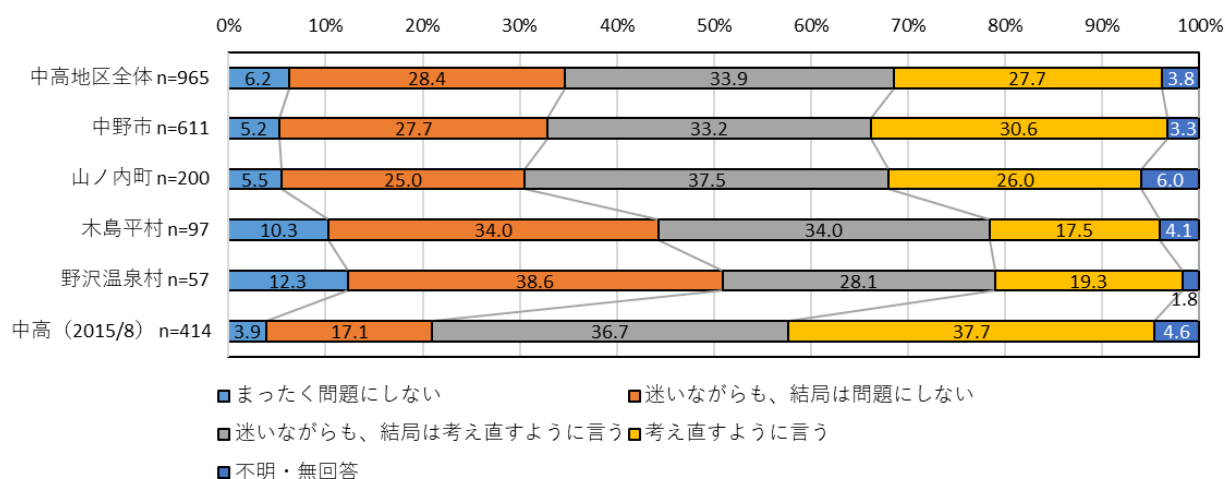
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「まったく問題にしない」が 43.9% (25 人) で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が 33.3% (19 人)、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 14.0% (8 人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が 77.2% (44 人)、“考え直す”が 21.1% (12 人) と“問題にしない”が“考え直す”に比べ 56.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 77.2% (44 人)、次いで『木島平村』で 74.2% (72 人)、『山ノ内町』で 67.0% (134 人) の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で 30.0% (183 人)、次いで『山ノ内町』で 28.5% (57 人)、『木島平村』で 21.6% (21 人) の順となっている。

(5) HIV陽性者



【中高地区全体】

- ・HIV陽性者についてみると、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が33.9% (327人) で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が28.4% (274人)、「考え直すように言う」が27.7% (267人) の順となっている。
- ・“問題にしない”(「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」)が34.6% (334人)、“考え直す”(「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」)が61.6% (594人) となっており、“考え直す”が6割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“問題にしない”が32.5ポイント(34.6-21.0)高くなっており、一方“考え直す”が12.8ポイント(61.6-48.8)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が33.2% (203人) で最も高く、次いで「考え直すように言う」が30.6% (187人)、「迷いながらも、結局は問題にしない」が27.7% (169人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が32.9% (201人)、“考え直す”が63.8% (390人) と“問題にしない”が“考え直す”の差は30.9ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が37.5% (75人) で最も高く、次いで「考え直すように言う」が26.0% (52人)、「迷いながらも、結局は問題にしない」が25.0% (50人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が30.5% (61人)、“考え直す”が63.5% (127人) と“問題にしない”が“考え直す”の差は33.0ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」「迷いながらも、結局は問題にしない」が同率で34.0% (33人) で、次いで「考え直すように言う」が17.5% (17人) の順となっている。
- ・“問題にしない”が44.3% (43人)、“考え直す”が51.5% (50人) と“問題にしない”が

“考え直す”の差は7.2ポイントとなっている。

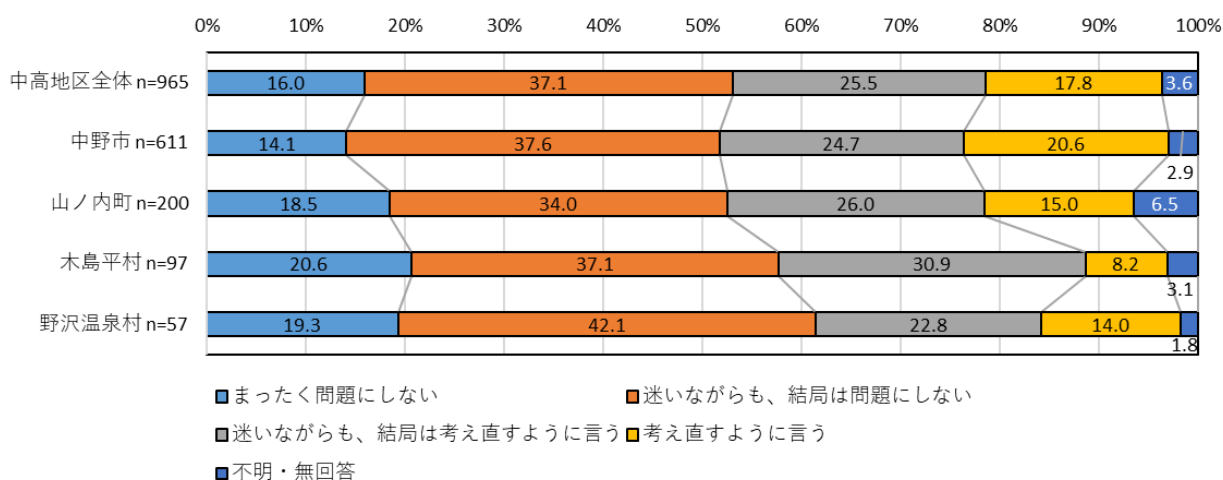
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が38.6%（22人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が28.1%（16人）、「考え直すように言う」が19.3%（11人）の順となっている。
- “問題にしない”が50.9%（29人），“考え直す”が47.4%（27人）と“問題にしない”が“考え直す”の差は3.5ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で“考え直す”、『野沢温泉村』で“問題にしない”が高くなっており、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で63.8%（390人）、次いで『山ノ内町』で63.5%（127人）、『木島平村』で51.5%（50人）の順となっている。一方、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で50.9%（29人）、次いで『木島平村』で44.3%（43人）、『中野市』で32.9%（201人）の順となっている。

(6) L G B T Q等の性的少数者



【中高地区全体】

- L G B T Q等の性的少数者についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が37.1%（358人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が25.5%（246人）、「考え直すように言う」が17.8%（172人）の順となっている。
- “問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が53.1%（512人），“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が43.3%（418人）となっており、“問題にしない”が5割以上となっている。

【中野市】

- 中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が37.6%（230人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が24.7%（151人）、「考え直すように言う」が20.6%（126人）の順となっている。
- “問題にしない”が51.7%（316人），“考え直す”が45.3%（277人）と“問題にしない”

が“考え直す”に比べ6.4ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が34.0%（68人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が26.0%（52人）、「まったく問題にしない」が18.5%（37人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が52.5%（105人），“考え直す”が41.0%（82人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ11.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が37.1%（36人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が30.9%（30人）、「まったく問題にしない」が20.6%（20人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が57.7%（56人），“考え直す”が39.2%（38人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ18.5ポイント高くなっている。

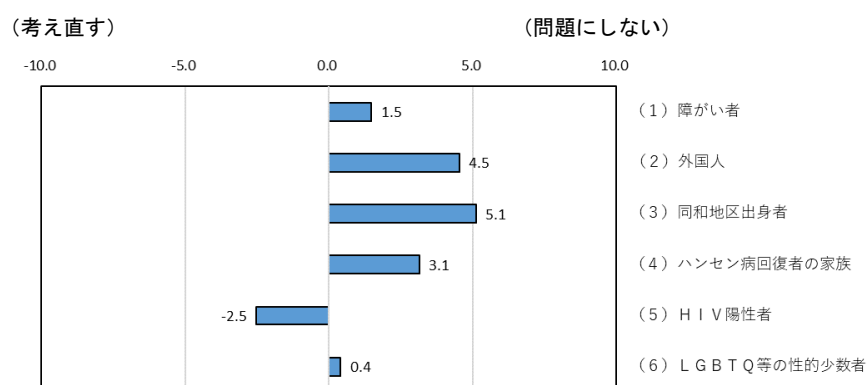
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が42.1%（24人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が22.8%（13人）、「まったく問題にしない」が19.3%（11人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が61.4%（35人），“考え直す”が36.8%（21人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ24.6ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『野沢温泉村』で61.4%（35人）、次いで『木島平村』で57.7%（56人）、『山ノ内町』で52.5%（105人）の順となっている。一方、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で45.3%（277人）、次いで『山ノ内町』で41.0%（82人）、『木島平村』で39.2%（38人）の順となっている。

【設問間較】



- ・“考え直す”について「HIV陽性者」でマイナス2.5となっている。一方、“問題にしない”について「同和地区出身者」で5.1と最も高く、次いで「外国人」で4.5、「ハンセン

病回復者の家族」で3.1の順となっている。

〈比較の方法〉

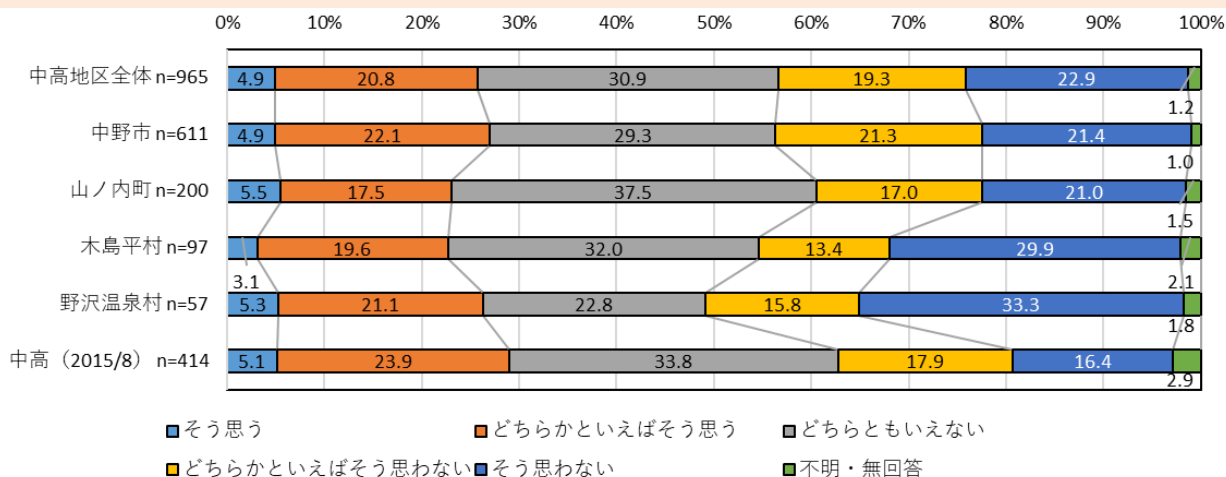
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・まったく問題にしない…………… 10点
- ・考え直すように言う…………… -10点
- ・迷いながらも、結局は問題にしない… 5点
- ・迷いながらも、結局は考え直すように言う… -5点

問6 あなたは、子どもの人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらか といえば そう 思わない	5 そう 思わない
(1) 子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である	1	2	3	4	5
(2) 親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3) 学校での教育的な体罰は、やむを得ない	1	2	3	4	5
(4) 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ	1	2	3	4	5

(1) 子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である



【中高地区全体】

- ・子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然であるについてみると、「どちらともいえない」が30.9% (298人) で最も高く、次いで「そう思わない」が22.9% (221人)、「どちらかといえばそう思う」が20.8% (201人) の順となっている。
- ・“思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が25.7% (248人)、“思わない” (「ど

ちらかといえそう思わない」+「そう思わない」が42.2%（407人）となっており、「思わない」が「思う」に比べ16.5ポイント高くなっている。

- ・前回調査と比較すると、「思う」が3.3ポイント（25.7-29.0）低くなっており、一方「思わない」が7.9ポイント（42.2-34.3）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が29.3%（179人）で最も高く、次いで「どちらかといえそう思う」が22.1%（135人）、「そう思わない」が21.4%（131人）の順となっている。
- ・「思う」が27.0%（165人）、「思わない」が42.7%（261人）と「思わない」が「思う」に比べ15.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が37.5%（75人）で最も高く、次いで「そう思わない」が21.0%（42人）、「どちらかといえそう思う」が17.5%（35人）の順となっている。
- ・「思う」が23.0%（46人）、「思わない」が38.0%（76人）と「思わない」が「思う」に比べ15.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が32.0%（31人）で最も高く、次いで「そう思わない」が29.9%（29人）、「どちらかといえそう思う」が19.6%（19人）の順となっている。
- ・「思う」が22.7%（22人）、「思わない」が43.3%（42人）と「思わない」が「思う」に比べ20.6ポイント高くなっている。

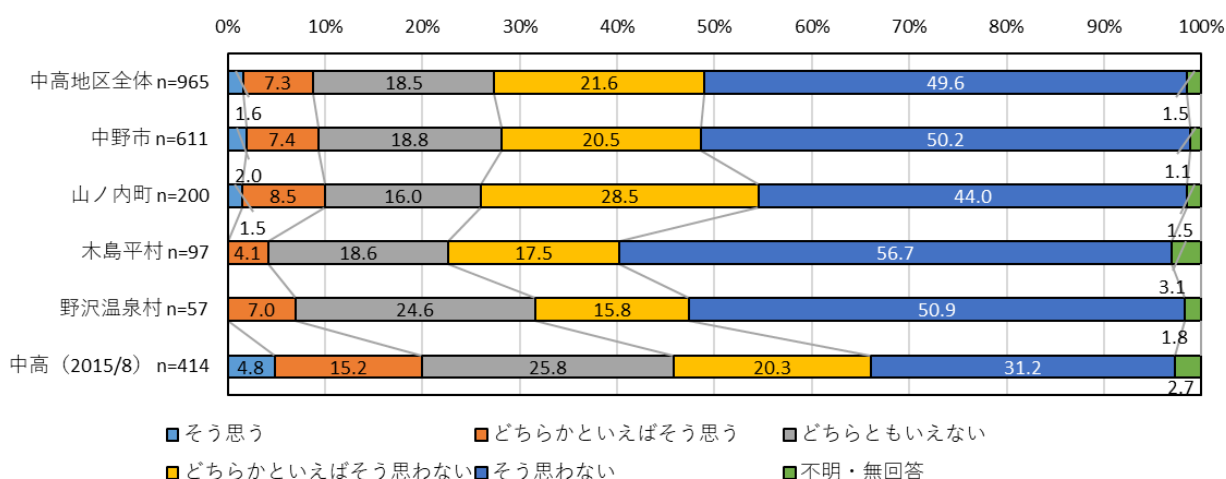
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が33.3%（19人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.8%（13人）、「どちらかといえそう思う」が21.1%（12人）の順となっている。
- ・「思う」が26.3%（15人）、「思わない」49.1%（28人）と「思わない」が「思う」に比べ22.8ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「思わない」が高くなっており、「思わない」が最も高いのは『野沢温泉村』で49.1%（28人）、次いで『木島平村』で43.3%（42人）、『中野市』で42.7%（261人）の順となっている。一方、「思う」が最も高いのは『中野市』で27.0%（165人）、次いで『野沢温泉村』で26.3%（15人）、『山ノ内町』で23.0%（46人）の順となっている。

(2) 親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない



【中高地区全体】

- ・親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ないについてみると、「そう思わない」が49.6%（479人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.6%（208人）、「どちらともいえない」が18.5%（179人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が8.8%（85人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が71.2%（687人）となっており，“思わない”が“思う”に比べ62.4ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると，“思う”が11.2ポイント（8.8-20.0）低くなっており、一方“思わない”が19.7ポイント（71.2-51.5）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が50.2%（307人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が20.5%（125人）、「どちらともいえない」が18.8%（115人）の順となっている。
- ・“思う”が9.3%（57人），“思わない”70.7%（432人）と“思わない”が“思う”に比べ61.3ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が44.0%（88人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が28.5%（57人）、「どちらともいえない」が16.0%（32人）の順となっている。
- ・“思う”が10.0%（20人），“思わない”72.5%（145人）と“思わない”が“思う”に比べ62.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が56.7%（55人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が18.6%（18人）、「どちらかといえばそう思わない」が17.5%（17人）の順となっている。
- ・“思う”が4.1%（4人），“思わない”74.2%（72人）と“思わない”が“思う”に比べ70.1

ポイント高くなっている。

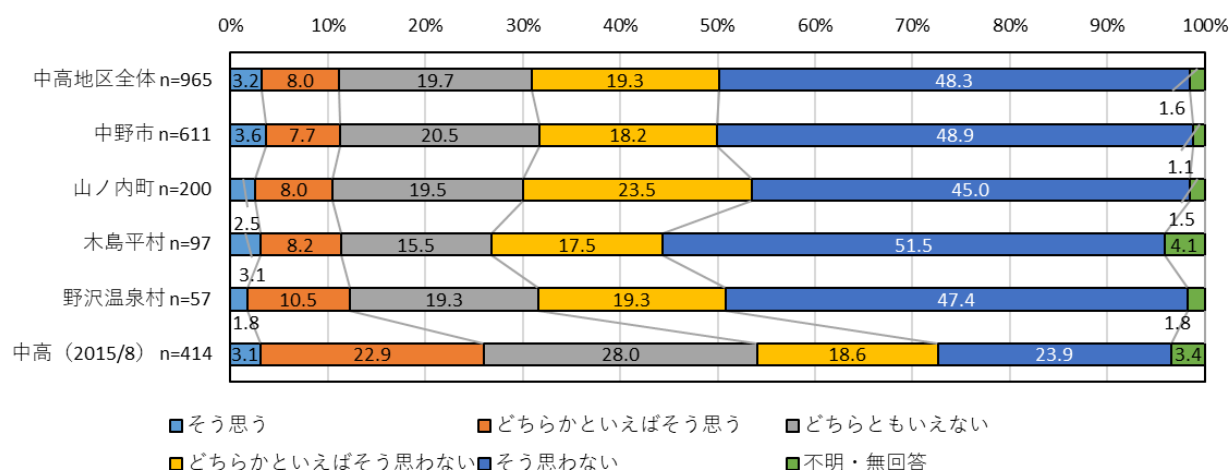
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 50.9% (29 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.6% (14 人)、「どちらかといえばそう思わない」が 15.8% (9 人) の順となっている。
- ・“思う”が 7.0% (4 人)、“思わない” 66.7% (38 人) と “思わない” が “思う” に比べ 59.7 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “思わない” が高くなっており、“思わない” が最も高いのは『木島平村』で 74.2% (72 人)、次いで『山ノ内町』で 72.5% (145 人)、『中野市』で 70.7% (432 人) の順となっている。一方、“思う” が最も高いのは『山ノ内町』で 10.0% (20 人)、次いで『中野市』で 9.3% (57 人)、『野沢温泉村』で 7.0% (4 人) の順となっている。

(3) 学校での教育的な体罰は、やむを得ない



【中高地区全体】

- ・学校での教育的な体罰は、やむを得ないについてみると、「そう思わない」が 48.3% (466 人) で最も高く、次いで「どちらかともいえない」が 19.7% (190 人)、「どちらかといえばそう思わない」が 19.3% (186 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 11.2% (108 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 67.6% (652 人) となっており、“思わない” が “思う” に比べ 56.4 ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う” が 14.8 ポイント (11.2-26.0) 低くなっており、一方 “思わない” が 25.1 ポイント (67.6-42.5) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が 48.9% (299 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 20.5% (125 人)、「どちらかといえばそう思わない」が 18.2% (111 人) の

順となっている。

- ・“思う”が11.3% (69人)、“思わない”が67.1% (410人)と“思わない”が“思う”に比べ55.8ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が45.0% (90人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が23.5% (47人)、「どちらともいえない」が19.5% (39人)の順となっている。
- ・“思う”が10.5% (21人)、“思わない”が68.5% (137人)と“思わない”が“思う”に比べ58.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が51.5% (50人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が17.5% (17人)、「どちらともいえない」が15.5% (15人)の順となっている。
- ・“思う”が11.3% (11人)、“思わない”が69.1% (67人)と“思わない”が“思う”に比べ57.8ポイント高くなっている。

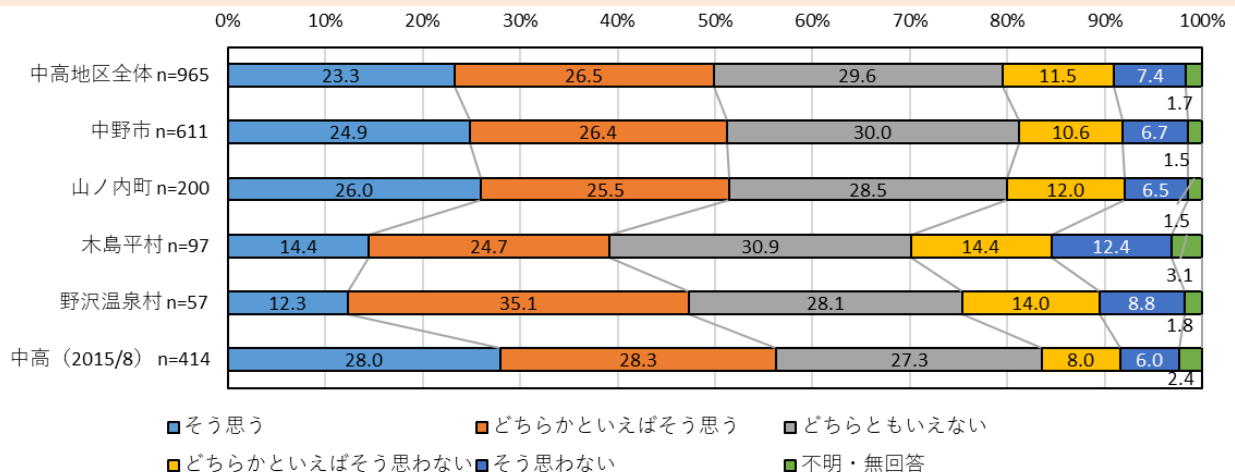
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が47.4% (27人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」が同率で19.3% (11人)の順となっている。
- ・“思う”が12.3% (7人)、“思わない”が66.7% (38人)と“思わない”が“思う”に比べ54.4ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で69.1% (67人)、次いで『山ノ内町』で68.5% (137人)、『中野市』で67.1% (410人)の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で12.3% (7人)、次いで『木島平村』で11.3% (11人)、『中野市』で11.3% (69人)の順となっている。

(4) 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ



【中高地区全体】

- ・ 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだについてみると、「どちらともいえない」が 29.6% (286 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.5% (256 人)、「そう思う」が 23.3% (225 人) の順となっている。
- ・ “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が 49.8% (481 人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が 18.9% (182 人) となっており、“思う” が “思わない” に比べ 30.9 ポイント高くなっている。
- ・ 前回調査と比較すると、“思う” が 6.5 ポイント (49.8-56.3) 低くなっており、一方 “思わない” が 4.9 ポイント (18.9-14.0) 高くなっている。

【中野市】

- ・ 中野市においては、「どちらともいえない」が 30.0% (183 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.4% (161 人)、「そう思う」が 24.9% (152 人) の順となっている。
- ・ “思う” が 51.2% (313 人)、“思わない” が 17.3% (106 人) と “思う” が “思わない” に比べ 33.9 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・ 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 28.5% (57 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 26.0% (52 人)、「どちらかといえばそう思う」が 25.5% (51 人) の順となっている。
- ・ “思う” が 51.5% (103 人)、“思わない” が 18.5% (37 人) と “思う” が “思わない” に比べ 33.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・ 木島平村においては、「どちらともいえない」が 30.9% (30 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.7% (24 人)、「そう思う」「どちらかといえばそう思わない」が同率で 14.4% (14 人) の順となっている。
- ・ “思う” が 39.2% (38 人)、“思わない” が 26.8% (26 人) と “思う” が “思わない” に比べ 12.4 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

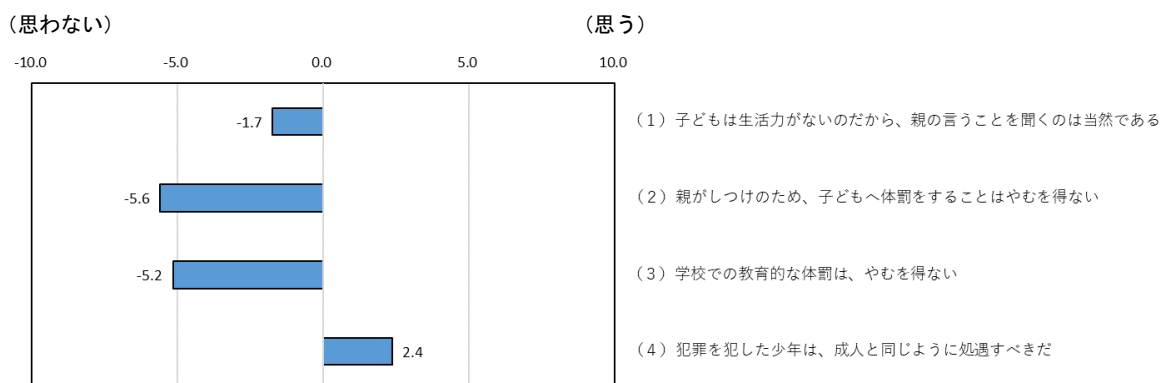
- ・ 野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 35.1% (20 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 28.1% (16 人)、「どちらかといえばそう思わない」が 14.0% (8 人) の順となっている。
- ・ “思う” が 47.4% (27 人)、“思わない” が 22.8% (13 人) と “思う” が “思わない” に比べ 24.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・ 4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “思う” が高くなっており、“思う” が最も高いのは『山ノ内町』で 51.5% (103 人)、次いで『中野市』で 51.2% (313 人)、『野沢温泉村』で 47.4% (27 人) の順となっている。一方、“思わない” が最も高いのは『木島平村』で 26.8% (26 人)、次いで『野沢温泉村』で 22.8% (13 人)、『山ノ内町』で 18.5% (37 人)

の順となっている。

【設問間比較】



- ・“思わない”について「親がしつけのために、子どもへ体罰をすることはやむをえない」でマイナス 5.6 と最も低く、次いで「学校での教育的な体罰は、やむを得ない」でマイナス 5.2、「子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である」でマイナス 1.7 の順となっている。一方、「犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ」で 2.4 となっている。

〈比較の方法〉

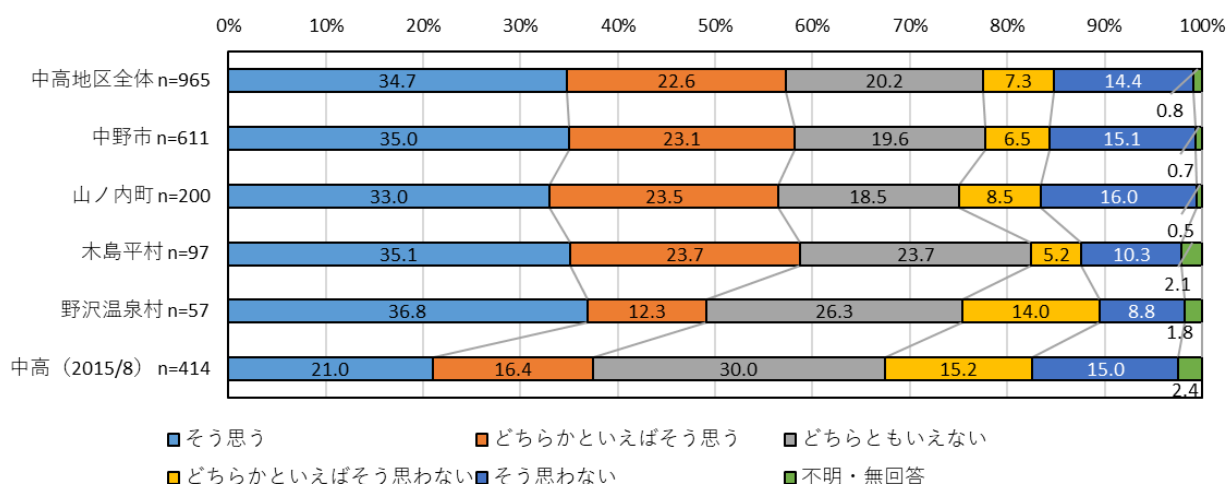
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・ そう思う…………… 10点
- ・ そう思わない…………… -10点
- ・ どちらかといえばそう思う… 5点
- ・ どちらかといえばそう思わない… -5点
- ・ どちらともいえない…………… 0点

問7 あなたは女性の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかとい えばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかとい えばそう 思わない	5 そう 思わない
(1) 夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい	1	2	3	4	5
(2) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある	1	2	3	4	5
(3) 地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい	1	2	3	4	5
(4) 女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある	1	2	3	4	5

(1) 夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい



【中高地区全体】

- 夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよいについてみると、「そう思う」が 34.7% (335 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.6% (218 人)、「どちらともいえない」が 20.2% (195 人) の順となっている。
- “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が 57.3% (553 人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が 21.7% (209 人) となっており、“思う” が “思わない” に比べ 35.6 ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う” が 19.9 ポイント (57.3-37.4) 高くなっており、一方 “思わない” が 8.5 ポイント (21.7-30.2) 低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が 35.0% (214 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.1% (141 人)、「どちらともいえない」が 19.6% (120 人) の順となっている。
- “思う” が 58.1% (355 人)、“思わない” が 21.6% (132 人) と “思う” が “思わない” に比べ 36.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が 33.0% (66 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.5% (47 人)、「どちらともいえない」が 18.5% (37 人) の順となっている。
- “思う” が 56.5% (113 人)、“思わない” が 24.5% (49 人) と “思う” が “思わない” に比べ 32.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が 35.1% (34 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」が同率で 23.7% (23 人) の順となっている。
- “思う” が 58.8% (57 人)、“思わない” が 15.5% (15 人) と “思う” が “思わない” に比べ 43.3 ポイント高くなっている。

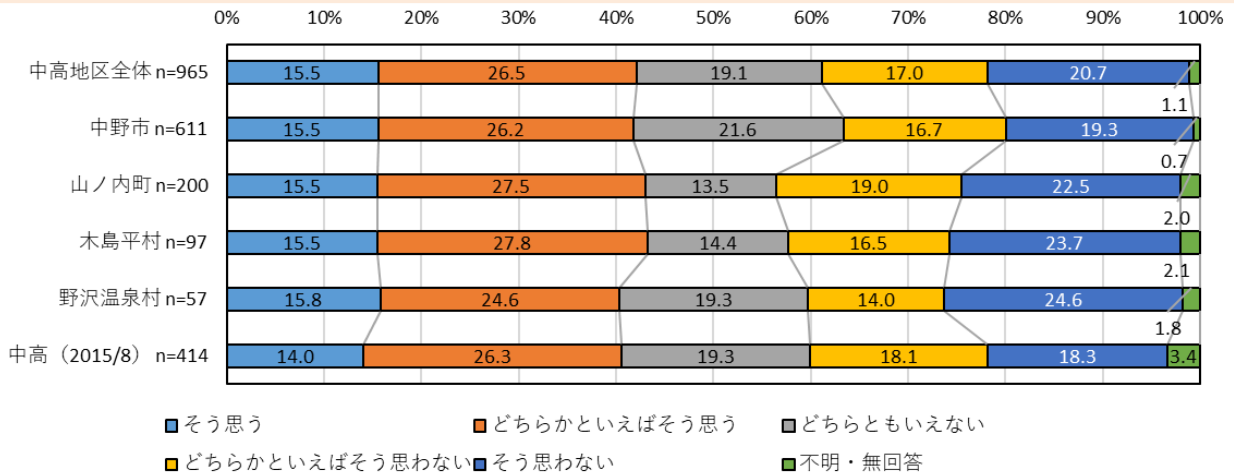
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が 36.8% (21 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 26.3% (15 人)、「どちらかといえばそう思わない」が 14.0% (8 人) の順となっている。
- ・“思う”が 49.1% (28 人)、“思わない”が 22.8% (13 人) と“思う”が“思わない”に比べ 26.3 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 58.8% (57 人)、次いで『中野市』で 58.1% (355 人)、『山ノ内町』で 56.5% (113 人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 24.5% (49 人)、次いで『野沢温泉村』で 22.8% (13 人)、『中野市』で 21.6% (132 人) の順となっている。

(2) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある



【中高地区全体】

- ・「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もあるについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 26.5% (256 人) で最も高く、次いで「そう思わない」が 20.7% (200 人)、「どちらともいえない」が 19.1% (184 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 42.1% (406 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 37.7% (364 人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ 4.4 ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が 1.8 ポイント (42.1-40.3) 高くなっており、一方“思わない”も 1.3 ポイント (37.7-36.4) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が 26.2% (160 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 21.6% (132 人)、「そう思わない」が 19.3% (118 人) の順となっている。

- ・“思う”が41.7%（255人）、“思わない”が36.0%（220人）と“思う”が“思わない”に比べ5.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が27.5%（55人）で最も高く、次いで「そう思わない」が22.5%（45人）、「どちらかといえばそう思わない」が19.0%（38人）の順となっている。
- ・“思う”が43.0%（86人）、“思わない”が41.5%（83人）と“思う”が“思わない”に比べ1.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が27.8%（27人）で最も高く、次いで「そう思わない」が23.7%（23人）、「どちらかといえばそう思わない」が16.5%（16人）の順となっている。
- ・“思う”が43.3%（42人）、“思わない”が40.2%（39人）と“思う”が“思わない”に比べ3.1ポイント高くなっている。

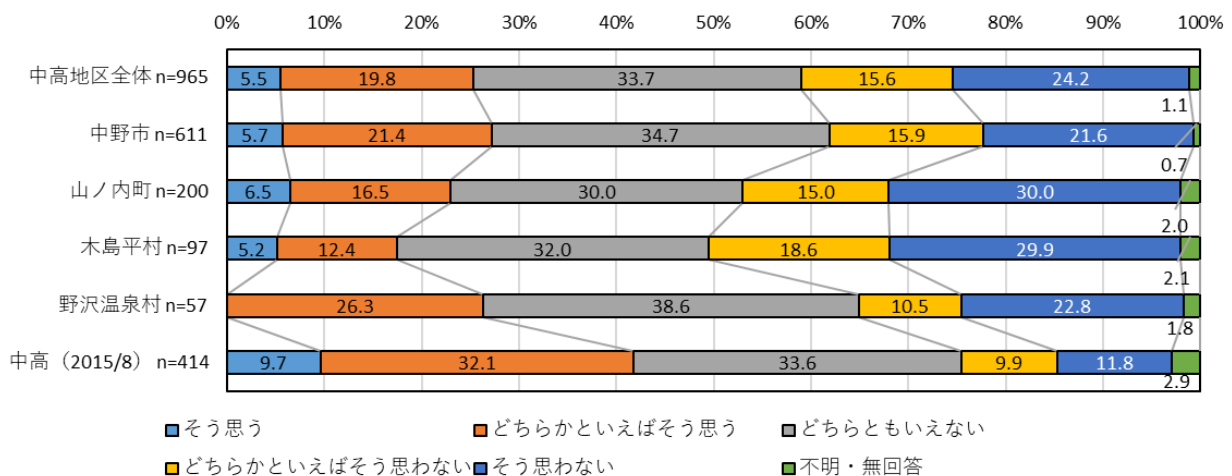
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」「そう思わない」が同率で24.6%（14人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が19.3%（11人）の順となっている。
- ・“思う”が40.4%（23人）、“思わない”が38.6%（22人）と“思う”が“思わない”に比べ1.8ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で43.3%（42人）、次いで『山ノ内町』で43.0%（86人）、『中野市』で41.7%（255人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で41.5%（83人）、次いで『木島平村』で40.2%（39人）、『野沢温泉村』で38.6%（22人）の順となっている。

(3) 地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい



【中高地区全体】

- ・地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよいについてみると、「どちらともいえない」が 33.7% (325 人) で最も高く、次いで「そう思わない」が 24.2% (234 人)、「どちらかといえばそう思う」が 19.8% (191 人) の順となっている。
- ・“思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が 25.3% (244 人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が 39.9% (385 人) となっており、“思わない” が“思う” に比べ 14.6 ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う” が 16.5 ポイント (25.3-41.8) 低くなっており、一方“思わない” が 18.2 ポイント (39.9-21.7) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 34.7% (212 人) で最も高く、次いで「そう思わない」が 21.6% (132 人)、「どちらかといえばそう思う」が 21.4% (131 人) の順となっている。
- ・“思う” が 27.2% (166 人)、“思わない” が 37.5% (229 人) と“思わない” が“思う” に比べ 10.3 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」「そう思わない」が同率で 30.0% (60 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 16.5% (33 人) の順となっている。
- ・“思う” が 23.0% (46 人)、“思わない” が 45.0% (90 人) と“思わない” が“思う” に比べ 22.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が 32.0% (31 人) で最も高く、次いで「そう思わない」が 29.9% (29 人)、「どちらかといえばそう思わない」が 18.6% (18 人) の順となっている。
- ・“思う” が 17.5% (17 人)、“思わない” が 48.5% (47 人) と“思わない” が“思う” に比べ 31.0 ポイント高くなっている。

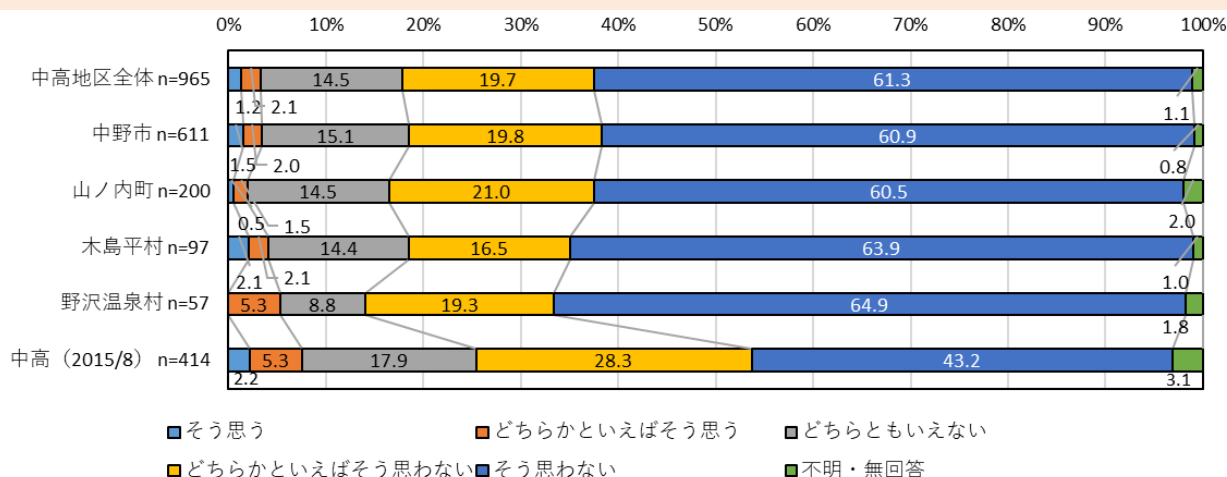
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 38.6% (22 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.3% (15 人)、「そう思わない」が 22.8% (13 人) の順となっている。
- ・“思う” が 26.3% (15 人)、“思わない” が 33.3% (19 人) と“思わない” が“思う” に比べ 7.0 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 48.5% (47 人)、次いで『山ノ内町』で 45.0% (90 人)、『中野市』で 37.5% (229 人) の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『中野市』で 27.2% (166 人)、次いで『野沢温泉村』で 26.3% (15 人)、『山ノ内町』で 23.0% (46 人) の順となっている。

(4) 女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある



【中高地区全体】

- ・女性が責任ある役職に就くことには抵抗があるについてみると、「そう思わない」が61.3% (592人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.7% (190人)、「どちらともいえない」が14.5% (140人) の順となっている。
- ・“思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が3.3% (32人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が81.0% (782人) となっており、“思わない”が“思う”に比べ77.7ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が4.2ポイント (3.3-7.5) 低くなっており、一方“思わない”が9.5ポイント (81.0-71.5) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が60.9% (372人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.8% (121人)、「どちらともいえない」が15.1% (92人) の順となっている。
- ・“思う”が3.4% (21人)、“思わない”が80.7% (493人) と“思わない”が“思う”に比べ77.3ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が60.5% (121人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.0% (42人)、「どちらともいえない」が14.5% (29人) の順となっている。
- ・“思う”が2.0% (4人)、“思わない”が81.5% (163人) と“思わない”が“思う”に比べ79.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が63.9% (62人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が16.5% (16人)、「どちらともいえない」が14.4% (14人) の順となっている。
- ・“思う”が4.1% (4人)、“思わない”が80.4% (78人) と“思わない”が“思う”に比べ

76.3ポイント高くなっている。

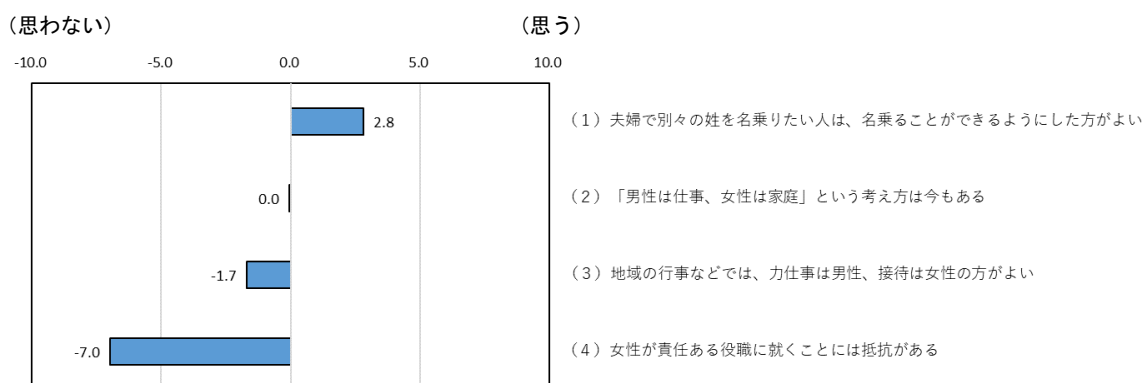
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が64.9%（37人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.3%（11人）、「どちらともいえない」が8.8%（5人）の順となっている。
- ・“思う”が5.3%（3人），“思わない”が84.2%（48人）と“思わない”が“思う”に比べ78.9ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で84.2%（48人）、次いで『山ノ内町』で81.5%（163人）、『中野市』で80.7%（493人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で5.3%（3人）、次いで『木島平村』で4.1%（4人）、『中野市』で3.4%（21人）の順となっている。

【設問間比較】



- ・“思わない”について、「女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある」でマイナス7.0と最も低く、次いで「地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい」でマイナス1.7となっている。一方、“思う”について「夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい」で2.8となっている。

〈比較の方法〉

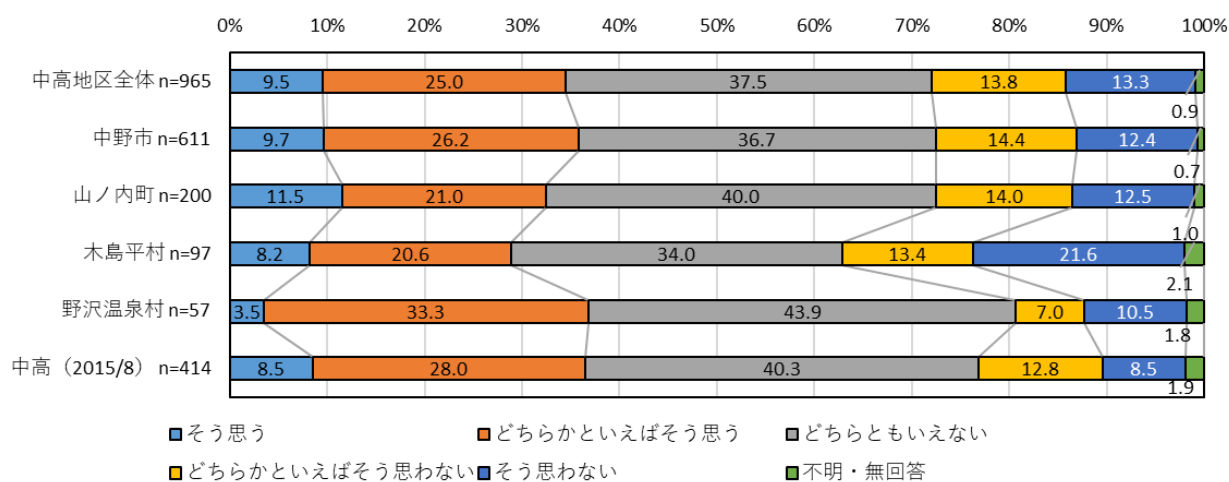
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・ そう思う…………… 10点
- ・ そう思わない…………… -10点
- ・ どちらかといえばそう思う… 5点
- ・ どちらかといえばそう思わない… -5点
- ・ どちらともいえない…………… 0点

問8 あなたは、高齢者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかといえ ばそう思わない	5 そう 思わない
(1) 年老いたら、子どもに従う方がよい	1	2	3	4	5
(2) 高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である	1	2	3	4	5
(3) 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである	1	2	3	4	5
(4) 特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪い	1	2	3	4	5

(1) 年老いたら、子どもに従う方がよい



【中高地区全体】

- ・年老いたら、子どもに従う方がよいについてみると、「どちらともいえない」が37.5% (362人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.0% (241人)、「どちらかといえばそう思わない」が13.8% (133人) の順となっている。
- ・“思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が34.5% (333人)、「思わない」 (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が27.0% (261人) となっており、“思う” が“思わない” に比べ7.5ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う” が2.0ポイント (34.5-36.5) 低くなっており、一方“思わない” が5.8ポイント (27.1-21.3) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が36.7% (224人) で最も高く、次いで「ど

らかといえそう思う」が 26.2% (160 人)、「どちらかといえそう思わない」が 14.4% (88 人) の順となっている。

- ・“思う” が 35.8% (219 人)、“思わない” が 26.8% (164 人) と“思う” が“思わない” に比べ 9.0 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 40.0% (80 人) で最も高く、次いで「どちらかといえそう思う」が 21.0% (42 人)、「どちらかといえそう思わない」が 14.0% (28 人) の順となっている。
- ・“思う” が 32.5% (65 人)、“思わない” が 26.5% (53 人) と“思う” が“思わない” に比べ 6.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が 34.0% (33 人) で最も高く、次いで「そう思わない」が 21.6% (21 人)、「どちらかといえそう思う」が 20.6% (20 人) の順となっている。
- ・“思う” が 28.9% (28 人)、“思わない” が 35.1% (34 人) と“思わない” が“思う” に比べ 6.2 ポイント高くなっている。

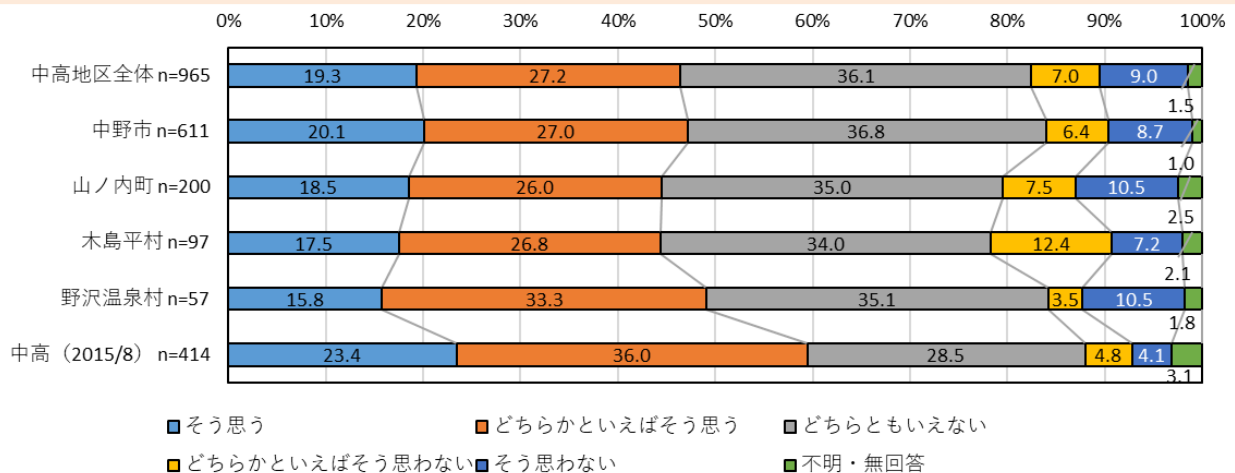
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 43.9% (25 人) で最も高く、次いで「どちらかといえそう思う」が 33.3% (19 人)、「そう思わない」が 10.5% (6 人) の順となっている。
- ・“思う” が 36.8% (21 人)、“思わない” が 17.5% (10 人) と“思う” が“思わない” に比べ 19.3 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『野沢温泉村』で“思う”、『木島平村』で“思わない”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 36.8% (21 人)、次いで『中野市』で 35.8% (219 人)、『山ノ内町』で 32.5% (65 人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 35.1% (34 人)、次いで『中野市』で 26.8% (164 人)、『山ノ内町』で 26.5% (53 人) の順となっている。

(2) 高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である



【中高地区全体】

- ・高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題であるについてみると、「どちらともいえない」が 36.1% (348 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.2% (262 人)、「そう思う」が 19.3% (186 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 46.4% (448 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 16.1% (155 人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ 30.3 ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が 13.0 ポイント (46.4-59.4) 低くなっており、一方“思わない”が 7.2 ポイント (16.1-8.9) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 36.8% (225 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.0% (165 人)、「そう思う」が 20.1% (123 人) の順となっている。
- ・“思う”が 47.1% (288 人)、“思わない”が 15.1% (92 人) と“思う”が“思わない”に比べ 32.0 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 35.0% (70 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.0% (52 人)、「そう思う」が 18.5% (37 人) の順となっている。
- ・“思う”が 44.5% (89 人)、“思わない”が 18.0% (36 人) と“思う”が“思わない”に比べ 26.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が 34.0% (33 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.8% (26 人)、「そう思う」が 17.5% (17 人) の順となっている。
- ・“思う”が 44.3% (43 人)、“思わない”が 19.6% (19 人) と“思う”が“思わない”に比べ 24.7 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

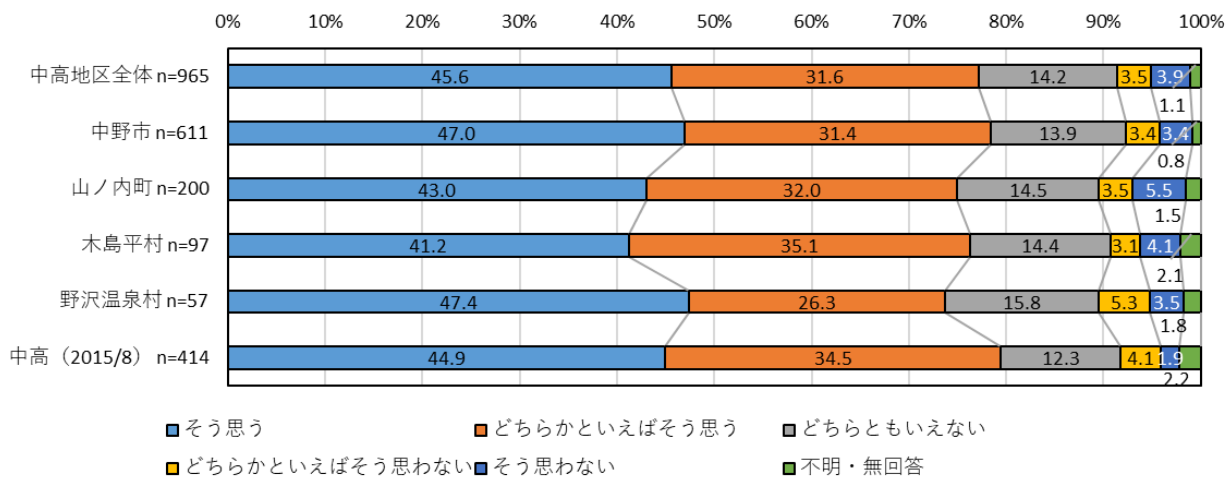
- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 35.1% (20 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 33.3% (19 人)、「そう思う」が 15.8% (9 人) の順となっている。
- ・“思う”が 49.1% (28 人)、“思わない”が 14.0% (8 人) と“思う”が“思わない”に比べ 35.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 49.1% (28 人)、次いで『中野市』で 47.1% (288 人)、『山ノ内町』で 44.5% (89 人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 19.6% (19 人)、次いで『山ノ内町』で 18.0% (36 人)、『中野市』で 15.1% (92 人) の順

となっている。

(3) 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである



【中高地区全体】

- 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことであるについてみると、「そう思う」が45.6% (440人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.6% (305人)、「どちらともいえない」が14.2% (137人) の順となっている。
- “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が77.2% (745人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が7.5% (72人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ69.7ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が2.2ポイント (77.2-79.4) 低くなっており、一方“思わない”が1.5ポイント (7.5-6.0) 高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が47.0% (287人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.4% (192人)、「どちらともいえない」が13.9% (85人) の順となっている。
- “思う”が78.4% (479人)、“思わない”が6.9% (42人) と“思う”が“思わない”に比べ71.5ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が43.0% (86人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.0% (64人)、「どちらともいえない」が14.5% (29人) の順となっている。
- “思う”が75.0% (150人)、“思わない”が9.0% (18人) と“思う”が“思わない”に比べ66.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が 41.2% (40 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 35.1% (34 人)、「どちらともいえない」が 14.4% (14 人) の順となっている。
- ・“思う”が 76.3% (74 人)、“思わない”が 7.2% (7 人) と“思う”が“思わない”に比べ 69.1 ポイント高くなっている。

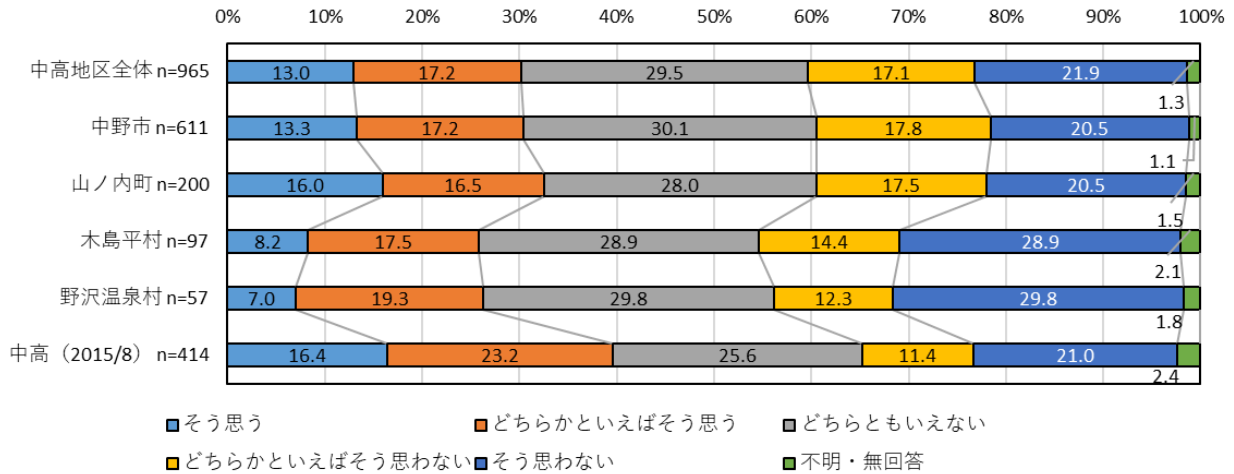
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が 47.4% (27 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.3% (15 人)、「どちらともいえない」が 15.8% (9 人) の順となっている。
- ・“思う”が 73.7% (42 人)、“思わない”が 8.8% (5 人) と“思う”が“思わない”に比べ 64.9 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で 78.4% (479 人)、次いで『木島平村』で 76.3% (74 人)、『山ノ内町』で 75.0% (150 人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 9.0% (18 人)、次いで『野沢温泉村』で 8.8% (5 人)、『木島平村』で 7.2% (7 人) の順となっている。

(4) 特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪い



【中高地区全体】

- ・特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪いについてみると、「どちらともいえない」が 29.5% (285 人) で最も高く、次いで「そう思わない」が 21.9% (211 人)、「どちらかといえばそう思う」が 17.2% (166 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 30.2% (291 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 39.0% (376 人) となっており、“思わない”が“思う”に比べ 8.8 ポイント高くなっている。

- ・前回調査と比較すると、“思う”が9.4ポイント(30.2-39.6)低くなっており、一方“思わない”が6.6ポイント(39.0-32.4)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が30.1% (184人)で最も高く、次いで「そう思わない」が20.5% (125人)、「どちらかといえばそう思わない」が17.8% (109人)の順となっている。
- ・“思う”が30.4% (186人)、“思わない”が38.3% (234人)と“思わない”が“思う”に比べ7.9ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が28.0% (56人)で最も高く、次いで「そう思わない」が20.5% (41人)、「どちらかといえばそう思わない」が17.5% (35人)の順となっている。
- ・“思う”が32.5% (65人)、“思わない”が38.0% (76人)と“思わない”が“思う”に比べ5.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」「そう思わない」が同率で28.9% (28人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が17.5% (17人)の順となっている。
- ・“思う”が25.8% (25人)、“思わない”が43.3% (42人)と“思わない”が“思う”に比べ17.5ポイント高くなっている。

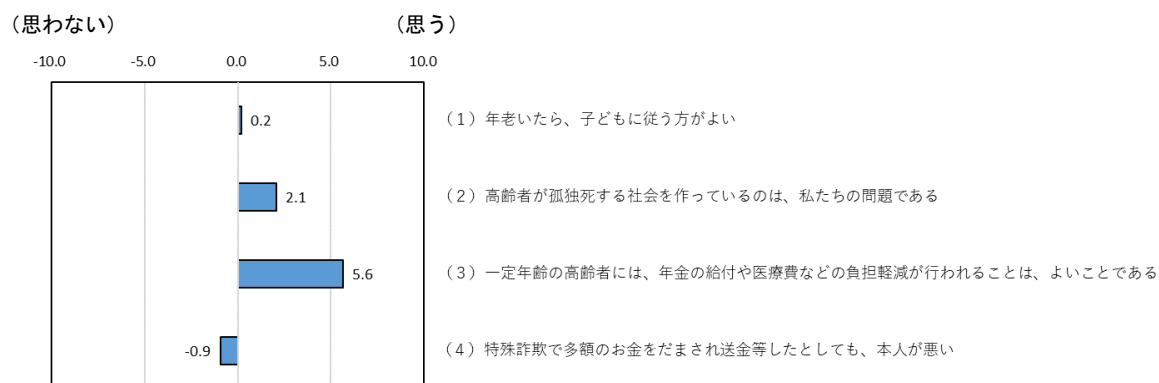
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」「そう思わない」が同率で29.8% (17人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が19.3% (11人)の順となっている。
- ・“思う”が26.3% (15人)、“思わない”が42.1% (24人)と“思わない”が“思う”に比べ15.8ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で43.3% (42人)、次いで『野沢温泉村』で42.1% (24人)、『中野市』で38.3% (234人)の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で32.5% (65人)、次いで『中野市』で30.4% (186人)、『野沢温泉村』で26.3% (15人)の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪い」でマイナス0.9となっている。一方、“思う”について「一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである」で5.6と最も高く、次いで「高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である」で2.1の順となっている。

〈比較の方法〉

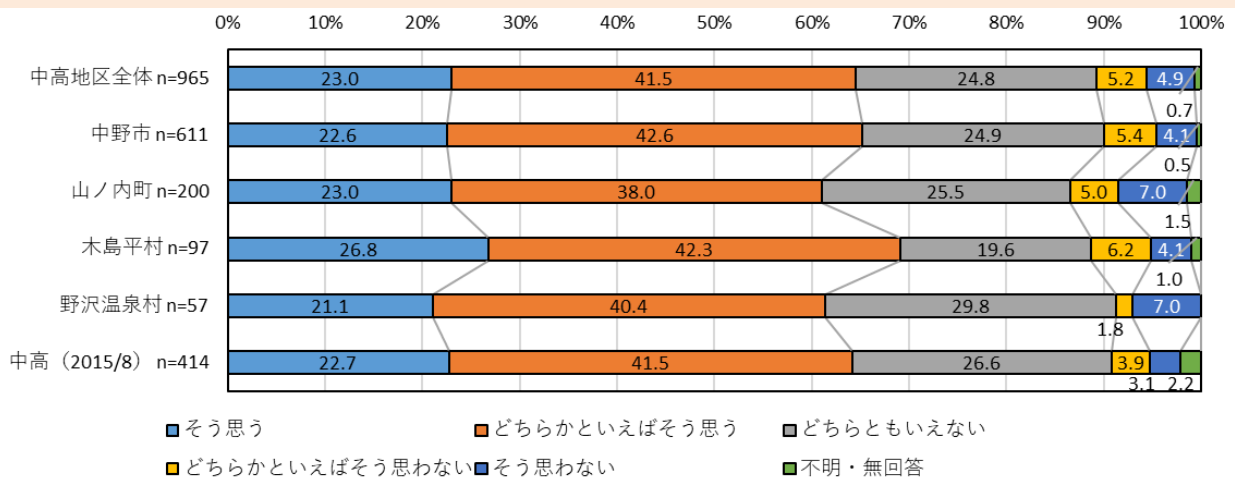
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・ そう思う…………… 10点
- ・ どちらかといえばそう思う… 5点
- ・ どちらともいえない…………… 0点
- ・ そう思わない…………… -10点
- ・ どちらかといえばそう思わない… -5点

問9 あなたは、障がい者の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は1つ）

	1 そう思う	2 どちらかとい えばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかとい えばそう 思わない	5 そう 思わない
(1) 障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだ	1	2	3	4	5
(2) 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ	1	2	3	4	5
(3) 障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい	1	2	3	4	5
(4) 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ	1	2	3	4	5

（１）障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだ



【中高地区全体】

- ・障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 41.5% (400 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.8% (239 人)、「そう思う」が 23.0% (222 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 64.5% (622 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 10.1% (97 人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ 54.4 ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が 0.3 ポイント (64.5-64.2) 高くなっており、一方“思わない”も 3.1 ポイント (10.1-7.0) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が 42.6% (260 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.9% (152 人)、「そう思う」が 22.6% (138 人) の順となっている。
- ・“思う”が 65.1% (398 人)、“思わない”が 9.5% (58 人) と“思う”が“思わない”に比べ 55.6 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が 38.0% (76 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 25.5% (51 人)、「そう思う」が 23.0% (46 人) の順となっている。
- ・“思う”が 61.0% (122 人)、“思わない”が 12.0% (24 人) と“思う”が“思わない”に比べ 49.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が 42.3% (41 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 26.8% (26 人)、「どちらともいえない」が 19.6% (19 人) の順となっている。
- ・“思う”が 69.1% (67 人)、“思わない”が 10.3% (10 人) と“思う”が“思わない”に比べ 58.8 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

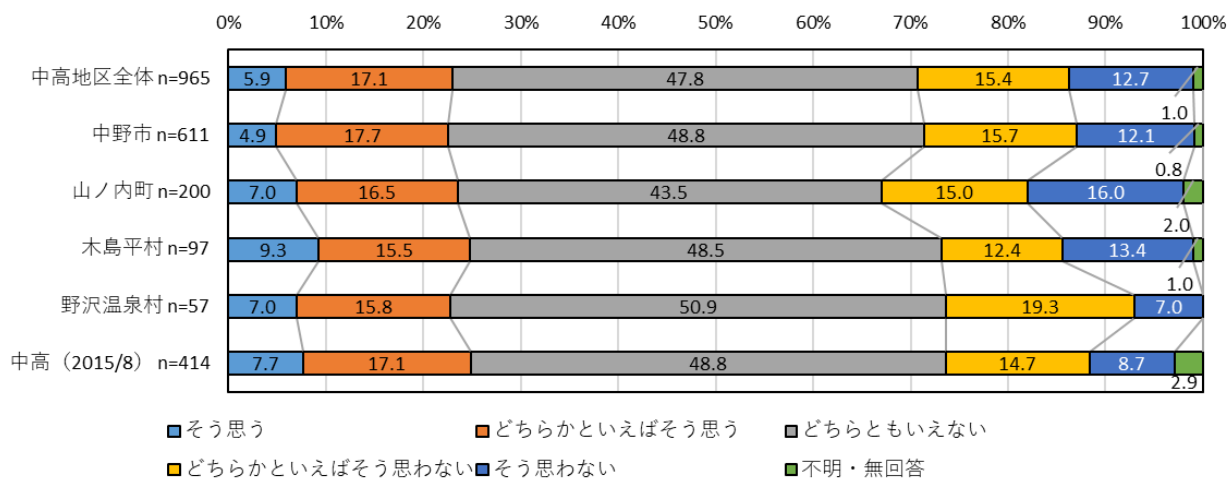
- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 40.4% (23 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 29.8% (17 人)、「そう思う」が 21.1% (12 人) の順となっている。
- ・“思う”が 61.4% (35 人)、“思わない”が 8.8% (5 人) と“思う”が“思わない”に比べ 52.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 69.1% (67 人)、次いで『中野市』で 65.1% (398 人)、『野沢温泉村』で 61.4% (35 人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 12.0% (24 人)、次いで『木島平村』で 10.3% (10 人)、『中野市』で 9.5% (58 人) の順

となっている。

(2) 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ



【中高地区全体】

- 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだについてみると、「どちらともいえない」が47.8% (461人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が17.1% (165人)、「どちらかといえばそう思わない」が15.4% (149人) の順となっている。
- “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が23.0% (222人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が28.1% (272人) となっており、“思わない”が“思う”に比べ5.1ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が1.8ポイント (23.0-24.8) 低くなっており、一方“思わない”が4.7ポイント (28.1-23.4) 高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が48.8% (298人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が17.7% (108人)、「どちらかといえばそう思わない」が15.7% (96人) の順となっている。
- “思う”が22.6% (138人)、“思わない”が27.8% (170人) と“思わない”が“思う”に比べ5.2ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が43.5% (87人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が16.5% (33人)、「そう思わない」が16.0% (32人) の順となっている。
- “思う”が23.5% (47人)、“思わない”が31.0% (62人) と“思わない”が“思う”に比べ7.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらともいえない」が48.5% (47人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が15.5% (15人)、「そう思わない」が13.4% (13人) の順と

なっている。

- ・“思う”が24.7%（24人）、“思わない”が25.8%（25人）と“思わない”が“思う”に比べ1.1ポイント高くなっている。

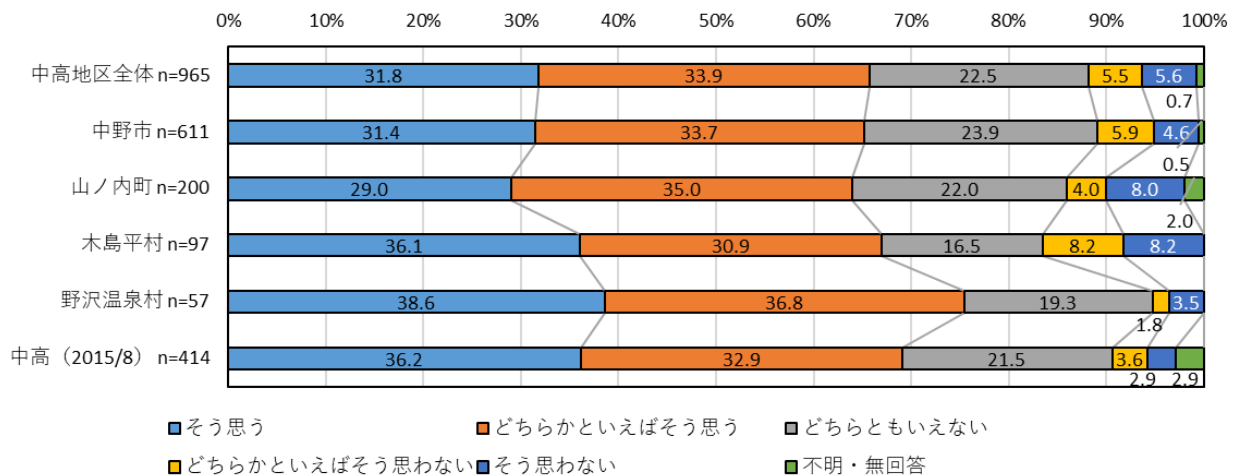
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が50.9%（29人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.3%（11人）、「どちらかといえばそう思う」が15.8%（9人）の順となっている。
- ・“思う”が22.8%（13人）、“思わない”が26.3%（15人）と“思わない”が“思う”に比べ3.5ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で31.0%（62人）、次いで『中野市』で27.8%（170人）、『野沢温泉村』で26.3%（15人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で24.7%（24人）、次いで『山ノ内町』で23.5%（47人）、『野沢温泉村』で22.8%（13人）の順となっている。

(3) 障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい



【中高地区全体】

- ・障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすいについてみると、「どちらかといえばそう思う」が33.9%（327人）で最も高く、次いで「そう思う」が31.8%（307人）、「どちらともいえない」が22.5%（217人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が65.7%（634人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が11.1%（107人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ54.6ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が3.4ポイント（65.7-69.1）低くなっており、一方“思わない”が4.6ポイント（11.1-6.5）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が33.7%（206人）で最も高く、次いで「そう思う」が31.4%（192人）、「どちらともいえない」が23.9%（146人）の順となっている。
- ・“思う”が65.1%（398人），“思わない”が10.5%（64人）と“思う”が“思わない”に比べ54.6ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が35.0%（70人）で最も高く、次いで「そう思う」が29.0%（58人）、「どちらともいえない」が22.0%（44人）の順となっている。
- ・“思う”が64.0%（128人），“思わない”が12.0%（24人）と“思う”が“思わない”に比べ52.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が36.1%（35人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.9%（30人）、「どちらともいえない」が16.5%（16人）の順となっている。
- ・“思う”が67.0%（65人），“思わない”が16.5%（16人）と“思う”が“思わない”に比べ50.5ポイント高くなっている。

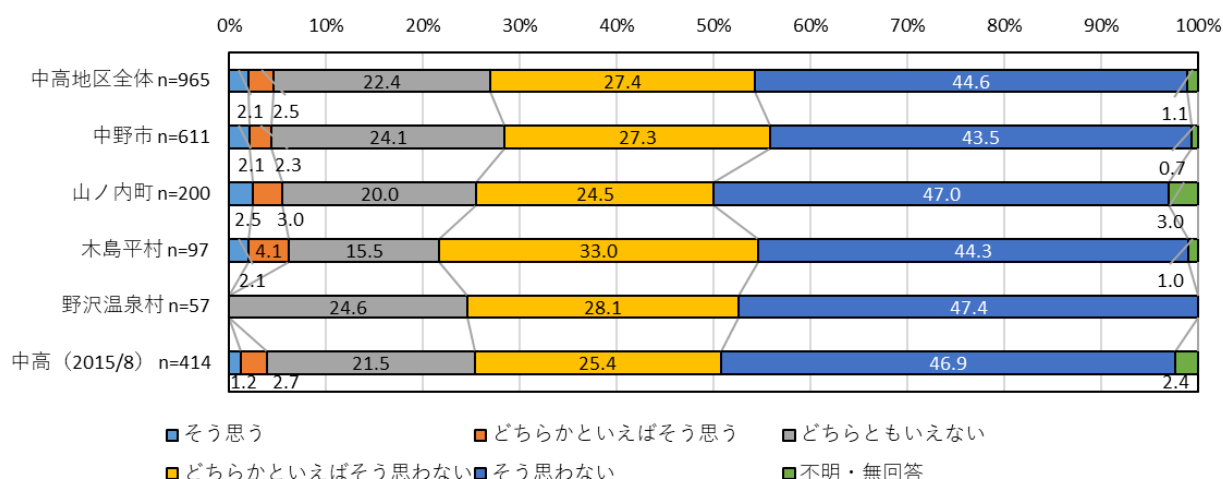
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が38.6%（22人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が36.8%（21人）、「どちらともいえない」が19.3%（11人）の順となっている。
- ・“思う”が75.4%（43人），“思わない”が5.3%（3人）と“思う”が“思わない”に比べ70.1ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で75.4%（43人）、次いで『木島平村』で67.0%（65人）、『中野市』で65.1%（398人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で16.5%（16人）、次いで『山ノ内町』で12.0%（24人）、『中野市』で10.5%（64人）の順となっている。

(4) 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ



【中高地区全体】

- ・自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だについてみると、「そう思わない」が44.6%（430人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が27.4%（264人）、「どちらともいえない」が22.4%（216人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が4.6%（44人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が71.9%（694人）となっており，“思わない”が“思う”に比べ67.3ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が0.7ポイント（4.6-3.9）高くなっており、一方“思わない”が0.4ポイント（71.9-72.3）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が43.5%（266人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が27.3%（167人）、「どちらともいえない」が24.1%（147人）の順となっている。
- ・“思う”が4.4%（27人），“思わない”が70.9%（433人）と“思わない”が“思う”に比べ66.5ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が47.0%（94人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が24.5%（49人）、「どちらともいえない」が20.0%（40人）の順となっている。
- ・“思う”が5.5%（11人），“思わない”が71.5%（143人）と“思わない”が“思う”に比べ66.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が44.3%（43人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が33.0%（32人）、「どちらともいえない」が15.5%（15人）の順となっている。
- ・“思う”が6.2%（6人），“思わない”が77.3%（75人）と“思わない”が“思う”に比べ

71.1ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が47.4%（27人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が28.1%（16人）、「どちらともいえない」が24.6%（14人）の順となっている。
- ・“思う”が0.0%（0人），“思わない”が75.5%（43人）と“思わない”が“思う”に比べ75.5ポイント高くなっている。

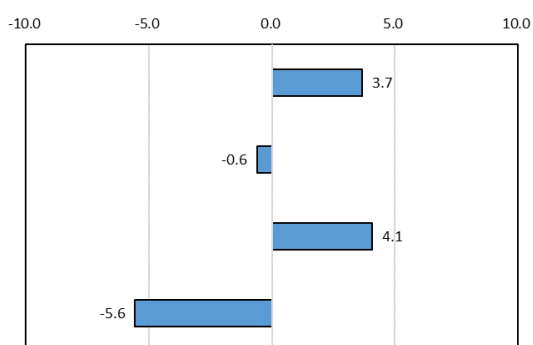
【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で77.3%（75人）、次いで『野沢温泉村』で75.5%（43人）、『山ノ内町』で71.5%（143人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で6.2%（6人）、次いで『山ノ内町』で5.5%（11人）、『中野市』で4.4%（27人）の順となっている。

【設問間比較】

（思わない）

（思う）



(1) 障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだ

(2) 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ

(3) 障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい

(4) 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ

- ・“思わない”について「自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ」でマイナス5.6となっている。一方、“思う”について「障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい」で4.1、「障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだ」で3.7となっている。

〈比較の方法〉

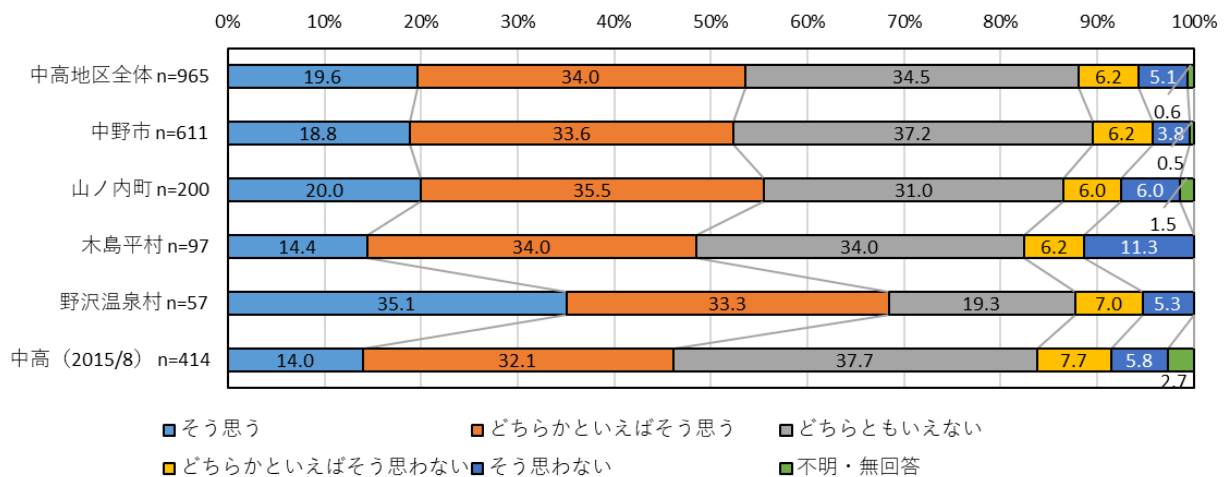
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・ そう思う…………… 10点
- ・ そう思わない…………… -10点
- ・ どちらかといえばそう思う… 5点
- ・ どちらかといえばそう思わない… -5点
- ・ どちらともいえない…………… 0点

問 10 あなたは、外国人の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかといえ ばそう思わない	5 そう 思わない
(1) 定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ	1	2	3	4	5
(2) 外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がない	1	2	3	4	5
(3) 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない	1	2	3	4	5
(4) 外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ	1	2	3	4	5

（１）定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ



【中高地区全体】

- 定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだについてみると、「どちらともいえない」が 34.5% (333 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.0% (328 人)、「そう思う」が 19.6% (189 人) の順となっている。
- “思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 53.6% (517 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 11.3% (109 人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ 42.3 ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が 7.5 ポイント (53.6-46.1) 高くなっており、一方“思わない”が 2.2 ポイント (11.3-13.5) 低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が 37.2% (227 人) で最も高く、次いで「ど

らかといえそう思う」が 33.7% (206 人)、「そう思う」が 18.8% (115 人) の順となっている。

- ・“思う”が 52.4% (320 人)、“思わない”が 10.0% (61 人) と “思う”が “思わない”に比べ 42.4 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらかといえそう思う」が 35.5% (71 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 31.0% (62 人)、「そう思う」が 20.0% (40 人) の順となっている。
- ・“思う”が 55.5% (111 人)、“思わない”が 12.0% (24 人) と “思う”が “思わない”に比べ 43.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえそう思う」「どちらともいえない」が同率で 34.0% (33 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 14.4% (14 人) の順となっている。
- ・“思う”が 48.5% (47 人)、“思わない”が 17.5% (17 人) と “思う”が “思わない”に比べ 31.0 ポイント高くなっている。

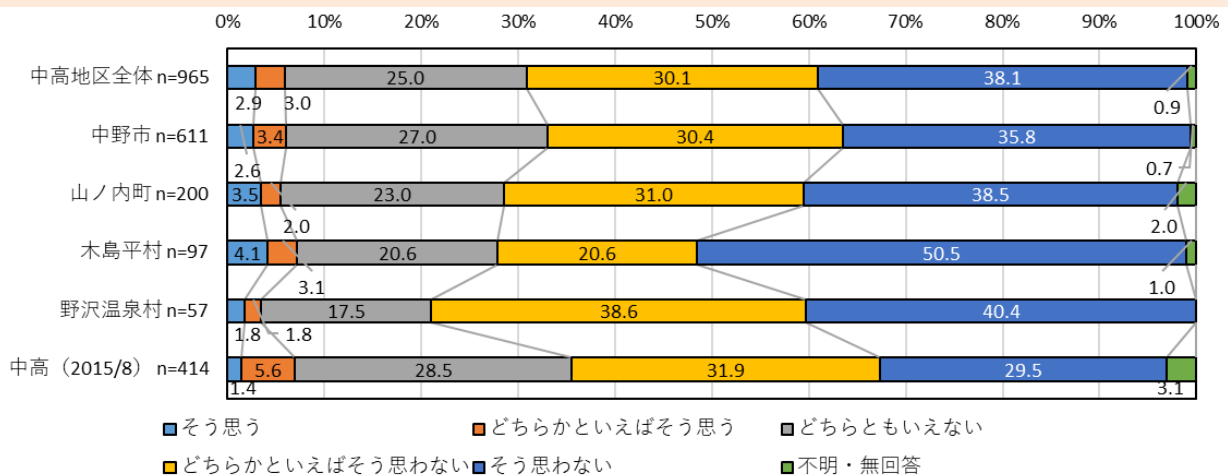
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が 35.1% (20 人) で最も高く、次いで「どちらかといえそう思う」が 33.3% (19 人)、「どちらともいえない」が 19.3% (11 人) の順となっている。
- ・“思う”が 68.4% (39 人)、“思わない”が 12.3% (7 人) と “思う”が “思わない”に比べ 56.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 68.4% (39 人)、次いで『山ノ内町』で 55.5% (111 人)、『中野市』で 52.4% (320 人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 17.5% (17 人)、次いで『野沢温泉村』で 12.3% (7 人)、『山ノ内町』で 12.0% (24 人) の順となっている。

(2) 外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がない



【中高地区全体】

- ・外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がないについてみると、「そう思わない」が38.1%（368人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が30.1%（290人）、「どちらともいえない」が25.0%（241人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が5.9%（57人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が68.2%（658人）となっており，“思わない”が“思う”に比べ62.3ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が1.1ポイント（5.9-7.0）低くなっており、一方“思わない”が6.8ポイント（68.2-61.4）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が35.8%（219人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が30.4%（186人）、「どちらともいえない」が27.0%（165人）の順となっている。
- ・“思う”が6.1%（37人），“思わない”が66.3%（405人）と“思わない”が“思う”に比べ60.2ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が38.5%（77人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が31.0%（62人）、「どちらともいえない」が23.0%（46人）の順となっている。
- ・“思う”が5.5%（11人），“思わない”が69.5%（139人）と“思わない”が“思う”に比べ64.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が50.5%（49人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」が同率で20.6%（20人）の順となっている。
- ・“思う”が7.2%（7人），“思わない”が71.1%（69人）と“思わない”が“思う”に比べ63.9ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

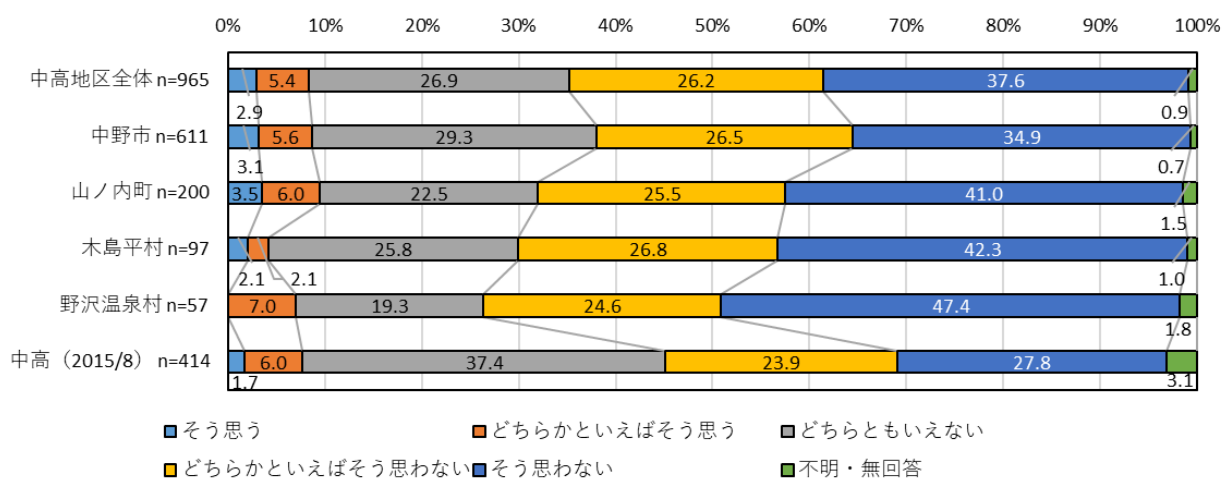
- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が40.4%（23人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が38.6%（22人）、「どちらともいえない」が17.5%（10人）の順となっている。
- ・“思う”が3.5%（2人），“思わない”が78.9%（45人）と“思わない”が“思う”に比べ75.4ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で78.9%（45人）、次いで『木島平村』で71.1%（69人）、『山ノ内町』で69.5%（139人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で7.2%（7人）、次いで『中野市』で6.1%（37人）、『山ノ内町』で5.5%（11人）

の順となっている。

(3) 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない



【中高地区全体】

- 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できないについてみると、「そう思わない」が37.6% (363人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.9% (260人)、「どちらかといえばそう思わない」が26.2% (253人) の順となっている。
- “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が8.3% (80人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が63.8% (616人) となっており、“思わない”が“思う”に比べ55.5ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が0.6ポイント (8.3-7.7) 高くなっており、一方“思わない”も12.1ポイント (63.8-51.7) 高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思わない」が34.9% (213人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.3% (179人)、「どちらかといえばそう思わない」が26.5% (162人) の順となっている。
- “思う”が8.7% (53人)、“思わない”が61.4% (375人) と“思わない”が“思う”に比べ52.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思わない」が41.0% (82人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が25.5% (51人)、「どちらともいえない」が22.5% (45人) の順となっている。
- “思う”が9.5% (19人)、“思わない”が66.5% (133人) と“思わない”が“思う”に比べ57.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思わない」が42.3% (41人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が26.8% (26人)、「どちらともいえない」が25.8% (25人) の

順となっている。

- ・“思う”が4.1%（4人）、“思わない”が69.1%（67人）と“思わない”が“思う”に比べ65.0ポイント高くなっている。

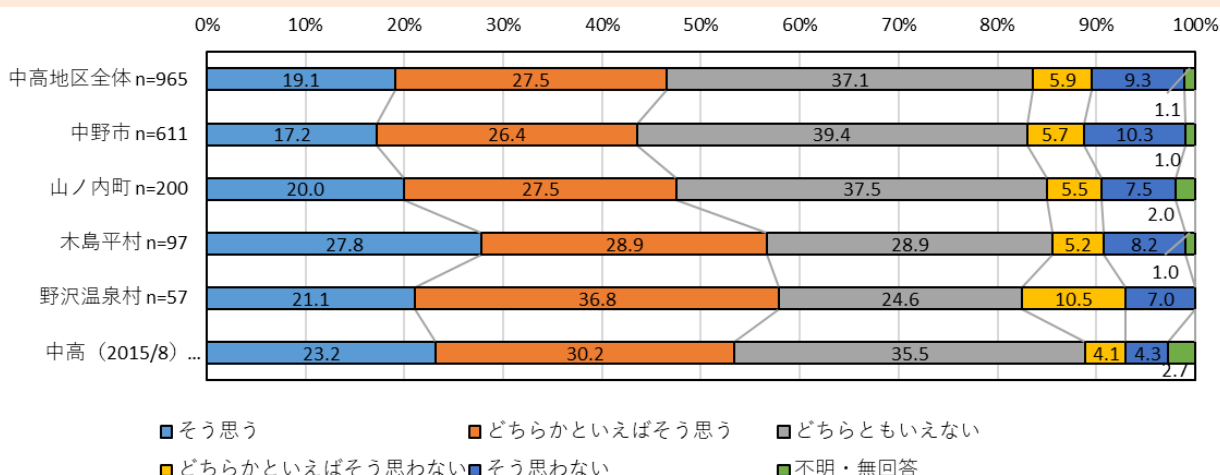
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が47.4%（27人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が24.6%（14人）、「どちらともいえない」が19.3%（11人）の順となっている。
- ・“思う”が7.0%（4人）、“思わない”が71.9%（41人）と“思わない”が“思う”に比べ64.9ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で71.9%（41人）、次いで『木島平村』で69.1%（67人）、『山ノ内町』で66.5%（133人）の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で9.5%（19人）、次いで『中野市』で8.7%（53人）、『野沢温泉村』で7.0%（4人）の順となっている。

(4) 外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ



【中高地区全体】

- ・外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだについてみると、「どちらともいえない」が37.1%（358人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.5%（265人）、「そう思う」が19.1%（184人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が46.5%（449人）、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が15.2%（147人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ31.3ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が6.9ポイント（46.5-53.4）低くなっており、一方“思わない”が6.8ポイント（15.2-8.4）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 39.4% (241 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.4% (161 人)、「そう思う」が 17.2% (105 人) の順となっている。
- ・“思う” が 43.5% (266 人)、“思わない” が 16.0% (98 人) と “思う” が “思わない” に比べ 27.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 37.5% (75 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.5% (55 人)、「そう思う」が 20.0% (40 人) の順となっている。
- ・“思う” が 47.5% (95 人)、“思わない” が 13.0% (26 人) と “思う” が “思わない” に比べ 34.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」「どちらともいえない」が同率で 28.9% (28 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 27.8% (27 人) の順となっている。
- ・“思う” が 56.7% (55 人)、“思わない” が 13.4% (13 人) と “思う” が “思わない” に比べ 43.3 ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 36.8% (21 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.6% (14 人)、「そう思う」が 21.1% (12 人) の順となっている。
- ・“思う” が 57.9% (33 人)、“思わない” が 17.5% (10 人) と “思う” が “思わない” に比べ 40.4 ポイント高くなっている。

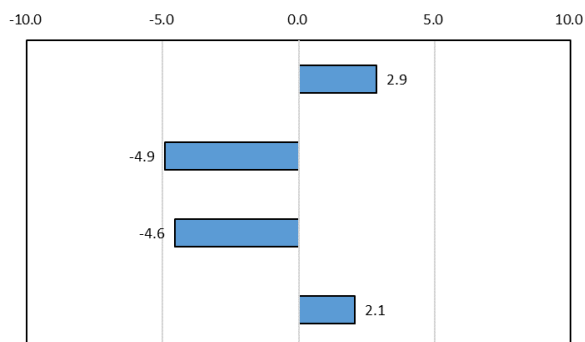
【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “思う” が高くなっており、“思う” が最も高いのは『野沢温泉村』で 57.9% (33 人)、次いで『木島平村』で 56.7% (55 人)、『山ノ内町』で 47.5% (95 人) の順となっている。一方、“思わない” が最も高いのは『野沢温泉村』で 17.5% (10 人)、次いで『中野市』で 16.0% (98 人)、『木島平村』で 13.4% (13 人) の順となっている。

【設問間比較】

(思わない)

(思う)



(1) 定住外国人は、もっと日本の文化に受け込み努力をするべきだ

(2) 外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がない

(3) 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない

(4) 外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ

- ・“思わない”について「外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がない」でマイナス4.9、「外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない」でマイナス4.6となっている。一方、“思う”について「定住外国人は、もっと日本の文化に受け込む努力をするべきだ」で2.9、「外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ」で2.1となっている。

〈比較の方法〉

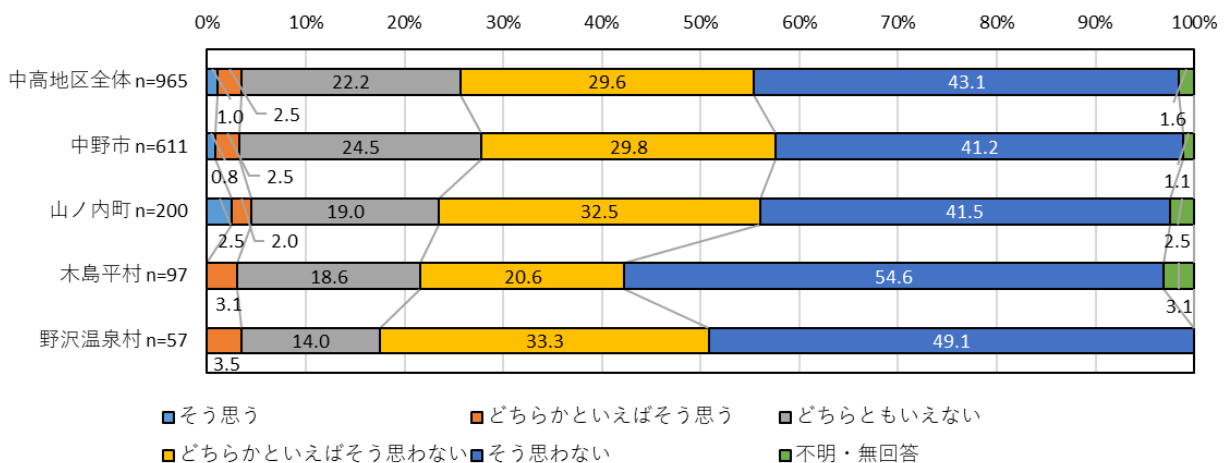
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・ そう思う…………… 10点
- ・ そう思わない…………… -10点
- ・ どちらかといえばそう思う… 5点
- ・ どちらかといえばそう思わない… -5点
- ・ どちらともいえない…………… 0点

問 11 あなたは、ハンセン病や感染症患者等に関する人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がない	1	2	3	4	5
(2) ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない	1	2	3	4	5
(3) 友人がHIVに感染していることがわかって、これまでと同じように付き合っていける	1	2	3	4	5
(4) コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない	1	2	3	4	5

(1) ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がない



【中高地区全体】

- ・ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がないについてみると、「そう思わない」が43.1% (416人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が29.6% (286人)、「どちらともいえない」が22.2% (214人) の順となっている。
- ・“思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が3.5% (34人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が72.7% (702人) となっており、“思わない” が“思う” に比べ69.2ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が41.2% (252人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が29.8% (182人)、「どちらともいえない」が24.5% (150人) の順となっている。
- ・“思う” が3.3% (20人)、“思わない” が71.0% (434人) と“思わない” が“思う” に比べ67.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が41.5% (83人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が32.5% (65人)、「どちらともいえない」が19.0% (38人) の順となっている。
- ・“思う” が4.5% (9人)、“思わない” が74.0% (148人) と“思わない” が“思う” に比べ69.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が54.6% (53人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が20.6% (20人)、「どちらともいえない」が18.6% (18人) の順となっている。
- ・“思う” が3.1% (3人)、“思わない” が75.2% (73人) と“思わない” が“思う” に比べ72.1ポイント高くなっている。

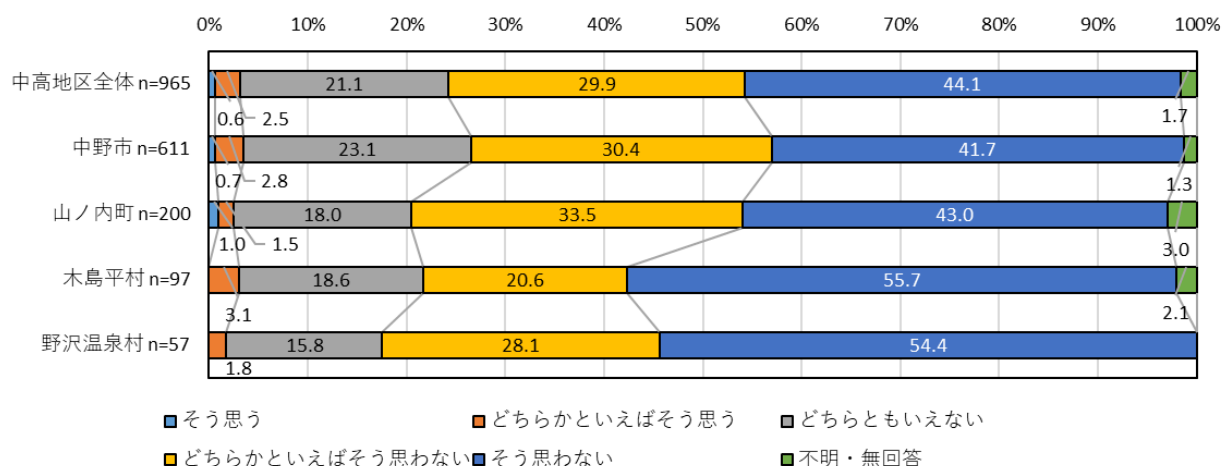
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が49.1% (28人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が33.3% (19人)、「どちらともいえない」が14.0% (8人) の順となっている。
- ・“思う” が3.5% (2人)、“思わない” が82.5% (47人) と“思わない” が“思う” に比べ79.0ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で82.5% (47人)、次いで『木島平村』で75.2% (73人)、『山ノ内町』で74.0% (148人) の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で4.5% (9人)、次いで『野沢温泉村』で3.5% (2人)、『中野市』で3.3% (20人) の順となっている。

(2) ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない



【中高地区全体】

- ・ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がないについてみると、「そう思わない」が44.1%（426人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が29.9%（289人）、「どちらともいえない」が21.1%（204人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が3.1%（30人）、「思わない」（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が74.1%（715人）となっており、“思わない”が“思う”に比べ71.0ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が41.7%（255人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が30.4%（186人）、「どちらともいえない」が23.1%（141人）の順となっている。
- ・“思う”が3.4%（21人）、「思わない」が72.2%（441人）と“思わない”が“思う”に比べ68.8ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が43.0%（86人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が33.5%（67人）、「どちらともいえない」が18.0%（36人）の順となっている。
- ・“思う”が2.5%（5人）、「思わない」が76.5%（153人）と“思わない”が“思う”に比べ74.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が55.7%（54人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が20.6%（20人）、「どちらともいえない」が18.6%（18人）の順となっている。
- ・“思う”が3.1%（3人）、「思わない」が76.3%（74人）と“思わない”が“思う”に比べ73.2ポイント高くなっている。

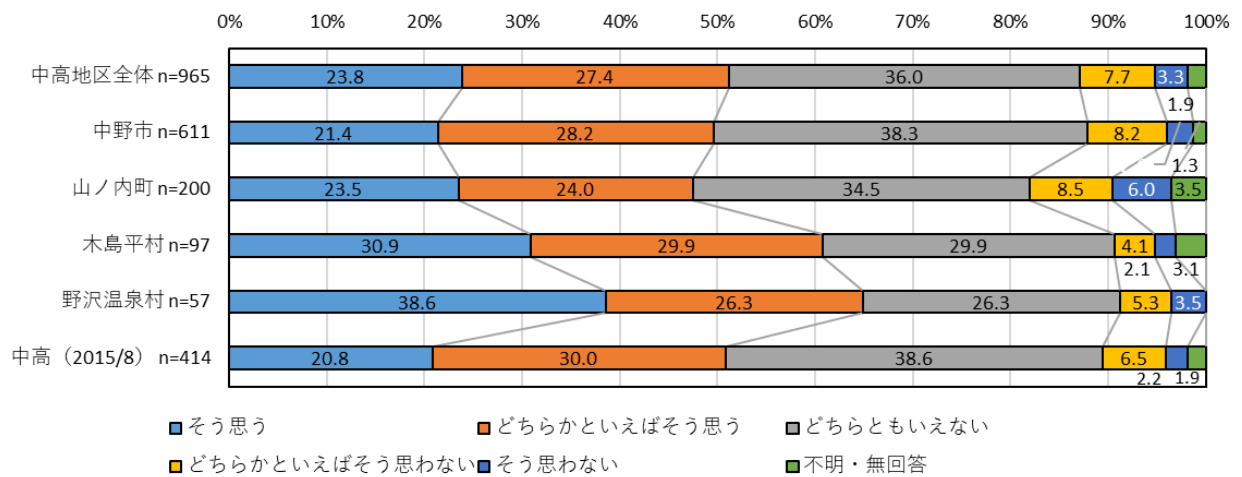
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 54.4% (31 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 28.1% (16 人)、「どちらともいえない」が 15.8% (9 人) の順となっている。
- ・“思う”が 1.8% (1 人)、“思わない”が 82.5% (47 人) と“思わない”が“思う”に比べ 80.7 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 82.5% (47 人)、次いで『山ノ内町』で 76.5% (153 人)、『木島平村』で 76.3% (74 人) の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『中野市』で 3.4% (21 人)、次いで『木島平村』で 3.1% (3 人)、『山ノ内町』で 2.5% (5 人) の順となっている。

(3) 友人が HIV に感染していることがわかって、これまでと同じように付き合っていける



【中高地区全体】

- ・友人が HIV に感染していることがわかって、これまでと同じように付き合っていけるについてみると、「どちらともいえない」が 36.0% (347 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.4% (264 人)、「そう思う」が 23.8% (230 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 51.2% (494 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 11.0% (106 人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ 40.2 ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が 0.4 ポイント (51.2-50.8) 高くなっており、一方“思わない”も 2.3 ポイント (11.0-8.7) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 38.3% (234 人) で最も高く、次いで「ど

らかといえそう思う」が 28.2% (172 人)、「そう思う」が 21.4% (131 人) の順となっている。

- ・“思う”が 49.6% (303 人)、“思わない”が 10.8% (66 人) と“思う”が“思わない”に比べ 38.8 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 34.5% (69 人) で最も高く、次いで「どちらかといえそう思う」が 24.0% (48 人)、「そう思う」が 23.5% (47 人) の順となっている。
- ・“思う”が 47.5% (95 人)、“思わない”が 14.5% (29 人) と“思う”が“思わない”に比べ 33.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が 30.9% (30 人) で最も高く、次いで「どちらかといえそう思う」「どちらともいえない」が同率で 29.9% (29 人) の順となっている。
- ・“思う”が 60.8% (59 人)、“思わない”が 6.2% (6 人) と“思う”が“思わない”に比べ 54.6 ポイント高くなっている。

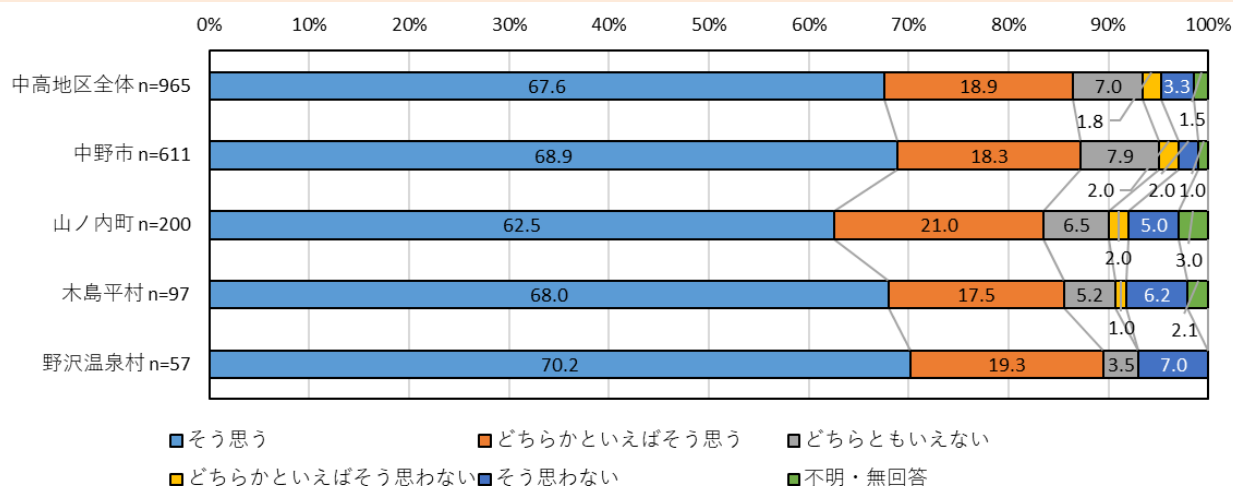
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が 38.6% (22 人) で最も高く、次いで「どちらかといえそう思う」「どちらともいえない」が同率で 26.3% (15 人) の順となっている。
- ・“思う”が 64.9% (37 人)、“思わない”が 8.8% (5 人) と“思う”が“思わない”に比べ 56.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で 64.9% (37 人)、次いで『木島平村』で 60.8% (59 人)、『中野市』で 49.6% (303 人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で 14.5% (29 人)、次いで『中野市』で 10.8% (66 人)、『野沢温泉村』で 8.8% (5 人) の順となっている。

(4) コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない



【中高地区全体】

- ・コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されないについてみると、「そう思う」が67.6%（652人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が18.9%（182人）、「どちらともいえない」が7.0%（68人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が86.4%（834人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が5.1%（49人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ81.3ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が68.9%（421人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が18.3%（112人）、「どちらともいえない」が7.9%（48人）の順となっている。
- ・“思う”が87.2%（533人），“思わない”が3.9%（24人）と“思う”が“思わない”に比べ83.3ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」が62.5%（125人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が21.0%（42人）、「どちらともいえない」が6.5%（13人）の順となっている。
- ・“思う”が83.5%（167人），“思わない”が7.0%（14人）と“思う”が“思わない”に比べ76.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が68.0%（66人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が17.5%（17人）、「どちらともいえない」が5.2%（5人）の順となっている。
- ・“思う”が85.6%（83人），“思わない”が7.2%（7人）と“思う”が“思わない”に比べ78.4ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が70.2%（40人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が19.3%（11人）、「どちらともいえない」が3.5%（2人）の順となっている。
- ・“思う”が89.5%（51人），“思わない”が7.0%（4人）と“思う”が“思わない”に比べ82.5ポイント高くなっている。

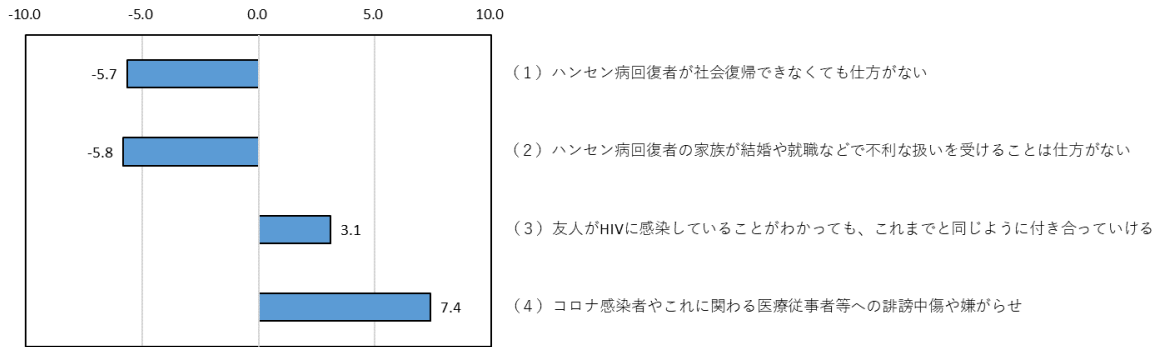
【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で89.5%（51人）、次いで『中野市』で87.2%（533人）、『木島平村』で85.6%（83人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で7.2%（7人）、次いで『山ノ内町』『野沢温泉村』でそれぞれ7.0%（14人）（4人）の順となっている。

【設問間比較】

(思わない)

(思う)



- ・“思わない”について「ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない」でマイナス5.8、「ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がない」でマイナス5.7となっている。一方、“思う”について「コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない」で7.4、「友人がHIVに感染していることがわかって、これまでと同じように付き合い続ける」で3.1となっている

〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

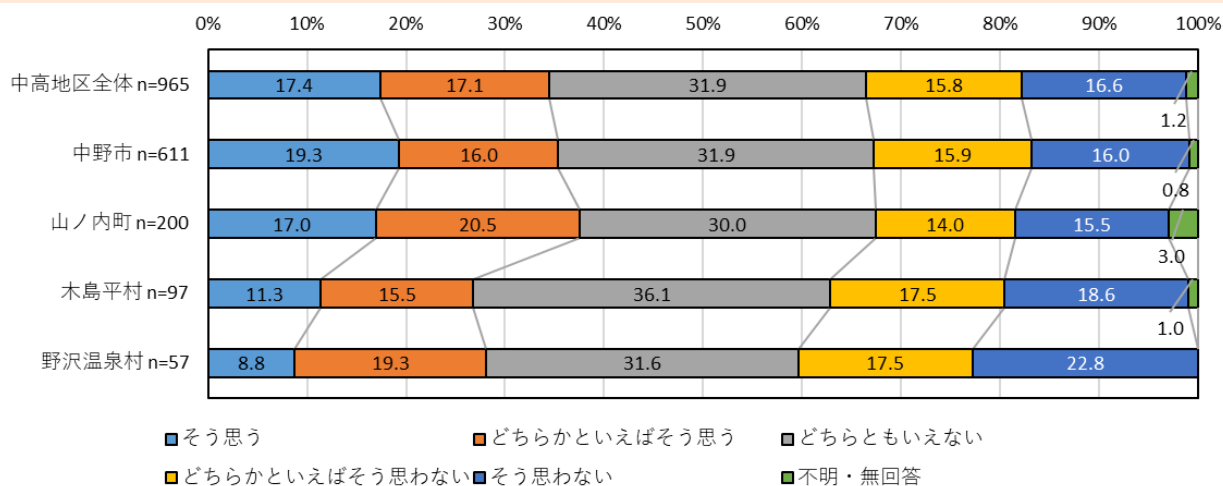
- ・そう思う…………… 10点
- ・どちらかといえばそう思う… 5点
- ・どちらともいえない…………… 0点
- ・そう思わない…………… -10点
- ・どちらかといえばそう思わない… -5点

問12 あなたは、LGBTQ[※]等の性的少数者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかとい えばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかとい えばそう 思わない	5 そう 思わない
(1) LGBTQ等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である	1	2	3	4	5
友人がLGBTQ等の性的少数者とわかって、これまでと同じように付き合い続ける	1	2	3	4	5
LGBTQ等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がない	1	2	3	4	5
(4) 同性の婚姻を法的に認めるべきである	1	2	3	4	5

※ L G B T Q : 女性同性愛者 (レズビアン)、男性同性愛者 (ゲイ)、異性も同性も好きになる人 (バイセクシャル)、生物学的な性と性自認が異なる人 (トランスジェンダー)、性自認や性的指向が明確でない人 (クエスチョニング) の略

(1) L G B T Q 等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である



【中高地区全体】

- L G B T Q 等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由であるについてみると、「どちらともいえない」が 31.9% (308 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 17.4% (168 人)、「どちらかといえばそう思う」が 17.1% (165 人) の順となっている。
- “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が 34.5% (333 人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が 32.3% (312 人) となっており、“思う” が “思わない” に比べ 2.2 ポイント高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が 31.9% (195 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 19.3% (118 人)、「どちらかといえばそう思う」「そう思わない」が同率で 16.0% (98 人) の順となっている。
- “思う” が 35.4% (216 人)、“思わない” が 31.9% (195 人) と “思う” が “思わない” に比べ 3.5 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 30.0% (60 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.5% (41 人)、「そう思う」が 17.0% (34 人) の順となっている。
- “思う” が 37.5% (75 人)、“思わない” が 29.5% (59 人) と “思う” が “思わない” に比べ 8.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらともいえない」が 36.1% (35 人) で最も高く、次いで「そ

う思わない」が 18.6% (18 人)、「どちらかといえばそう思わない」が 17.5% (17 人) の順となっている。

- ・“思う”が 26.8% (26 人)、“思わない”が 36.1% (35 人) と “思わない” が “思う” に比べ 9.3 ポイント高くなっている。

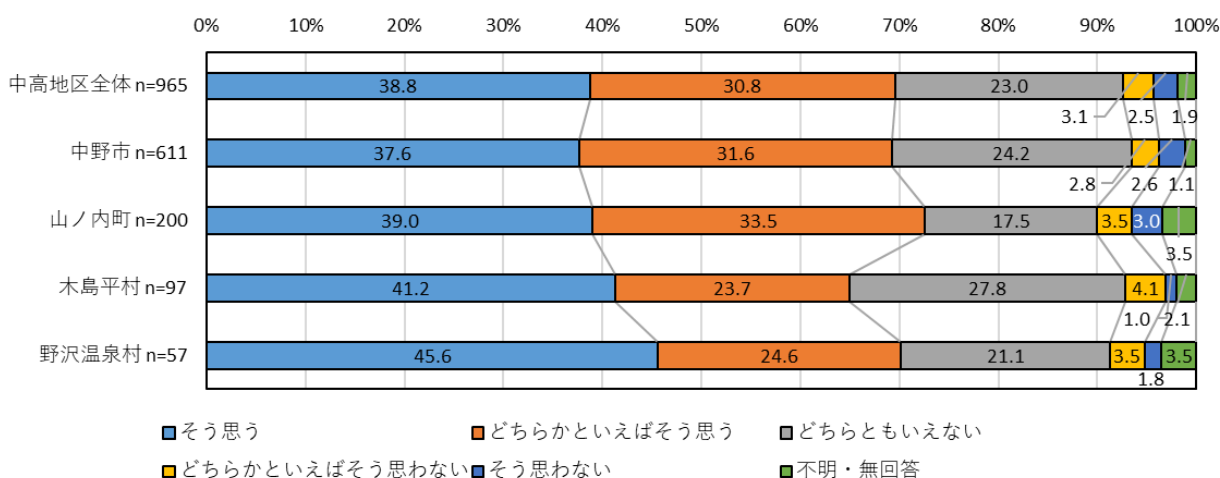
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 31.6% (18 人) で最も高く、次いで「そう思わない」が 22.8% (13 人)、「どちらかといえばそう思う」が 19.3% (11 人) の順となっている。
- ・“思う”が 28.1% (16 人)、“思わない”が 40.4% (23 人) と “思わない” が “思う” に比べ 12.3 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』で “思う”、『木島平村』『野沢温泉村』で “思わない” が高くなっており、“思う” が最も高いのは『山ノ内町』で 37.5% (75 人)、次いで『中野市』で 35.4% (216 人)、『野沢温泉村』で 28.1% (16 人) の順となっている。一方、“思わない” が最も高いのは『野沢温泉村』で 40.4% (23 人)、次いで『木島平村』で 36.1% (35 人)、『中野市』で 31.9% (195 人) の順となっている。

(2) 友人がLGBTQ等の性的少数者とわかってもこれまでと同じように付き合っていける



【中高地区全体】

- ・友人がLGBTQ等の性的少数者とわかってもこれまでと同じように付き合っていけるについてみると、「そう思う」が 38.8% (374 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 30.8% (297 人)、「どちらともいえない」が 23.0% (222 人) の順となっている。
- ・“思う” (“そう思う”+“どちらかといえばそう思う”) が 69.5% (671 人)、“思わない” (“どちらかといえばそう思わない”+“そう思わない”) が 5.6% (54 人) となっており、“思う” が “思わない” に比べ 63.9 ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が37.6%（230人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.6%（193人）、「どちらともいえない」が24.2%（148人）の順となっている。
- ・“思う”が69.2%（423人），“思わない”が5.4%（33人）と“思う”が“思わない”に比べ63.8ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」が39.0%（78人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.5%（67人）、「どちらともいえない」が17.5%（35人）の順となっている。
- ・“思う”が72.5%（145人），“思わない”が6.5%（13人）と“思う”が“思わない”に比べ66.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が41.2%（40人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.8%（27人）、「どちらかといえばそう思う」が23.7%（23人）の順となっている。
- ・“思う”が64.9%（63人），“思わない”が5.2%（5人）と“思う”が“思わない”に比べ59.7ポイント高くなっている。

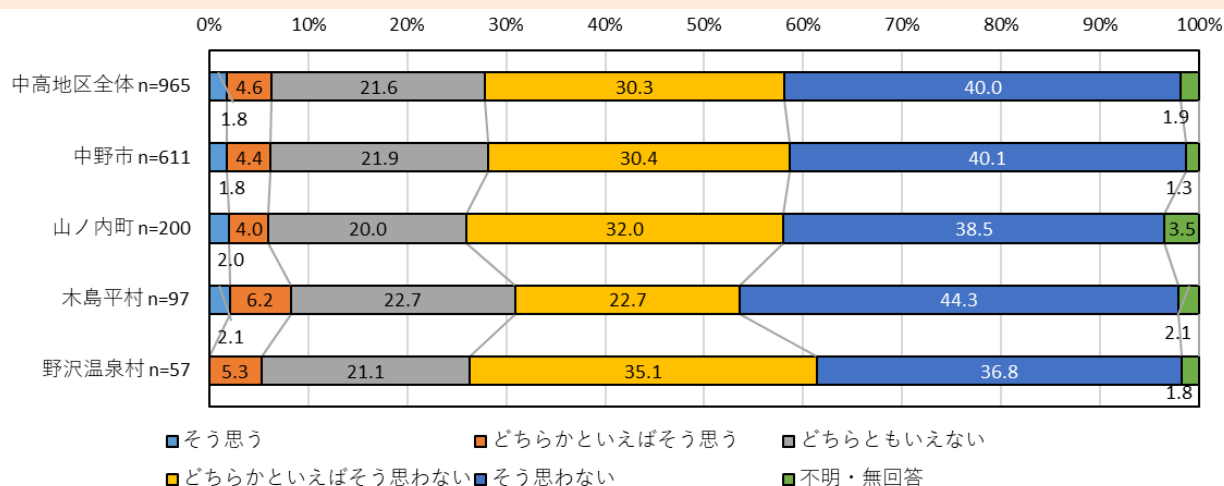
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が45.6%（26人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.6%（14人）、「どちらともいえない」が21.1%（12人）の順となっている。
- ・“思う”が70.2%（40人），“思わない”が5.3%（3人）と“思う”が“思わない”に比べ64.9ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で72.5%（145人）、次いで『野沢温泉村』で70.2%（40人）、『中野市』で69.2%（423人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で6.5%（13人）、次いで『中野市』で5.4%（33人）、『野沢温泉村』で5.3%（3人）の順となっている。

(3) L G B T Q等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がない



【中高地区全体】

- L G B T Q等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がないについてみると、「そう思わない」が40.0% (386人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が30.3% (292人)、「どちらともいえない」が21.6% (208人)の順となっている。
- “思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が6.3% (61人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が70.3% (678人)となっており、“思わない”が“思う”に比べ64.0ポイント高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思わない」が40.1% (245人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が30.4% (186人)、「どちらともいえない」が21.9% (134人)の順となっている。
- “思う”が6.2% (38人)、“思わない”が70.5% (431人)と“思わない”が“思う”に比べ64.3ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思わない」が38.5% (77人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が32.0% (64人)、「どちらともいえない」が20.0% (40人)の順となっている。
- “思う”が6.0% (12人)、“思わない”が70.5% (141人)と“思わない”が“思う”に比べ64.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思わない」が44.3% (43人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」が同率で22.7% (22人)の順となっている。
- “思う”が8.2% (8人)、“思わない”が67.0% (65人)と“思わない”が“思う”に比べ58.8ポイント高くなっている。

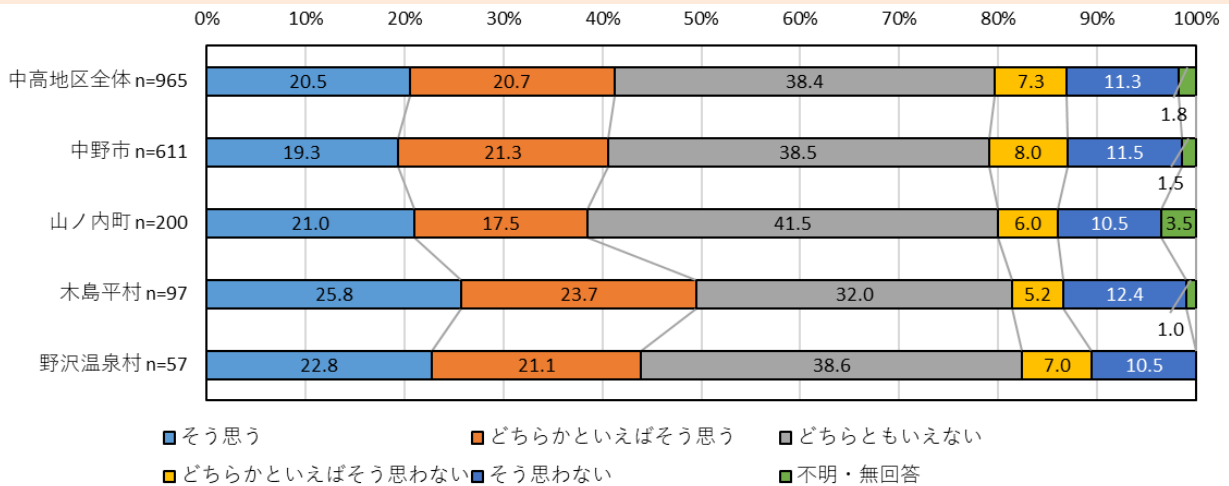
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 36.8% (21 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 35.1% (20 人)、「どちらともいえない」が 21.1% (12 人) の順となっている。
- ・“思う”が 5.3% (3 人)、“思わない”が 71.9% (41 人) と“思わない”が“思う”に比べ 66.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 71.9% (41 人)、次いで『中野市』『山ノ内町』でそれぞれ 70.5% (431 人) (141 人) の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 8.2% (8 人)、次いで『中野市』で 6.2% (38 人)、『山ノ内町』で 6.0% (12 人) の順となっている。

(4) 同性の婚姻を法的に認めるべきである



【中高地区全体】

- ・同性の婚姻を法的に認めるべきであるについてみると、「どちらともいえない」が 38.4% (371 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.7% (200 人)、「そう思う」が 20.5% (198 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 41.2% (398 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 18.5% (179 人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ 22.7 ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 38.5% (235 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 21.3% (130 人)、「そう思う」が 19.3% (118 人) の順となっている。
- ・“思う”が 40.6% (248 人)、“思わない”が 19.5% (119 人) と“思う”が“思わない”に比べ 21.1 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 41.5% (83 人) で最も高く、次いで「思う思う」が 21.0% (42 人)、「どちらかといえば思う思う」が 17.5% (35 人) の順となっている。
- ・“思う” が 38.5% (77 人)、“思わない” が 16.5% (33 人) と “思う” が “思わない” に比べ 22.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が 32.0% (31 人) で最も高く、次いで「思う思う」が 25.8% (25 人)、「どちらかといえば思う思う」が 23.7% (23 人) の順となっている。
- ・“思う” が 49.5% (48 人)、“思わない” が 17.5% (17 人) と “思う” が “思わない” に比べ 32.0 ポイント高くなっている。

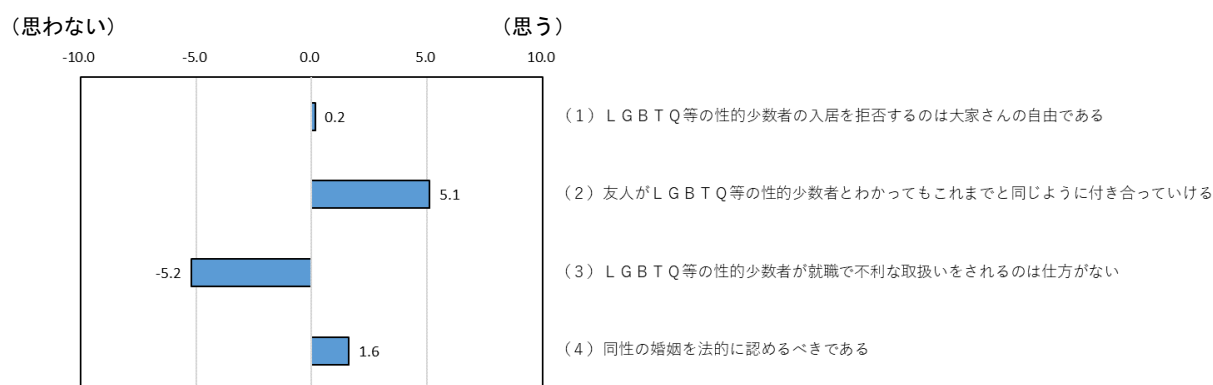
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 38.6% (22 人) で最も高く、次いで「思う思う」が 22.8% (13 人)、「どちらかといえば思う思う」が 21.1% (12 人) の順となっている。
- ・“思う” が 43.9% (25 人)、“思わない” が 17.5% (10 人) と “思う” が “思わない” に比べ 26.4 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “思う” が高くなっており、“思う” が最も高いのは『木島平村』で 49.5% (48 人)、次いで『野沢温泉村』で 43.9% (25 人)、『中野市』で 40.6% (248 人) の順となっている。一方、“思わない” が最も高いのは『中野市』で 19.5% (119 人)、次いで『山ノ内町』で 16.5% (33 人)、『木島平村』『野沢温泉村』が同率で 17.5% (17 人) (10 人) の順となっている。

【設問間比較】



- ・“思わない” について「L G B T Q等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がない」でマイナス 5.2 となっている。一方、“思う” について「友人がL G B T Q等の性的少数者とわかってもこれまでと同じように付き合っている」で 5.1、「同性の婚姻を法

的に認めるべきである」で1.6となっている。

〈比較の方法〉

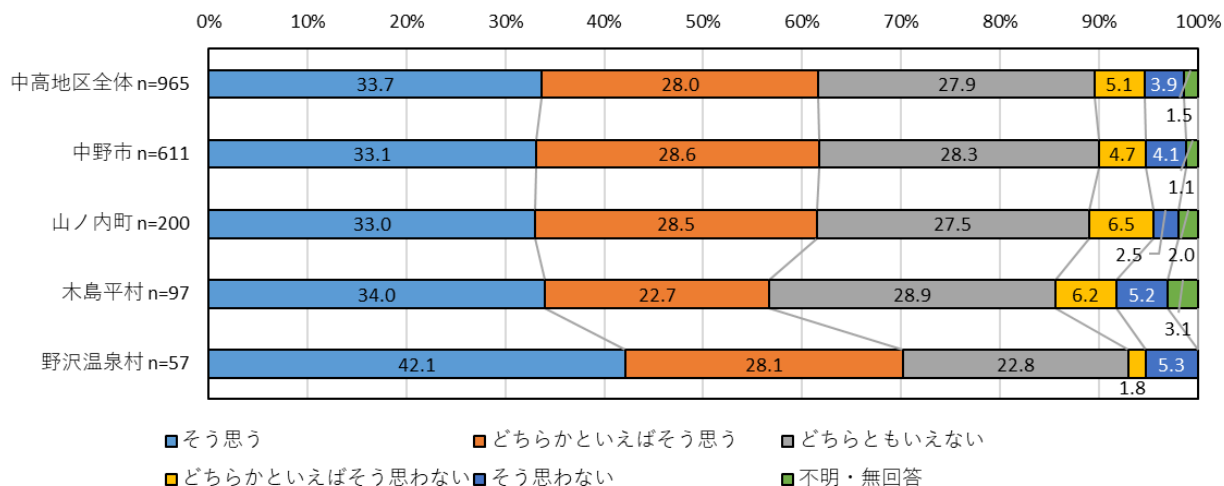
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・ 思う…………… 10点
- ・ どちらかといえば思う… 5点
- ・ どちらともいえない…………… 0点
- ・ 思わない…………… -10点
- ・ どちらかといえば思わない… -5点

問 13 あなたは、犯罪被害者やその家族の人権問題について、どのように思いますか。
次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 思う	2 どちらか といえば 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらか といえば 思わない	5 思 わない
(1) 犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきである	1	2	3	4	5
(2) 事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3) 刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである	1	2	3	4	5
(4) 報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穩を犯してはならない	1	2	3	4	5

(1) 犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきである



【中高地区全体】

- ・ 犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきであるについてみると、「そう思う」が33.7% (325人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.0% (270人)、「どちらともいえない」が27.9% (269人) の順となっている。
- ・ “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が61.7% (595人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が9.0% (87人) となっており、“思う” が“思わない” に比べ52.7ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・ 中野市においては、「そう思う」が33.1% (202人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.6% (175人)、「どちらともいえない」が28.3% (173人) の順となっている。
- ・ “思う” が61.7% (377人)、“思わない” が8.8% (54人) と“思う” が“思わない” に比べ52.9ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・ 山ノ内町においては、「そう思う」が33.0% (66人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.5% (57人)、「どちらともいえない」が27.5% (55人) の順となっている。
- ・ “思う” が61.5% (123人)、“思わない” が9.0% (18人) と“思う” が“思わない” に比べ52.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・ 木島平村においては、「そう思う」が34.0% (33人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.9% (28人)、「どちらかといえばそう思う」が22.7% (22人) の順となっている。
- ・ “思う” が56.7% (55人)、“思わない” が11.3% (11人) と“思う” が“思わない” に比べ45.4ポイント高くなっている。

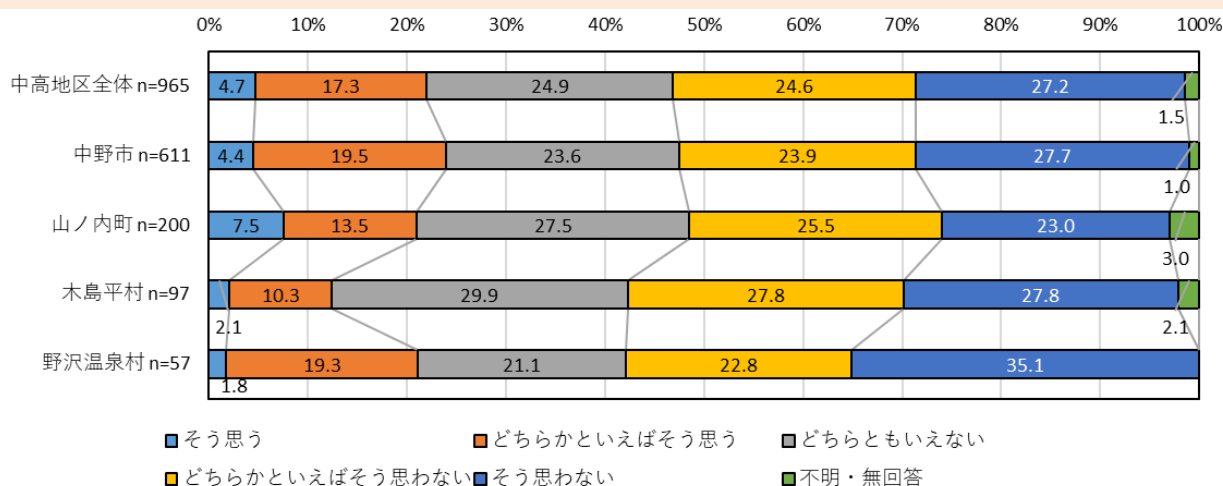
【野沢温泉村】

- ・ 野沢温泉村においては、「そう思う」が42.1% (24人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.1% (16人)、「どちらともいえない」が22.8% (13人) の順となっている。
- ・ “思う” が70.2% (40人)、“思わない” が7.0% (4人) と“思う” が“思わない” に比べ63.2ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・ 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で70.2% (40人)、次いで『中野市』で61.7% (377人)、『山ノ内町』で61.5% (123人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で11.3% (11人)、次いで『山ノ内町』で9.0% (18人)、『中野市』で8.8% (54人) の順となっている。

(2) 事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ない



【中高地区全体】

- ・事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ないについてみると、「そう思わない」が 27.2% (262 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.9% (240 人)、「どちらかといえばそう思わない」が 24.6% (237 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 22.0% (212 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 51.7% (499 人) となっており、“思わない”が“思う”に比べ 29.7 ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が 27.7% (169 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 23.9% (146 人)、「どちらともいえない」が 23.6% (144 人) の順となっている。
- ・“思う”が 23.9% (146 人)、“思わない”が 51.6% (315 人) と“思わない”が“思う”に比べ 27.7 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 27.5% (55 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 25.5% (51 人)、「そう思わない」が 23.0% (46 人) の順となっている。
- ・“思う”が 21.0% (42 人)、“思わない”が 48.5% (97 人) と“思わない”が“思う”に比べ 27.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が 29.9% (29 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が同率で 27.8% (27 人) の順となっている。
- ・“思う”が 12.4% (12 人)、“思わない”が 55.7% (54 人) と“思わない”が“思う”に比べ 43.3 ポイント高くなっている。

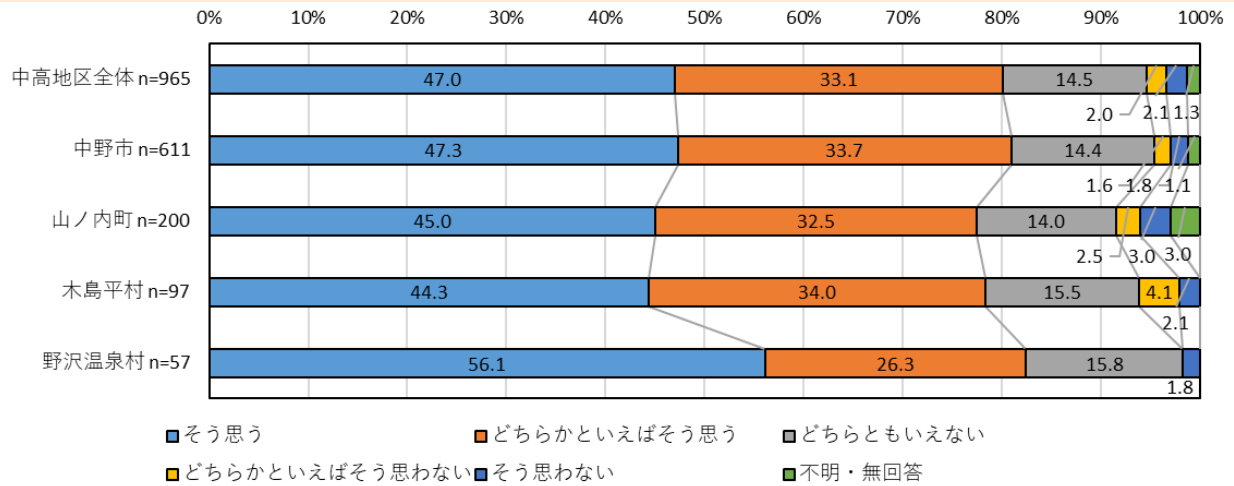
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 35.1% (20 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 22.8% (13 人)、「どちらともいえない」が 21.1% (12 人) の順となっている。
- ・“思う”が 21.1% (12 人)、“思わない”が 57.9% (33 人) と“思わない”が“思う”に比べ 36.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 57.9% (33 人)、次いで『木島平村』で 55.7% (54 人)、『中野市』で 51.6% (315 人) の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『中野市』で 23.9% (146 人)、次いで『野沢温泉村』で 21.1% (12 人)、『山ノ内町』で 21.0% (42 人) の順となっている。

(3) 刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである



【中高地区全体】

- ・刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきであるについてみると、「思う」が 47.0% (454 人) で最も高く、次いで「どちらかといえば思う」が 33.1% (319 人)、「どちらともいえない」が 14.5% (140 人) の順となっている。
- ・“思う”（「思う」+「どちらかといえば思う」）が 80.1% (773 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 4.0% (39 人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ 76.1 ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「思う」が 47.3% (289 人) で最も高く、次いで「どちらかといえば思う」が 33.7% (206 人)、「どちらともいえない」が 14.4% (88 人) の順となっている。
- ・“思う”が 81.0% (495 人)、“思わない”が 3.4% (21 人) と“思う”が“思わない”に比べ 77.6 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が 45.0% (90 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 32.5% (65 人)、「どちらともいえない」が 14.0% (28 人) の順となっている。
- “思う” が 77.5% (155 人)、“思わない” が 5.5% (11 人) と “思う” が “思わない” に比べ 72.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が 44.3% (43 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 34.0% (33 人)、「どちらともいえない」が 15.5% (15 人) の順となっている。
- “思う” が 78.4% (76 人)、“思わない” が 6.2% (6 人) と “思う” が “思わない” に比べ 72.2 ポイント高くなっている。

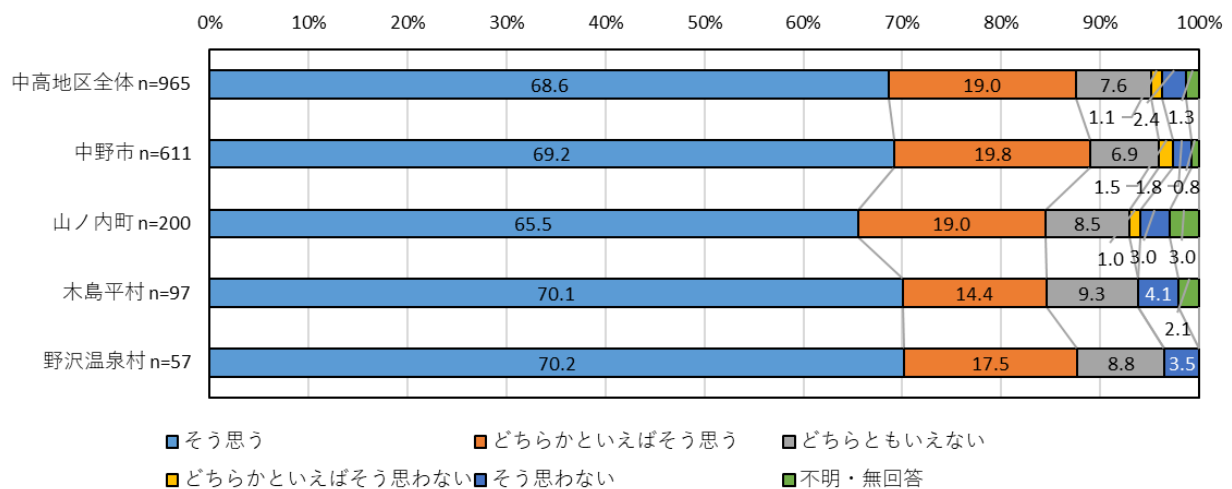
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「そう思う」が 56.1% (32 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 26.3% (15 人)、「どちらともいえない」が 15.8% (9 人) の順となっている。
- “思う” が 82.5% (47 人)、“思わない” が 1.8% (1 人) と “思う” が “思わない” に比べ 80.7 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- 4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “思う” が高くなっており、“思う” が最も高いのは『野沢温泉村』で 82.5% (47 人)、次いで『中野市』で 81.0% (495 人)、『木島平村』で 78.4% (76 人) の順となっている。一方、“思わない” が最も高いのは『木島平村』で 6.2% (6 人)、次いで『山ノ内町』で 5.5% (11 人)、『中野市』で 3.4% (21 人) の順となっている。

(4) 報道、取材や一般人の SNS 等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穩を犯してはならない



【中高地区全体】

- ・報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穩を犯してはならないについてみると、「そう思う」が68.6% (662人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が19.0% (183人)、「どちらともいえない」が7.6% (73人) の順となっている。
- ・“思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が87.6% (845人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が3.5% (34人) となっており、“思う” が“思わない” に比べ84.1ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が69.2% (423人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が19.8% (121人)、「どちらともいえない」が6.9% (42人) の順となっている。
- ・“思う” が89.0% (544人)、“思わない” が3.3% (20人) と“思う” が“思わない” に比べ85.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」が65.5% (131人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が19.0% (38人)、「どちらともいえない」が8.5% (17人) の順となっている。
- ・“思う” が84.5% (169人)、“思わない” が4.0% (8人) と“思う” が“思わない” に比べ80.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が70.1% (68人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が14.4% (14人)、「どちらともいえない」が9.3% (9人) の順となっている。
- ・“思う” が84.5% (82人)、“思わない” が4.1% (4人) と“思う” が“思わない” に比べ80.4ポイント高くなっている。

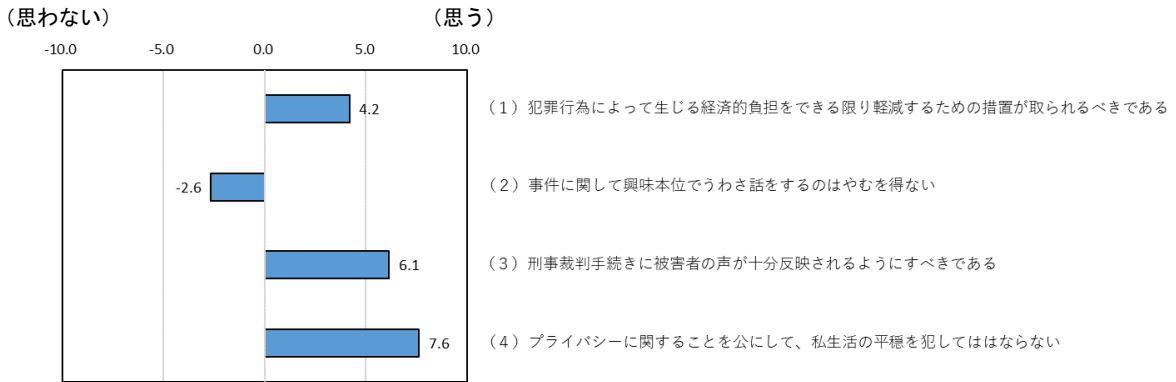
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が70.2% (40人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が17.5% (10人)、「どちらともいえない」が8.8% (5人) の順となっている。
- ・“思う” が87.7% (50人)、“思わない” が3.5% (2人) と“思う” が“思わない” に比べ84.2ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で87.7% (50人)、次いで『山ノ内町』『木島平村』でそれぞれ84.5% (169人) (82人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で4.1% (4人)、次いで『山ノ内町』で4.0% (8人)、『野沢温泉村』で3.5% (2人) の順となっている。

【設問間比較】



・“思わない”について「事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ない」でマイナス 2.6 となっている。一方、“思う”について「報道、取材や一般人の SNS 等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穩を犯してはならない」で 7.6、「刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである」で 6.1、「犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきである」で 4.2 となっている。

〈比較の方法〉

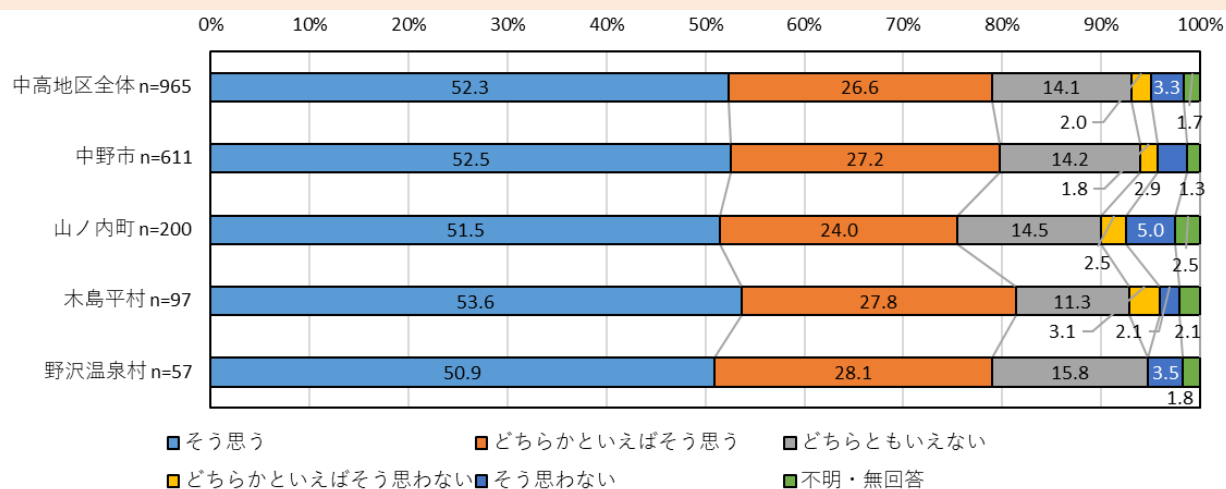
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・ そう思う…………… 10点
- ・ どちらかといえばそう思う… 5点
- ・ どちらともいえない…………… 0点
- ・ そう思わない…………… -10点
- ・ どちらかといえばそう思わない… -5点

問 14 あなたは、インターネット上の人権問題について、どのように思いますか。次の (1) ~ (4) のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかとい えばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかとい えばそう 思わない	5 そう 思わない
インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ (1)	1	2	3	4	5
ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である (2)	1	2	3	4	5
表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない (3)	1	2	3	4	5
差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ (4)	1	2	3	4	5

(1) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ



【中高地区全体】

- インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだについてみると、「そう思う」が52.3% (505人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.6% (257人)、「どちらともいえない」が14.1% (136人) の順となっている。
- “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が79.0% (762人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が5.3% (51人) となっており、“思う” が“思わない” に比べ73.7ポイント高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が52.5% (321人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.2% (166人)、「どちらともいえない」が14.2% (87人) の順となっている。
- “思う” が79.7% (487人)、“思わない” が4.7% (29人) と“思う” が“思わない” に比べ75.0ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が51.5% (103人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.0% (48人)、「どちらともいえない」が14.5% (29人) の順となっている。
- “思う” が75.5% (151人)、“思わない” が7.5% (15人) と“思う” が“思わない” に比べ68.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が53.6% (52人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.8% (27人)、「どちらともいえない」が11.3% (11人) の順となっている。
- “思う” が81.4% (79人)、“思わない” が5.2% (5人) と“思う” が“思わない” に比べ

76.2ポイント高くなっている。

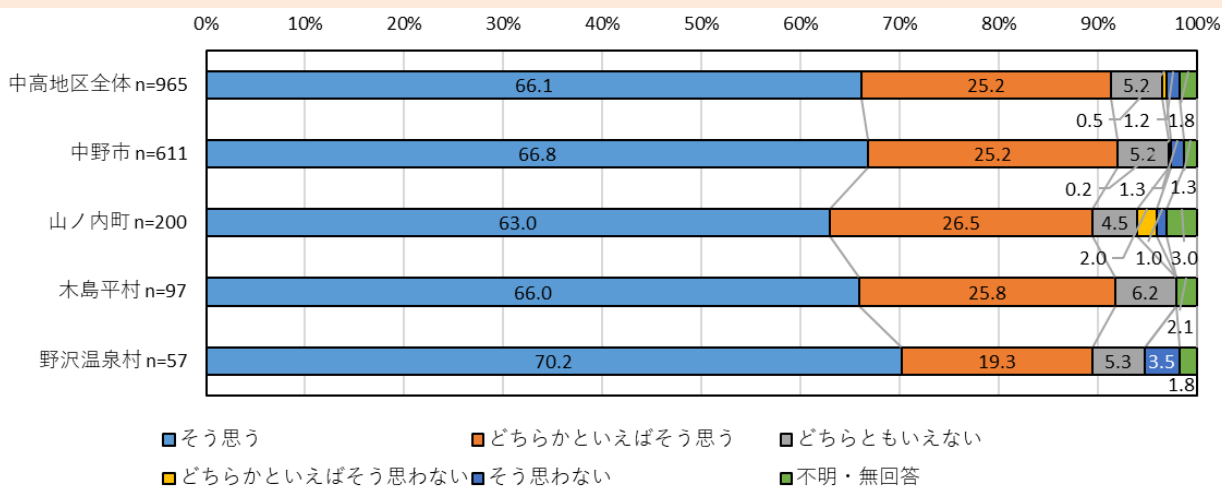
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「そう思う」が50.9% (29人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.1% (16人)、「どちらともいえない」が15.8% (9人) の順となっている。
- “思う” が78.9% (45人)、“思わない” が3.5% (2人) と“思う” が“思わない” に比べ75.5ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で81.4% (79人)、次いで『中野市』で79.7% (487人)、『野沢温泉村』で78.9% (45人) の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で7.5% (15人)、次いで『木島平村』で5.2% (5人)、『中野市』で4.7% (29人) の順となっている。

(2) ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である



【中高地区全体】

- ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要であるについてみると、「そう思う」が66.1% (638人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.2% (243人)、「どちらともいえない」が5.2% (50人) の順となっている。
- “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が91.3% (881人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が1.8% (17人) となっており、“思う” が“思わない” に比べ89.5ポイント高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が66.8% (408人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.2% (154人)、「どちらともいえない」が5.2% (32人) の順となっ

いる。

- ・“思う”が92.0%（562人）、“思わない”が1.5%（9人）と“思う”が“思わない”に比べ90.5ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」が63.0%（126人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.5%（53人）、「どちらともいえない」が4.5%（9人）の順となっている。
- ・“思う”が89.5%（179人）、“思わない”が3.0%（6人）と“思う”が“思わない”に比べ86.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が66.0%（64人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.8%（25人）、「どちらともいえない」が6.2%（6人）の順となっている。
- ・“思う”が91.8%（89人）、“思わない”が0.0%（0人）と“思う”が“思わない”に比べ91.8ポイント高くなっている。

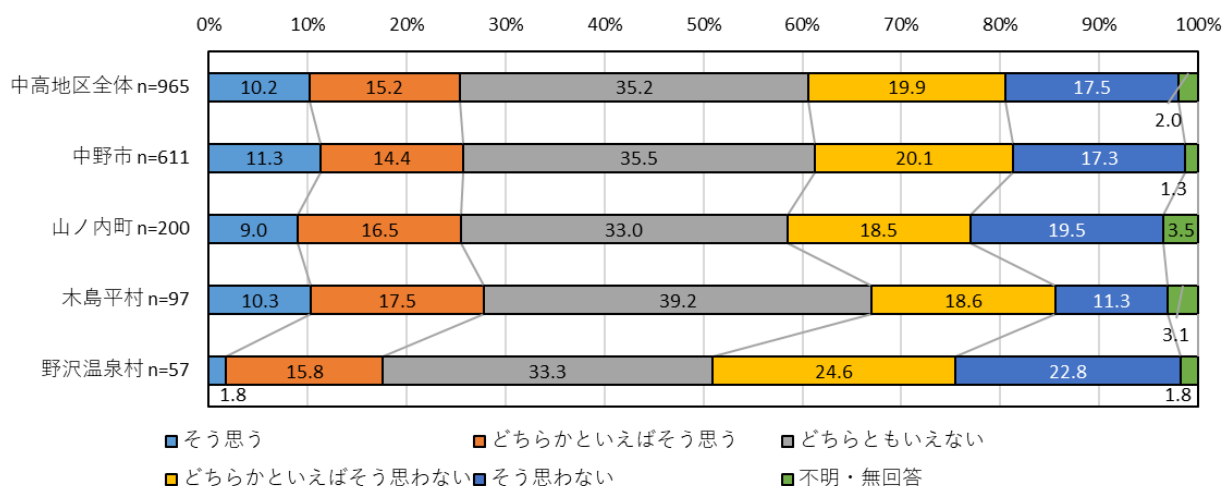
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が70.2%（40人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が19.3%（11人）、「どちらともいえない」が5.3%（3人）の順となっている。
- ・“思う”が89.5%（51人）、“思わない”が3.5%（2人）と“思う”が“思わない”に比べ86.0ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で92.0%（562人）、次いで『木島平村』で91.8%（89人）、『山ノ内町』『野沢温泉村』でそれぞれ89.5%（179人）（51人）の順となっている。一方、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で3.5%（2人）、次いで『山ノ内町』で3.0%（6人）、『中野市』で1.5%（9人）の順となっている。

(3) 表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない



【中高地区全体】

- ・表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではないについてみると、「どちらともいえない」が 35.2% (340 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 19.9% (192 人)、「そう思わない」が 17.5% (169 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が 25.4% (245 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が 37.4% (361 人) となっており、“思わない”が“思う”に比べ 12.0 ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 35.5% (217 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 20.1% (123 人)、「そう思わない」が 17.3% (106 人) の順となっている。
- ・“思う”が 25.7% (157 人)、“思わない”が 37.5% (229 人) と“思わない”が“思う”に比べ 11.8 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 33.0% (66 人) で最も高く、次いで「そう思わない」が 19.5% (39 人)、「どちらかといえばそう思わない」が 18.5% (37 人) の順となっている。
- ・“思う”が 25.5% (51 人)、“思わない”が 38.0% (76 人) と“思わない”が“思う”に比べ 12.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が 39.2% (38 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 18.6% (18 人)、「どちらかといえばそう思う」が 17.5% (17 人) の順となっている。
- ・“思う”が 27.8% (27 人)、“思わない”が 29.9% (29 人) と“思わない”が“思う”に比べ 2.1 ポイント高くなっている。

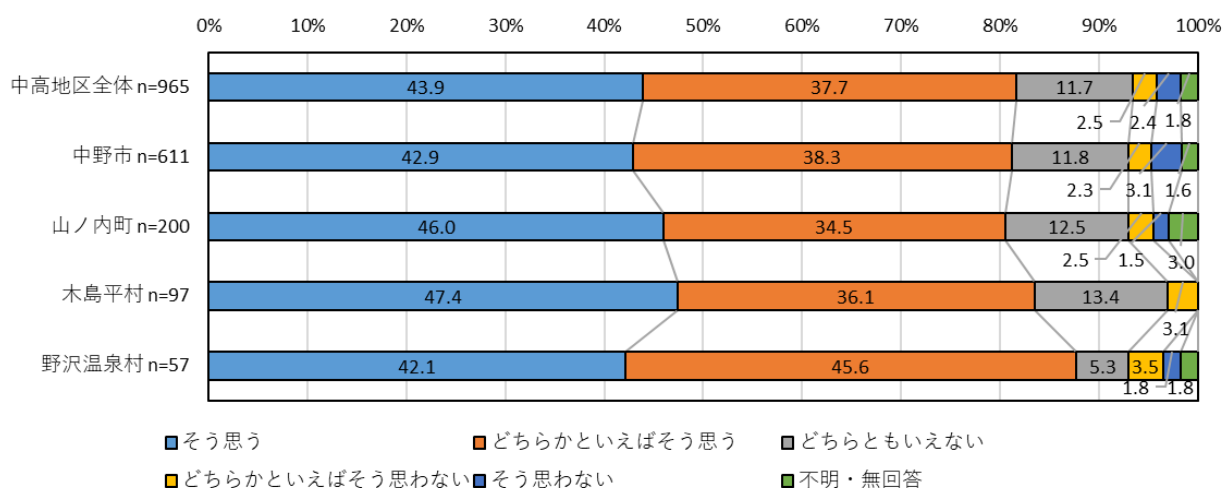
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 33.3% (19 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 24.6% (14 人)、「そう思わない」が 22.8% (13 人) の順となっている。
- ・“思う”が 17.5% (10 人)、“思わない”が 47.4% (27 人) と“思わない”が“思う”に比べ 29.9 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 47.4% (27 人)、次いで『山ノ内町』で 38.0% (76 人)、『中野市』で 37.5% (229 人) の順となっている。一方、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 27.8% (27 人)、次いで『中野市』で 25.7% (157 人)、『山ノ内町』で 25.5% (51 人) の順となっている。

(4) 差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ



【中高地区全体】

- 差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだについてみると、「そう思う」が43.9% (424人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が37.7% (364人)、「どちらともいえない」が11.7% (113人) の順となっている。
- “思う” (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が81.7% (788人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が4.9% (47人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ76.8ポイント高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が42.9% (262人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が38.3% (234人)、「どちらともいえない」が11.8% (72人) の順となっている。
- “思う”が81.2% (496人)、“思わない”が5.4% (33人) と“思う”が“思わない”に比べ75.8ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が46.0% (92人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.5% (69人)、「どちらともいえない」が12.5% (25人) の順となっている。
- “思う”が80.5% (161人)、“思わない”が4.0% (8人) と“思う”が“思わない”に比べ76.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が47.4% (46人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が36.1% (35人)、「どちらともいえない」が13.4% (13人) の順となっている。
- “思う”が83.5% (81人)、“思わない”が3.1% (3人) と“思う”が“思わない”に比べ80.4ポイント高くなっている。

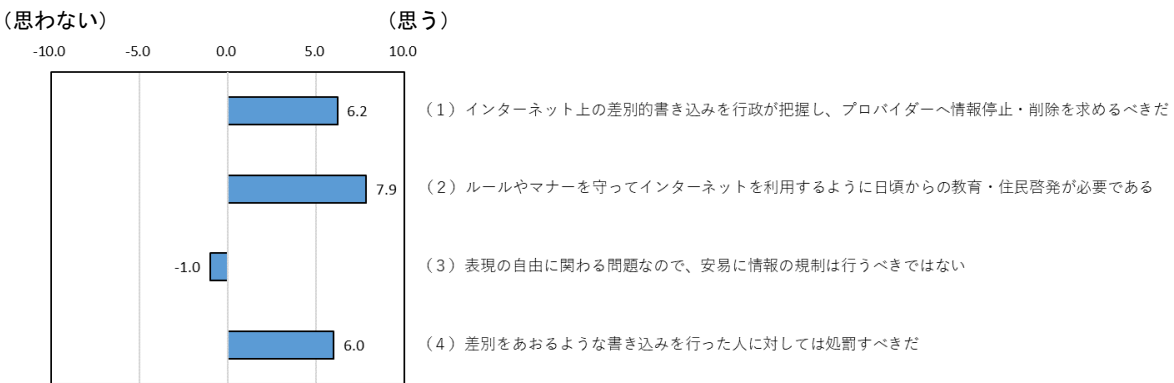
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 45.6% (26 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 42.1% (24 人)、「どちらともいえない」が 5.3% (3 人) の順となっている。
- “思う” が 87.7% (50 人)、“思わない” が 5.3% (3 人) と “思う” が “思わない” に比べ 82.4 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- 4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “思う” が高くなっており、“思う” が最も高いのは『野沢温泉村』で 87.7% (50 人)、次いで『木島平村』で 83.5% (81 人)、『中野市』で 81.2% (496 人) の順となっている。一方、“思わない” が最も高いのは『中野市』で 5.4% (33 人)、次いで『野沢温泉村』で 5.3% (3 人)、『山ノ内町』で 4.0% (8 人) の順となっている。

【設問間比較】



- “思わない” について「表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない」でマイナス 1.0 となっている。一方、“思う” について「ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である」で 7.9、「インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ」で 6.2、「差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ」で 6.0 となっている。

〈比較の方法〉

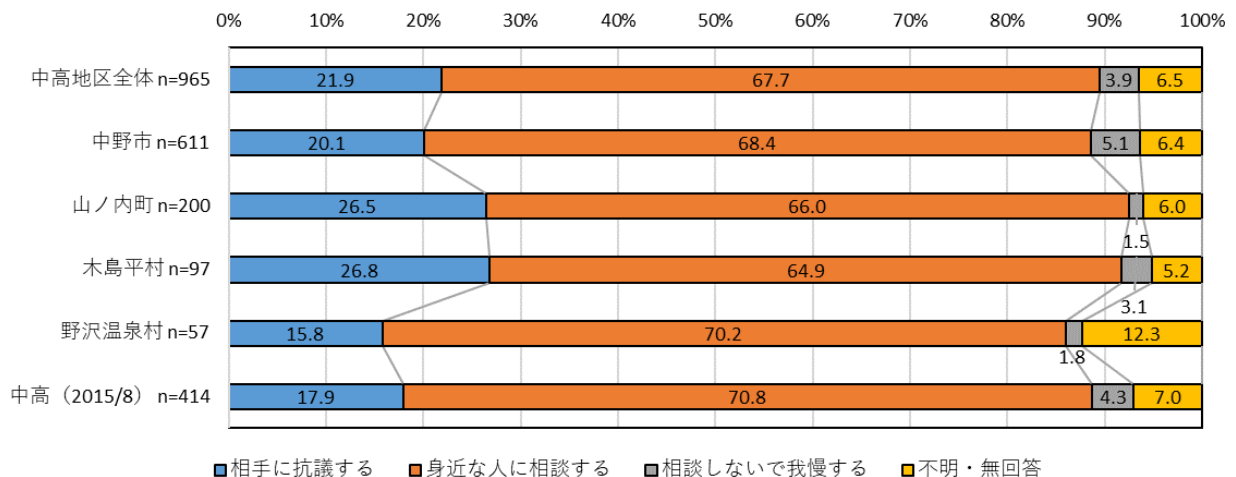
設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・そう思う…………… 10点
- ・どちらかといえばそう思う… 5点
- ・どちらともいえない…………… 0点
- ・そう思わない…………… -10点
- ・どちらかといえばそう思わない… -5点

C 人権問題や差別への対応について

問 15 もし、あなた自身やあなたの家族が人権を侵害されることがあったとき、あなたはまずどのような対応をしますか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------|---|---------------|
| 1 相手に抗議する | → | 問16へお進みください |
| 2 身近な人に相談する | → | 問15-1へお進みください |
| 3 相談しないで我慢する | → | 問16へお進みください |



【中高地区全体】

- ・人権が侵害されることがあったときの対応についてみると、「身近な人に相談する」が 67.7% (653 人) で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 21.9% (211 人)、「相談しないで我慢する」が 3.9% (38 人) の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「相手に抗議する」が 4.0 ポイント (21.9-17.9) 高く、「身近な人に相談する」が 3.1 ポイント (67.7-70.8) 低く、「相談しないで我慢する」が 0.4 ポイント (3.9-4.3) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「身近な人に相談する」が 68.4% (418 人) で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 20.1% (123 人)、「相談しないで我慢する」が 5.1% (31 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「身近な人に相談する」が 66.0% (132 人) で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 26.5% (53 人)、「相談しないで我慢する」が 1.5% (3 人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「身近な人に相談する」が 64.9% (63 人) で最も高く、次いで「相手に抗議する」が 26.8% (26 人)、「相談しないで我慢する」が 3.1% (3 人) の順となっている。

【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「身近な人に相談する」が70.2%（40人）で最も高く、次いで「相手に抗議する」が15.8%（9人）、「相談しないで我慢する」が1.8%（1人）の順となっている。

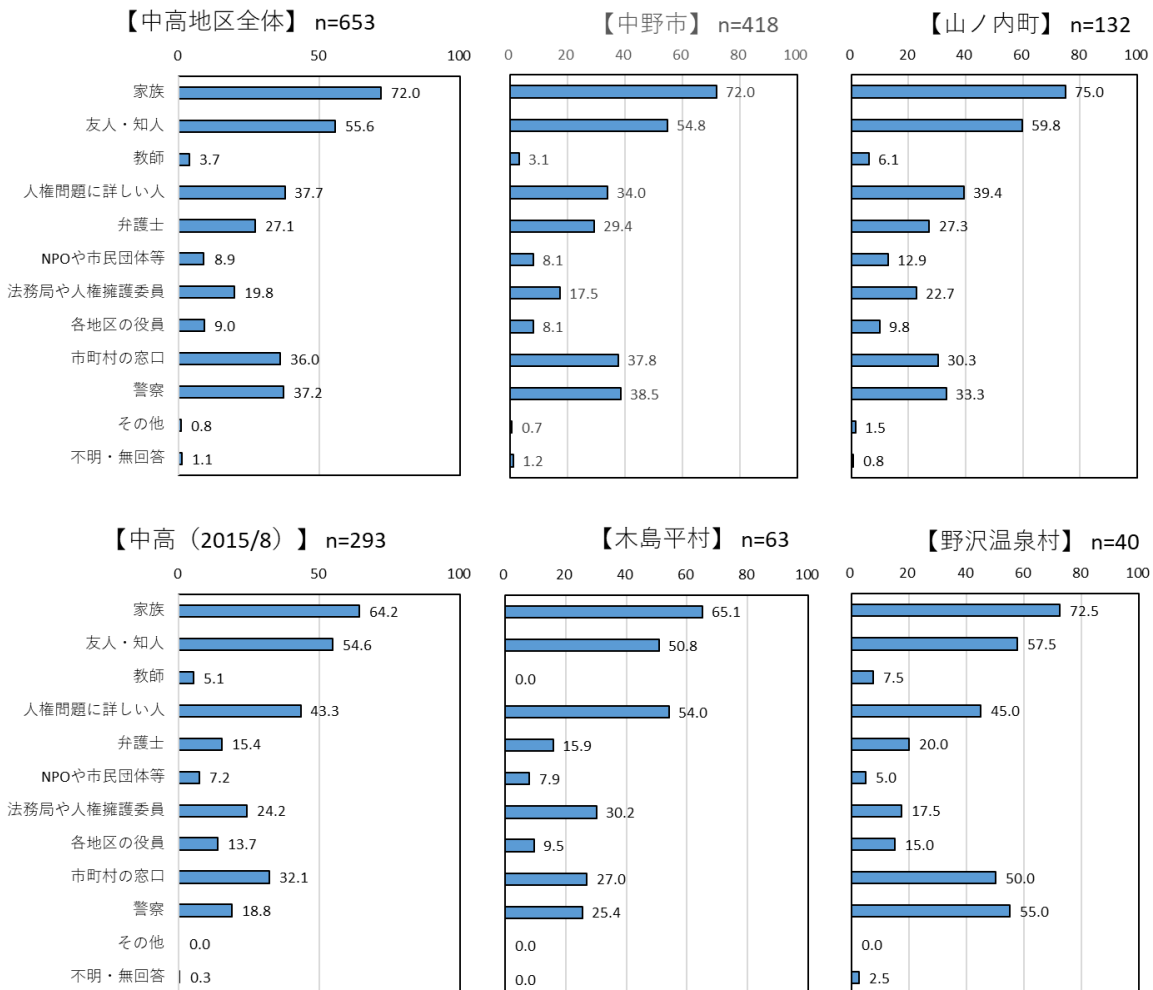
【市町村比較】

・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「身近な人に相談する」が高くなっており、「身近な人に相談する」が最も高いのは『野沢温泉村』で70.2%（40人）、次いで『中野市』で68.4%（418人）、『山ノ内町』で66.0%（132人）の順となっている。一方、「相談しないで我慢する」が最も高いのは『中野市』で5.1%（31人）、次いで『木島平村』で3.1%（3人）、『野沢温泉村』で1.8%（1人）の順となっている。

問15で「2 身近な人に相談する」を選ばれた方にお尋ねします。

問15-1 どのような人に相談しますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 家族 | 7 法務局や人権擁護委員 |
| 2 友人・知人 | 8 各地区の役員(区長・民生委員など) |
| 3 教師 | 9 市町村の窓口 |
| 4 人権問題に詳しい人 | 10 警察 |
| 5 弁護士 | 11 その他(具体的に:) |
| 6 NPOや市民団体等 | |



【中高地区全体】

- ・相談する相手についてみると、「家族」が72.0%（470人）で最も高く、次いで「友人・知人」が55.6%（363人）、「人権問題に詳しい人」が37.7%（246人）の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、増加幅が最も大きいのは「警察」で18.4ポイント（37.2-18.8）高くなっており、一方減少幅が最も大きいのは「人権問題に詳しい人」で5.6ポイント（37.7-43.3）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「家族」が72.0%（301人）で最も高く、次いで「友人・知人」が54.8%（229人）、「警察」が38.5%（161人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「家族」が75.0%（99人）で最も高く、次いで「友人・知人」が59.8%（79人）、「人権問題に詳しい人」が39.4%（52人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「家族」が65.1%（41人）で最も高く、次いで「人権問題に詳しい人」が54.0%（34人）、「友人・知人」が50.8%（32人）の順となっている。

【野沢温泉村】

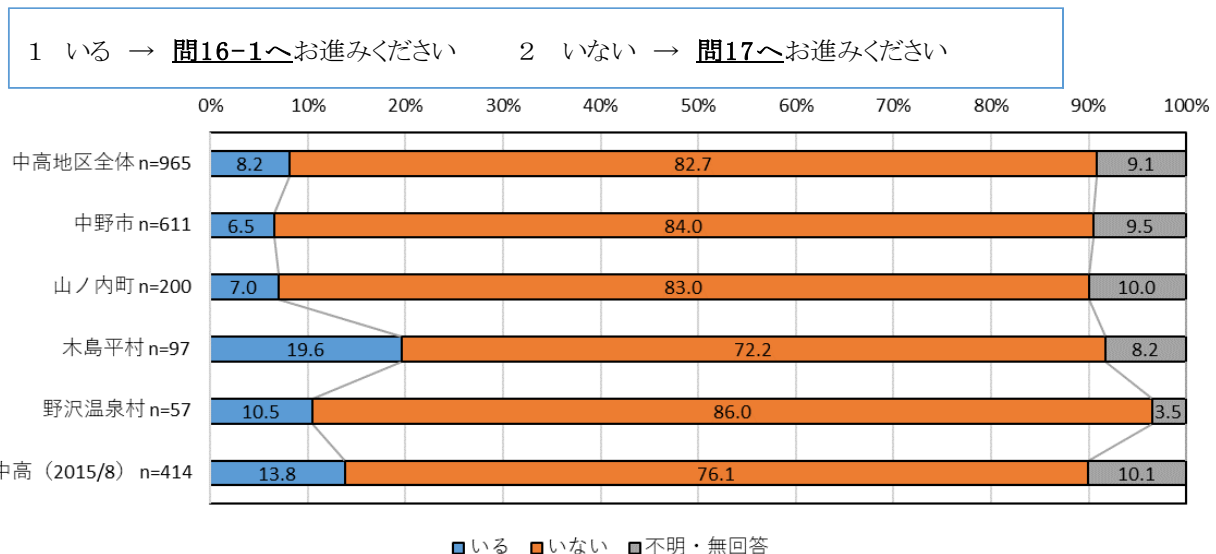
- ・野沢温泉村においては、「家族」が72.5%（29人）で最も高く、次いで「友人・知人」が57.5%（23人）、「警察」が55.0%（22人）の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「家族」が高くなっており、「家族」が最も高いのは『山ノ内町』で75.0%（99人）、次いで『野沢温泉村』で72.5%（29人）、『中野市』で72.0%（301人）の順となっている。また、「友人・知人」が最も高いのは『山ノ内町』で59.8%（79人）、次いで『野沢温泉村』で57.5%（23人）、『中野市』で54.8%（229人）、「人権問題に詳しい人」が最も高いのは『木島平村』で54.0%（34人）、次いで『野沢温泉村』で45.0%（18人）、『山ノ内町』で39.4%（52人）の順となっている。

すべての方にお尋ねします。

問 16 あなたの知り合いの中で、差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人はいますか。(〇は1つ)



【中高地区全体】

- ・知り合いで差別問題解消や人権擁護の取組を行っている人の有無についてみると、「いない」が82.7% (798人)、「いる」が8.2% (79人) となっており、「いない」が8割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、「いる」が5.6ポイント (8.2-13.8) 低くなっており、一方「いない」が6.6ポイント (82.7-76.1) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「いない」が84.0% (513人)、「いる」が6.5% (40人) となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「いない」が83.0% (166人)、「いる」が7.0% (14人) となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「いない」が72.2% (70人)、「いる」が19.6% (19人) となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「いない」が86.0% (49人)、「いる」が10.5% (6人) となっている。

【市町村比較】

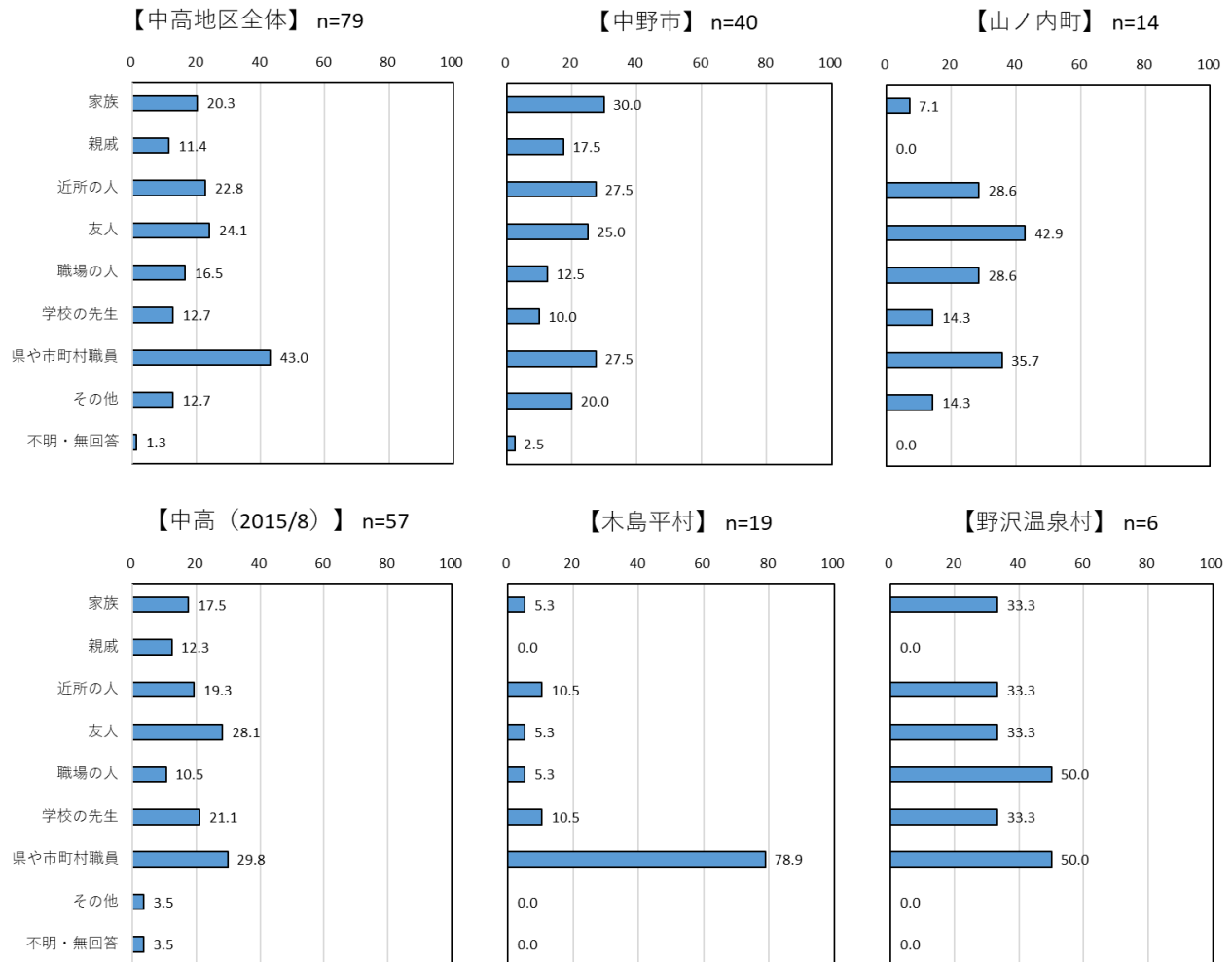
- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「いない」が高くなっており、「いない」が最も高いのは『野沢温泉村』で86.0% (49人)、次いで『中野市』で84.0% (513人)、『山ノ内町』で83.0% (166人) の順となっている。一方「いる」が最も高いのは『木島平村』で19.6% (19人)、次いで『野沢温泉村』で10.5% (6人)、『山ノ内町』で7.0% (14人) の順となっている。

問 16 で「いる」を選ばれた方にお尋ねします。

問 16-1 その差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人は誰ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 家族 | 5 職場の人 |
| 2 親戚 | 6 学校の先生 |
| 3 近所の人 | 7 県や市町村の職員 |
| 4 友人 | 8 その他(具体的に:) |



【中高地区全体】

- ・ 取組を行っている人の属性についてみると、「県や市町村の職員」が 43.0% (34 人) で最も高く、次いで「友人」が 24.1% (19 人)、「近所の人」が 22.8% (18 人) の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、増加幅が最も大きいのは「県や市町村の職員」で 13.2 ポイント (43.0-29.8) 高くなっており、一方減少幅が最も大きいのは「学校の先生」で 8.4 ポイント (12.7-21.1) 低くなっている。

【中野市】

- ・ 中野市においては、「家族」が 30.0% (12 人) で最も高く、次いで「近所の人」「県や市町

村の職員」が同率で 27.5%（11 人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「友人」が 42.9%（6 人）で最も高く、次いで「県や市町村の職員」が 35.7%（5 人）、「近所の人」「職場の人」が同率で 28.6%（4 人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「県や市町村の職員」が 78.9%（15 人）で最も高く、次いで「近所の人」「学校の先生」が同率で 10.5%（2 人）の順となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「職場の人」「県や市町村の職員」が同率で 50.0%（3 人）で最も高く、次いで「家族」「近所の人」「友人」「学校の先生」が同率で 33.3%（2 人）の順となっている。

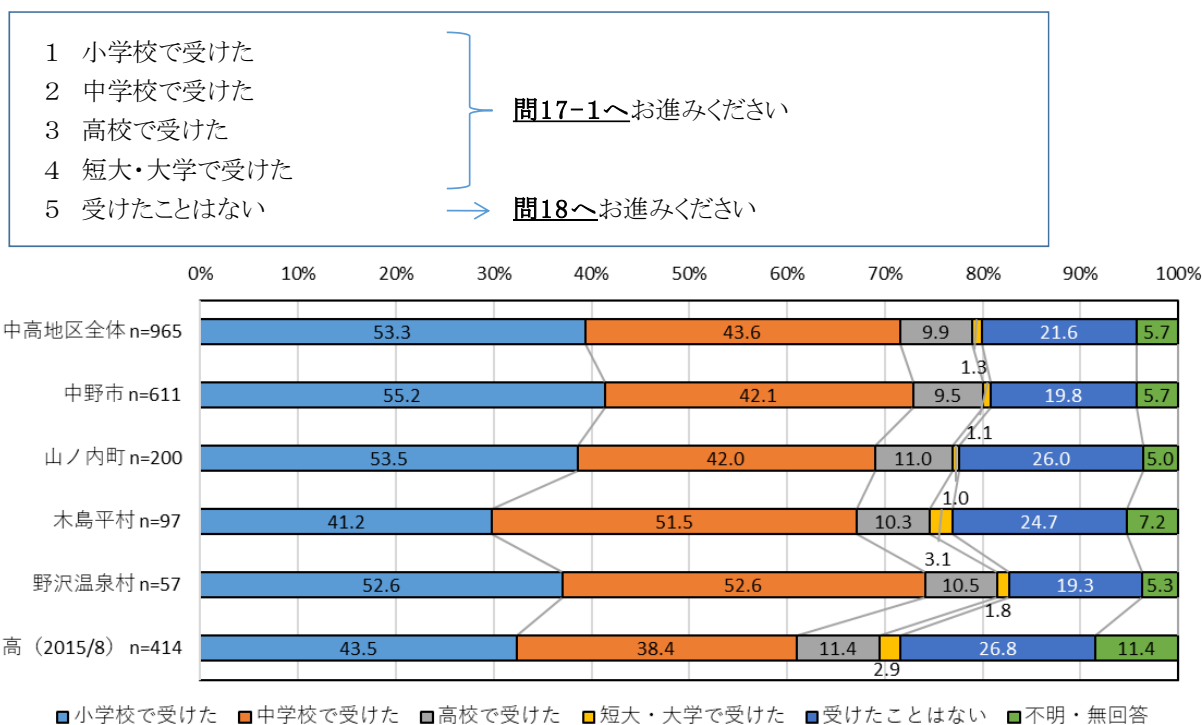
【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、『中野市』で「家族」、『山ノ内町』で「友人」、『木島平村』で「県や市町村の職員」、『野沢温泉村』で「職場の人」「県や市町村の職員」が高くなっており、「県や市町村の職員」が最も高いのは『木島平村』で 78.9%（15 人）、次いで『野沢温泉村』で 50.0%（3 人）、『山ノ内町』で 35.7%（5 人）の順となっている。また、「友人」が最も高いのは『山ノ内町』で 42.9%（6 人）、次いで『野沢温泉村』で 33.3%（2 人）、『中野市』で 25.0%（10 人）の順となっている。

D 同和問題（部落問題）に関する学習経験について

すべての方にお尋ねします。

問17 あなたは、学校で同和問題（部落問題）についての学習を受けましたか。（〇はいくつでも）



【中高地区全体】

- 学校での同和問題についての学習経験についてみると、「小学校で受けた」が53.3%（514人）で最も高く、次いで「中学校で受けた」が43.6%（421人）、「受けたことはない」が21.6%（208人）の順となっている。
- 前回調査と比較すると、「小学校で受けた」が9.8ポイント（53.3-43.5）、「中学校で受けた」が5.2ポイント（43.6-38.4）高くなっており、一方「高校で受けた」が1.5ポイント（9.9-11.4）、「短大・大学で受けた」が1.6ポイント（1.3-2.9）、「受けたことがない」が5.2ポイント（21.6-26.8）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「小学校で受けた」が55.2%（337人）で最も高く、次いで「中学校で受けた」が42.1%（257人）、「受けたことがない」が19.8%（121人）の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「小学校で受けた」が53.5%（107人）で最も高く、次いで「中学校で受けた」が42.0%（84人）、「受けたことがない」が26.0%（52人）の順となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「中学校で受けた」が51.5%（50人）で最も高く、次いで「小学校で受けた」が41.2%（40人）、「受けたことがない」が24.7%（24人）の順となっている。

【野沢温泉村】

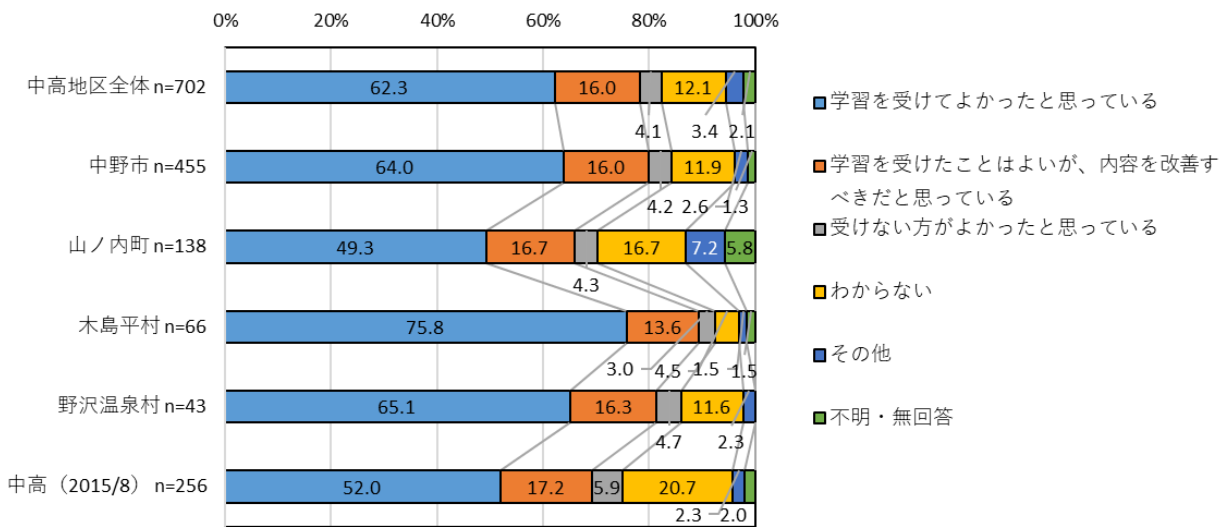
- 野沢温泉村においては、「小学校で受けた」「中学校で受けた」が同率で52.6%（30人）で最も高く、次いで「受けたことがない」が19.3%（11人）の順となっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』が「小学校で受けた」、『木島平村』が「中学校で受けた」、『野沢温泉村』が同率で「小学校で受けた」「中学校で受けた」が高くなっており、一方「受けたことがない」が最も高いのは『山ノ内町』で26.0%（52人）、次いで『木島平村』で24.7%（24人）、『中野市』で19.8%（121人）の順となっている。

問 17-1 そうした学習を受けたことについて、どう感じていますか。（○は1つ）

- 1 学習を受けてよかったと思っている
- 2 学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている
- 3 受けない方がよかったと思っている
- 4 わからない
- 5 その他(具体的に:)



【中高地区全体】

- 学習を受けたことへの感想についてみると、「学習を受けてよかった」が62.3%（437人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が16.0%（112人）、「わからない」が12.1%（85人）の順となっている。

【中野市】

- 中野市においては、「学習を受けてよかった」が64.0%（291人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が16.0%（73人）、「わからない」が11.9%（54人）の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「学習を受けてよかった」が49.3%（68人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」「わからない」が同率で16.7%

(23人)の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「学習を受けてよかった」が75.8% (50人)で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が13.6% (9人)、「わからない」が4.5% (3人)の順となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「学習を受けてよかった」が65.1% (28人)で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が16.3% (7人)、「わからない」が11.6% (5人)の順となっている。

【市町村比較】

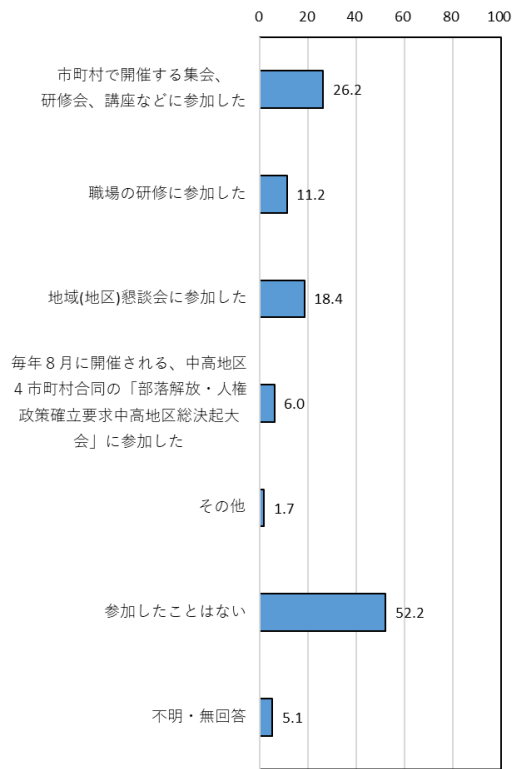
- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「学習を受けてよかった」が高くなっており、「学習を受けてよかった」が最も高いのは『木島平村』で75.8% (50人)、次いで『野沢温泉村』で65.1% (28人)、『中野市』で64.0% (291人)の順となっている。また、「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が最も高いのは『山ノ内町』で16.7% (23人)、次いで『野沢温泉村』で16.3% (7人)、『中野市』で16.0% (73人)の順となっている。

すべての方にお尋ねします

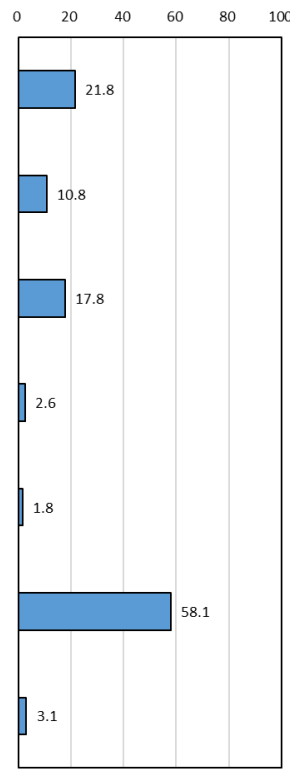
問18 あなたは、地域や職場での同和問題についての学習や研修に参加したことはありますか。(〇はいくつでも)

1 市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した	}	問18-1へお進みください
2 職場の研修に参加した		
3 地域(地区)懇談会に参加した		
毎年8月に開催される、中高地区4市町村合同の	}	問18-1へお進みください
4 「部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会」に参加した		
5 その他()	}	問18-2へお進みください
6 参加したことはない		

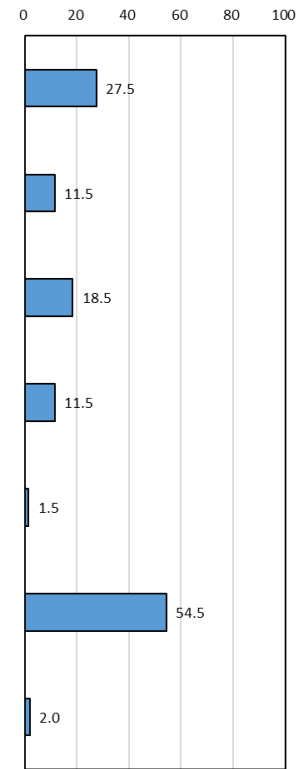
【中高地区全体】 n=965



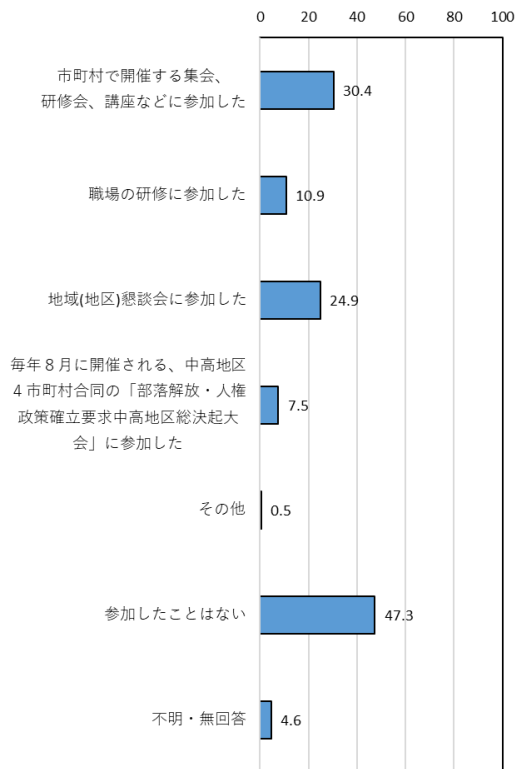
【中野市】 n=611



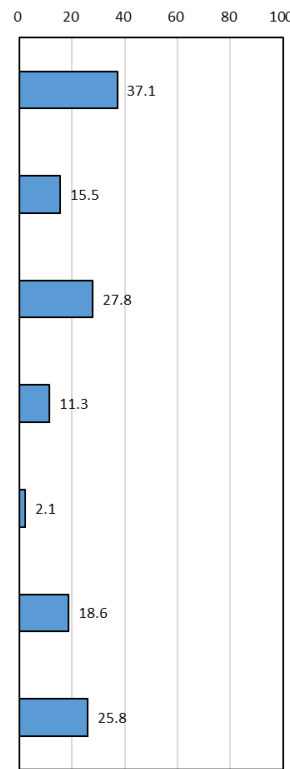
【山ノ内町】 n=200



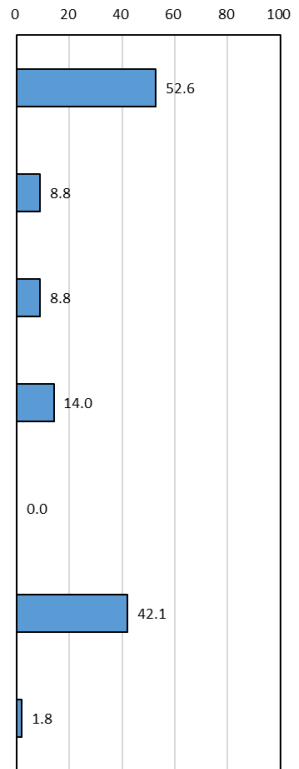
【中高 (2015/8)】 n=414



【木島平村】 n=97



【野沢温泉村】 n=57



【中高地区全体】

- ・地域や職場での同和問題についての学習や研修への参加についてみると、「参加したことはない」が52.4%（506人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が26.3%（254人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が18.4%（178人）の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「参加したことはない」が4.9ポイント（52.2-47.3）、「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が4.2ポイント（26.2-30.4）、「地域（地区）懇談会に参加した」が6.5ポイント（18.4-24.9）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「参加したことはない」が58.1%（355人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が21.8%（133人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が17.8%（109人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「参加したことはない」が54.5%（109人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が27.5%（55人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が18.5%（37人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が37.1%（36人）で最も高く、次いで「地域（地区）懇談会に参加した」が27.8%（27人）、「参加したことはない」が18.6%（18人）の順となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が52.6%（30人）で最も高く、次いで「参加したことはない」が42.1%（24人）、「毎年8月に開催される、中高地区4市町村合同の「部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会」に参加した」が14.0%（8人）の順となっている。

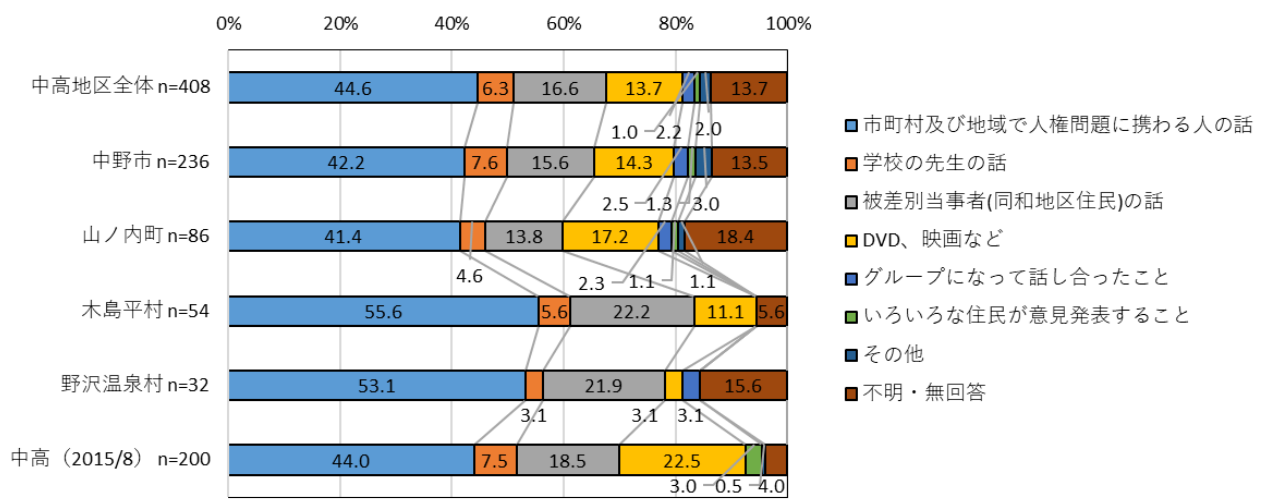
【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』で「参加したことはない」、『木島平村』『野沢温泉村』で「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が高くなっており、「参加したことはない」が最も高いのは『中野市』で58.1%（355人）、次いで『山ノ内町』で54.5%（109人）、『野沢温泉村』で42.1%（24人）の順となっている。また、「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が最も高いのは『野沢温泉村』で52.6%（30人）、次いで『木島平村』で37.1%（36人）、『山ノ内町』で27.5%（55人）の順となっている。

問 18 で「1」から「5」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18-1 参加して最も印象に残っている研修会はどのような内容でしたか。(〇は1つ)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 市町村及び地域で人権問題に携わる人の話 |
| 2 | 学校の先生の話 |
| 3 | 被差別当事者(同和地区住民)の話 |
| 4 | DVD、映画など |
| 5 | グループになって話し合ったこと |
| 6 | いろいろな住民が意見発表すること |
| 7 | その他(具体的に:) |



【中高地区全体】

- ・最も印象に残っている研修会の内容についてみると、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 44.9% (183 人) で最も高く、次いで「被差別当事者 (同和地区住民) の話」が 16.7% (68 人)、「DVD、映画など」が 13.7% (56 人) の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 0.6 ポイント (44.6-44.0) 高く、「被差別当事者 (同和地区住民) の話」が 1.9 ポイント (16.6-18.5) 低く、「DVD、映画など」が 8.8 ポイント (13.7-22.5) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 42.4% (100 人) で最も高く、次いで「被差別当事者 (同和地区住民) の話」が 15.7% (37 人)、「DVD、映画など」が 14.4% (34 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 41.9% (36 人) で最も高く、次いで「DVD、映画など」が 17.4% (15 人)、「被差別当事者 (同和地区住民) の話」が 14.0% (12 人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が 55.6% (30 人) で

最も高く、次いで「被差別当事者（同和地区住民）の話」が22.2%（12人）、「DVD、映画など」が11.1%（6人）の順となっている。

【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が53.1%（17人）で最も高く、次いで「被差別当事者（同和地区住民）の話」が21.9%（7人）、「学校の先生の話」「DVD、映画など」「グループになって話し合ったこと」が同率で3.1%（1人）の順となっている。

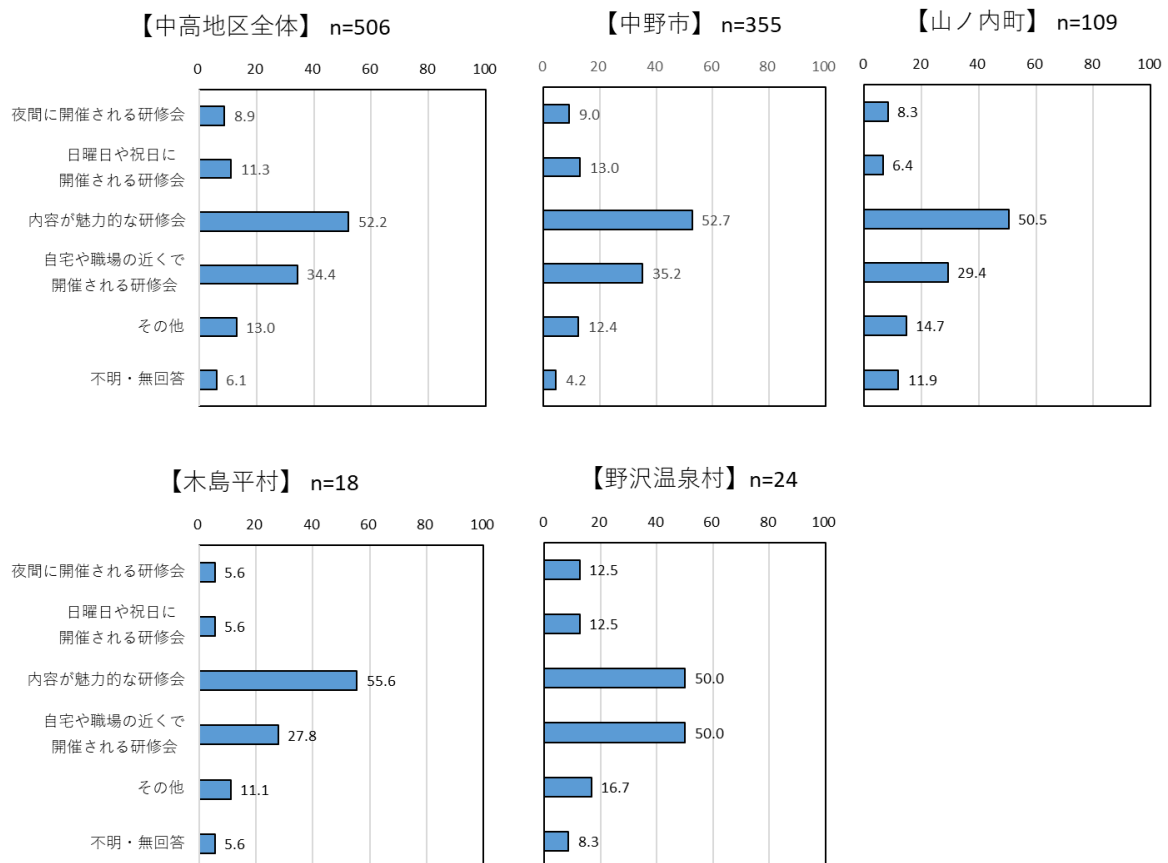
【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が高くなっており、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が最も高いのは『木島平村』で55.6%（30人）、次いで『野沢温泉村』で53.1%（17人）、『中野市』で42.4%（100人）の順となっている。

問18で「6 参加したことはない」を選ばれた方にお尋ねします。

問18-2 どのような研修会で参加できますか。（○はいくつでも）

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 夜間に開催される研修会 |
| 2 | 日曜日や祝日に開催される研修会 |
| 3 | 内容が魅力的な研修会 |
| 4 | 自宅や職場の近くで開催される研修会 |
| 5 | その他(具体的に:) |



【中高地区全体】

- ・どのような研修会であれば参加できるかについてみると、「内容が魅力的な研修会」が 52.2% (264 人) で最も高く、次いで「自宅や職場の近くで開催される研修会」が 34.4% (174 人)、「その他」が 13.0% (66 人) の順となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容が魅力的な研修会」が 52.7% (187 人) で最も高く、次いで「自宅や職場の近くで開催される研修会」が 35.2% (125 人)、「日曜日や祝日に開催される研修会」が 13.0% (46 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「内容が魅力的な研修会」が 50.5% (55 人) で最も高く、次いで「自宅や職場の近くで開催される研修会」が 29.4% (32 人)、「その他」が 14.7% (16 人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容が魅力的な研修会」が 55.6% (10 人) で最も高く、次いで「自宅や職場の近くで開催される研修会」が 27.8% (5 人)「その他」が 11.1% (2 人)、の順となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「内容が魅力的な研修会」「自宅や職場の近くで開催される研修会」が同率で 50.0% (12 人) で最も高く、次いで「その他」が 16.7% (4 人) の順となっている。

【市町村比較】

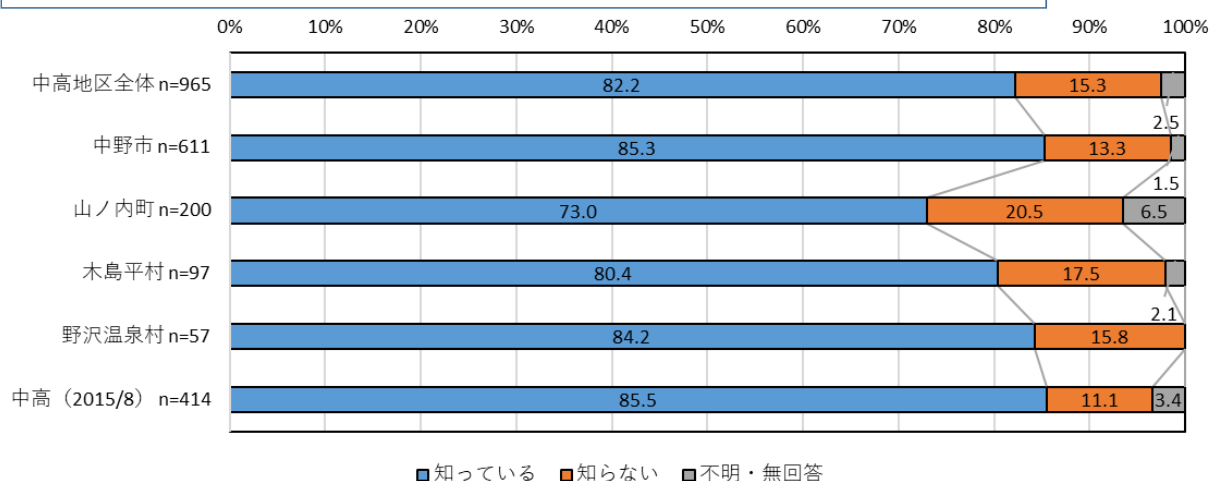
- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で「内容が魅力的な研修会」、『野沢温泉村』で「内容が魅力的な研修会」「自宅や職場の近くで開催される研修会」が同率で高くなっており、「内容が魅力的な研修会」が最も高いのは『木島平村』で 55.6% (10 人)、次いで『中野市』で 52.7% (187 人)、『山ノ内町』で 50.5% (55 人) の順となっている。また、「自宅や職場の近くで開催される研修会」が最も高いのは『野沢温泉村』で 50.0% (12 人)、次いで『中野市』で 35.2% (125 人)、『山ノ内町』で 29.4% (32 人) の順となっている。

E 同和問題（部落問題）の認知や意識について

すべての方にお尋ねします。

問 19 あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか。
(○は1つ)

1 知っている → [問19-1へ](#)お進みください 2 知らない → [問20へ](#)お進みください



【中高地区全体】

- ・差別を受けている地区や住民があることの認知度についてみると、「知っている」が82.2% (793人)、「知らない」が15.3% (148人)となっており、「知っている」が8割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、「知っている」が3.2ポイント (82.3-85.5) 低くなっており、一方「知らない」が4.2ポイント (15.3-11.1) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「知っている」が85.3% (521人)、「知らない」が13.3% (81人)となっており、「知っている」が8割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「知っている」が73.0% (146人)、「知らない」が20.5% (41人)となっており、「知っている」が7割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「知っている」が80.4% (78人)、「知らない」が17.5% (17人)となっており、「知っている」が8割以上となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「知っている」が84.2% (48人)、「知らない」が15.8% (9人)となっており、「知っている」が8割以上となっている。

【市町村比較】

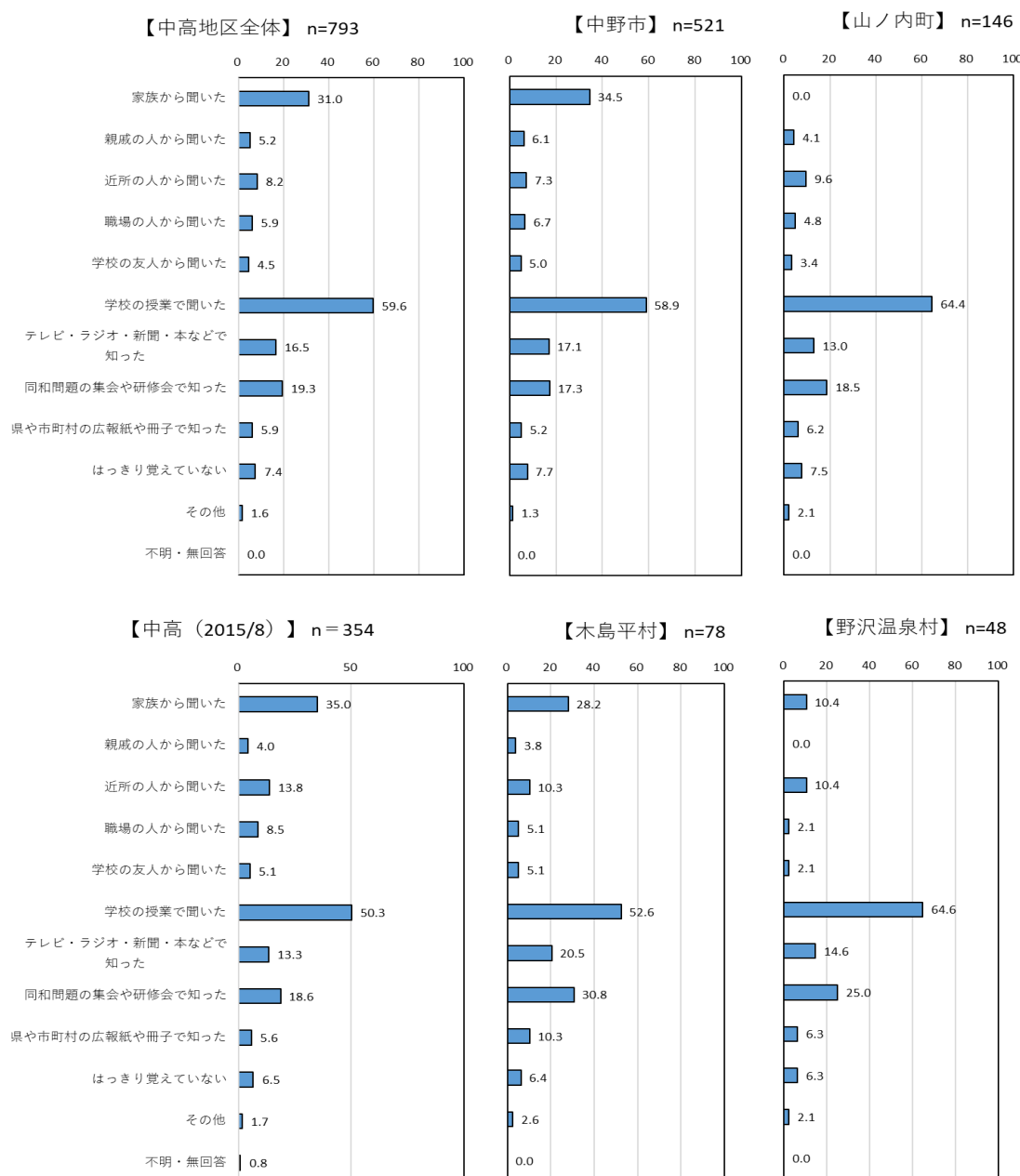
- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も7割以上で「知っている」が高くなっており、「知っている」が最も高いのは『中野市』で85.3% (521人)、次いで『野沢温泉村』で84.2%

(48人)、『木島平村』で80.4% (78人) の順となっている。一方、「知らない」が最も高いのは『山ノ内町』で20.5% (41人)、次いで『木島平村』で17.5% (17人)、『野沢温泉村』で15.8% (9人) の順となっている。

問19で「1 知っている」を選ばれた方にお尋ねします。

問19-1 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1 家族から聞いた | 7 テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った |
| 2 親戚の人から聞いた | 8 同和問題の集会や研修会で知った |
| 3 近所の人から聞いた | 9 県や市町村の広報紙や冊子で知った |
| 4 職場の人から聞いた | 10 はっきり覚えていない |
| 5 学校の友人から聞いた | 11 その他(具体的に:) |
| 6 学校の授業で聞いた | |



【中高地区全体】

- ・初めて知ったきっかけについてみると、「学校の授業で聞いた」が 59.6% (473 人)、「家族から聞いた」が 31.0% (246 人)、「同和問題の集会や研修会で知った」が 19.3% (153 人) となっている。
- ・前回調査と比較すると、「学校の授業で聞いた」が 9.3 ポイント (59.6-50.3)、「はっきり覚えていない」が 0.9 ポイント (7.4-6.5) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「学校の授業で聞いた」が 58.9% (307 人)、次いで「家族から聞いた」が 34.5% (180 人)、「同和問題の集会や研修会で知った」が 17.3% (90 人) となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「学校の授業で聞いた」が 64.4% (94 人)、次いで「同和問題の集会や研修会で知った」が 18.5% (27 人)、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が 13.0% (19 人) となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「学校の授業で聞いた」が 52.6% (41 人)、次いで「同和問題の集会や研修会で知った」が 30.8% (24 人)、「家族から聞いた」が 28.2% (22 人) となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「学校の授業で聞いた」が 64.6% (31 人)、次いで「同和問題の集会や研修会で知った」が 25.0% (12 人)、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が 14.6% (7 人) となっている。

【市町村比較】

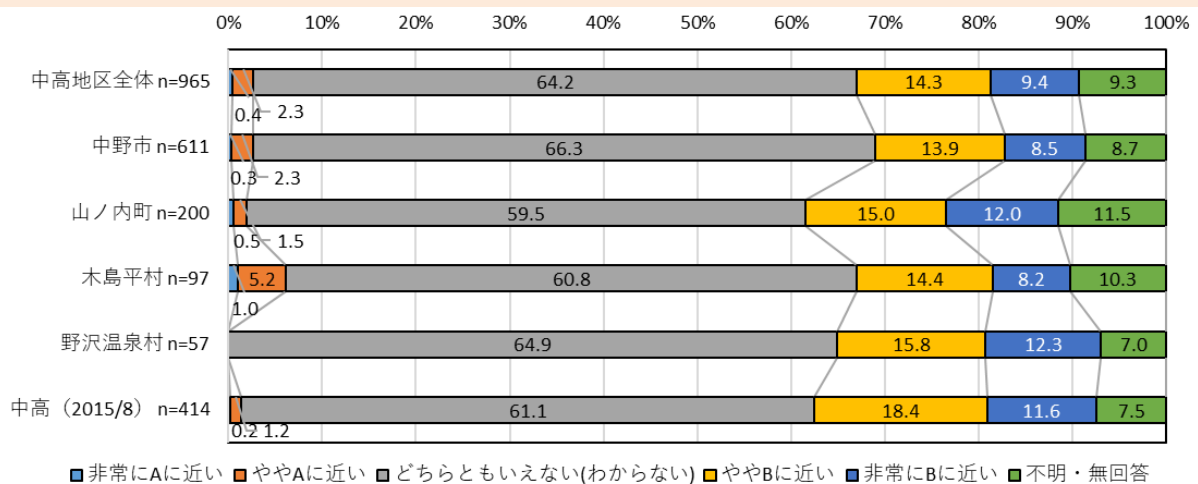
- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も5割以上で「学校の授業で聞いた」が高くなっており、「学校の授業で聞いた」が最も高いのは『野沢温泉村』で 64.6% (31 人)、次いで『山ノ内町』で 64.4% (94 人)、『中野市』で 58.9% (307 人) の順となっている。一方、「はっきり覚えていない」が最も高いのは『中野市』で 7.7% (40 人)、次いで『山ノ内町』で 7.5% (11 人)、『木島平村』で 6.4% (5 人) の順となっている。

すべての方にお尋ねします。

問 20 あなたは、「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感情を持ちますか。次の(1)～(5)について、あなたの感情に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

<A>	1 非常に Aに近い	2 ややAに 近い	3 どちらとも いえない (わからない)	4 ややBに 近い	5 非常にB に近い	
(1) 上品な	1	2	3	4	5	下品な
(2) やさしい	1	2	3	4	5	こわい
(3) 清潔な	1	2	3	4	5	不潔な
(4) 豊か	1	2	3	4	5	貧しい
(5) 働き者	1	2	3	4	5	なまけもの

問 20 (1) 上品な—下品な



【中高地区全体】

- ・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ (A. 上品な—B. 下品な) についてみると、「どちらともいえない (わからない)」が 64.2% (620 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 14.3% (138 人)、「非常にBに近い」が 9.4% (91 人) となっている。
- ・“Aに近い” (「非常にAに近い」+「ややAに近い」) が 2.7% (26 人)、“Bに近い” (「非常にBに近い」+「ややBに近い」) が 23.7% (229 人) となっており、“Aに近い” が 1 割にも満たず、“Bに近い” が 2 割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い” が 1.3 ポイント (2.7-1.4) 高くなっており、一方“Bに近い” が 6.3 ポイント (23.7-30.0) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない (わからない)」が 66.3% (405 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 13.9% (85 人)、「非常にBに近い」が 8.5% (52 人) の順となっている。
- ・“Aに近い” が 2.6% (16 人)、“Bに近い” が 22.4% (137 人) となっており、“Aに近い” が 1 割にも満たず、“Bに近い” が 2 割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない (わからない)」が 59.5% (119 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 15.0% (30 人)、「非常にBに近い」が 12.0% (24 人) の順となっている。
- ・“Aに近い” が 2.0% (4 人)、“Bに近い” が 27.0% (54 人) となっており、“Aに近い” が 1 割にも満たず、“Bに近い” が 2 割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない (わからない)」が 60.8% (59 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 14.4% (14 人)、「非常にBに近い」が 8.2% (8 人) の順となっている。
- ・“Aに近い” が 6.2% (6 人)、“Bに近い” が 22.7% (22 人) となっており、“Aに近い”

が1割にも満たず、「Bに近い」が2割以上となっている。

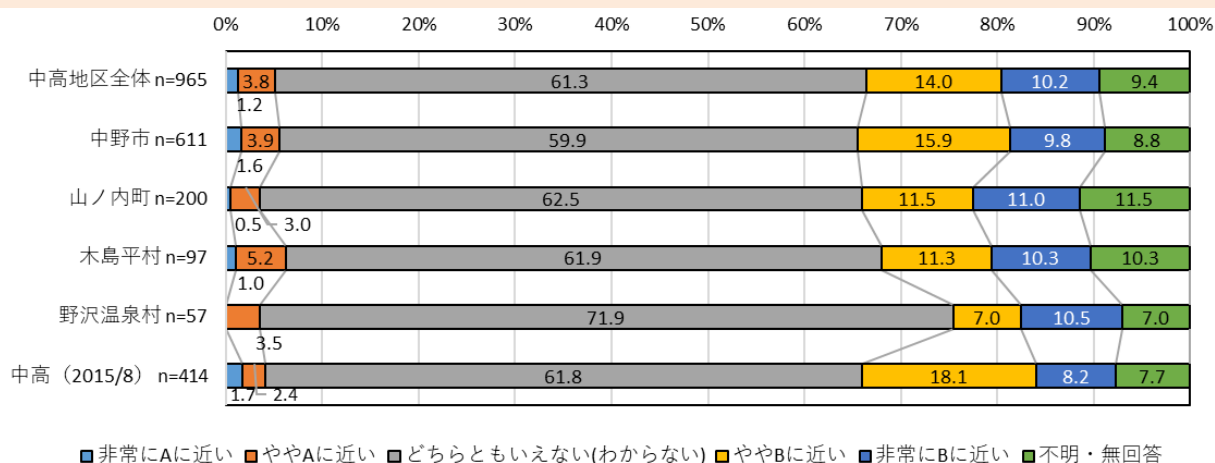
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない(わからない)」が64.9% (37人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が15.8% (9人)、「非常にBに近い」が12.3% (7人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が0.0% (0人)、“Bに近い”が28.1% (16人) となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が2割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も2割以上で“Bに近い”が高くなっており、“Bに近い”が最も高いのは『野沢温泉村』で28.1% (16人)、次いで『山ノ内町』で27.0% (54人)、『木島平村』で22.7% (22人) の順となっている。一方、いずれの市町村も“Aに近い”が1割にも満たない。

問 20 (2) やさしい—こわい



【中高地区全体】

- ・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ (A. やさしい—B. こわい) についてみると、「どちらともいえない(わからない)」が61.3% (592人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が14.0% (135人)、「非常にBに近い」が10.2% (98人) となっている。
- ・“Aに近い” (「非常にAに近い」+「ややAに近い」) が5.1% (49人)、“Bに近い” (「非常にBに近い」+「ややBに近い」) が24.1% (233人) となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が2割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が1.0ポイント (5.1-4.1) 高くなっており、一方“Bに近い”が2.2ポイント (24.1-26.3) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない(わからない)」が59.9% (366人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が15.9% (97人)、「非常にBに近い」が9.8% (60人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が5.6% (34人)、“Bに近い”が25.7% (157人) となっており、“Aに近い”

が1割にも満たず、“Bに近い”が2割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない(わからない)」が62.5% (125人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が11.5% (23人)、「非常にBに近い」が11.0% (22人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が3.5% (7人)、“Bに近い”が22.5% (45人)となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が2割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない(わからない)」が61.9% (60人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が11.3% (11人)、「非常にBに近い」が10.3% (10人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が6.2% (6人)、“Bに近い”が21.6% (21人)となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が2割以上となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない(わからない)」が71.9% (41人)で最も高く、次いで「非常にBに近い」が10.5% (6人)、「ややBに近い」が7.0% (4人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が3.5% (2人)、“Bに近い”が17.5% (10人)となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が1割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も1割以上で“Bに近い”が高くなっており、“Bに近い”が最も高いのは『中野市』で25.7% (157人)、次いで『山ノ内町』で22.5% (45人)、『木島平村』で21.6% (21人)の順となっている。一方、いずれの市町村も“Aに近い”が1割にも満たない。

問 20 (3) 清潔な—不潔な



【中高地区全体】

- ・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A. 清潔な—B. 不潔な）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が68.6%（662人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が11.5%（111人）、「非常にBに近い」が5.7%（55人）となっている。
- ・“Aに近い”（「非常にAに近い」+「ややAに近い」）が4.1%（40人），“Bに近い”（「非常にBに近い」+「ややBに近い」）が17.2%（166人）となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が1割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が1.5ポイント（4.1-2.6）高くなっており、一方“Bに近い”が3.1ポイント（17.2-20.3）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が68.2%（417人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が12.9%（79人）、「非常にBに近い」が5.1%（31人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が4.3%（26人），“Bに近い”が18.0%（110人）となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が1割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が69.0%（138人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が9.0%（18人）、「非常にBに近い」が8.0%（16人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が2.0%（4人），“Bに近い”が17.0%（34人）となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が1割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が72.2%（70人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が6.2%（6人）、「ややAに近い」が5.2%（5人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が7.2%（7人），“Bに近い”が10.3%（10人）となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が約1割となっている。

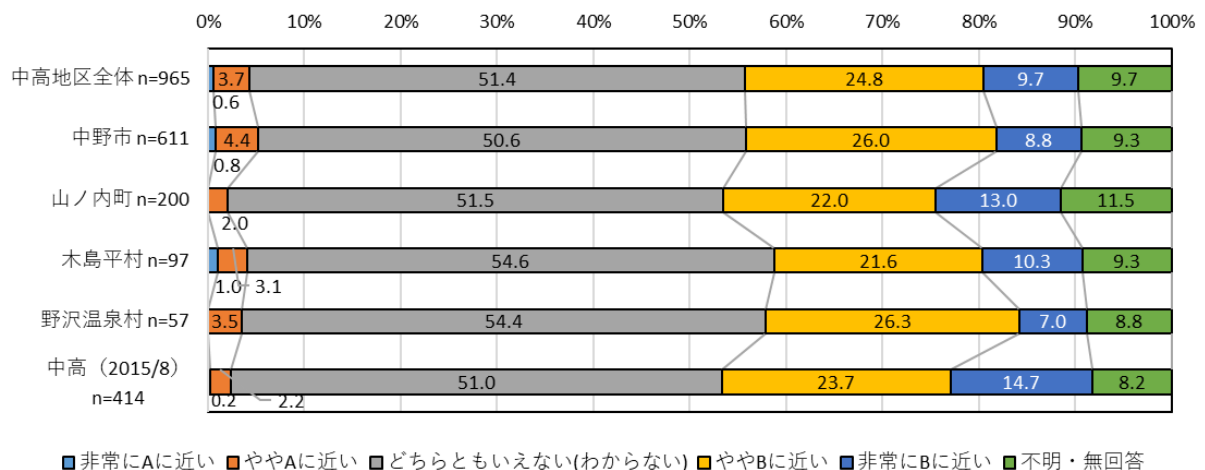
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が64.9%（37人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が14.0%（8人）、「非常にBに近い」が7.0%（4人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が5.3%（3人），“Bに近い”が21.1%（12人）となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が2割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も1割以上で“Bに近い”が高くなっており、“Bに近い”が最も高いのは『野沢温泉村』で21.1%（12人）、次いで『中野市』で18.0%（110人）、『山ノ内町』で17.0%（34人）の順となっている。一方、いずれの市町村も“Aに近い”が1割にも満たない。

問 20 (4) 豊か—貧しい



【中高地区全体】

- ・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ (A. 豊か—B. 貧しい) についてみると、「どちらともいえない (わからない)」が 51.4% (496 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 24.8% (239 人)、「非常にBに近い」が 9.7% (94 人) となっている。
- ・“Aに近い” (「非常にAに近い」+「ややAに近い」) が 4.4% (42 人)、“Bに近い” (「非常にBに近い」+「ややBに近い」) が 34.5% (333 人) となっており、“Aに近い” が 1 割にも満たず、“Bに近い” が 3 割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い” が 2.0 ポイント (4.4-2.4) 高くなっており、一方“Bに近い” が 3.9 ポイント (34.5-38.4) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない (わからない)」が 50.6% (309 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 26.0% (159 人)、「非常にBに近い」が 8.8% (54 人) の順となっている。
- ・“Aに近い” が 5.2% (32 人)、“Bに近い” が 34.9% (213 人) となっており、“Aに近い” が 1 割にも満たず、“Bに近い” が 3 割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない (わからない)」が 51.5% (103 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 22.0% (44 人)、「非常にBに近い」が 13.0% (26 人) の順となっている。
- ・“Aに近い” が 2.0% (4 人)、“Bに近い” が 35.0% (70 人) となっており、“Aに近い” が 1 割にも満たず、“Bに近い” が 3 割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない (わからない)」が 54.6% (53 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 21.6% (21 人)、「非常にBに近い」が 10.3% (10 人) の順となっている。
- ・“Aに近い” が 4.1% (4 人)、“Bに近い” が 32.0% (31 人) となっており、“Aに近い”

が1割にも満たず、「Bに近い」が3割以上となっている。

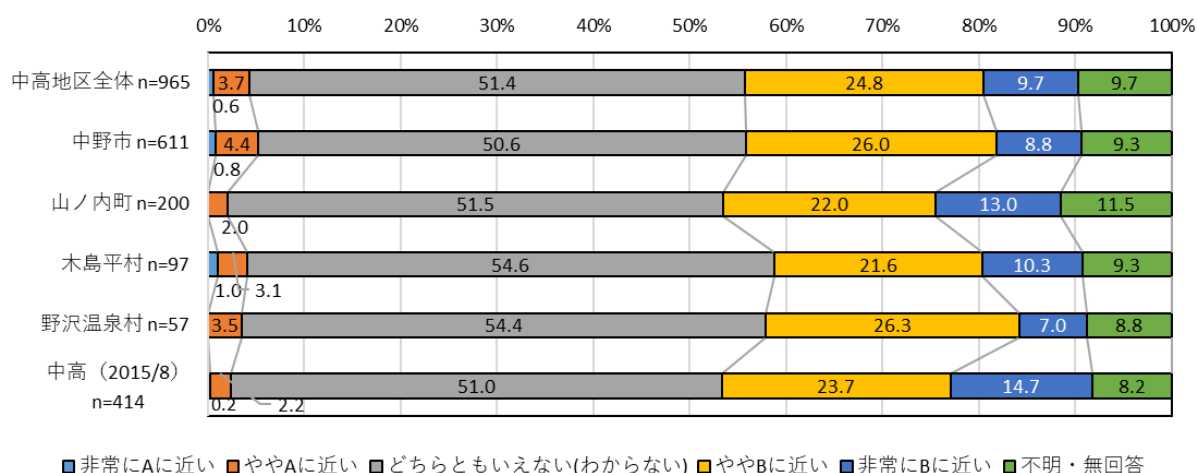
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらともいえない(わからない)」が54.4% (31人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が26.3% (15人)、「非常にBに近い」が7.0% (4人) の順となっている。
- “Aに近い”が3.5% (2人)、“Bに近い”が33.3% (19人) となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が3割以上となっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も3割以上で“Bに近い”が高くなっており、“Bに近い”が最も高いのは『山ノ内町』で35.0% (70人)、次いで『中野市』で34.9% (213人)、『野沢温泉村』で33.3% (19人) の順となっている。一方、いずれの市町村も“Aに近い”が1割にも満たない。

問 20 (5) 働き者—なまけもの



【中高地区全体】

- 「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ (A. 働き者—B. なまけもの) についてみると、「どちらともいえない(わからない)」が71.5% (690人) で最も高く、次いで「ややAに近い」が10.9% (105人)、「非常にAに近い」が4.1% (40人) となっている。
- “Aに近い” (「非常にAに近い」+「ややAに近い」) が15.0% (145人)、“Bに近い” (「非常にBに近い」+「ややBに近い」) が4.4% (42人) となっており、“Aに近い”が1割以上、“Bに近い”が1割にも満たない。
- 前回調査と比較すると、“Aに近い”が1.0ポイント (15.0-14.0) 高くなっており、一方“Bに近い”も0.1ポイント (4.4-4.3) 高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない(わからない)」が70.5% (431人) で最も高く、次いで「ややAに近い」が12.4% (76人)、「非常にAに近い」が4.1% (25人) の順となっている。

- ・“Aに近い”が16.5%（101人）、“Bに近い”が4.1%（25人）となっており、“Aに近い”が1割以上、“Bに近い”が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が75.5%（151人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が5.5%（11人）、「非常にAに近い」「ややBに近い」が同率で3.0%（6人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が8.5%（17人）、“Bに近い”が5.0%（10人）となっており、いずれも1割にも満たない。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が66.0%（64人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が16.5%（16人）、「非常にAに近い」が7.2%（7人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が23.7%（23人）、“Bに近い”が3.1%（3人）となっており、“Aに近い”が2割以上、“Bに近い”が1割にも満たない。

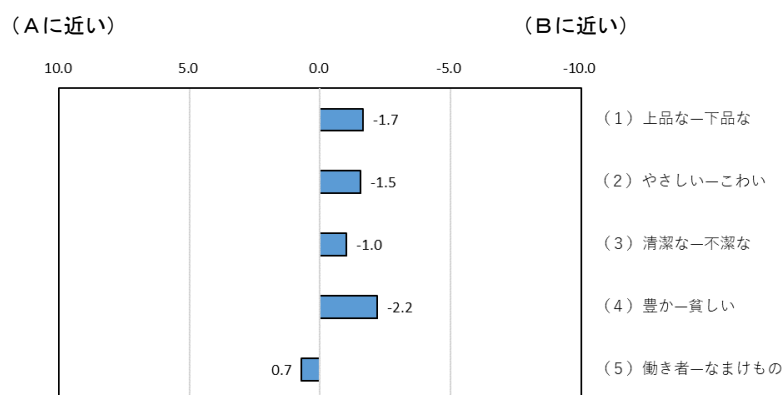
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が77.2%（44人）で最も高く、次いで「非常にAに近い」「ややAに近い」「ややBに近い」「非常にBに近い」が同率で3.5%（2人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が7.0%（4人）、“Bに近い”が7.0%（4人）となっており、いずれも1割に満たない。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で“Aに近い”、『野沢温泉村』で“Aに近い”“Bに近い”が同率で高くなっており、“Aに近い”が最も高いのは『木島平村』で23.7%（23人）、次いで『中野市』で16.5%（101人）、『山ノ内町』で8.5%（17人）の順となっている。一方、いずれの市町村も“Bに近い”が1割にも満たない。

【設問間比較】



- ・“Aに近い”について「働き者—なまけもの」で0.7となっている。一方、“Bに近い”について「豊か—貧しい」でマイナス2.2と最も高く、次いで「上品な—下品な」でマイナス

ス 1.7、「やさしい—こわい」でマイナス 1.5 の順となっている。

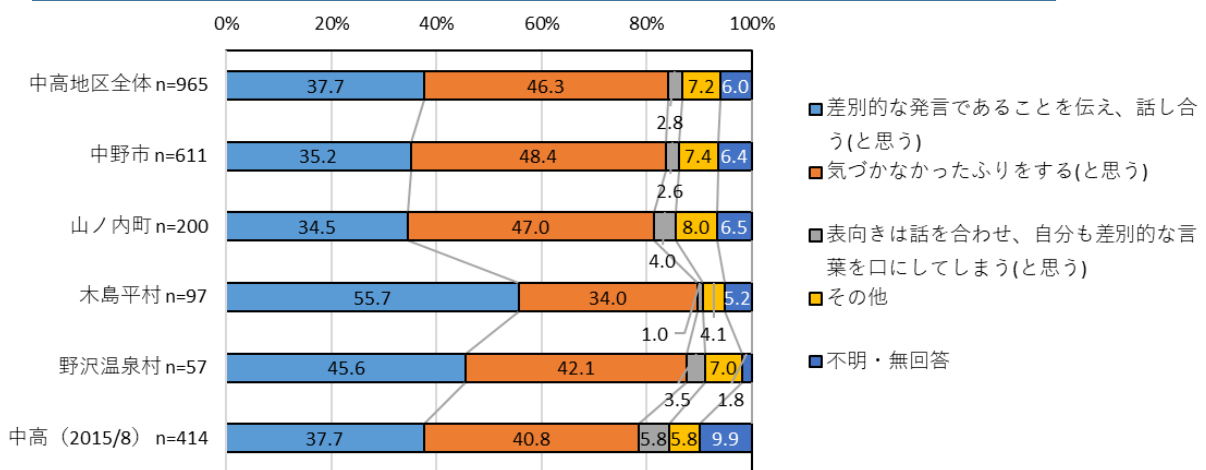
〈比較の方法〉

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・非常にAに近い…… 10点
- ・非常にBに近い…… -10点
- ・ややAに近い…… 5点
- ・ややBに近い…… -5点
- ・どちらともいえない（わからない）…… 0点

問 21 学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか。（○は1つ）

- 1 差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)
- 2 気づかなかったふりをする(と思う)
- 3 表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)
- 4 その他(具体的に:)



【中高地区全体】

- ・「同和地区」の人に対する差別的な発言があったときの対応についてみると、「気づかなかったふりをする(と思う)」が46.3% (447人)、次いで「差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)」が37.7% (364人)、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)」が2.8% (27人)の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)」が前回と同率(37.7-37.7)となっており、一方「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(思う)」が3.0ポイント(2.8-5.8)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「気づかなかったふりをする(思う)」が48.4% (296人)、次いで「差別的な発言であることを伝え、話し合う(思う)」が35.2% (215人)、「表向きは話を合

わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が2.6%（16人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「気づかなかったふりをする（と思う）」が47.0%（94人）、次いで「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が34.5%（69人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が4.0%（8人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が55.7%（54人）、次いで「気づかなかったふりをする（と思う）」が34.0%（33人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が1.0%（1人）の順となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が45.6%（26人）、次いで「気づかなかったふりをする（と思う）」が42.1%（24人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が3.5%（2人）の順となっている。

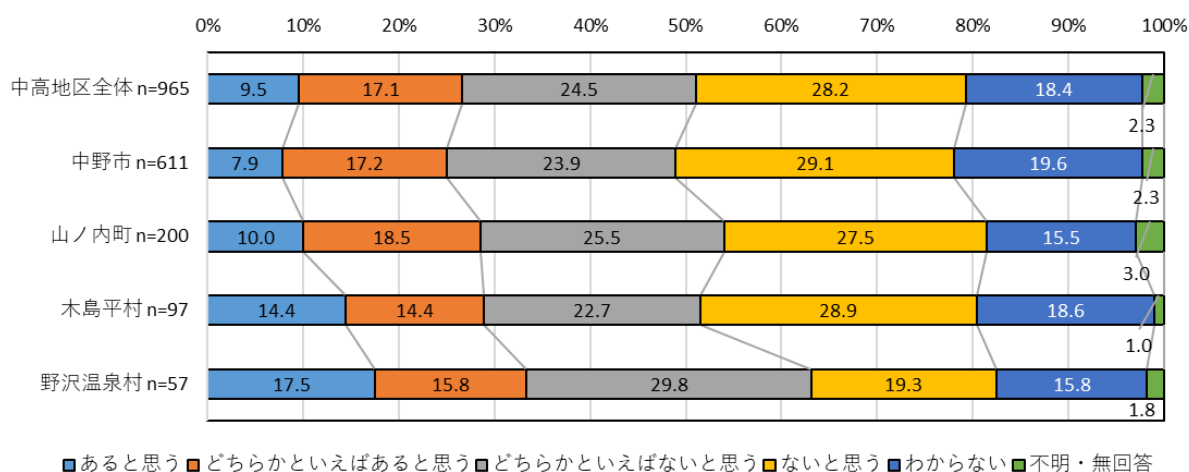
【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』が「気づかなかったふりをする（と思う）」、『木島平村』『野沢温泉村』が「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が高くなっており、「気づかなかったふりをする（と思う）」が最も高いのは『中野市』で48.4%（296人）、次いで『山ノ内町』で47.0%（94人）、『野沢温泉村』で42.1%（24人）の順となっている。一方、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」がいずれの市町村も1割にも満たない。

問 22 あなたは現在、部落差別（同和問題）に関して、次にみられるような人権侵害や問題などがあると思いますか。次の（１）～（６）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 あると思う	2 どちらかといえ ばあると思う	3 どちらかといえ ばないと思う	4 ないと思う	5 わからない
(1) 就職のときや職場で不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(2) 地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること	1	2	3	4	5
(3) 身元調査をされること	1	2	3	4	5
(4) 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること	1	2	3	4	5
(5) インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること	1	2	3	4	5
(6) インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	1	2	3	4	5

(1) 就職のときや職場で不利な扱いを受けること



【中高地区全体】

・就職のときや職場で不利な扱いを受けることについてみると、「ないと思う」が28.2% (272人) で最も高く、次いで「どちらかといえ
ばないと思う」が24.5% (236人)、「わからな

い」が18.4%（178人）の順となっている。

- ・“あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が26.6%（257人）、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が52.6%（508人）となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ26.0ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「ないと思う」が29.1%（178人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が23.9%（146人）、「わからない」が19.6%（120人）の順となっている。
- ・“あると思う”が25.0%（153人）、“ないと思う”が53.0%（324人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ28.0ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「ないと思う」が27.5%（55人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が25.5%（51人）、「どちらかといえばあると思う」が18.5%（37人）の順となっている。
- ・“あると思う”が28.5%（57人）、“ないと思う”が53.0%（106人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ24.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「ないと思う」が28.9%（28人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が22.7%（22人）、「わからない」が18.6%（18人）の順となっている。
- ・“あると思う”が28.9%（28人）、“ないと思う”が51.5%（50人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ22.6ポイント高くなっている。

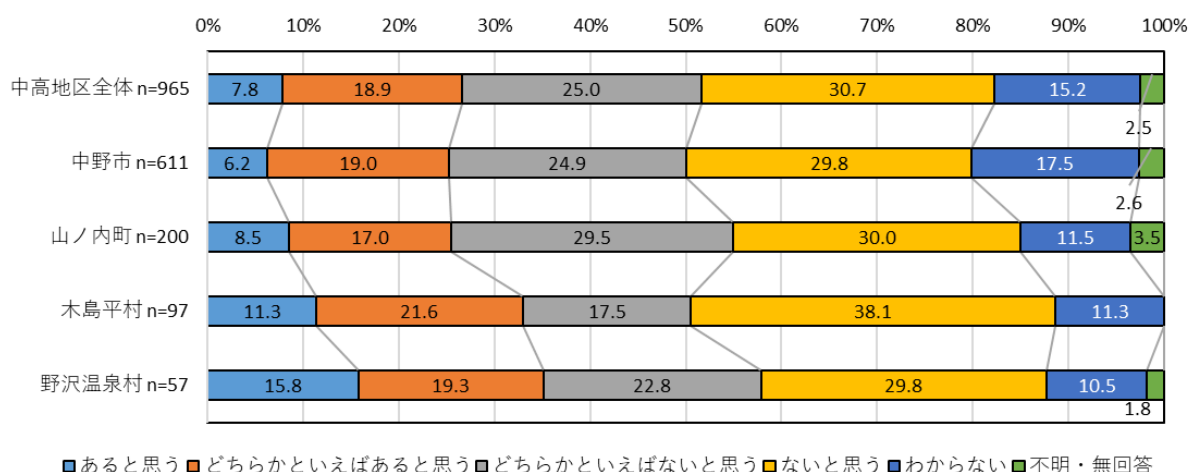
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばないと思う」が29.8%（17人）で最も高く、次いで「ないと思う」が19.3%（11人）、「あると思う」が17.5%（10人）の順となっている。
- ・“あると思う”が33.3%（19人）、“ないと思う”が49.1%（28人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ15.8ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“ないと思う”が高くなっており、“ないと思う”が最も高いのは『中野市』『山ノ内町』が同率で53.0%（324人）（106人）、次いで『木島平村』で51.5%（50人）の順となっている。一方、“あると思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で33.3%（19人）、次いで『木島平村』で28.9%（28人）、『山ノ内町』で28.5%（57人）の順となっている。

(2) 地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること



【中高地区全体】

- ・地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けることについてみると、「ないと思う」が30.7% (296人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が25.0% (241人)、「どちらかといえばあると思う」が18.9% (182人) の順となっている。
- ・“あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が26.6% (257人)、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が55.6% (537人) となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ29.0ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「ないと思う」が29.8% (182人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が24.9% (152人)、「どちらかといえばあると思う」が19.0% (116人) の順となっている。
- ・“あると思う”が25.2% (154人)、“ないと思う”が54.7% (334人) と“ないと思う”が“あると思う”に比べ29.5ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「ないと思う」が30.0% (60人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が29.5% (59人)、「どちらかといえばあると思う」が17.0% (34人) の順となっている。
- ・“あると思う”が25.5% (51人)、“ないと思う”が59.5% (119人) と“ないと思う”が“あると思う”に比べ34.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「ないと思う」が38.1% (37人) で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が21.6% (21人)、「どちらかといえばないと思う」が17.5% (17人) の順となっている。
- ・“あると思う”が33.0% (32人)、“ないと思う”が55.7% (54人) と“ないと思う”が“あると思う”に比べ22.7ポイント高くなっている。

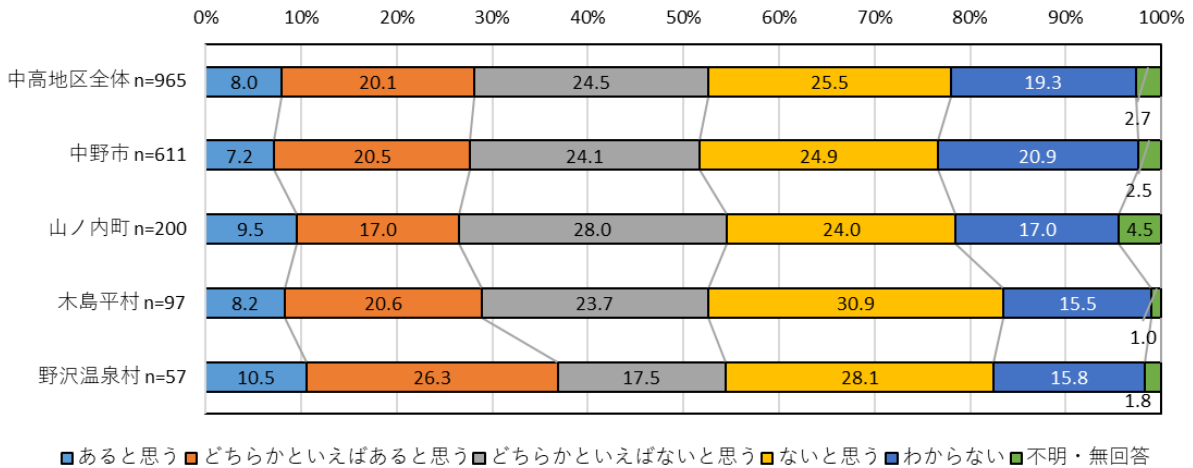
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「ないと思う」が 29.8% (17 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 22.8% (13 人)、「どちらかといえばあると思う」が 19.3% (11 人) の順となっている。
- ・“あると思う”が 35.1% (20 人)、“ないと思う”が 52.6% (30 人) と “ないと思う” が “あると思う” に比べ 17.5 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “ないと思う” が高くなっており、“ないと思う” が最も高いのは『山ノ内町』で 59.5% (119 人)、次いで『木島平村』で 55.7% (54 人)、『中野市』で 54.7% (334 人) の順となっている。一方、“あると思う” が最も高いのは『野沢温泉村』で 35.1% (20 人)、次いで『木島平村』で 33.0% (32 人)、『山ノ内町』で 25.5% (51 人) の順となっている。

(3) 身元調査をされること



【中高地区全体】

- ・身元調査をされることについてみると、「ないと思う」が 25.5% (246 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 24.5% (236 人)、「どちらかといえばあると思う」が 20.1% (194 人) の順となっている。
- ・“あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が 28.1% (271 人)、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が 49.9% (482 人) となっており、“ないと思う” が “あると思う” に比べ 21.8 ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「ないと思う」が 24.9% (152 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 24.1% (147 人)、「わからない」が 20.9% (128 人) の順となっている。
- ・“あると思う”が 27.7% (169 人)、“ないと思う”が 48.9% (299 人) と “ないと思う” が “あると思う” に比べ 21.2 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらかといえばないと思う」が 28.0% (56 人) で最も高く、次いで「ないと思う」が 24.0% (48 人)、「どちらかといえばあると思う」「わからない」が同率で 17.0% (34 人) の順となっている。
- ・“あると思う”が 26.5% (53 人)、“ないと思う”が 52.0% (104 人) と “ないと思う”が “あると思う” に比べ 25.5 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「ないと思う」が 30.9% (30 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 23.7% (23 人)、「どちらかといえばあると思う」が 20.6% (20 人) の順となっている。
- ・“あると思う”が 28.9% (28 人)、“ないと思う”が 54.6% (53 人) と “ないと思う”が “あると思う” に比べ 25.7 ポイント高くなっている。

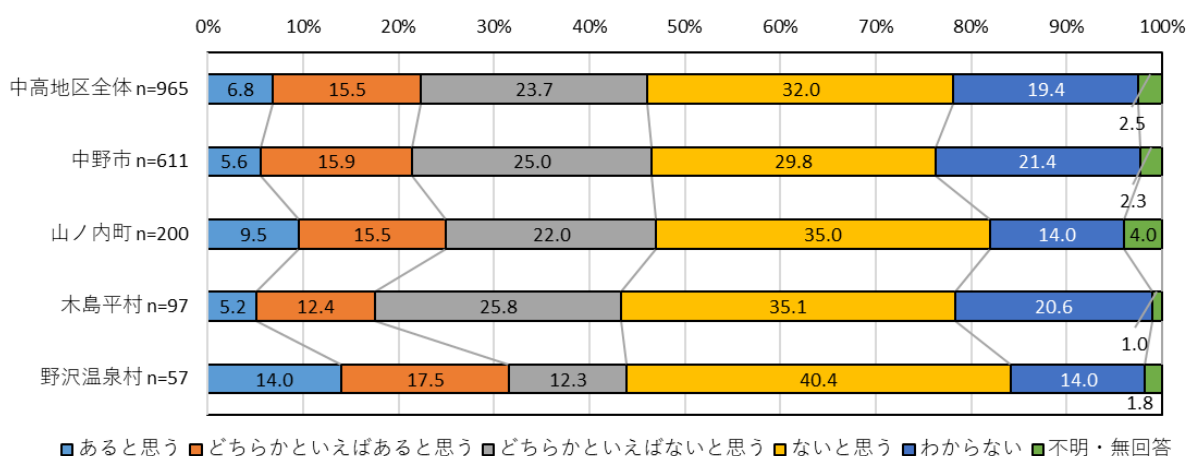
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「ないと思う」が 28.1% (16 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が 26.3% (15 人)、「どちらかといえばないと思う」が 17.5% (10 人) の順となっている。
- ・“あると思う”が 36.8% (21 人)、“ないと思う”が 45.6% (26 人) と “ないと思う”が “あると思う” に比べ 8.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も “ないと思う” が高くなっており、“ないと思う” が最も高いのは『木島平村』で 54.6% (53 人)、次いで『山ノ内町』で 52.0% (104 人)、『中野市』で 48.9% (299 人) の順となっている。一方、“あると思う” が最も高いのは『野沢温泉村』で 36.8% (21 人)、次いで『木島平村』で 28.9% (28 人)、『中野市』で 27.7% (169 人) の順となっている。

(4) 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること



【中高地区全体】

- ・ 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせることについてみると、「ないと思う」が32.0% (309人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が23.7% (229人)、「わからない」が19.4% (187人) の順となっている。
- ・ “あると思う” (「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」) が22.4% (216人)、“ないと思う” (「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」) が55.8% (538人) となっており、“ないと思う” が“あると思う” に比べ33.4ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・ 中野市においては、「ないと思う」が29.8% (182人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が25.0% (153人)、「わからない」が21.4% (131人) の順となっている。
- ・ “あると思う” が21.4% (131人)、“ないと思う” が54.8% (335人) と“ないと思う” が“あると思う” に比べ33.4ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・ 山ノ内町においては、「ないと思う」が35.0% (70人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が22.0% (44人)、「どちらかといえばあると思う」が15.5% (31人) の順となっている。
- ・ “あると思う” が25.0% (50人)、“ないと思う” が57.0% (114人) と“ないと思う” が“あると思う” に比べ32.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・ 木島平村においては、「ないと思う」が35.1% (34人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が25.8% (25人)、「わからない」が20.6% (20人) の順となっている。
- ・ “あると思う” が17.5% (17人)、“ないと思う” が60.8% (59人) と“ないと思う” が“あると思う” に比べ43.3ポイント高くなっている。

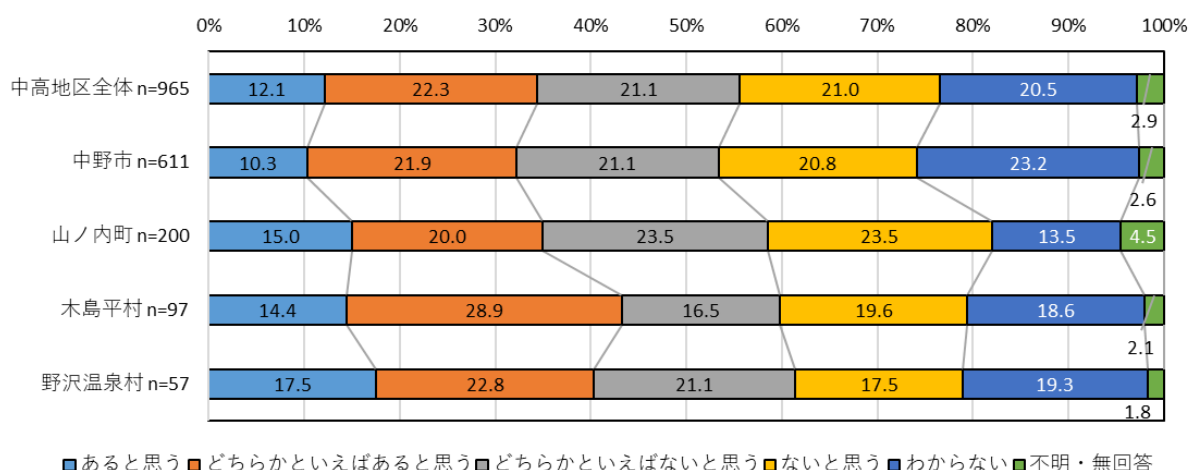
【野沢温泉村】

- ・ 野沢温泉村においては、「ないと思う」が40.4% (23人) で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が17.5% (10人)、「あると思う」「わからない」が同率で14.0% (8人) の順となっている。
- ・ “あると思う” が31.6% (18人)、“ないと思う” が52.6% (30人) と“ないと思う” が“あると思う” に比べ21.0ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・ 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“ないと思う”が高くなっており、“ないと思う”が最も高いのは『木島平村』で60.8% (59人)、次いで『山ノ内町』で57.0% (114人)、『中野市』で54.8% (335人) の順となっている。一方、“あると思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で31.6% (18人)、次いで『山ノ内町』で25.0% (50人)、『中野市』で21.4% (131人) の順となっている。

(5) インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること



【中高地区全体】

- インターネット上に誹謗中傷等が掲載されることについてみると、「どちらかといえばあると思う」が22.3%（215人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が21.1%（204人）、「ないと思う」が21.0%（203人）の順となっている。
- “あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が34.4%（332人），“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が42.2%（407人）となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ7.8ポイント高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらかといえばあると思う」が21.9%（134人）で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が21.1%（129人）、「ないと思う」が20.8%（127人）の順となっている。
- “あると思う”が32.2%（197人），“ないと思う”が41.9%（256人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ9.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらかといえばないと思う」「ないと思う」が同率で23.5%（47人）で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が20.0%（40人）の順となっている。
- “あると思う”が35.0%（70人），“ないと思う”47.0%（94人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ12.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらかといえばあると思う」が28.9%（28人）で最も高く、次いで「ないと思う」が19.6%（19人）、「わからない」が18.6%（18人）の順となっている。
- “あると思う”が43.3%（42人），“ないと思う”が36.1%（35人）と“あると思う”が“ないと思う”に比べ7.2ポイント高くなっている。

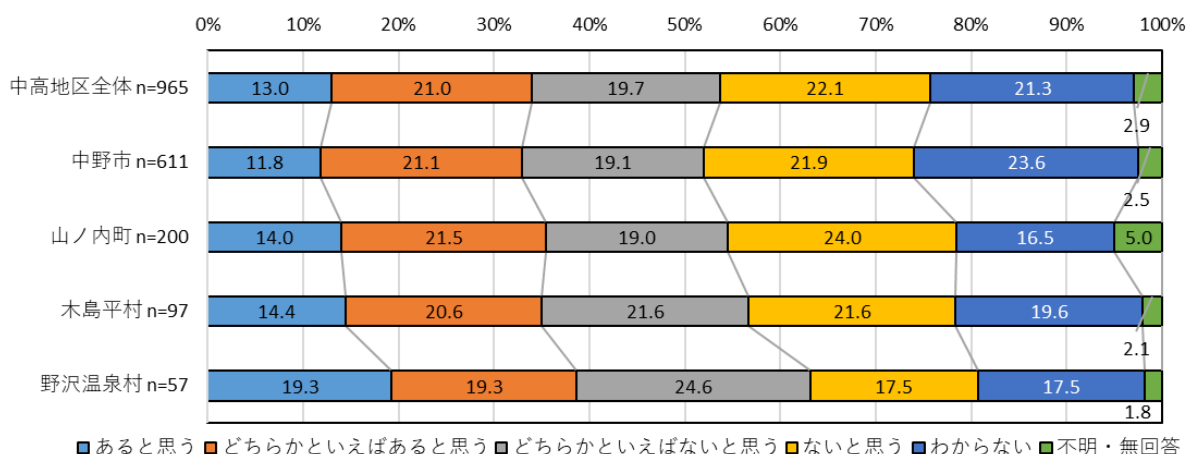
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばあると思う」が 22.8% (13 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばないと思う」が 21.1% (12 人)、「わからない」が 19.3% (11 人) の順となっている。
- ・“あると思う”が 40.4% (23 人)、“ないと思う”が 38.6% (22 人) と“あると思う”が“ないと思う”に比べ 1.8 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』が“ないと思う”、『木島平村』『野沢温泉村』が“あると思う”が高くなっており、“あると思う”が最も高いのは『木島平村』で 43.3% (42 人)、次いで『野沢温泉村』で 40.4% (23 人)、『山ノ内町』で 35.0% (70 人) の順となっている。一方、“ないと思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 47.0% (94 人)、次いで『中野市』で 41.9% (256 人)、『野沢温泉村』で 38.6% (22 人) の順となっている。

(6) インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること



【中高地区全体】

- ・インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されることについてみると、「ないと思う」が 22.1% (213 人) で最も高く、次いで「わからない」が 21.3% (206 人)、「どちらかといえばあると思う」が 21.0% (203 人) の順となっている。
- ・“あると思う”（「あると思う」+「どちらかといえばあると思う」）が 34.0% (328 人)、“ないと思う”（「どちらかといえばないと思う」+「ないと思う」）が 41.8% (403 人) となっており、“ないと思う”が“あると思う”に比べ 7.8 ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「わからない」が 23.6% (144 人) で最も高く、次いで「ないと思う」が 21.9% (134 人)、「どちらかといえばあると思う」が 21.1% (129 人) の順となっている。

- ・“あると思う”が32.9%（201人）、“ないと思う”が41.1%（251人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ8.2ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「ないと思う」が24.0%（48人）で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が21.5%（43人）、「どちらかといえばないと思う」が19.0%（38人）の順となっている。
- ・“あると思う”が35.5%（71人）、“ないと思う”が43.0%（86人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ7.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえばないと思う」「ないと思う」が同率で21.6%（21人）で最も高く、次いで「どちらかといえばあると思う」が20.6%（20人）の順となっている。
- ・“あると思う”が35.1%（34人）、“ないと思う”が43.3%（42人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ8.2ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

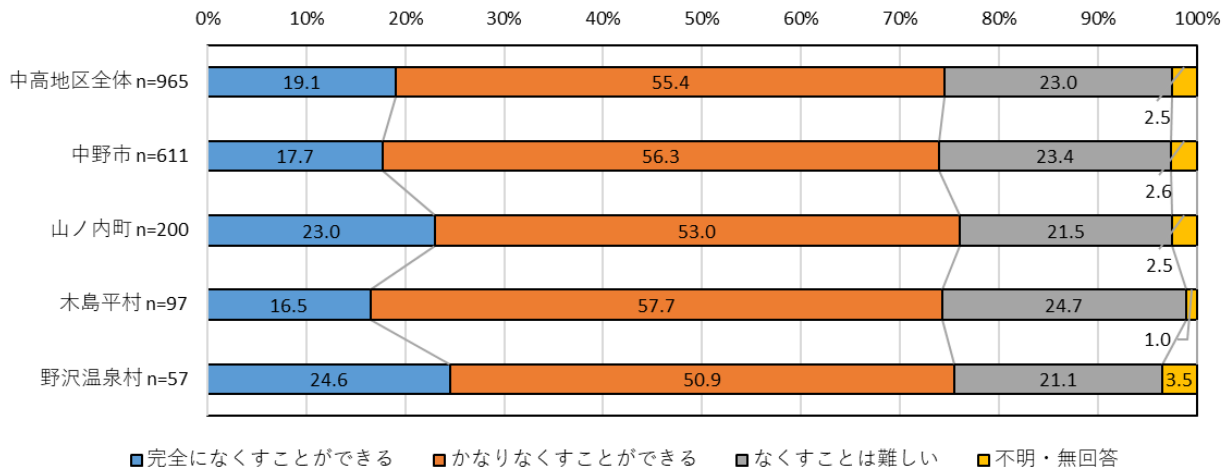
- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばないと思う」が24.6%（14人）で最も高く、次いで「あると思う」「どちらかといえばあると思う」が同率で19.3%（11人）の順となっている。
- ・“あると思う”が38.6%（22人）、“ないと思う”が42.1%（24人）と“ないと思う”が“あると思う”に比べ3.5ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“ないと思う”が高くなっており、“ないと思う”が最も高いのは『木島平村』で43.3%（42人）、次いで『山ノ内町』で43.0%（86人）、『野沢温泉村』で42.1%（24人）の順となっている。一方、“あると思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で38.6%（22人）、次いで『山ノ内町』で35.5%（71人）、『木島平村』で35.1%（34人）の順となっている。

問 23 部落差別は将来なくすことができますか。（○は1つ）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 完全になくすことができる2 かなりなくすことができる3 なくすことは難しい |
|---|



【中高地区全体】

- 部落差別は将来なくすことができるかについてみると、「かなりなくすことができる」が55.4%（535人）で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が23.0%（222人）、「完全になくすことができる」が19.1%（184人）の順となっている。
- “なくすことができる”（「完全になくすことができる」+「かなりなくすことができる」）が74.5%（719人）となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ約3.2倍で、その差は51.5ポイントとなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「かなりなくすことができる」が56.3%（344人）で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が23.4%（143人）、「完全になくすことができる」が17.7%（108人）の順となっている。
- “なくすことができる”が74.0%（452人）となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ約3.2倍で、その差は50.6ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「かなりなくすことができる」が53.0%（106人）で最も高く、次いで「完全になくすことができる」が23.0%（46人）、「なくすことは難しい」が21.5%（43人）の順となっている。
- “なくすことができる”が76.0%（152人）となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ約3.5倍で、その差は54.5ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「かなりなくすことができる」が57.7%（56人）で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が24.7%（24人）、「完全になくすことができる」が16.5%（16人）の順となっている。
- “なくすことができる”が74.2%（72人）となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ3倍で、その差は49.5ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「かなりなくすことができる」が50.9%（29人）で最も高く、次

いで「完全になくすことができる」が 24.6% (14 人)、「なくすことは難しい」が 21.1% (12 人) の順となっている。

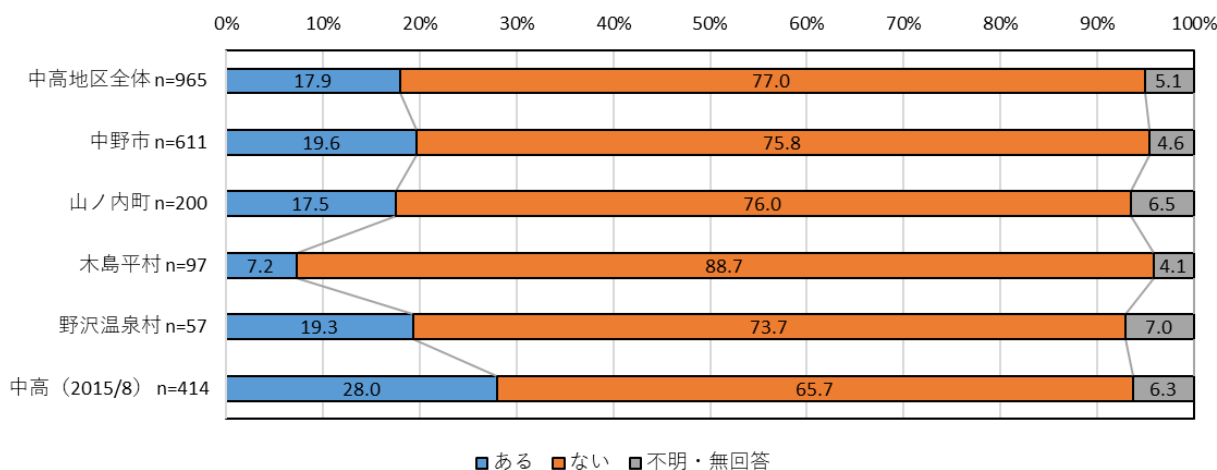
- ・“なくすことができる”が 75.5% (43 人) となっており、“なくすことができる”が「なくすことは難しい」に比べ約 3.6 倍で、その差は 54.4 ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“なくすことができる”が高くなっており、“なくすことができる”が最も高いのは『山ノ内町』で 76.0% (152 人)、次いで『野沢温泉村』で 75.5% (43 人)、『木島平村』で 74.2% (72 人) の順となっている。一方、「なくすことは難しい」が最も高いのは『木島平村』で 24.7% (24 人)、次いで『中野市』で 23.4% (143 人)、『山ノ内町』で 21.5% (43 人) の順となっている。

問 24 あなたは、「同和地区はこわい」というような話を聞いたことがありますか。(○は 1 つ)

1 ある → [問24-1、24-2、24-3](#)へお進みください 2 ない → [問25](#)へお進みください



【中高地区全体】

- ・「同和地区はこわい」という話を聞いたことの有無についてみると、「ない」が 77.0% (743 人)、「ある」が 17.9% (173 人) となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ない」が 11.3 ポイント (77.0-65.7) 高くなっており、一方「ある」が 10.1 ポイント (17.9-28.0) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「ない」が 75.8% (463 人)、「ある」が 19.6% (120 人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約 3.9 倍で、その差は 56.2 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「ない」が 76.0% (152 人)、「ある」が 17.5% (35 人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約 4.3 倍で、その差は 58.5 ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「ない」が88.7% (86人)、「ある」が7.2% (7人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約12.3倍で、その差81.5はポイントとなっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「ない」が73.7% (42人)、「ある」が19.3% (11人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約3.8倍で、その差は54.4ポイントとなっている。

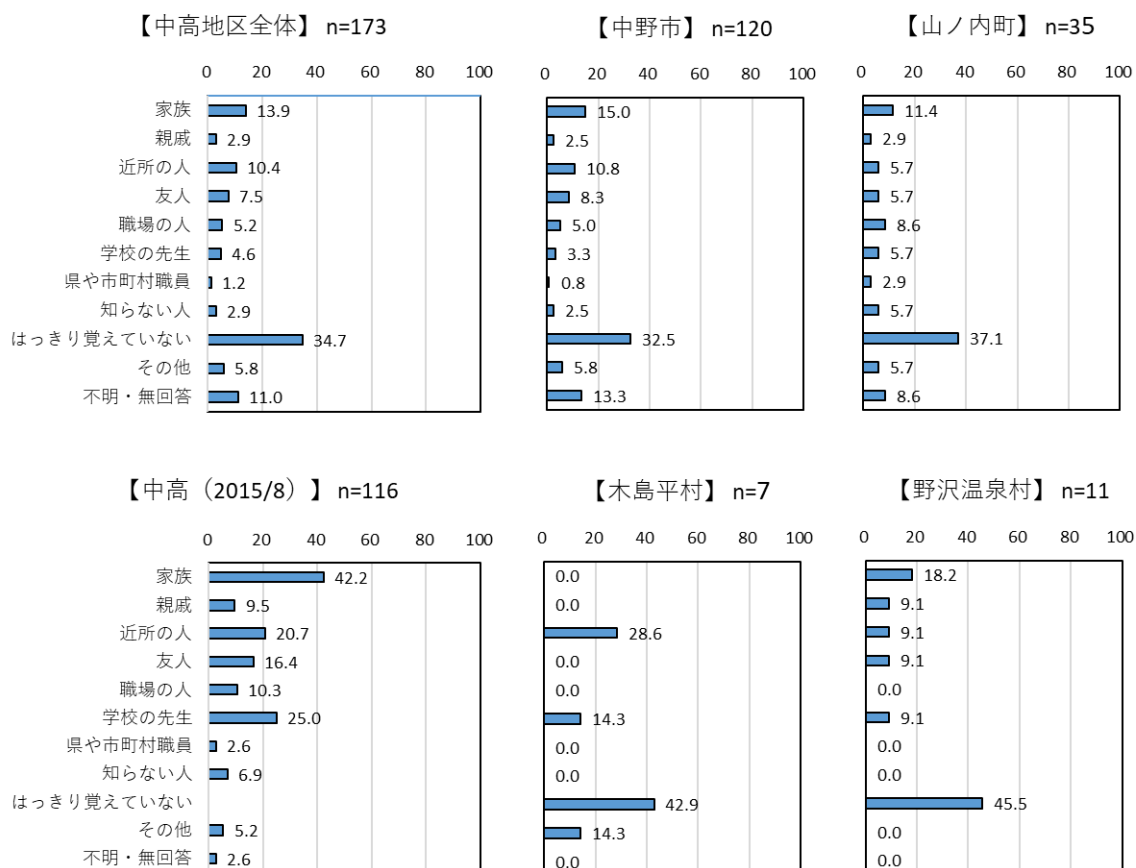
【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「ない」が高くなっており、「ない」が最も高いのは『木島平村』で88.7% (86人)、次いで『山ノ内町』で76.0% (152人)、『中野市』で75.8% (463人) の順となっている。一方、「ある」が最も高いのは『中野市』で19.6% (120人)、次いで『野沢温泉村』で19.3% (11人)、『山ノ内町』で17.5% (35人) の順となっている。

問24で「1 ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問24-1 怖いという話を誰から聞きましたか。(○は1つ)

1 家族	6 学校の先生
2 親戚	7 県や市町村の職員
3 近所の人	8 知らない人
4 友人	9 はっきり覚えていない
5 職場の人	10 その他(具体的に:)



【中高地区全体】

・こわいという話を誰から聞いたかについてみると、「はっきり覚えていない」が34.7% (60人)、次いで「家族」が13.9% (24人)、「近所の人」が10.4% (18人)の順となっている。

【中野市】

・中野市においては、「はっきり覚えていない」が32.5% (39人)、次いで「家族」が15.0% (18人)、「近所の人」が10.8% (13人)の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「はっきり覚えていない」が37.1% (13人)、次いで「家族」が11.4% (4人)、「職場の人」が8.6% (3人)の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「はっきり覚えていない」が42.9% (3人)、次いで「近所の人」が28.6% (2人)、「学校の先生」が14.3% (1人)の順となっている。

【野沢温泉村】

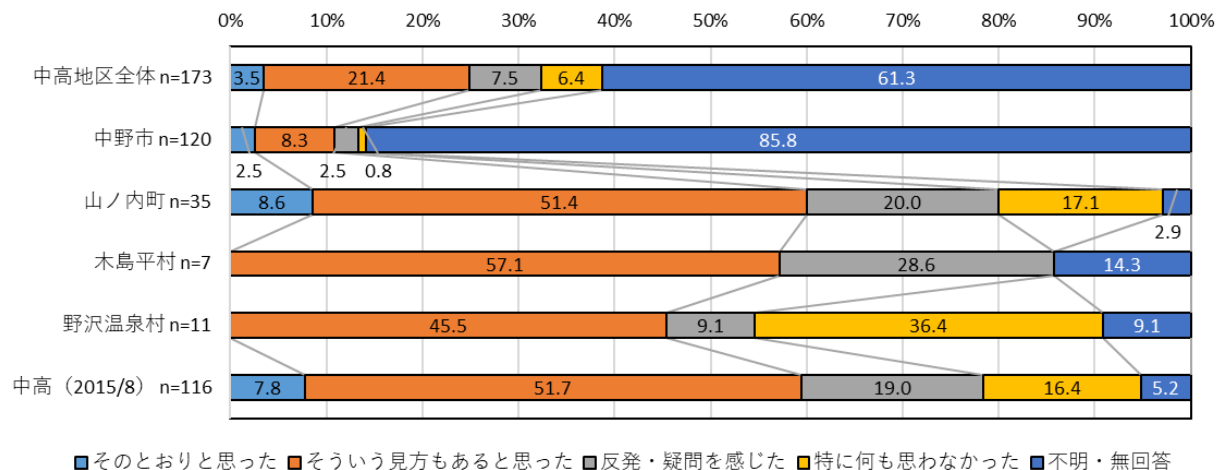
・野沢温泉村においては、「はっきり覚えていない」が45.5% (5人)、次いで「家族」が18.2% (2人)、「親戚」「近所の人」「友人」「学校の先生」が同率で9.1% (1人)の順となっている。

【市町村比較】

・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「はっきり覚えていない」が高くなっており、「はっきり覚えていない」が最も高いのは『野沢温泉村』で45.5% (5人)、次いで『木島平村』で42.9% (3人)、『山ノ内町』で37.1% (13人)の順となっている。また、「家族」が最も高いのは『野沢温泉村』で18.2% (2人)、次いで『中野市』で15.0% (18人)、『山ノ内町』で11.4% (4人)、「近所の人」が最も高いのは『木島平村』で28.6% (2人)、次いで『中野市』で10.8% (13人)、『野沢温泉村』で9.1% (1人)の順となっている。

問 24-2 その話を聞いたときどう感じましたか。(○は1つ)

- 1 そのとおりだと思った
- 2 そういふ見方もあると思った
- 3 反発・疑問を感じた
- 4 特に何も思わなかった



【中高地区全体】

- ・話を聞いたときの感想についてみると、「そういう見方もあると思った」が21.4% (37人) で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が7.5% (13人)、「特に何も思わなかった」が6.4% (11人) の順となっている。
- ・“そのとおりである”（「そのとおりだと思った」+「そういう見方もあると思った」）が24.9% (43人) となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ約3.3倍で、その差は17.4ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“そのとおりである”が34.6ポイント (24.9-59.5) 低くなっており、一方「反発・疑問を感じた」が11.5ポイント (7.5-19.0) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そういう見方もあると思った」が8.3% (10人) で最も高く、次いで「そのとおりだと思った」「反発・疑問を感じた」が同率で2.5% (3人) の順となっている。
- ・“そのとおりである”が10.8% (13人) となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ約4.3倍で、その差は8.3ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そういう見方もあると思った」が51.4% (18人) で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が20.0% (7人)、「特に何も思わなかった」が17.1% (6人) の順となっている。
- ・“そのとおりである”が60.0% (21人) となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ3倍で、その差は40.0ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そういう見方もあると思った」が57.1% (4人) で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が28.6% (2人) の順となっている。
- ・“そのとおりである”が57.1% (4人) となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ2倍で、その差は28.5ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そういう見方もあると思った」が45.5% (5人) で最も高く、次いで「特に何も思わなかった」が36.4% (4人)、「反発・疑問を感じた」が9.1% (1人) の順となっている。
- ・“そのとおりである”が45.5% (5人) となっており、“そのとおりである”が「反発・疑問を感じた」に比べ5倍で、その差は36.4ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“そのとおりである”が高くなっており、“そのとおりである”が最も高いのは『山ノ内町』で60.0% (21人)、次いで『木島平村』で57.1% (4人)、『野沢温泉村』で45.5% (5人) の順となっている。一方、「反発・疑問を感じた」が最も高いのは『木島平村』で28.6% (2人)、次いで『山ノ内町』で20.0% (7人)、『野沢温泉村』で9.1% (1人) の順となっている。

問 24-3 それは、どんな内容でしたか。(自由記載)

「同和地区はこわい」というような話を「聞いたことがある」とした 173 人のうち、自由記載への記入は 70 人であった。

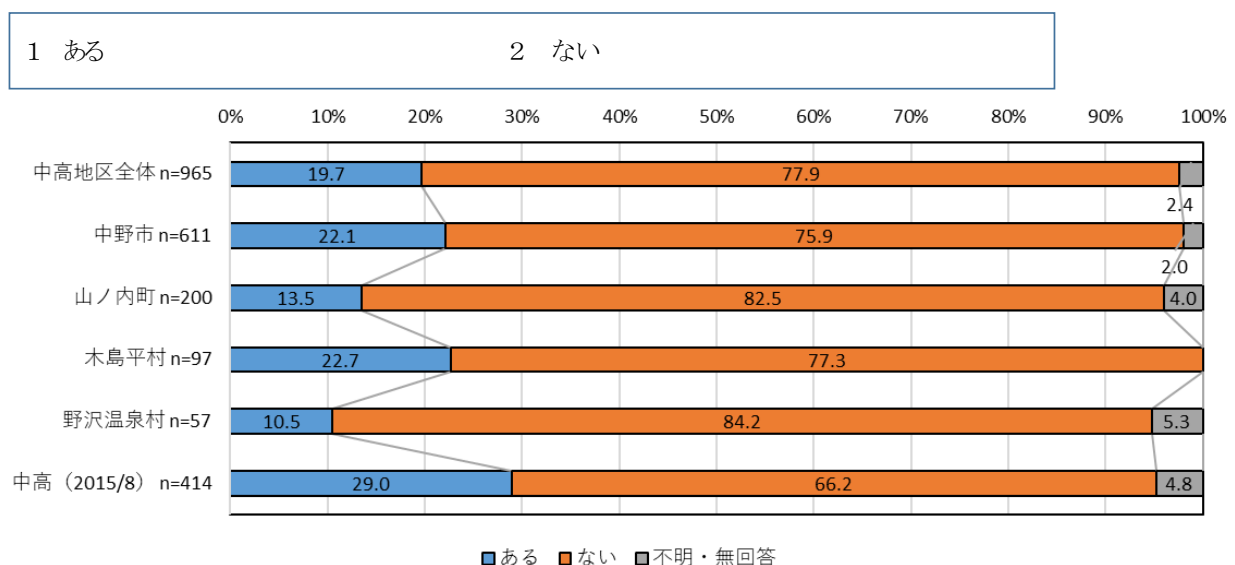
「なぜこわいといったのかわからなかった」「親は仲よくしてはいけないと言っていました、私は関係なくお友達でいました。現在も仲良くしています」など、「同和地区はこわい」という話を否定する記載は自由記載回答者の 7.5% (13 人) とわずかである。

一方、職業や歴史に関する間違っ理解や認識不足、「同和地区」に対する強いマイナスイメージや固定観念、差別的な思い込みや偏見、回答者自身の意見や感想としての記述が多くみられた。

問 24-3 の自由記載回答者数は調査回答者全体の 7.3% であるが、根強い差別意識が残されていることに留意しなければならない。

すべての方にお尋ねします。

問 25 あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあたりしたことを聞いたことがありますか。(○は1つ)



【中高地区全体】

- ・同和地区の人との結婚でもめたり、反対されたことについてみると、「ない」が 77.9% (752 人)、「ある」が 19.7% (190 人) となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ない」で 11.7 ポイント (77.9-66.2) 高くなっており、一方「ない」が 9.3 ポイント (19.7-29.0) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「ない」が 75.9% (464 人)、「ある」が 22.1% (135 人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約 3.4 倍で、その差は 53.8 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「ない」が 82.5% (165 人)、「ある」が 13.5% (27 人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約 6.1 倍で、その差は 69.0 ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「ない」が77.3% (75人)、「ある」が22.7% (22人)となっており、「ない」が「ある」に比べ約3.4倍で、その差は54.6ポイントとなっている。

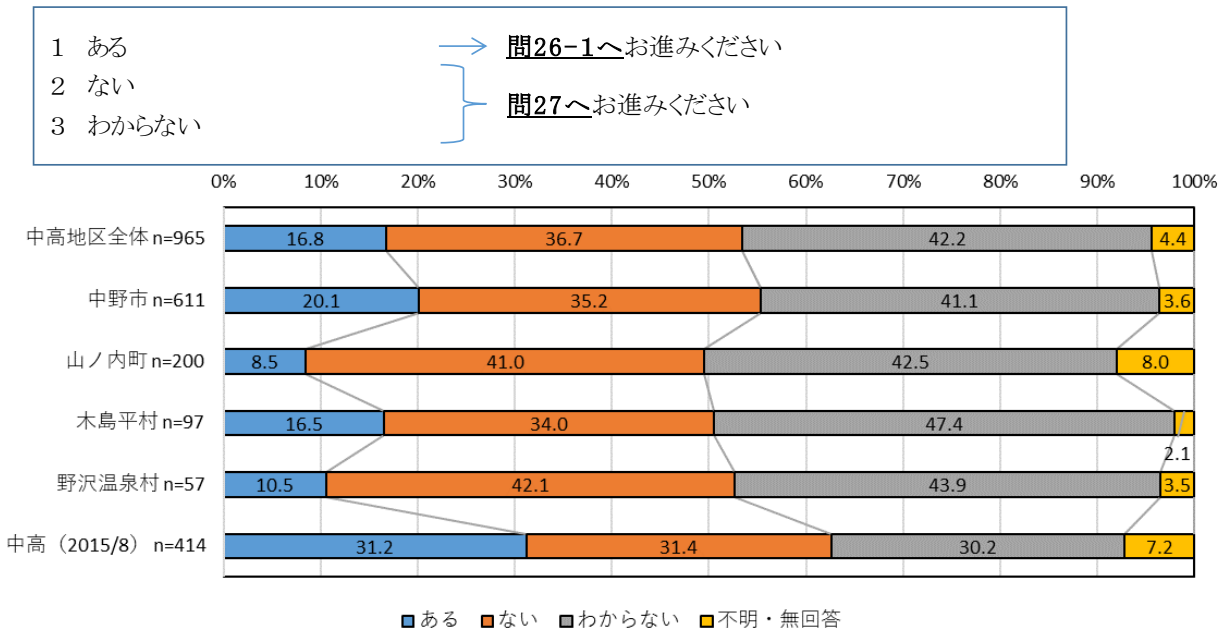
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「ない」が84.2% (48人)、「ある」が10.5% (6人)となっており、「ない」が「ある」に比べ8倍で、その差は73.7ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「ない」が高くなっており、「ない」が最も高いのは『野沢温泉村』で84.2% (48人)、次いで『山ノ内町』で82.5% (165人)、『木島平村』で77.3% (75人)の順となっている。一方、「ある」が最も高いのは『木島平村』で22.7% (22人)、次いで『中野市』で22.1% (135人)、『山ノ内町』で13.5% (27人)の順となっている。

問 26 あなたは、同和地区の人との付き合いはありますか。(○は1つ)



【中高地区全体】

- ・同和地区居住者との付き合いの有無についてみると、「わからない」が42.2% (407人)と最も高く、次いで「ない」が36.7% (354人)、「ある」が16.8% (162人)の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ない」で5.3ポイント (36.7-31.4) 高くなっており、一方「ある」が14.4ポイント (16.8-31.2) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「わからない」が41.1% (251人)と最も高く、次いで「ない」が35.2% (215人)、「ある」が20.1% (123人)となっており、「ない」が「ある」に比べ約1.7倍で、その差は15.1ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「わからない」が42.5% (85人)、次いで「ない」が41.0% (82人)、「ある」が8.5% (17人)の順となっており、「ない」が「ある」に比べ約4.8倍で、その差は32.5ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「わからない」が47.4% (46人)、次いで「ない」が34.0% (33人)、「ある」が16.5% (16人)の順となっており、「ない」が「ある」に比べ約2.1倍で、その差は17.5ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「わからない」が43.9% (25人)、次いで「ない」が42.1% (24人)、「ある」が10.5% (6人)の順となっており、「ない」が「ある」に比べ4倍で、その差は31.6ポイントとなっている。

【市町村比較】

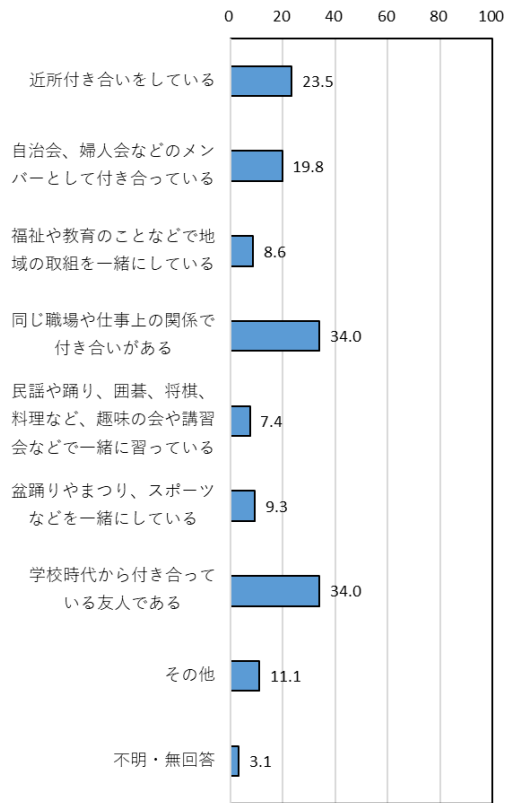
- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「わからない」が高くなっており、「わからない」が最も高いのは『木島平村』で47.4% (46人)、次いで『野沢温泉村』で43.9% (25人)、『山ノ内町』で42.5% (85人)の順となっている。一方、「ある」が最も高いのは『中野市』で20.1% (123人)、次いで『木島平村』で16.5% (16人)、『野沢温泉村』で10.5% (6人)の順となっている。

問26で「1 ある」を選ばれた方にお尋ねします。

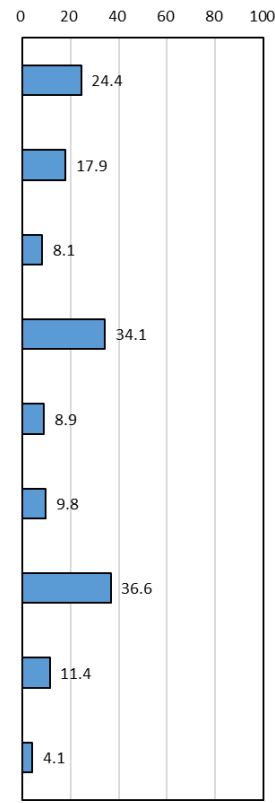
問26-1 それは、どの程度のお付き合いでしょうか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 近所付き合いをしている2 自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている3 福祉や教育のことなどでの地域の取組を一緒にしている4 同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある5 民謡や踊り、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習会などで一緒に習っている6 盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている7 学校時代から付き合いしている友人である8 その他(具体的に:) |
|---|

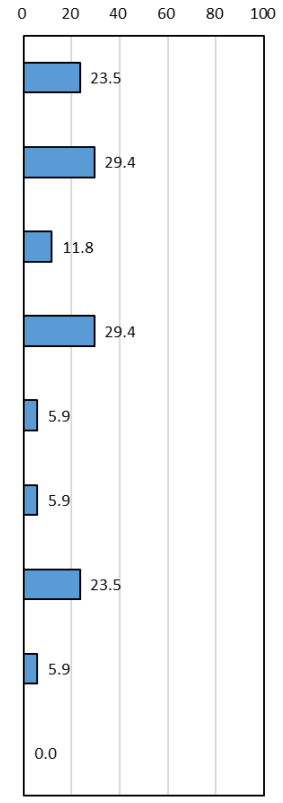
【中高地区全体】 n=162



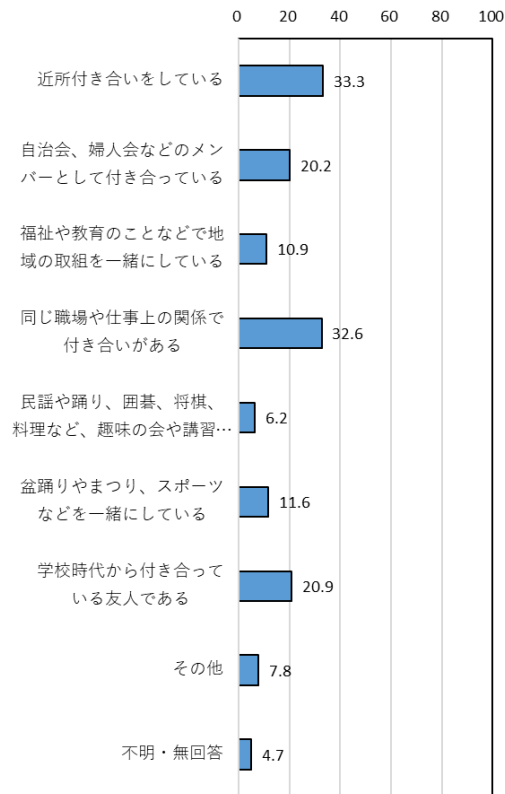
【中野市】 n=123



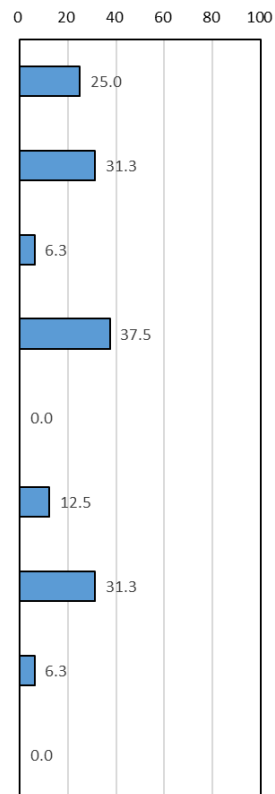
【山ノ内町】 n=17



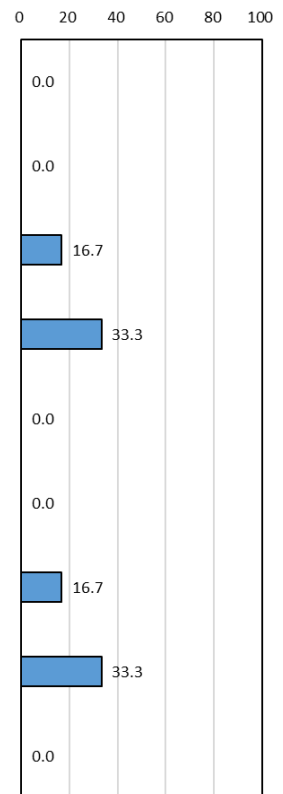
【中高 (2015/8)】 n=129



【木島平村】 n=16



【野沢温泉村】 n=6



【中高地区全体】

- ・ 付き合いの具体的内容についてみると、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」「学生時代から付き合いしている友人である」が同率で 34.0% (55 人)、次いで「近所付き合いをしている」が 23.5% (38 人) の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、増加幅が最も大きいのは「学生時代から付き合いしている友人である」で 13.1 ポイント (34.0-20.9) 高くなっており、一方減少幅が最も大きいのは「近所付き合いをしている」で 9.8 ポイント (23.5-33.3) 低くなっている。

【中野市】

- ・ 中野市においては、「学生時代から付き合いしている友人である」が 36.6% (45 人)、次いで「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が 34.1% (42 人)、「近所付き合いをしている」が 24.4% (30 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・ 山ノ内町においては、「自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている」「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が同率で 29.4% (5 人)、次いで「近所付き合いをしている」「学生時代から付き合いしている友人である」が同率で 23.5% (4 人) の順となっている。

【木島平村】

- ・ 木島平村においては、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が 37.5% (6 人)、次いで「自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている」「学生時代から付き合いしている友人である」が同率で 31.3% (5 人) の順となっている。

【野沢温泉村】

- ・ 野沢温泉村においては、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」「その他」が同率で 33.3% (2 人)、次いで「福祉や教育のことなどでの地域の取組を一緒にしている」「学生時代から付き合いしている友人である」が同率で 16.7% (1 人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・ 4 市町村を比較すると、『中野市』が「学生時代から付き合いしている友人である」、『山ノ内町』が「自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている」「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」、『木島平村』『野沢温泉村』が「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が高くなっており、「学生時代から付き合いしている友人である」が最も高いのは『中野市』で 36.6% (12 人)、次いで『木島平村』で 31.3% (5 人)、『山ノ内町』で 23.5% (4 人) の順となっている。また「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が最も高いのは『木島平村』で 37.5% (6 人)、次いで『中野市』で 34.1% (42 人)、『野沢温泉村』で 33.3% (2 人) の順となっている。

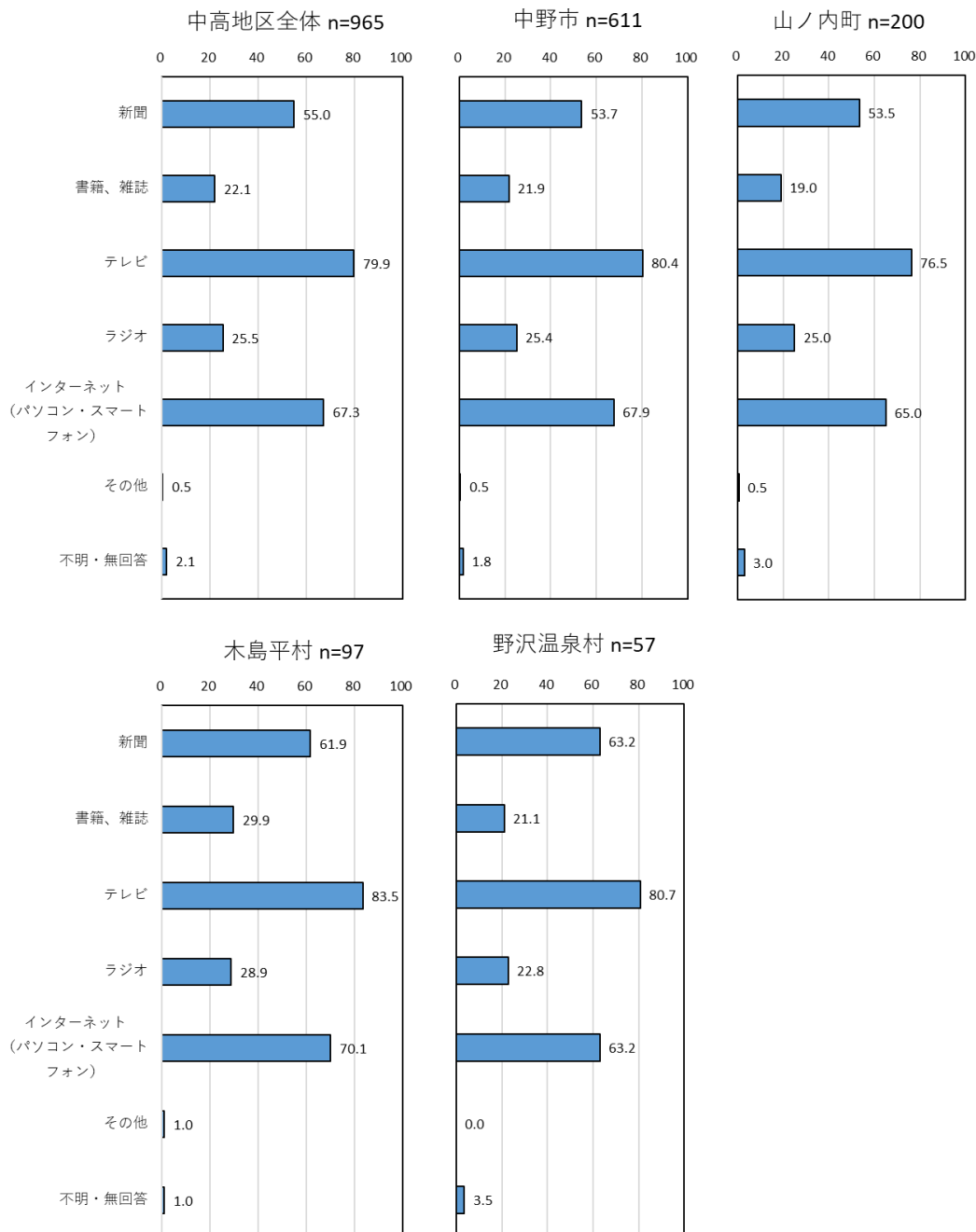
F あなた自身のことについて

すべての方にお尋ねします。

問 27 あなた自身のことについて、次の（１）～（５）のすべてにお答えください。

（１）あなたが日常に利用する主なメディアはどれですか。（○はいくつでも）

- | | | | |
|-------------------------|----------|-------|-------|
| 1 新聞 | 2 書籍、雑誌 | 3 テレビ | 4 ラジオ |
| 5 インターネット(パソコン・スマートフォン) | 6 その他() | | |



【中高地区全体】

- ・ 日常に利用する主なメディアについてみると、「テレビ」が 79.9% (771 人)、次いで「インターネット」が 67.3% (649 人)、「新聞」が 55.0% (531 人) の順となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「テレビ」が80.4% (491人)、次いで「インターネット」が67.9% (415人)、「新聞」が53.7% (328人)の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「テレビ」が76.5% (153人)、次いで「インターネット」が65.0% (130人)、「新聞」が53.5% (107人)の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「テレビ」が83.5% (81人)、次いで「インターネット」が70.1% (68人)、「新聞」が61.9% (60人)の順となっている。

【野沢温泉村】

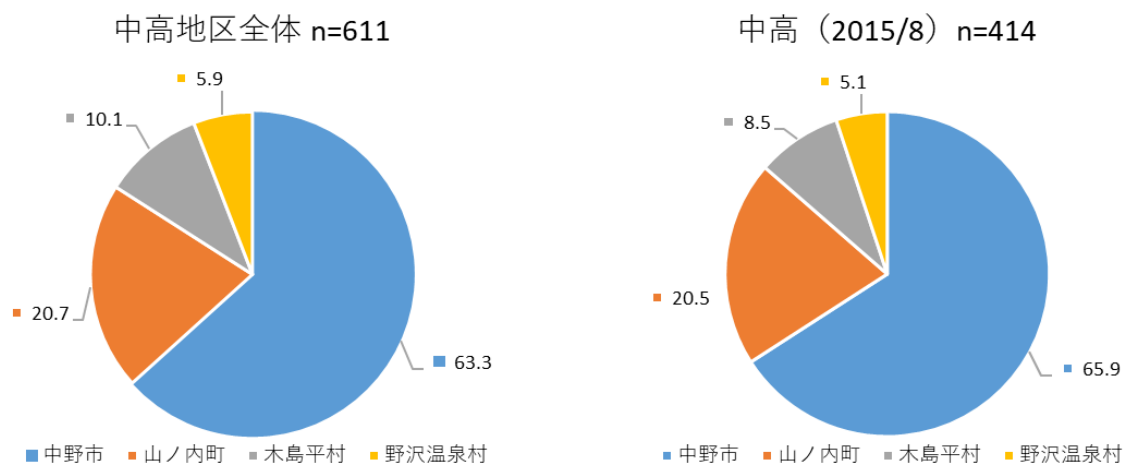
- ・野沢温泉村においては、「テレビ」が80.7% (46人)、次いで「新聞」「インターネット」が同率で63.2% (36人)の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「テレビ」が高くなっており、「テレビ」が最も高いのは『木島平村』で83.5% (81人)、次いで『野沢温泉村』で80.7% (46人)、『中野市』で80.4% (491人)の順となっている。また「インターネット」が最も高いのは『木島平村』で70.1% (68人)、次いで『中野市』で67.9% (415人)、『山ノ内町』で65.0% (130人)の順となっている。

(2) あなたがお住まいの市町村はどれですか。(○は1つ)

1 中野市 2 山ノ内町 3 木島平村 4 野沢温泉村

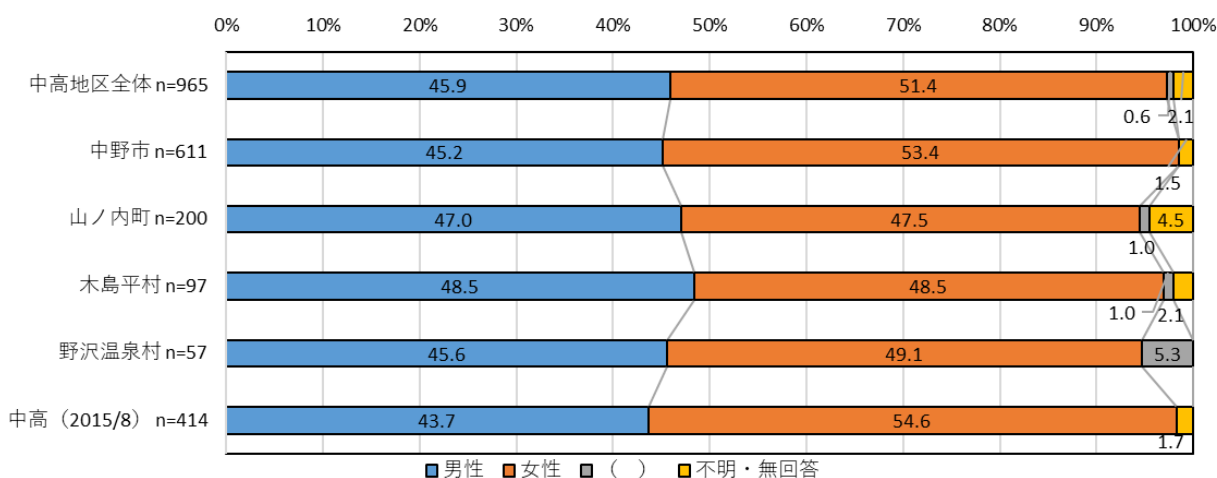


【中高地区全体】

- ・住所についてみると、「中野市」が63.3% (611人)次いで「山ノ内町」が20.7% (200人)、「木島平村」が10.1% (97人)、「野沢温泉村」が5.9% (57人)の構成となっている。
- ・前回調査と比較すると、いずれの市町村もほぼ同じ割合となっている。

(3) あなたの性別についてお答えください。(○は1つ)

1 男性 2 女性 3 ()



【中高地区全体】

- ・性別についてみると、「女性」が51.4% (496人)、「男性」が45.9% (443人) となっており、「女性」が「男性」に比べ5.5ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、「女性」が3.2ポイント (51.4-54.6) 低くなっており、「男性」が2.2ポイント (45.9-43.7) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「女性」が53.4% (326人)、「男性」が45.2% (276人) となっており、「女性」が「男性」に比べ8.2ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「女性」が47.5% (95人)、「男性」が47.0% (94人) となっており、「女性」が「男性」に比べ0.5ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「女性」が48.5% (47人)、「男性」が48.5% (47人) となっており、「女性」と「男性」が同率となっている。

【野沢温泉村】

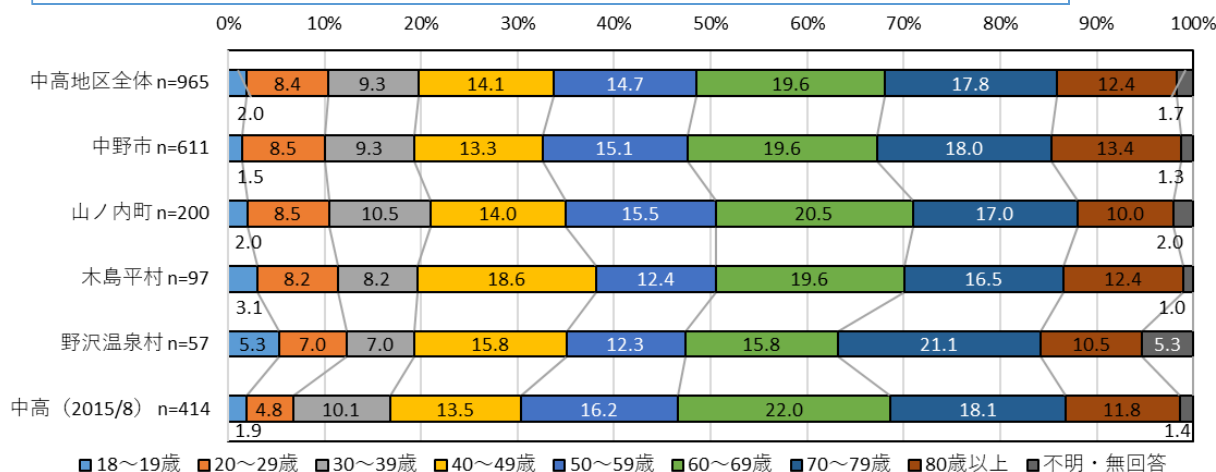
- ・野沢温泉村においては、「女性」が49.1% (28人)、「男性」が45.6% (26人) となっており、「女性」が「男性」に比べ3.5ポイント高くなっている。

【中高地区比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『野沢温泉村』が「女性」が高く、『木島平村』が「男性」「女性」同率となっており、「女性」が最も多いのは『中野市』で53.4% (326人)、次いで『野沢温泉村』で49.1% (28人)、『木島平村』で48.5% (47人) の順となっている。一方、「男性」が最も高いのは『木島平村』で48.5% (47人)、次いで『山ノ内町』で47.0% (94人)、『野沢温泉村』で45.6% (26人) の順となっている。

(4) あなたの年代についてお答えください。(○は1つ) 令和7年8月1日現在

1 18～19歳	5 50～59歳
2 20～29歳	6 60～69歳
3 30～39歳	7 70～79歳
4 40～49歳	8 80歳以上



【中高地区全体】

- ・年齢についてみると、「60～69歳」が19.6%（189人）で最も高く、次いで「70～79歳」が17.8%（172人）、「50～59歳」が14.7%（142人）となっている。
- ・前回調査と比較すると、増加幅が最も大きいのは「20～29歳」で3.6ポイント（8.4-4.8）高くなっており、一方減少幅が最も大きいのは「60～69歳」で2.4ポイント（19.6-22.0）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「60～69歳」が19.6%（120人）で最も高く、次いで「70～79歳」が18.0%（110人）、「50～59歳」が15.1%（92人）となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「60～69歳」が20.5%（41人）で最も高く、次いで「70～79歳」が17.0%（34人）、「50～59歳」が15.5%（31人）となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「60～69歳」が19.6%（19人）で最も高く、次いで「40～49歳」が18.6%（18人）、「70～79歳」が16.5%（16人）となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「70～79歳」が21.1%（12人）で最も高く、次いで「40～49歳」「60～69歳」が同率で15.8%（9人）となっている。

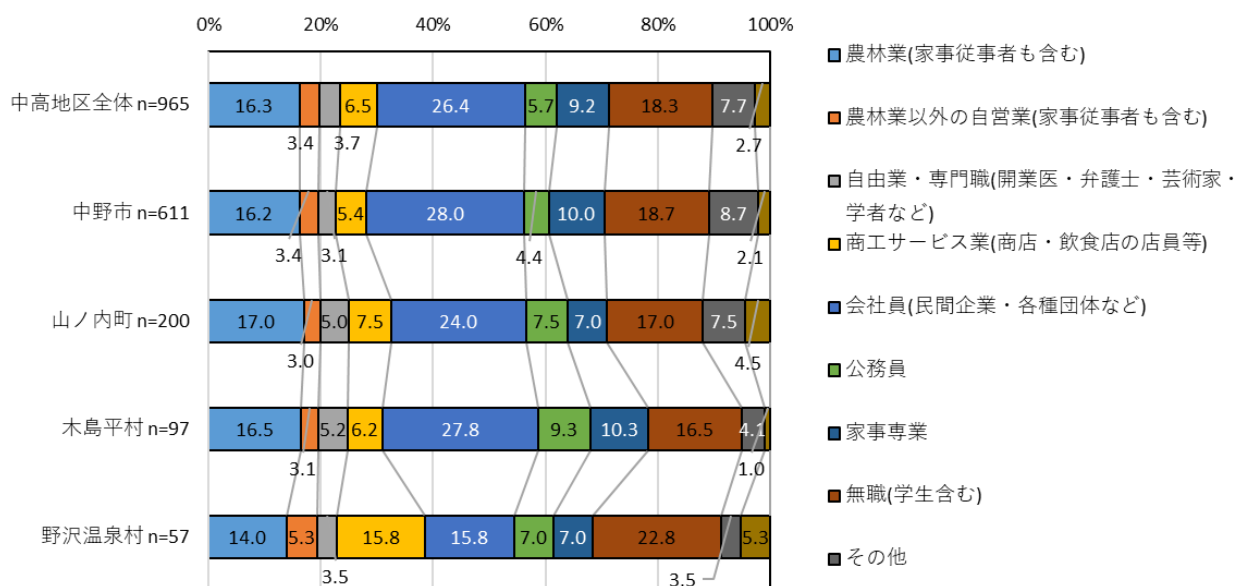
【中高地区比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』が「60～69歳」が、『野沢温泉村』が「70～79歳」が高くなっており、「60～69歳」が最も多いのは『山ノ内町』で20.5%（41人）、次いで『中野市』『木島平村』が同率で19.6%（120人）（19人）の順となって

いる。また、「20～29 歳」が最も高いのは『中野市』『山ノ内町』が同率で 8.5%（52 人）（17 人）、次いで『木島平村』で 8.2%（8 人）の順となっている。

(5) 現在、あなたはどのような仕事（主なもの）に就いていますか。（○は1つ）

- 1 農林業(家事従事者も含む)
- 2 農林業以外の自営業(家事従事者も含む)
- 3 自由業・専門職(開業医・弁護士・芸術家・学者など)
- 4 商工サービス業(商店・飲食店の店員等)
- 5 会社員(民間企業、各種団体など)
- 6 公務員
- 7 家事専業
- 8 無職(学生含む)
- 9 その他(具体的に:)



【中高地区全体】

・職業についてみると、「会社員（民間企業、各種団体など）」が 26.4%（255 人）で最も高く、次いで「無職（学生含む）」が 18.3%（177 人）、「農林業（家族従事者も含む）」が 16.3%（157 人）となっている。

【中野市】

・中野市においては、「会社員（民間企業、各種団体など）」が 28.0%（171 人）で最も高く、次いで「無職（学生含む）」が 18.7%（114 人）、「農林業（家族従事者も含む）」が 16.2%（99 人）となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「会社員（民間企業、各種団体など）」が 24.0%（48 人）で最も高く、次いで「農林業（家族従事者も含む）」「無職（学生含む）」が同率で 17.0%（34 人）となっ

ている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「会社員（民間企業、各種団体など）」が27.8%（27人）で最も高く、次いで「農林業（家族従事者も含む）」「無職（学生含む）」が同率で16.5%（16人）となっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「無職（学生含む）」が22.8%（13人）で最も高く、次いで「商工サービス業（商店・飲食店の店員等）」「会社員（民間企業、各種団体など）」が同率で15.8%（9人）となっている。

【中高地区比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』が「会社員（民間企業、各種団体など）」、『野沢温泉村』が「無職（学生含む）」が高くなっており、「会社員（民間企業、各種団体など）」が最も高いのは『中野市』で28.0%（171人）、次いで『木島平村』で27.8%（27人）、『山ノ内町』で24.0%（48人）の順となっている。また「無職（学生含む）」が最も高いのは『野沢温泉村』で22.8%（13人）、次いで『中野市』で18.7%（114人）、『山ノ内町』で17.0%（34人）の順となっている。

G 自由意見

問 28 人権問題や差別に関して、何でも結構ですのお聞かせください。

人権問題や差別に関する自由意見は、265 人、27.5%が記入している。

以下では、全体の意見の中から主要なものを項目別に抽出する。

(1) 子どもの人権問題

[主な意見]

- ・人権侵害や一種の差別的な言動は社会に出てからというよりも、高校までの狭いコミュニティの中で行われていることの方が圧倒的に多いのではないかと現在は感じています。非常に難しいことであることは承知していますが、子どもの世界で起きていることを把握して対策していくためには、大人の力が不可欠だと思っているので、市町村として、子どものいじめや人権に対する対策や、今よりも言いやすい環境づくりに力をいれるための取り組みのよびかけを学校の方にしていくことが良いのではないかと思います。(男性 10 代)
- ・私は、小、中、高、専門学校、そして職場で、常にいじめられてきました。現在、統合失調症の治療中です。いじめの最終的な結末が今の私の状態のような気がします。教師も生徒もみんな見て見ぬふりだった。私のようになる前にもっと何とかしないと、統合失調症やうつ病の人も増えるばかりだと思う。(女性 50 代)
- ・新聞などでの子どものいじめ問題が最近の悲しい出来事だと思う。現に社会現象にとらえているメディアもあるが、解決の糸口が見いだせないのは悲しいことである。(男性 80 代以上)

(2) 女性の人権問題

[主な意見]

- ・田舎の会社なので、男女で給料に差があるし、女だからこれくらいで良いだろうと、雇い主側が思っている。昔からあたりまえの感覚が現在も変わらずある。会社の掃除は女性社員の仕事。(女性 30 代)
- ・夫婦別姓、性別に対する役割などに拘る人が日本には多いと感じる。(女性 40 代)

(3) 高齢者の人権問題

[主な意見]

- ・忘れられがちな、高齢者、障害者に対する差別。立派な施設があってもエレベーター等がなければそこへ到着できません。(男性 80 代以上)

(4) 障がい者の人権問題

[主な意見]

- ・障害者差別は今でも日本には多く残っていると思う。生まれながらにして障がいのある人もいるが、事故などで心や体に障がいを持つこともあると思う。だからこそ障がいを持っている人を見て差別的な態度をとってはいけないと思う。自分の身に家族にもし障がい者

がいたら絶対差別的行動はとらないと思う。もう少し自分事として考えてほしいと思う。

(男性 20 代)

- ・私の息子は障がいがあります。息子を産むまで、障がいについての知識は全くなかったのですが、私自身は差別をしたことはありませんでした。息子を産んでから、障がいについて、色々な方から色々な意見を言われて、悲しい思いをしたことがあります。当事者である息子は何とも思っていないと思いますが、そういった差別と感じられる意見は、たくさんの方々に悲しい思いをさせているということを感じていただきたいと思います。(女性 30 代)
- ・聴覚障害です。仕事で、役職についています。コミュニケーションが上手くできず、孤立してしまい、話し方も聞き方も分からず、さらに孤立しています。(女性 40 代)

(5) 外国人の人権問題

[主な意見]

- ・外国人の待遇については、実際に見聞きする中で不当のない範囲で合理的な区別が必要ではないかと思う部分もある。(男性 20 代)
- ・外国人によって快適な生活を害されていると日本人が感じなくなれば、差別はなくなると思う。(20 代男性)
- ・職場にはたくさん外国人実習生の方がいます。皆さん懸命に働いていて、文化にも慣れようと努力してくれています。現在の日本は、排外主義的な風潮が強くなってきていると感じます。その風潮には強く反対すると同時に、自分の中に差別心があることは人間の認知の仕組み上、仕方のないことだとも思っています。それを理解したうえで、皆んながどうしたらやさしい気持ちで生きていけるか、日々考えていくことが大切だろうと考えています。(女性 30 代)

(6) ハンセン病や感染症患者等に関する人権問題

[主な意見]

- ・コロナが流行した頃に、コロナに感染した人や医療の現場で働く人、県外ナンバーの車などに差別的な発言をする人や態度に表す姿を見て、とても怖くなりました。私の前の職場でもワクチンを打っていない人に嫌な態度をとったり、ワクチンを強制的に打たせようと上司が圧力をかけてくることがありました。本来は任意であるはずで、受けるか受けないかは他人に関係ないのに。同調圧力というのか、人間は非常時など大変なときにも差別的な感情が生まれてしまうことがあるのだなと悲しくなりました。(女性 30 代)
- ・コロナ禍でひどい差別に遭い、引っ越しを余儀なくされた方がいると聞いて非常に胸が痛んだ。田舎ほど、そのような悪い噂やあからさまな差別意識が牙をむくことがあるように思う。(50 代女性)

(7) LGBTQ等の性的少数者の人権問題

[主な意見]

- ・LGBTに該当することを抵抗なく自由に公言している友人がいますが、それを自然と受け入れる環境ができやすくなっていることを嬉しく思います。(女性 20代)
- ・性的マイノリティについては当事者が自由な判断を下せるように同性婚等を取り計らうべきである。異性の婚約のみ認めたところで出生率やその他の人の日常に変化はないと思う。(男性 20代)
- ・トイレや風呂などの施設でLGBTだからと言い犯罪行為を起こす方が少数ではありますがいるので、生物学的に男女は区別すべきです。そもそも本当のLGBTの方々はその区別はしっかりできているはずです。(20代女性)

(8) インターネット上の人権問題

[主な意見]

- ・人それぞれの思うことや考えることをインターネット上に書き込むことについて、私はすべて自由だと思いません。思ったり考えたりすることは自由だが、それを口に出したり文字にしてネットに掲げることは自由ではないと思っています。もしその法律があったら、みんな法律を守るために発言を控えるかもしれないと思います。ですが、法律を守るためではなく自分以外の人のことを考えて発言すべきだと思っています。結局ひとりひとりが考え方を改める必要があると感じています。(女性 20代)
- ・SNSへの書き込み、動画、誹謗中傷簡単に、発信されることが良くない。簡単にはなくならないだろうと思う。(女性 50代)
- ・SNSでの誹謗中傷により、人は死んでしまうことが切ないです。言葉は狂気になることを行政の方に周知して頂ければと思います。(男性 60代)

(9) 部落差別に関する人権問題

[主な意見]

- ・気にしているのは昔の人達だけだと思う。今の若い人達はどこが被差別部落だとか出身だとか知らないし興味も無い。(女性 30代)
- ・同和問題は聞いたことがないのであることすら知りません。(男性 30代)
- ・多様化している現在において、若者の認識の中に差別があるかどうかもわからないし、同和問題については聞いたことがない。(男性 40代)
- ・年齢が高い人ほど部落差別の発言が多い気がします。「特別扱いされて待遇が良すぎる」など。本当にそうなのか、どこまで本当なのか、話をした高齢者は研修会に参加されたかわかりませんが、聞かされた私は気分が良くなかったです。(女性 40代)
- ・生まれたところで差別をされるのは悲しいことだと思います。(女性 60代)
- ・部落差別は、差別の中でも特に人間として最低な差別だと感じる。(男性 60代)
- ・部落差別の問題がいまだにあることにびっくりしています。(女性 80代以上)

(10) 話題にしなればなくなっていくという「寝た子を起こすな論」の意見

[主な意見]

- ・昔から言われている部落差別などを今でも気にしているのは年がかなり上の世代。現代人は今を生きている人が多いと思うので、これから時がたてば言う人が減って気にしない人の方が多くなっていくと思います。(女性 30 代)
- ・部落差別については、小学校の授業で知りました。授業がなければ部落差別、同和地区がどんなものか知らないなので、授業を行わないほうが良いのではないかと考えている。あえてやる必要があるのか疑問に思っています。(男性 40 代)
- ・人権問題にしろ差別にしろ人間が持っている自己防衛本能つまり、集団的心理や相手とのダウンワード比較などで起こることもある。問題について勉強する事も大事だが逆に同和問題については勉強することにより、そういう地域がある事を知ってしまうことでかえっていつまでもなくならないような気がする。(男性 40 代)
- ・部落差別について、若い人たちはそこまで詳しく知らないし、古い人間が騒ぎ立てている気がする。現代なんて、部落出身だとしても、特別何も変わらない。(女性 40 代)
- ・日本全国で、今はなき「部落」の存在をあからさまにし、「部落」を強調することこそが「差別」をなくすことができない最大の要因ではないでしょうか。(女性 60 代)
- ・今は昔と違って人権差別等については、あまり耳にしなくなった様な気がします。寝た子を起こすような集会等をしなければ自然消滅すると思います。(男性 80 代以上)

(11) 多様性を理解しようという意見

[主な意見]

- ・公正な社会とは、多様性を尊重し、すべての人の尊厳を大切にし、誰一人としてそのアイデンティティによって差別されない社会です。私たち一人ひとりに、不正に立ち向かい、平等を守る責任があります。(男性 20 代)
- ・さまざまな特性個性を持った方達が増え、自分自身が理解を深めなければいけないと感じたり、生きづらい世の中になってきたと感ずることがある。親世代が正しい知識、理解、を持っていないければ子どもたちはもっと生きづらい世の中で生きていくことになると思うので、少しずつでも差別や人権について新しい心で考えていく必要があると感じます。(女性 20 代)
- ・小学生で教えてもらう人権問題は、大人になって教えてもらうと小学生の時とは違う感覚になる。多様性の時代になってきているので、柔軟な考え方でものごとを考えたい。今の自分はいろいろ知識不足だなと感じる。(男性 30 代)
- ・一人一人の違い受け入れて、認め合っていければと思います。でも、自分は他人より勝っているという思いがあると差別はどんなところでも生まれてしまうのではないかと思います。(女性 70 代)

(12) 差別・人権問題に対する意見

[主な意見]

- ・差別は誰かが努力して消える簡単な問題ではありません。ただ、だからと言って、問題解決を進めないと言うのも違います。差別問題を消すではなく、減らす方向で色々なことをしてもらいたいです。(男性 10 代)
- ・人権問題や差別はなくしたいと思っているが、完全になくすことは本当に難しいことだと思う。それでもいつかはなくなしてほしいなど考えることがよくある。(女性 10 代)
- ・どんな差別も絶対になくならないものだと思います。差別が良いものとは考えませんが明確な線引きは大事な事だと思います。差別ではなく区別です。今日は、区別ですら曖昧になってきている社会のように感じます。(20 代女性)
- ・差別行為はするべきではないし、なくすべきだと思います。しかし、価値観や多様性が多くの人々に認識されてきたこの社会において、お互い共生していくうえで最低限の区別は必要だと思います。(女性 20 代)
- ・人権問題や差別そのものは今後もなくならないと思っている。対策を検討すること、考えを改める取り組みをすること。続けることが大切と考える。それは時代に応じ変化し続けるものとも思う。(男性 30 代)
- ・自分が受ける側になったり、身近に生じてからはじめてちゃんと考えることのように感じます。自分から誰かに相談することにも勇気がいることだと思うので、普段から関わりかたに目を向けることが大切だと思う。障がいを持っている人との関わりが普段からある人にとってはそれが普通のことであるから、差別等の状況にはなりにくいと思う。行動に起こすことには勇気がいることだと思う。(男性 30 代)
- ・人権思想は時代が進むにつれて内容が高度化していくと思われる。いずれは諸問題が解決に近づいていくことを願う。逆を言えば、いま残っている問題はすぐに解決することはないのだと思う。過渡期と捉えるかどうかはわからないが、大事なことは努力を続けることだ。(男性 40 代)
- ・完全になくすことは難しいと思います。やはり小さい頃から差別についてよく学んでいくことがいいと思います。(40 代女性)
- ・「みんなと仲良くしなさい」というのは絶対に無理だと思うが、他人の人権を脅かすような発言、行動は許されるべきでは絶対がない。自分以外のこと（過去のこと）たとえば部落のことなどの差別はとても恥ずべきこと。個人個人がひかれ合うのであればそれが正しいことだと思う。逆に合わない相手がいたとしてその人を陥れる言葉、行動はするべきではなく離れることも方法であり、自分自身が発する言葉は自分自身を作っていくことを知ること大事なのではないでしょうか。(女性 40 代)
- ・行政（法律）は常に差別される人間の立場に立って、差別に対して厳しく規制すべきです。自分の言動が差別だと気づいていない人間も大勢いると思う。(男性 70 代)
- ・差別は差別を言いたてて利益を得る人が少数でもいる限りなくなならない。(女性 70 代)

(13) 差別や人権問題について正しく教え、または学習していくことの必要性を述べる意見

[主な意見]

- ・差別等はきちんと理解してないことが原因の大半かなと思うので、正しい知識をつけた上で、考えることが重要だと感じた。(女性 20 代)
- ・私自身は学校教育でしか差別のことは学ばなかったが、我が子には家庭でも教育していきたいと思う。(女性 20 代)
- ・差別や人権についての知識を今の若い世代にも浸透させるためにも小・中学生の時に義務教育として学ばせること、地域や自治体、勤務先でもそうした講習会を義務化させることで、将来差別がなくなると感じた。知識が身に付くことで差別が広がるかもしれないといったリスクはあるが、そうした時に周囲や社会が差別に対する厳しい目を持つことが重要になると感じるため、社会全体が差別や人権問題について知識を持ち理解することが必要になってくると思う。(男性 20 代)
- ・学校で部落差別について教えるべき。今後、なくなったとしても戦争と同じで悲惨な歴史は繰り返してはならない。人間である以上、差別（自分より下の人間がいることの優越感）はなくならないので教育に勝る武器は無し！可哀想なことは伝えないと言う大人がいるが、未来の子どものために、良いことも悪いことも伝えていく必要があるのではないか。(男性 40 代)
- ・大人も時代に合わせ学びつづけることが必要かと思います。(女性 60 代)
- ・社会や家庭での教育が重要であると考えます。(男性 70 代)

(14) アンケートの実施そのものに対する意見

[主な意見]

- ・特定のジャンルをピックアップして調査しているのかもしれないが、今回の同和問題のように手厚く聞いてくること自体が、「ああ、マイナスイメージを持っている人が多いのだな」ということを匂わすことになってしまうと思うので、折角アンケートを取るのなら、どのジャンルも同じようなボリュームにすべきではと思う。それこそ同和問題への差別につながる気もするし、それ以外の差別の問題をないがしろにしているように感じてしまいました。(女性 30 代)
- ・普段生活しているなかで差別、人権問題などなかなか身近では無いことなので、正直考えたことも気にして生きたこともなかったです。しかし今回このような人権や差別などの意識調査を受け、わからないながらも人権問題、差別問題について考える時間をいただいたのはとても貴重でした。(男性 30 代)
- ・今回の調査で、自分が何に対して差別的な意識が強いのか気付くことができた。また、理解できていない差別があることも知った。無知が一番良くないと思う。知るためにも勉強会や研修会に参加することは大切だと思った。(女性 40 代)
- ・質問が多い。(男性 50 代)
- ・難しいアンケートでした。普段から意識する事が大事なことだと思います。(男性 50 代)

2025 年「中高地区人権に係る住民意識調査」結果の考察

近畿大学名誉教授 奥田 均

■調査結果の考察にあたって

2025 年 8 月に「中高地区人権に係る住民意識調査」が実施された。中高地区においては 2005 年、2015 年にあっても同様の調査が実施されている。10 年間隔で実施されているこうした計画的で継続した人権に係る住民の意識の把握の意義は大きい。得られたデータからはその時点その時点における意識実態の把握にとどまらず、過去の調査データと比較することによって「変化」や「傾向」を捉えることができる。そこにはこれまでの施策、活動の評価や社会の変化、さらには今後の取り組みへの貴重なヒントが示されている。人権部局の行政職員が入れ替わっても、「人権に係る住民意識調査」が堅実に受け継がれている中高地区関係者の努力に敬意を表したい。

ここでの考察にあっても、「変化」や「傾向」を見ておきたい項目においては 2005 年、2015 年のデータを併記することに努めた。「2005 年調査」「2015 年調査」と表記しているのがそれであり、それぞれの調査報告書におけるデータを用いている。

また本調査は 28 の問から構成されている。そのすべての問において得られたデータは別に取り上げられており、まずは全質問に対するこうした調査結果をご覧いただきたい。そのうえで、ここでは次の 6 項目からなる考察を提示している。

- [考察 1] 様々な人権課題に関する住民の意識の現状及び経年変化から見えること
- [考察 2] 住民の意識から見えてくる部落差別の現実
- [考察 3] 住民は部落差別の現実を正しく認識しているだろうか
- [考察 4] 差別解消への態度や行動を育むものの仮説検証
- [考察 5] 「寝た子を起こすな」論の検証
- [考察 6] 年齢階層別人権意識・公務員の人権法令認知・デジタルディバイド問題への警戒

これらはいくまでも本調査結果に関わる限定された考察テーマであることをあらかじめおことわりしておく。また考察の中にあっては変数間のクロス集計を用いているがいずれも有意検定を済ませている。また [考察 4] においては相関係数を算出しているがその有意検定に関しては解説とともに表記している。

なお調査結果のデータではないが、回収率に関して付言しておく。本調査の回収率は 32.17% であった。2005 年調査の回収率が 55.4%、2015 年のそれは 54.2% であったことに比べると 20 ポイント余り低くなっている。近年、社会調査の回収率は低くなる傾向にあるとはいえ同種の調査におけるこの低下は大きい。次に向けた総括が求められている。

■ [考察 1] 様々な人権課題に関する住民の意識の現状及び経年変化から見えること

問 6～問 14 は、それぞれの人権問題に関する住民の意識状況を把握する設問である。それぞれの設問はその課題に関わる 4 つの「意見」を提示して、回答者の考えがどれに当てはまるかを問うている。ここでは、回答において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせてその「意見」に対する「肯定的グループ」とし、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」をあわせてその「意見」に対する「否定的グループ」とした。

なおここでの考察はそれぞれの設問における4つの「意見」の中から1つあるいは2つを取り上げている。また、2005年調査および2015年調査においても同じ「意見」がある場合は、そのデータもグラフにおいて併記している。

さらに「障がい者」「外国人」「ハンセン病回復者の家族」「HIV陽性者」「LGBTQ等の性的少数者」の課題については、問5の「あなたのお子さんが恋愛をし、結婚を考えている相手またはパートナーとして考えている相手が次の人であれば、あなたはどのような態度をとると思いますか（お子さんがいない場合は、いと仮定してお答えください）」の回答結果も合わせて紹介している。

こうしたデータから、それぞれの人権課題に関する住民の意識の実態及び経年変化から見えることをさぐりたい。なお同和問題（部落問題）に関しては〔考察2〕〔考察3〕で取り上げている。

（1）子どもの人権

図1は、問6（1）「子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である」という考えに対する意見である。いわゆる子どもを一人の人権の主体と見なさずに「意見表明権」を否定する考え方である。これを否定する住民の割合は42.2%であり、10年前の34.3%、20年前の23.6%に比べて大きく増加している。

図2は、問6（3）「学校での教育的な体罰は、やむを得ない」という考えに対する意見である。体罰は重大な人権侵害でありいかなる理由があろうと許されるものではない。こうした体罰を否定できている住民の割合は67.6%であり、10年前の42.5%、20年前の33.0%に比べて飛躍的に増加している。

図1 「子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である」という考えに対する意見

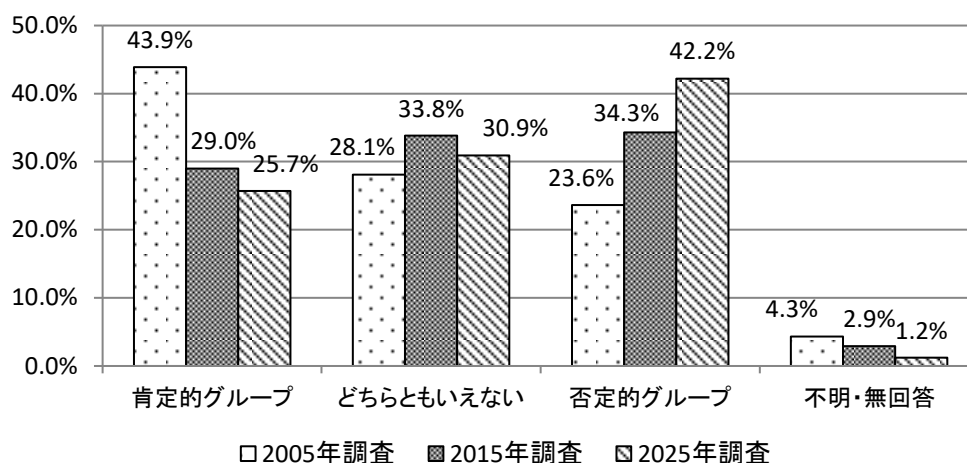
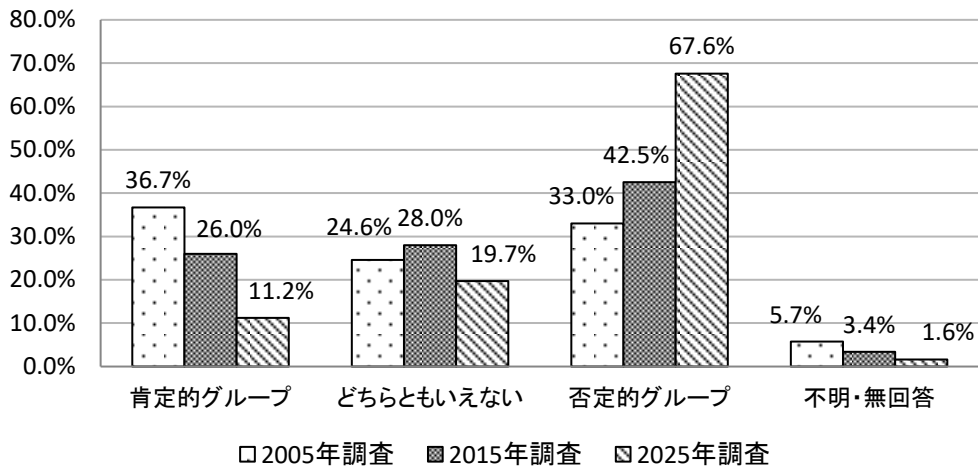


図2 「学校での教育的な体罰は、やむを得ない」という考えに対する意見



(2) 女性の人権

図3は、問7(3)「地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい」という考えに対する意見である。これを肯定する意見が25.3%と前回より激減し16.5ポイント低くなっている。逆にこれを否定する意見が39.8%と急増し、3回の調査で初めて否定する意見が逆転した。いわゆる性別による役割分担論が否定される状況が進行している。

図4は、問7(4)「女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある」という考えに対する意見である。男女共同参画社会の実現が強く求められているなかで、こうした意見を否定する住民が調査のたびごとに増加し81.0%にまで高まっている。

図3 「地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい」という考えに対する意見

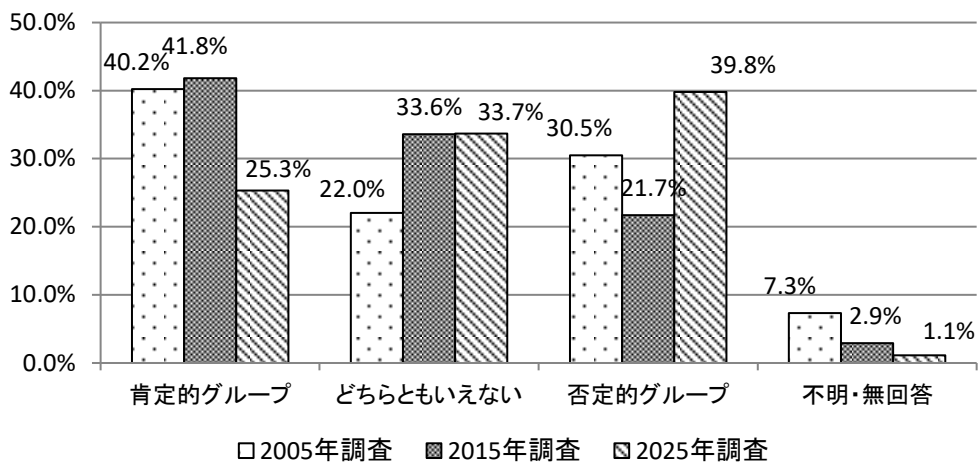
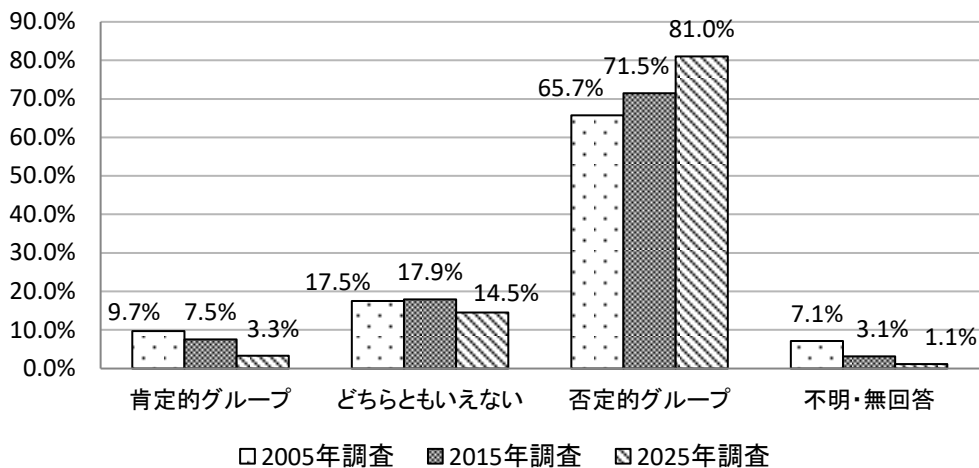


図4 「女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある」という考えに対する意見



(3) 高齢者の人権

図5は、問8(1)「年老いたら、子どもに従う方がよい」という考えに対する意見である。この意見は高齢者の人権を軽視したものである。これを肯定する人はこの20年間で減少傾向にあるもののなお34.5%存在している。

図6は、問8(3)「一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである(2005年調査では、年金や医療などの無料給付を行うのは当然である)」という考えに対する意見である。10年前に比べて明確な変化は認められないが、この意見を肯定する住民は77.2%と否定する住民の7.4%を圧倒している。高齢者に対する対策を「高齢者の人権保障」の観点からとらえることが求められている。

図5 「年老いたら、子どもに従う方がよい」という考えに対する意見

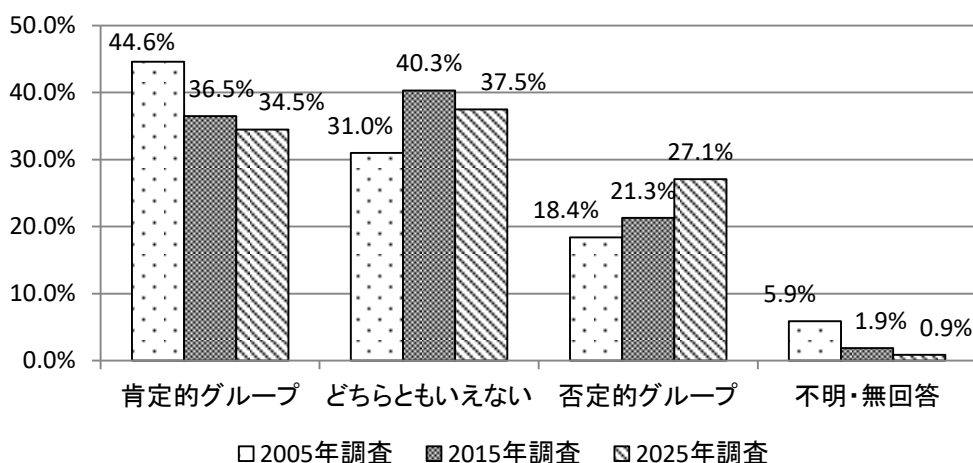
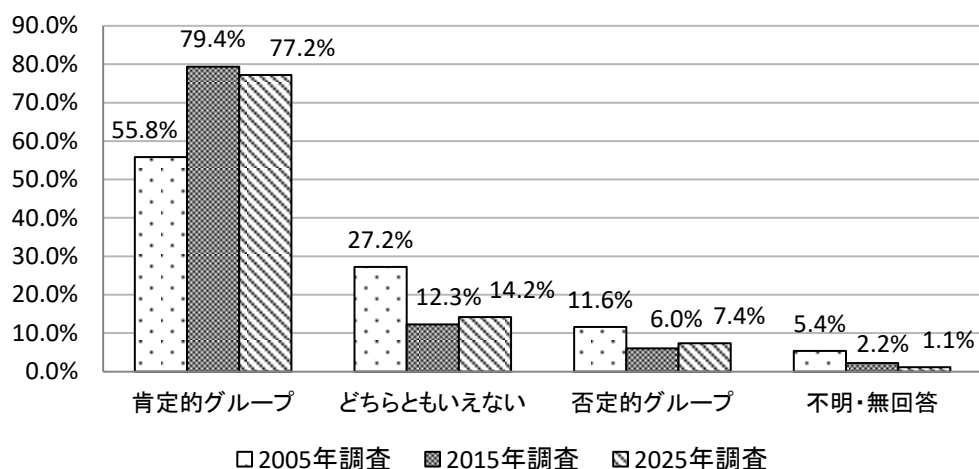


図6 「一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである（2005年調査では、一定年齢の高齢者に年金や医療などの無料給付を行うのは当然である）」という考えに対する意見



(4) 障がい者の人権

図7は、問5(1)子どもが障がい者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が11.1%、「迷いながらも結局は問題にしない」が51.1%と子どもの意志を尊重するとした住民が合わせて62.2%であった。これは2015年調査の54.3%より7.9ポイント高い。しかし「考え直すように言う」が8.9%、「迷いながらも結局は考え直すように言う」が26.6%と、反対する考えの住民が35.5%を占めている。改善の傾向がみられるとはいえ、障がい者に対する結婚での排除はなお厳しい。

図8は、問9(3)「障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい」という考えに対する意見である。被差別当事者の困りごとや悩みごとは実は住民に広く残されている人権課題の凝縮されたものである。それを「被差別当事者だけの問題」として切り取るのではなく、そこに「だれもが暮らしやすい」地域作りの課題が発信されていると受け止めることは人権問題の理解において重要なポイントである。問9(3)は障がい者問題を通してこのことの理解を尋ねたものである。

この意見を肯定する住民は65.7%となお高いが減少傾向が見られる。逆にこの意見を否定する住民の割合が11.1%と、2005年調査の2.6倍、2015年調査の1.7倍へと増加している。差別の解消と市民の人権保障との関わりについての一層の理解推進が提起されている。

図7 子どもが障がい者と結婚することになった場合の態度

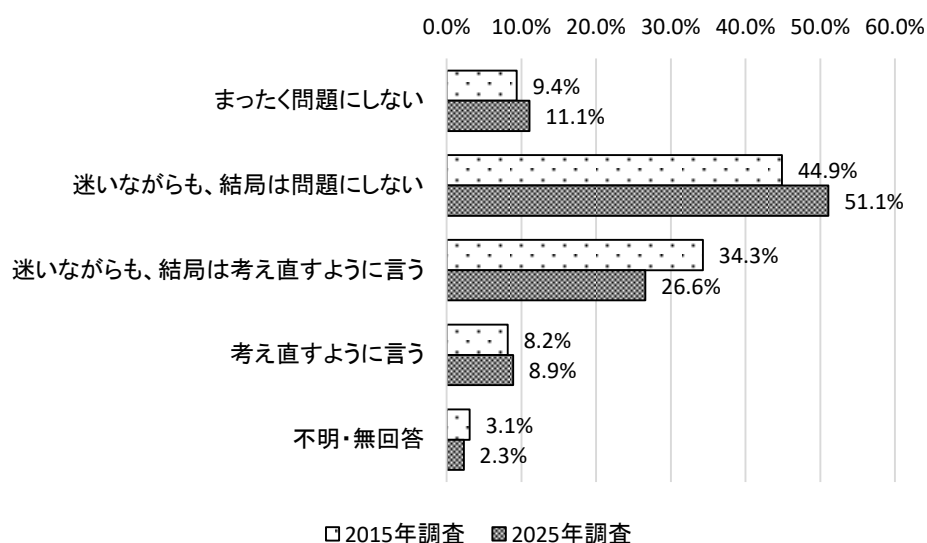
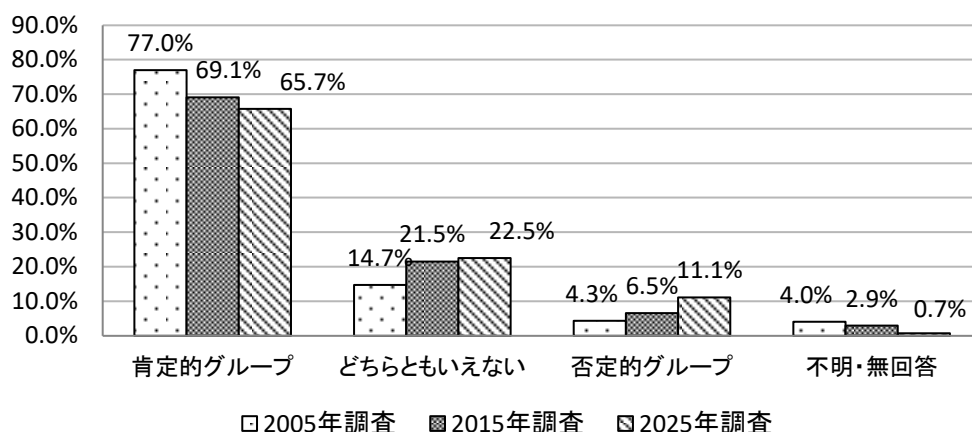


図8 「障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい」という考えに対する意見



(5) 外国人の人権

図9は、問5(2) 子どもが外国人と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が33.1%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が46.5%と子どもの意志を尊重するとした住民が79.6%であった。これは2015年調査での67.2%を12.4ポイント上回っている。国際化が進む中で外国人に対する結婚での排除は減少してきている。

図10は、問10(3)「外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない」という考えに対する意見である。この意見を否定する住民は63.8%にのぼり、この20年間で大きく増加している。外国人労働力が不可欠な状況が進行していることが住民の意識に反映されていると言えよう。国籍に関わりなく雇用における平等の推進がますます大切になっている。

図9 子どもが外国人と結婚することになった場合の態度

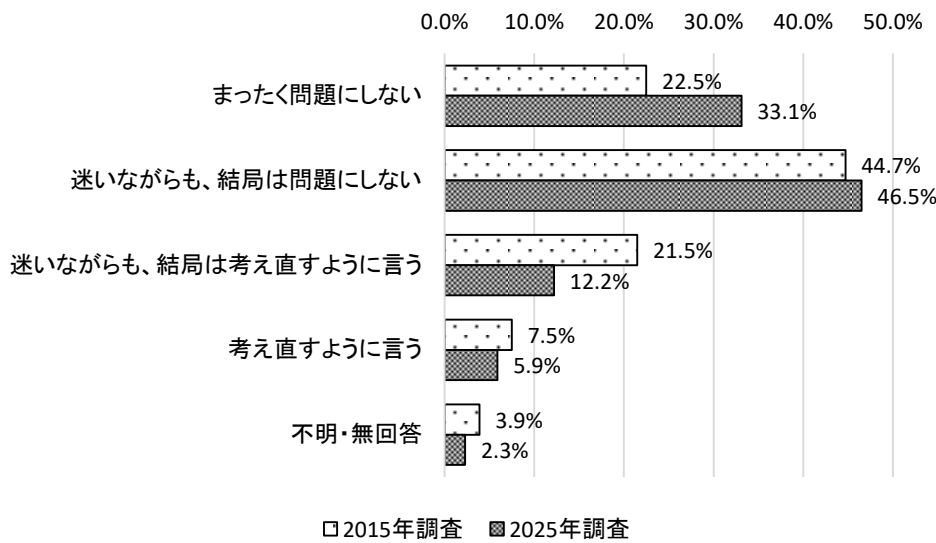
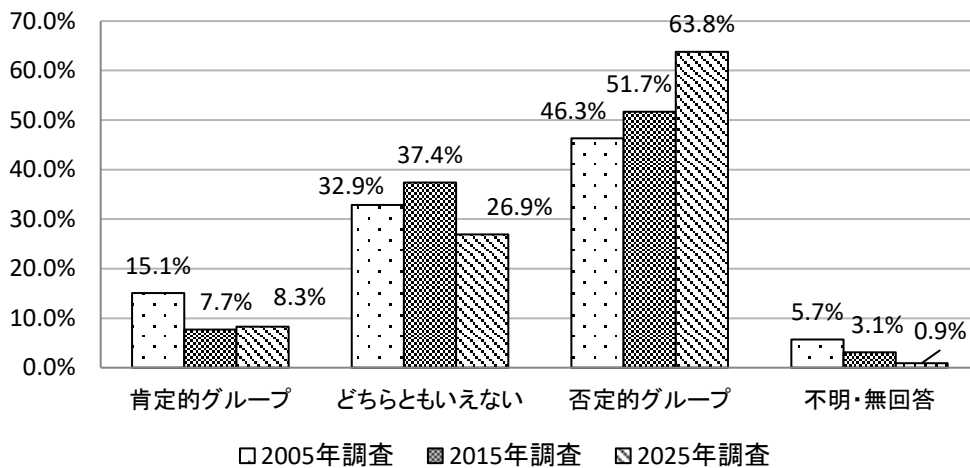


図10 「外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない」という考えに対する意見



(6) ハンセン病回復者やハンセン病感染症患者等の人権

図11は、問5(4) 子どもがハンセン病回復者の家族と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が28.5%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が39.8%でハンセン病回復者の家族との結婚を認めるとした人の合計は68.3%であった。2015年調査では同じ質問においてこれが51.4%あったことを踏まえると改善されている。しかしなお28.3%の人がハンセン病回復者の家族と結婚を反対する状況が示されている。

図12は、問11(2)「ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない」という考えに対する意見である。「そう思わない」が44.1%、「どちらかといえばそう思わない」が29.9%とこうした考え方を否定する住民の合計は74.0%に上っている。しかしこの意見を肯定したり、どちらともいえないとしている人の合計がなお24.1%ある。これは約4人に1人でありハンセン病回復者の家族に対する偏見・差別はなお根強いと言える。

図 11 子どもがハンセン病回復者の家族と結婚することになった場合の態度

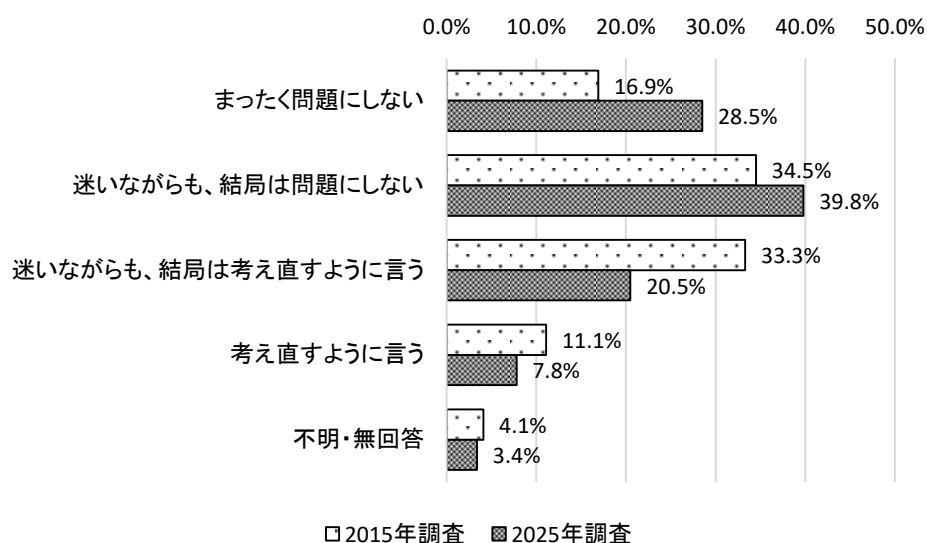
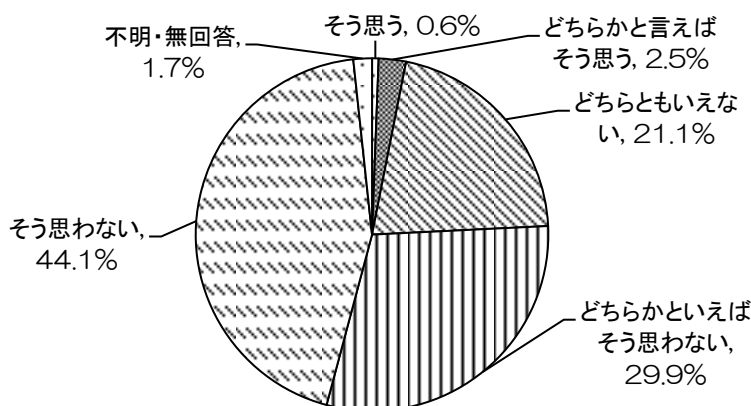


図 12 「ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない」という考えに対する意見



(7) HIV 陽性者の人権

図 13 は、問 5 (5) 子どもが HIV 陽性者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「考え直すように言う」が 27.7%、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 33.9%と反対の意向を示した住民の合計は 61.6%であった。2015 年調査では同じ質問においてこれが 74.4%あったことを踏まえると改善されている。しかしなおこの問題に関する正しい認識が稀薄であり、HIV 陽性者に対する排除は厳しく存在していると言わざるを得ない。

図 14 は、問 11 (3)「友人が HIV に感染していることがわかって、これまでと同じように付き合い合える」という考えに対する意見である。「そう思う」が 23.8%、「どちらかといえばそう思う」が 27.4%でその合計は 51.2%と約半数にとどまっている。

問 13 子どもが HIV 陽性者と結婚することになった場合の態度

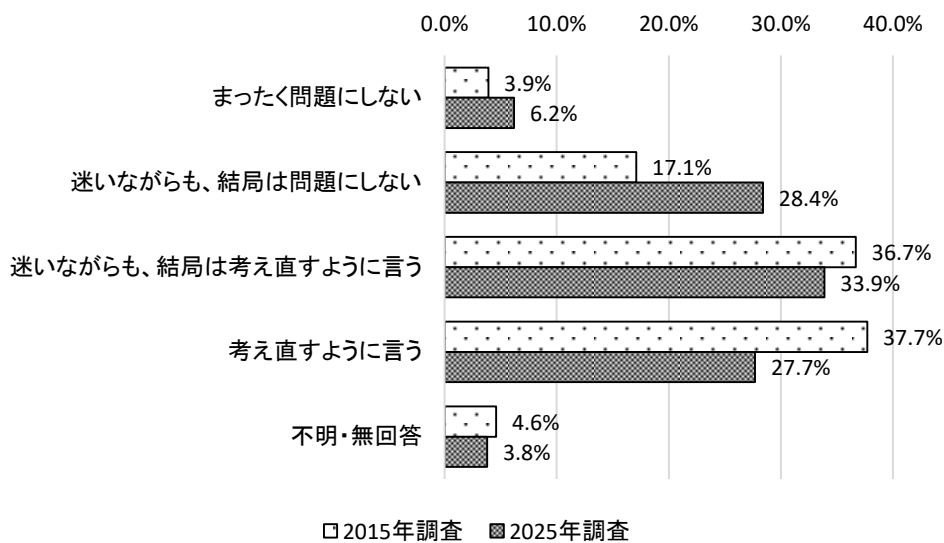
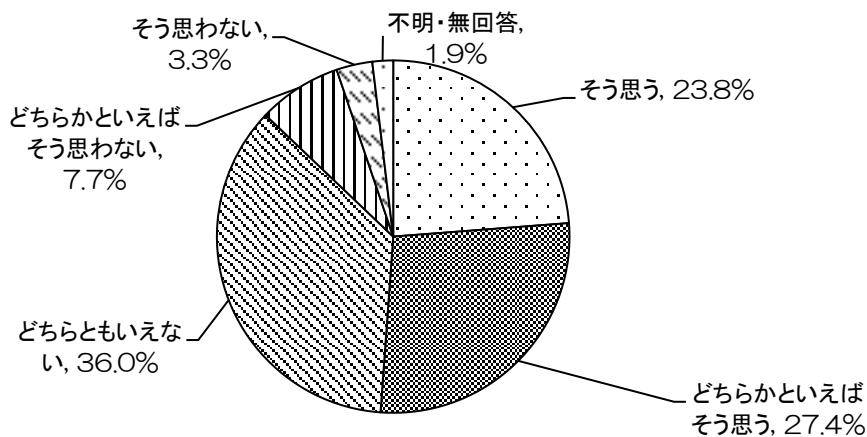


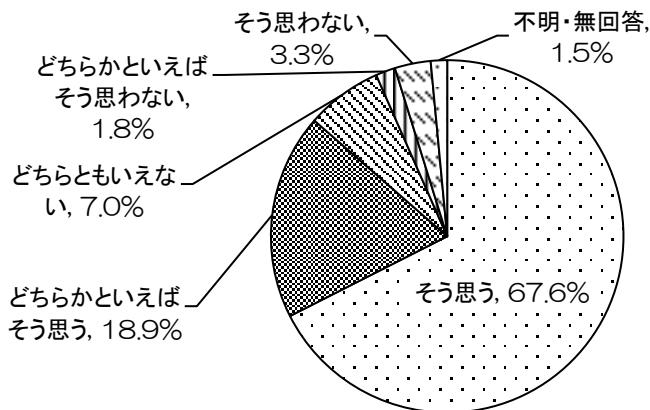
図 14 「友人が HIV に感染していることがわかって、これまでと同じように付き合っていける」という考えに対する意見



(8) コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等の人権

図 15 は、問 11 (4) 「コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない」という考えに対する意見である。「そう思う」が 67.6%、「どちらかといえばそう思う」が 18.9%でその合計は 86.5%と多数を占めている。しかし「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」と「どちらともいえない」の合計が 12.1%と約 8 人に 1 人存在する。コロナパニックは収まったとはいえ、人権の視点からの教訓を改めて共有することが提起されている。

図 15 「コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない」という考えに対する意見



(9) LGBTQ 等の性的少数者の人権

図 16 は、問 5 (6) 子どもが LGBTQ 等の性的少数者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が 16.0%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 37.1%でその結婚を認める人の合計は 53.1%で半数少々にとどまっている。

図 17 は、問 12 (1) 「LGBTQ 等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である」という考えに対する意見である。「そう思う」が 17.4%、「どちらかといえばそう思う」が 17.1%で、こうした意見を肯定する住民はあわせて 34.5%に及んでいる。

「婚姻の自由」や「居住権」は全ての人に例外なく保障されなければならない基本的人権である。不十分だと批判があるものの、2023 年 6 月からは「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律 (LGBT 理解増進法)」も施行されているが、この問題に関する住民の理解はまだ課題が多いことが示された。

図 16 子どもが LGBTQ 等の性的少数者と結婚することになった場合の態度

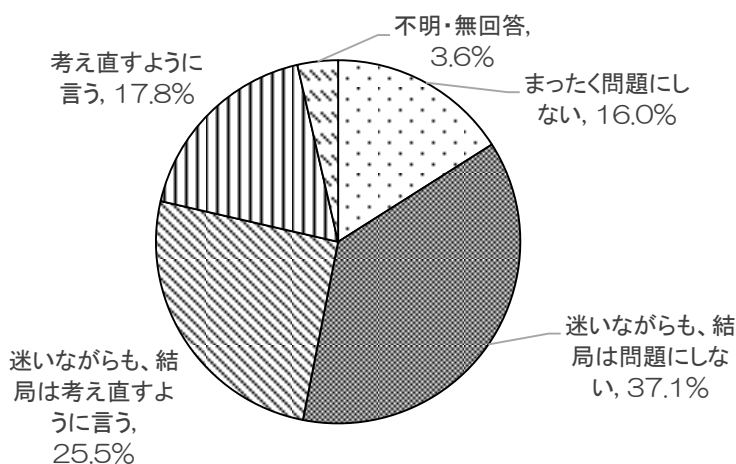
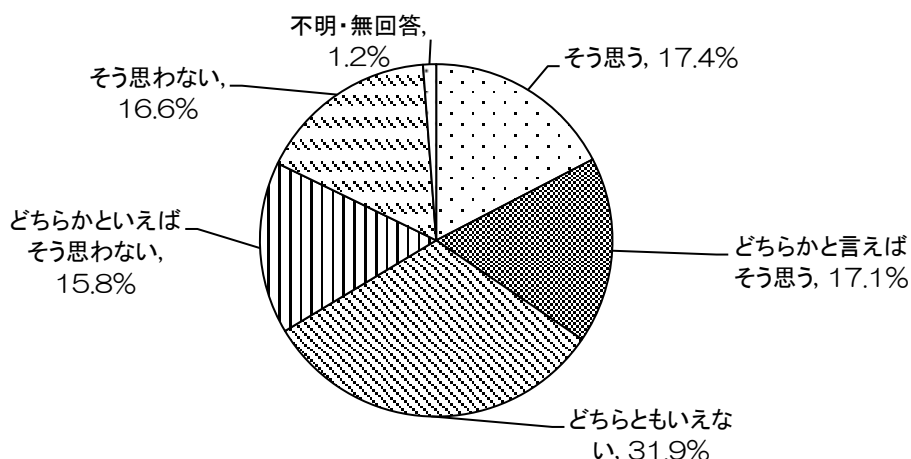


図 17 「LGBTQ等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である」という考えに対する意見



(10) 犯罪被害者やその家族の人権

図 18 は、犯罪被害者やその家族の

人権に関する問 13 (3) 「刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである」という考えに対する意見である。「そう思う」が 47.0%、「どちらかといえばそう思う」が 33.1%で、こうした意見を肯定する住民は 8 割を超えている。

図 19 は、問 13 (4) 「報道、取材や一般人の SNS 等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穏を犯してはならない」という考えに対する意見である。「そう思う」が 68.6%、「どちらかといえばそう思う」が 19.0%で、こうした意見を肯定する住民は 87.6%に達している。犯罪被害者やその家族の人権に関する理解は高いといえる。

図 18 「刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである」という考えに対する意見

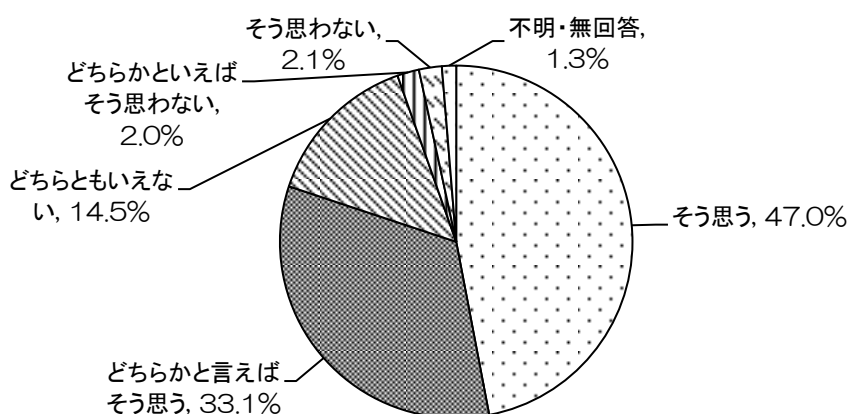
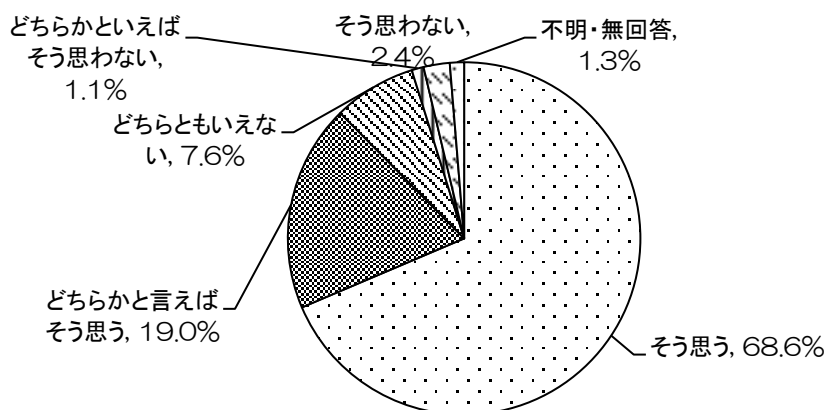


図 19 「報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穩を犯してはならない」という考えに対する意見



(11) インターネット上の人権

表 1 は、問 14でのインターネット上の人権に関する 4 つの考えに対する意見を尋ねた結果である。それぞれの意見に対する、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせ肯定的グループの割合は次の通りであった。

「(1) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ」では 78.9%、「(2) ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である」では 91.3%、「(4) 差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ」では 81.6%といずれも圧倒的にこうした意見が支持されている。

行政に対して、インターネット上の人権課題を解決するために、プロバイダーへの削除要請や教育・住民啓発活動の推進、さらには法(条例)規制に関する取り組みが提起されている。なおその際、「(3) 表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない」という意見を肯定するグループの割合が 25.4%あることにも留意する必要がある。

表1 「インターネット上の人権課題について、どう思いますか」の回答結果

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わ ない	不明・無 回答
インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ	52.3%	26.6%	14.1%	2.0%	3.3%	1.7%
ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である	66.1%	25.2%	5.2%	0.5%	1.2%	1.8%
表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない	10.2%	15.2%	35.2%	19.9%	17.5%	2.0%
差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ	43.9%	37.7%	11.7%	2.5%	2.4%	1.8%

(12) 小活

子どもの人権や女性の人権に象徴されているように、20年前、10年前と比較して、住民の人権問題に関する意識が全般的に高まっていることが示されている。人権意識の高まりは可視化されにくいものであるが、調査の継続が不可逆的なその変化を明らかにしてくれた。この間の社会の変化が反映されているとともに、地道な教育・啓発の取り組みの結果と言えよう。

しかし、これで十分ではないこともまた調査から提起されている。子どもへの体罰を条件付とはいえ肯定している人が11.2%存在し、「年老いたら子どもに従う方がよい」という意見もなお34.5%存在している。障がい者、外国人、ハンセン病回復者の家族との結婚における反対意見はなお根強い。とりわけHIV陽性者やLGBTQ等の人との結婚における反対意見は大変厳しい結果となった。コロナ禍での人権侵害の教訓化の徹底や、インターネット上の人権課題の理解増進も重要である。

調査が明らかにしたこの間の成果と課題を踏まえて、一層の取り組みの推進が求められている。

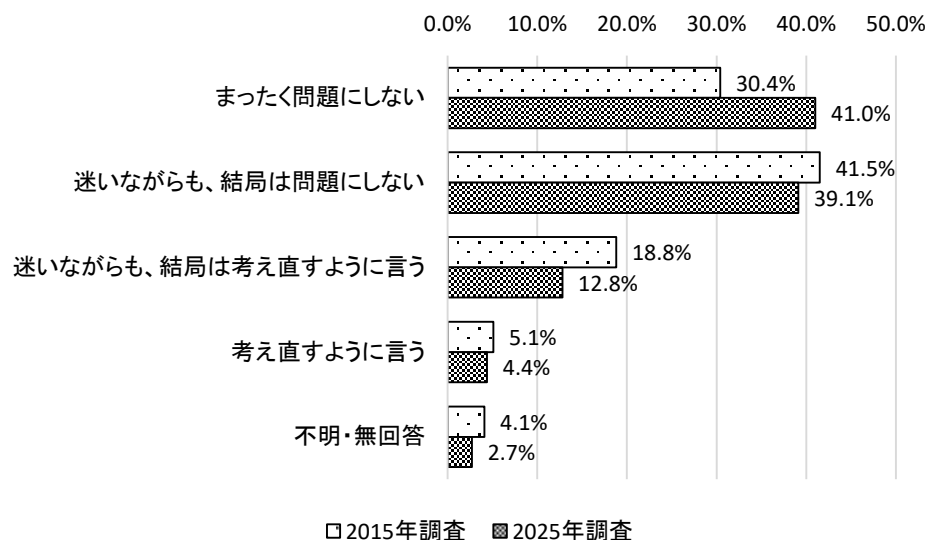
■【考察2】住民の意識から見えてくる部落差別の現実

今日の部落差別の現実について、住民の意識状況からこれを検証する。取り上げるのは(1)結婚差別問題(問5)、(2)部落に対する感情(問20)、(3)「同和地区はこわい」というわさの流布(問24)、(4)結婚差別の見聞経験(問25)である。これらの調査結果を通じて今日の部落差別の現実をさぐる。なお必要に応じて過去の調査との比較も行うこととした。

(1) 子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度

図 20 は、問 5 (3) 子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。2015 年調査に比べて「まったく問題にしない」が 30.4%から 41.0%へと 10 ポイント余り伸びている。勇気づけられる結果である。しかしなお「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 12.8%、「考え直すように言う」が 4.4%と同和地区出身者との結婚を反対する住民の割合が合わせて 17.2%となっている。この数値はゼロにならないものであることを考えるとき、更なる取り組みの前進が求められている。

図 20 子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度



(2) 「被差別部落」という言葉を聞いたときの感情

問 20 は「あなたは、「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感情を持ちますか」と尋ね、「上品な」「やさしい」「清潔な」「豊か」「働き者」という肯定的な感情を<A>群とし、これらと対をなす否定的感情である「下品な」「こわい」「不潔な」「貧しい」「なまけもの」を群として提示している。調査結果は表 2 の通りであった。なお表 2 では回答結果を「A に近いグループ」と「B に近いグループ」に統合してその割合を示している。また「不明・無回答」は割愛している。

本来はこれらの項目における回答は「どちらともいえない」となるべきであるが、その割合は 5 割～7 割程度にとどまっており、「上品なー下品な」「やさしいーこわい」「清潔なー不潔な」「豊かー貧しい」では、強く「B に近いグループ」に偏っていることがわかる。これらの項目における「A に近いグループ」に対する「B に近いグループ」の倍率は、「上品なー下品な」で 8.8 倍、「やさしいーこわい」で 4.8 倍、「清潔なー不潔な」で 4.2 倍、「豊かー貧しい」で 8.0 倍に達している。強烈なマイナスイメージが部落に注がれている。明確な偏見の存在である。なお「働き者ーなまけもの」の項目だけは例外で、逆に「A に近いグループ」が「B に近いグループ」の 3.4 倍となっていることにも注目したい。

表2 「あなたは、「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感情を持ちますか」への回答結果（「不明・無回答」は割愛している）

<A>	1 非常に Aに近い	2 ややAに 近い	3 どちらとも いえない (わからない)	4 ややBに 近い	5 非常にB に近い	
上品な		2.7%	64.2%	23.7%		下品な
やさしい		5.0%	61.3%	24.2%		こわい
清潔な		4.1%	68.6%	17.2%		不潔な
豊か		4.3%	51.4%	34.5%		貧しい
働き者		15.0%	71.5%	4.4%		なまけもの

(3)「同和地区はこわい」とのうわさの流布

図21は、問24「あなたは、「同和地区はこわい」というような話を聞いたことがありますか」への回答結果を2005調査、2015年調査と比較したものである。こうしたうわさを聞いたことがあるとしたものは17.9%で調査ごとにその割合は減少している。しかし減少しているとはいえ、こうしたうわさがなおちまたで流れていることは確かであり、5～6人に1人が聞いている状況は決して楽観できるものではない。この状況が、表2の「やさしいーこわい」のイメージ形成に影響していることが推測される。

表3は、こうした「同和地区はこわい」という話を聞いたことがあると回答した人に、それは誰から聞いたのかを尋ねた結果である。「はっきり覚えていない」の34.7%を除くと、最も多かったのは「家族」の14.5%、次いで「近所の人」10.4%、「友人」7.5%、「職場の人」5.2%と続く。「学校の先生」という回答も4.6%あり、「県や市町村の職員」との回答も1.2%あった。

図22は、「同和地区はこわい」という話を聞いたときどう感じたかを尋ねた結果である。「そのとおりだと思った」が3.5%、「そういう見方もあると思った」が21.4%で合わせて24.9%の人がそれを肯定的に受け入れている。「反発・疑問を感じた」はわずか7.5%であった。例えばこれが「大阪府民はこわい」との話を聞いたときではこのような結果にはならないはずである。そこに部落に対する偏見の存在が垣間見える。同和地区に対する偏見が生活現場で継承・再生産されていることがうかがえる。

図 21 「あなたは、「同和地区はこわい」というような話を聞いたことがありますか」への回答結果

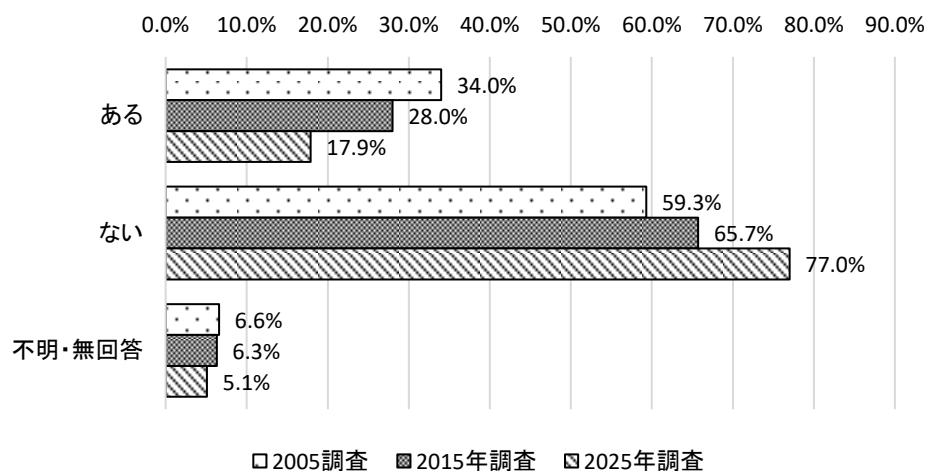
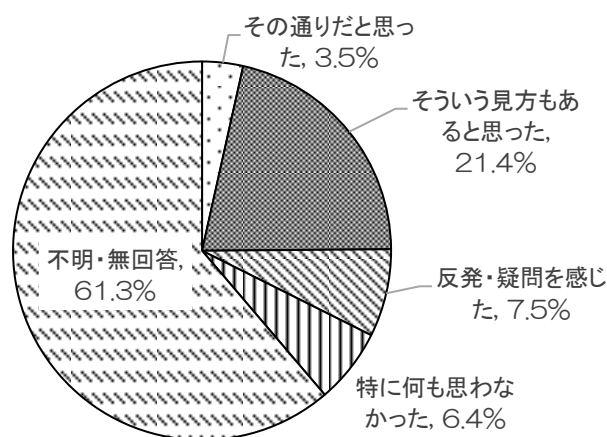


表 3 「同和地区はこわい」というような話を誰から聞いたのか

家族	親戚	近所の人	友人	職場の人	学校の先生	県や市町村の職員	知らない人	はっきり覚えていない	その他	不明・無回答
14.5%	4.6%	10.4%	7.5%	5.2%	4.6%	1.2%	2.9%	34.7%	5.8%	11.0%

図 22 「同和地区はこわい」というような話を聞いたときどう感じたか



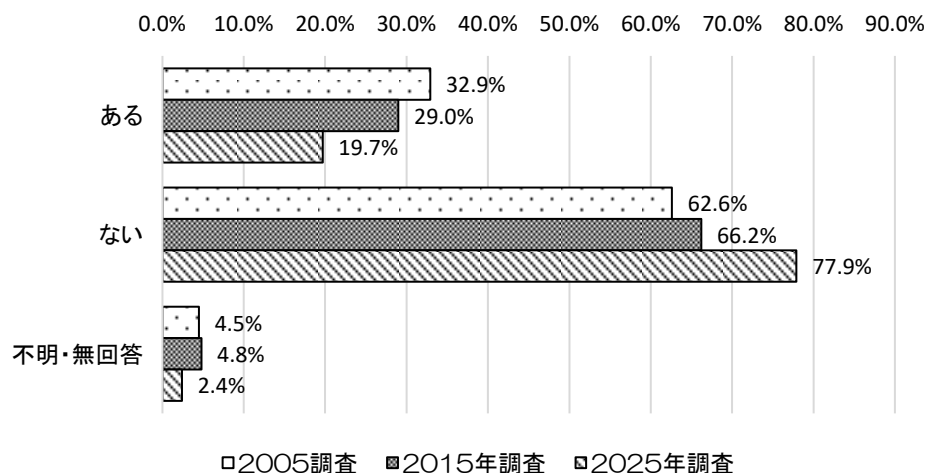
(4) 同和地区の人との結婚でもめたり、反対にあったりしたことの見聞経験

図 23 は、問 25 「あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあったりしたことを聞いたことがありますか」の回答結果である。「ある」は 19.7%で 2005 調査、2015 年調査に比べてあきらかに減少している。

しかし 19.7%という数値は決して小さなものではない。5 人に 1 人が同和地区の人に対する結

婚差別を身近に見聞している。結婚差別がなお日常的になされていることがうかがえるとともに、そうしたことが身近で生じていることの周囲への影響が危惧される。

図 23 同和地区の人との結婚でもめたり、反対にあったりしたことの見聞経験



(5) 小活

10年、20年のスパンから見ると住民の意識から見えてくる部落差別の現実には改善されてきている。まずはこの間の取り組みの成果を確認したい。しかし目標は部落差別の解消であることから見れば、まだまだ差別の実態は厳しいと言わざるを得ない。

子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合に「考え直すように言う」住民が減少したとはいえ17.2%存在し、同和地区の人との結婚差別に関する見聞も19.7%の人があるとしている。部落に対するマイナス感情も明らかに強い。「同和地区はこわい」とのうわさも生活のそこかしこで未だに流布しており、それを明確に否定できている状況には程遠い現状がある。

部落差別解消への歩みが進んでいることは確かである。しかし道半ばである。粘り強い取り組みでさらなる前進を期待したい。

■ [考察3] 住民は部落差別の現実を正しく認識しているだろうか

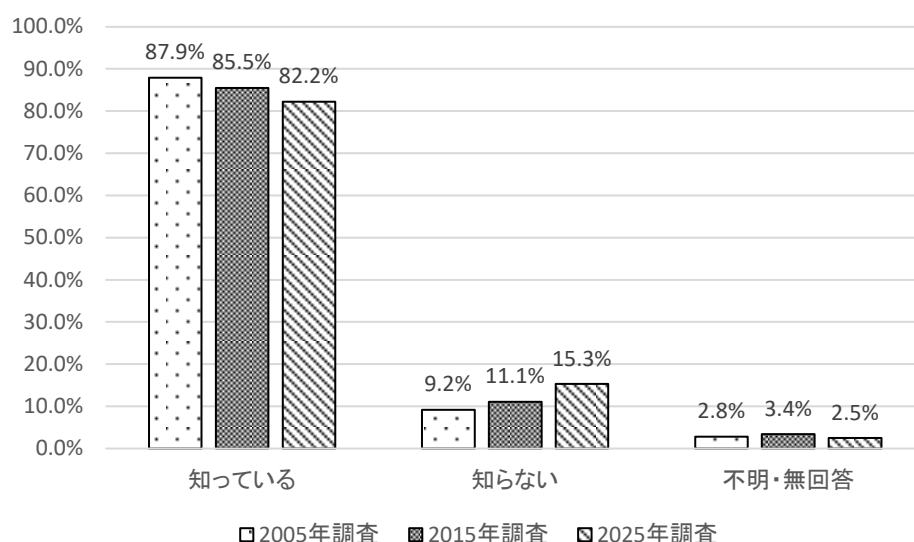
部落差別の正しい現実認識は、部落差別解消を目指す取り組みの前提でありスタートラインである。ここでは部落差別の現実がはたして住民に正しく認識されているのかどうかを検証する。

(1) 部落差別の存在認知

図 24 は、問 19「あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか」への回答結果を2005年調査、2015年調査と比較したものである。

「知っている」とした人が82.2%と圧倒的に多いが、経年変化を見ると少しずつ減少していることがわかる。逆に「知らない」と答えた人が15.3%となっている。

図 24 「あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか」への回答結果



(2) 住民の部落差別の現実認識

表 4 は、問 22 「あなたは現在、部落差別（同和問題）に関して、次にみられるような人権侵害や問題などがあると思いますか」の回答結果である。設問に例示されている（1）～（6）に提示されている部落および部落出身者に対する人権侵害の問題はいずれも現に存在している部落差別の現実である。にもかかわらず、こうした現実が「あると思う」と「どちらかといえばあると思う」を合計しても 2 割から 3 割台にとどまっている。逆に「無いと思う」と「どちらかといえば無いと思う」の合計は（1）～（4）で過半数を超えている。（5）と（6）でも 4 割を超えている。愕然とする結果であった。

（6）の「インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること」に至っては裁判にまでなっており、こうした「情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていること」（部落差別解消推進法第一条）が 2016 年 12 月の部落差別解消推進法の制定にも深く関わっている重大な事態である。この問題ですら「あると思う」の合計は 34.0%にすぎず、「無いと思う」の合計の方が 41.8%と上回っている。

部落差別の現実が厳然と存在しているにもかかわらず、住民に正しく認識されていない状況を調査の結果は示している。重く受け止めなければならない。

表4 「あなたは現在、部落差別（同和問題）に関して、次にみられるような人権侵害や問題などがあると思いますか」への回答結果

	1 ある と思う	2 どちらか といえばある と思う	あると思 うの合計	3 どちらか いえない と思う	4 ない と思う	ないと思 うの合計	5 わから ない	6 不明・ 無回答
(1) 就職のときや職場で不利な扱いを受けること	9.5%	17.1%	26.6%	24.5%	28.2%	52.7%	18.4%	2.3%
(2) 地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること	7.8%	18.9%	26.7%	25.0%	30.7%	55.7%	15.2%	2.5%
(3) 身元調査をされること	8.0%	20.1%	28.1%	24.5%	25.5%	50.0%	19.3%	2.7%
(4) 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること	6.8%	15.5%	22.3%	23.7%	32.0%	55.7%	19.4%	2.5%
(5) インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること	12.1%	22.3%	34.4%	21.1%	21.0%	42.1%	20.5%	2.9%
(6) インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	13.0%	21.0%	34.0%	19.7%	22.1%	41.8%	21.2%	2.9%

(3) 小活

部落差別の現実が存在するにもかかわらず、それが住民に正しく認識されていなければ差別はあたかもないことのように扱われる。そこからは取り組みの必要性などは語られない。それどころか「いつまでやっているのか」「そろそろ取り組みを終了してもいいのではないか」といった意見さえ出かねない。

差別の現実認識は取り組みの一切の前提であることを考えるとき、今回の調査結果で示された住民の「部落差別の現実認識」の誤りは放置できないものである。

■ [考察4] 差別解消への態度や行動を育むものの仮説検証

(1) 仮説の設定

差別は人間が創り出したものである。人間が創り出した差別は、人間の取り組みによって必ず解消することができる。1965年に出された同和对策審議会答申にあっても「同和問題もまた、すべての社会事象がそうであるように、人間社会の歴史的発展の一定の段階において発生し、成長し、消滅する歴史的現象にほかならない」「いかなる時代が来ようとどのように社会が変化しようと、同和問題が解決することは永久にありえないと考えるのは妥当ではない」と記されている。

では差別解消に向かう人間の取り組みはどのような事柄に影響を受けて形成されているのであろうか。本調査のデータを用いてこの問に迫ってみたい。

本調査において、部落差別解消への態度や行動を確かめているものとしてあるのが、問5(3)

の「子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度」に関する質問と、問 21「学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか」である。ではこれら質問への回答結果は何によって異なった結果が導かれているのだろうか。ここでは差別解消への態度や行動を育むものの探索として、次のような 2 つの仮説を設定してその検証を行う。

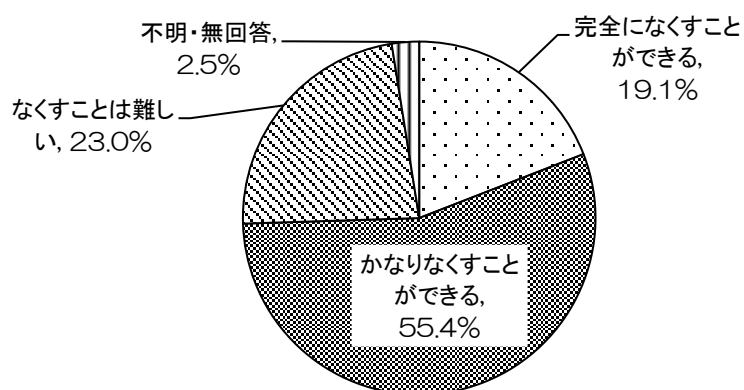
(2) [仮説 1] の検証

〔仮説 1〕「部落差別は解消される」との展望があってこそ初めて部落差別解消の取り組みへの建設的な姿勢や態度が生まれる。努力して取り組んでも部落差別を無くすことは難しいという認識からは「どうせ取り組んでも仕方がない」との消極的な姿勢や態度になりかねない。

本調査では、「部落差別は解消される」との展望については問 23「部落差別は将来なくすことができると思いますか」としてたずねている。これと部落差別解消への態度や行動を図るものとして取り上げた問 5（3）および問 21 の回答結果との関わりを見る。

まずは、問 23「部落差別は将来なくすことができると思いますか」の回答結果を見ておきたい。図 25 がそれで、「完全になくすことができる」が 19.1%、「かなりなくすことができる」が 55.4%、「なくすことは難しい」が 23.0%であった。

図 25 「部落差別は将来なくすことができると思いますか」の回答結果



では、この部落差別解消への展望の違いが「部落差別解消の取り組みへの姿勢や態度」にどのような違いを生じさせているのか、問 5（3）「子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度」の回答結果とのクロス集計が表 5 である。「まったく問題にしない」と明確に結婚差別を否定する態度を見ると、部落差別を「完全になくすことができる」人の場合は 65.3%に達している。「かなりなくすことができる」とした人の場合でも 41.0%であるが、「なくすことは難しい」人にとっては 27.4%にとどまっている。

次に部落差別解消への展望の違い別に見た問 21「学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか」の回答結果とのクロス集計が表 6 である。差別を黙認したり同調することなく、

「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」と差別解消への態度をとるとした人は、部落差別を「完全になくすことができる」人の場合は49.4%、「かなりなくすことができる」とした人の場合は40.9%であったが、「なくすことは難しい」人においては30.4%と明らかに少ない。

「部落差別は解消される」との展望を獲得することが、部落差別解消への姿勢や態度に結びついていることがわかる。

表5 部落差別解消への展望別にみた「子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度」

	まったく問題にしない	迷いながらも、結局は問題にしない	迷いながらも、結局は考え直すように言う	考え直すように言う
完全になくすことができる	65.3%	26.1%	6.8%	1.7%
かなりなくすことができる	41.0%	42.7%	12.5%	3.8%
なくすことは難しい	27.4%	45.1%	20.0%	7.4%

表6 部落差別解消への展望別にみた「誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき」の態度

	差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）	気づかなかったふりをする（と思う）	表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）	その他
完全になくすことができる	49.4%	37.5%	1.2%	11.9%
かなりなくすことができる	40.9%	49.8%	2.7%	6.6%
なくすことは難しい	30.4%	58.9%	5.1%	5.6%

(3) [仮説2] の検証

【仮説2】「部落差別は解消される」との展望は、現代社会が差別をなくそうとする方向に進んでいるのか、逆にこうした方向には進んでいないと受け止めるのかという「人権に関する社会動向認識」が影響を与えている。現代社会が差別をなくし人権尊重を重視する方向に進んでいると受け止めている人ほど部落差別解消の展望は強く、逆に社会は差別解消、人権尊重に逆行していると感じている人にとっては部落差別解消の展望は弱い。

本調査において「人権に関する社会動向認識」を確かめているのは問4である。ここではA、B二人の意見を提示し、どちらに近いを問う中で回答者の「人権に関する社会動向認識」を確かめている。

問4 差別について、A、B二人の意見が次のように分かれました。あなたは次のAとBのどちらの意見に近いですか。

Aの意見：今日では差別は許されない状況にあり、差別をする人がやがて孤立してしまう。

Bの意見：世間ではまだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立してしまう。

〔仮説2〕は、「Aの意見」の人ほど「部落差別は解消される」との展望は強く、「Bの意見」の人ほどその展望は弱いということになる。そこで問4の回答結果の違い別に見た部落差別解消への展望を確かめた。それが表7である。

「Aの意見に賛成」である場合、部落差別を「完全になくすことができる」人の場合は34.5%で明らかに高い。「Bの意見に賛成」や「どちらかといえばそうBの意見に賛成」「わからない」の場合は、「なくすことは難しい」人の割合がいずれも25%を超えている。「人権に関する社会動向認識」が「部落差別は解消される」との展望に影響を与えていることがわかる。

なおここでは両変数の相関係数を提示しておく。用いているのはスピアマンの順位相関係数である。その結果は1%水準で有意であり相関係数は0.120であった。明確に「人権に関する社会動向認識」が「部落差別は解消される」との展望に関わっていることが確認された。なおスピアマンの順位相関係数については別に記している通りである。

表7 Aの意見、Bの意見に対する考え別に見た部落差別解消への展望

	完全になくす ことができる	かなりなくす ことができる	なくすことは 難しい
Aの意見に賛成である	34.5%	50.0%	15.5%
どちらかといえばAの意見に賛成である	19.8%	62.5%	17.7%
わからない	18.7%	55.9%	25.4%
どちらかといえばBの意見に賛成である	16.8%	57.0%	26.2%
Bの意見に賛成である	18.8%	53.6%	27.5%

相関

		nq4 (問4)	q23q23 (問23)
Spearmanのロー	nq4	相関係数	1.000
		有意確率 (両側)	.120**
		度数	612
q23q23		相関係数	.120**
		有意確率 (両側)	0.003
		度数	605
		605	941

**：相関係数は1%水準で有意（両側）です。

ところでこの「人権に関する社会動向認識」であるが、表8のとおり2005年調査および2015年調査の結果と比較すると「Aの意見に賛成である」としている人の割合が低下している。今回の調査では、「今日では差別は許されない状況にあり、差別をする人がやがて孤立してしまう」というAの意見に「賛成」が6.1%にとどまり、「どちらかといえば賛成」を合わせた合計においても26.3%にとどまっている。近年の外国人に対する差別的・排外主義的な出来事やこれを煽る動き、インターネット上での部落差別の助長、SNSを通じた個人攻撃や差別的デマの拡散などが深刻化している。にもかかわらず、これに毅然と対抗し、有効な対処を講じきれていない国や自治体の状況を肌身に感じていることの結果でないかと推測される。こうした中で「わからない」とした人の割合が増加し、Bの意見に「賛成」が7.2%と初めてAの意見を上回った。留意する必要がある。

表8 人権に関する社会動向認識の経年変化

	Aの意見に賛成である	どちらかといえばAの意見に賛成である	わからない	どちらかといえばBの意見に賛成である	Bの意見に賛成である	不明・無回答
2005年調査	12.1%	20.6%	25.8%	26.7%	9.0%	5.9%
2015年調査	10.1%	19.6%	28.7%	28.0%	10.1%	3.4%
2025年調査	6.1%	20.2%	33.9%	29.9%	7.2%	2.7%

<スピアマンの順位相関係数>

相関係数とは、2つの変数の関わりを検証するものである。数字の符号（プラス・マイナス）は関わり方向を示しており、一方の変数の番号が大きくなる（小さくなる）ほど、他も大きくなる（小さくなる）場合、符号はプラスとなり正の相関と呼ぶ。逆に、一方が大きくなるほど他方が小さくなる場合、符号はマイナスになり負の相関と呼ぶ。

例えば、自動車の走行距離とタイヤの回転数は、走行距離が増えるほど回転数も増えるからプラスの相関がある。逆に、走行距離とガソリンの残量は、走行距離が増えるほど残量は経るからマイナスの相関がある。

相関係数の数字の絶対値の大きさは、相関の強さを示している。数字の右に書かれた「*」や「**」は、この相関係数が統計的な意味を持つものであるかどうかを示している。「**」の場合は1%水準で有意である（100回同じ調査を行えば99回が同じ結果になる）ことを、また「*」の場合は5%水準で有意である（100回同じ調査を行えば95回が同じ結果になる）ことを示している。これが付いていない場合は、統計的な意味を持つとは言い難いと判断される。

なおここで用いている相関係数はスピアマンの順位相関係数である。スピアマンの相関係数とは、数量そのものではなく、内容のレベルに順位を与えてそれに番号を付けることによって両変数の相関関係を見るものである。

(4) 小活

「部落差別は解消される」との展望が部落差別解消の取り組みへの建設的な姿勢や態度に関わっている。そしてこの「部落差別は解消される」との展望は、「人権に関する社会動向認識」に影響を受けている。

人権に関する社会の取り組みは着実に前進している。これまでは人権の課題だとして社会の共通認識にされていなかった問題（例えばセクシャルマイノリティの問題や様々なハラスメントの問題など）が今日では重要な人権課題として捉えられている。また差別解消三法をはじめとする人権擁護に関する法令の整備も進んできた。こうした「人権に関する社会動向」を正しく伝えることの重要性を再確認したい。同時に「差別は解消される」という展望の共有をはかる取り組みの課題についてさらに探求することが求められている。

■ [考察5] 「寝た子を起こすな」論の検証

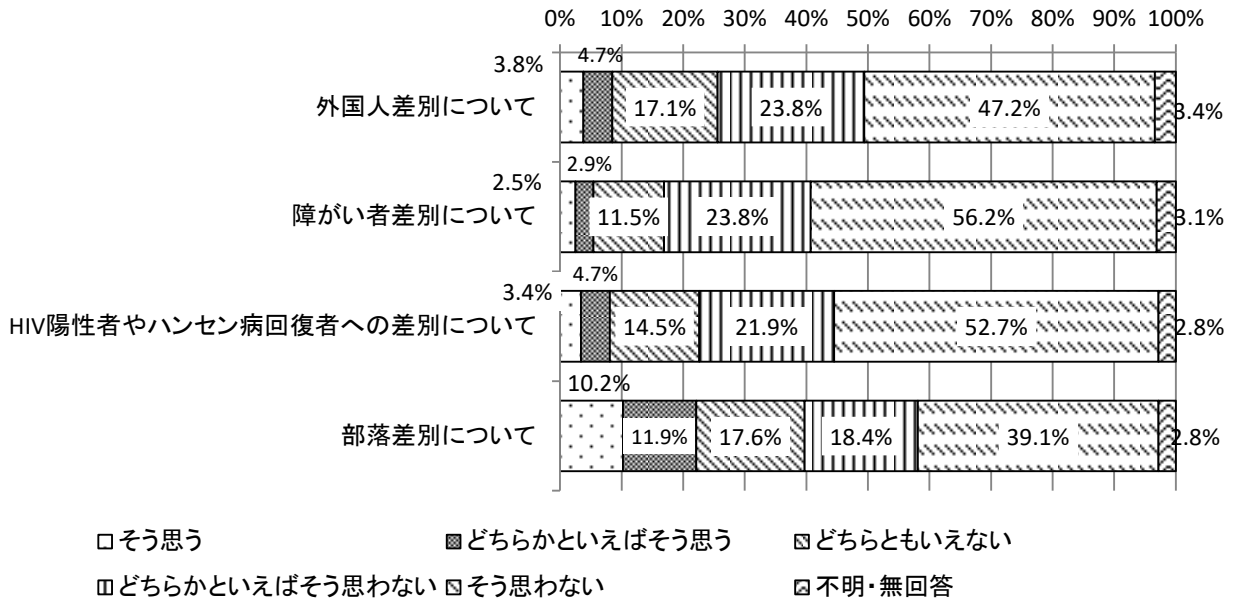
「寝た子を起こすな論」の克服は今日なお大きな課題である。同和对策審議会答申（1965年）においても、『寝た子を起こすな』式の考えで、同和問題はそのまま放置しておけば社会進歩にともないいつとはなく解消すると主張することにも同意できない」（第1部同和問題の認識）とこれをきっぱりと否定した。「そっとしておけば差別は自然になくなっていく」というこの主張は取り組みの展開を否定し、差別解消の前に立ちほだかる壁となる。たとえそれが「部落問題を解決しよう」という善意に立脚した誤解であってとしても、結果として差別の温存につながるものである。改めて本調査の結果から「寝た子を起こすな」論の実態を検証したい。

(1) 「寝た子を起こすな」論に関する住民の実態

図26は、問1で質問している人権課題別に見た「寝た子を起こすな」論への考えである。「外国人差別は、そっとしておけば自然になくなる」については「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が8.5%、障がい者差別については合計が5.4%、HIV陽性者やハンセン病回復者に対する差別については合計が8.1%、部落差別については合計が22.1%であった。いずれの人権課題においてもなお「寝た子を起こすな」論を支持している人が一定割合存在しているが、部落問題にあっては2割以上の住民が支持しており突出している。

外国人差別、障がい者差別、HIV陽性者やハンセン病回復者差別は他者との明確な「属人的区別」が存在する。それによって差別の対象とすることはもちろん許されるものではない。一方部落差別については他者との明確な「属人的区別」は存在しない。こうした部落差別の特異性が「寝た子を起こすな」論の支持率を高めている背景に存在していることが推測される。

図 26 人権課題別の「寝た子を起こすな」論への考え



(2) 「寝た子」は起こされている、しかも間違っで起こされている

表 9 は、問 19-1 で尋ねている同和問題を知ったきっかけ（認知経路）である。最も多かったのが「学校の授業で」の 59.6%であったが、次が「家族から」の 31.0%であった。こうした認知経路を私的な情報源と公的な情報源に分類すると、「家族から」以外にも「近所の人から」が 8.2%、「職場の人から」が 5.9%など、私的な情報源が大きな割合を占めていることがわかる。

つまり「寝た子を起こすな」論の主張通り、学校の授業や行政による啓発活動などを止めたところで、部落問題に関する情報が社会から無くなっていくわけではないことがわかる。「寝た子」は日常の市民生活の中で起こされているのである。

しかも私的な情報源にあっては、図 21 で見たとおり「同和地区の人はこわい」などといううわさがまだまだ残されており、表 2 で示したとおり、強いマイナスイメージが支配的である。インターネットの世界で差別的な情報があふれていることも周知のとおりである。だとすれば、学校での教育や住民啓発を行わずにそっとしておくということは、正しい部落問題に関する情報の蛇口が閉まるだけで、結果として、世間に漂う間違っで部落問題情報に染まってしまうことを調査の結果は教えている。

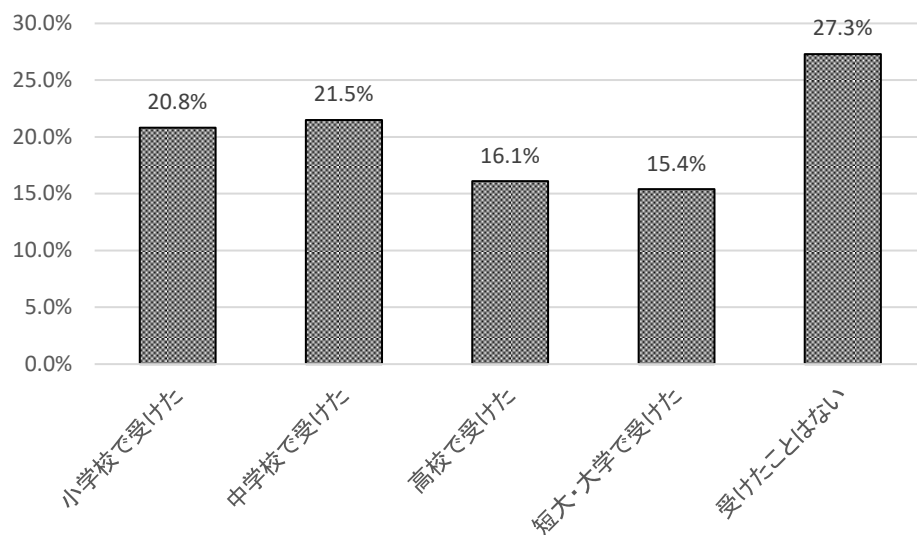
表 9 同和問題を知ったきっかけ（複数回答可）

私的な情報源					公的な情報源				その他	
家族から	親戚の人から	近所の人から	職場の人から	学校の友人から	学校の授業で	テレビ・ラジオ・新聞・本などで	同和問題の集会や研修会で	県や市町村の広報紙や冊子で	はっきり覚えていない	その他
31.0%	5.2%	8.2%	5.9%	4.5%	59.6%	16.5%	19.3%	5.9%	7.4%	1.6%

(3) 同和問題（部落問題）の学習経験と「寝た子を起こすな」論に対する考え

図 27 は、問 17 で尋ねている同和問題（部落問題）の学習経験の有無と「寝た子を起こすな」論への支持（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）の割合を見たものである。「小学校で受けた」場合の支持率は 20.8%、中学校の場合は 21.5%、高校の場合は 16.1%、短大・大学の場合は 15.4%であったのに対して、「受けたことはない」人の場合は 27.3%と明らかに高い。学習経験のない人ほど「寝た子を起こすな」論への支持率が高いことがわかる。

図 27 同和問題（部落問題）の学習経験の有無と「寝た子を起こすな」論への支持の割合

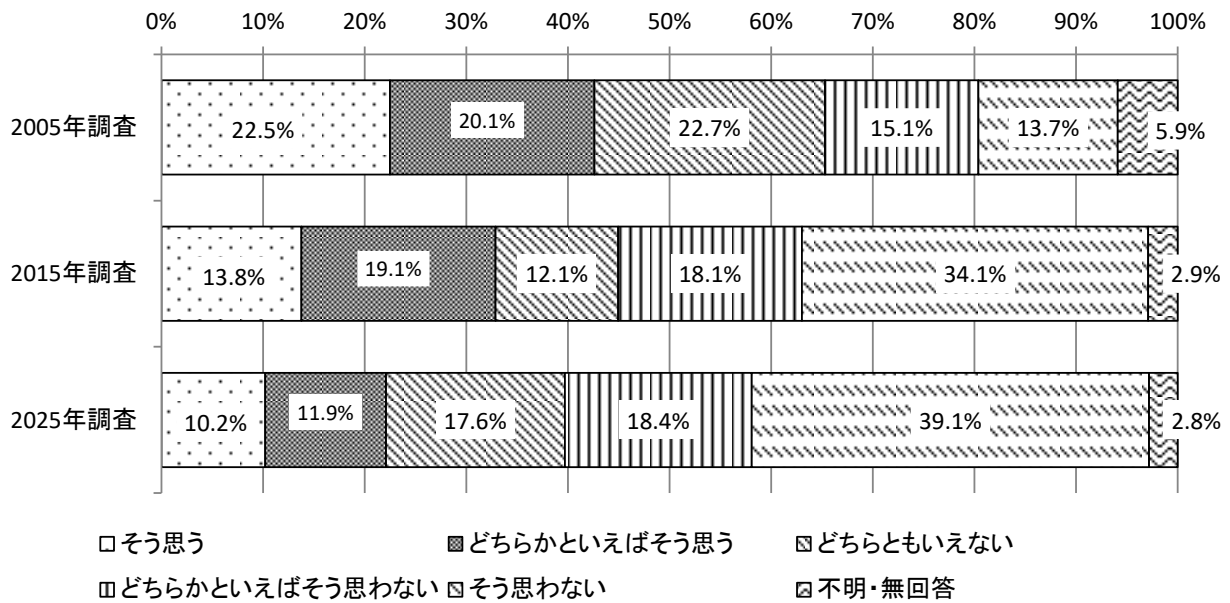


(4) 「寝た子を起こすな」論への支持率の変化

図 28 は、「寝た子を起こすな」論への考え方の経年変化を示したものである。2005 年調査での部落問題に関する「寝た子を起こすな」論への支持（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 42.6%、2015 年調査では 32.9%であったの対して、今回の調査では 22.1%と明らかに減少している。なお 5 人に 1 人以上がこの考え方に賛成している状況は看過できないとはいえ、この変化は高く評価したい。同和問題（部落問題）学習の蓄積を見る思いがする。

なお正確を期すために記しておく、2005 年調査での「寝た子を起こすな」論に関する設問は、「同和地区のことや差別があることを口に出さないで、そっとしておけば、自然に差別はなくなる」という意見に対して、「非常に重要」「やや重要」「わからない」「あまり重要でない」「重要でない」の選択肢が提示されている。また 2015 年調査での「寝た子を起こすな」論に関する設問は、2005 年調査と同じ質問文であるが、選択肢が「この意見に賛成である」「どちらかと言えば賛成である」「わからない」「どちらかと言えば反対である」「この意見に反対である」となっている。データに大きな影響を及ぼすほどの差異ではないと判断して経年変化を見ている。

図 28 「寝た子を起こすな」論への考え方の経年変化



(4) 小活

「寝た子」は起こされている、しかも取り組まなければ間違っ起こされるという「寝た子を起こすな」論の誤りが改めて明らかになった。ただし部落問題における「寝たことを起こすな」論への支持は明確に減少してきている。この間の取り組みの成果である。しかしこの考え方の間違いや取り組みに与える悪影響を考えると、なお5人に1人以上がこの考え方に賛成している状況を放置してはならない。なお外国人差別、障がい者差別、HIV 陽性者やハンセン病回復者差別においても「寝た子を起こすな」論が存在していることに留意する必要がある。

■ [考察6] 年齢階層別人権意識・公務員の人権法令認知・デジタルディバイド問題への警戒

考察の最後に、年齢階層別人権意識・公務員の人権法令認知・デジタルディバイド問題に関わる調査結果を分析したい。

(1) 年齢階層によって人権意識のレベルは異なっているだろうか

若い人ほど人権意識は高く高齢者は低いと言われてきた。それとは逆に、近年は若年層の人権意識の低下が指摘されている。果たして中高地区住民における人権意識は年齢階層によって影響を受けているのだろうか。

表 10 は、年齢階層別に見た人権意識レベルの分布である。これを見る限り人権意識が年齢階層によって異なっているとは言い難い。念のため、年齢階層と人権意識レベルとのスピアマンの順位相関係数をとってみたが、そこには有意な関係は認められなかった。つまり両者は相関していないことが示された。中高地区住民の実態を見る限り「若い人ほど人権意識は高く高齢者は低い」あるいは「近年は若年層の人権意識が低下している」との言説は当てはまらない。人権意識の高低は年

年齢という自然の差異とは関係がないと言える。

表 10 年齢階層別に見た人権意識得点の分布

	人権意識得点高い	人権意識得点中位	人権意識得点低い
18～19歳	44.4%	33.3%	22.2%
20～29歳	33.8%	30.0%	36.3%
30～39歳	28.9%	28.9%	42.2%
40～49歳	32.8%	27.6%	39.6%
50～59歳	29.1%	31.9%	39.0%
60～69歳	36.1%	32.8%	31.1%
70～79歳	32.3%	31.1%	36.6%
80歳以上	29.6%	31.5%	38.9%

なおここでの人権意識レベルは、問2「あなたは、「差別」というものについて、どのような考えをお持ちですか。次の(1)～(10)のすべてについて、あなたのお考えに一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)」の回答結果を用いている。

このうち(1)(3)(5)(7)(9)(10)は正しい人権意識を述べているものなので、「そう思う」に5点、「どちらかといえばそう思う」に4点、「どちらともいえない」に3点、「どちらかといえばそう思わない」に2点、「そう思わない」に1点を配点した。逆に(2)(4)(6)

(8)は人権意識として評価できないものであるため、「そう思う」に1点～「そう思わない」に5点を配点した。これらの人権意識得点を合計し、その合計得点人数をほぼ3等分して、「19点～34点」を「人権意識得点低い」、「35点～38点」を「人権意識得点中位」、「39点～50点」を「人権意識得点高い」としている。ちなみに(1)～(10)の提示されている考え方は次の通りである。

- (1) 差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである
- (2) 差別は世の中に必要なこともある
- (3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある
- (4) 差別の原因は、差別される人の側に問題がある
- (5) 差別は法律で禁止する必要がある
- (6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である
- (7) 差別される人の話をきちんと聴く必要がある
- (8) 思いやりやさしさを持たば、差別問題は解決できる
- (9) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である
- (10) 差別の原因は、差別をする人の側に問題がある

(2) 公務員の人権法令認知をチェックする

表 11 は、問 27 (5) において仕事を「公務員」とした人を対象に、問 3 で尋ねている各種人権に関する法令のうち、「(1) あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例」、「(10) 障害者差別解消法」、「(11) ヘイトスピーチ解消法」、「(12) 部落差別解消推進法」の認知状況を取り上げたものである。またそれぞれにおいて、住民全体の認知状況を表示している。

「あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例」においては、「どんな内容か知っている・内容を見たことがある」の割合は公務員が 12.7%に対して住民全体では 6.2%であった。公務員の認知率は住民全体の 2.0 倍高い。また「障害者差別解消法」にあっても公務員の認知率は 25.5%と住民全体の 11.9%の 2.1 倍高くなっている。とはいえ公務員のこの認知状況は低すぎるといわざるを得ない。さらに「ヘイトスピーチ解消法」及び「部落差別解消推進法」にあっては住民全体の認知状況と変わらないことが示されている。

逆に公務員における「知らなかった」の割合が、「あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例」で 40.0%、「障害者差別解消法」で 23.6%、「ヘイトスピーチ解消法」で 30.9%、「部落差別解消推進法」で 20.0%もあった。「知らなかった」の割合がいずれにおいても住民全体より低いとはいえ、自分の地元の人権擁護条例や差別解消三法を「知らない」公務員がこれほど存在することは看過できない実態と言えよう。

言うまでもなく公務員は住民の人権を擁護する責務を負う者であり、差別解消の先頭に立って取り組むとともに、市民の人権意識の高揚に努めることが求められている。それは決して人権関係部局だけの課題ではなく、行政のすべての部局・分野において求められるものである。こうした状況の速やかな改善が求められる。

なお参考までに中高地区各市町村の人権擁護条例における行政の責務の条文を掲載しておく。

●中野市におけるあらゆる差別撤廃及び人権擁護に関する条例

(市の責務)

第2条 市は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するとともに、行政の全ての分野で市民の人権意識の高揚に努めるものとする。

●山ノ内町差別撤廃と人権擁護に関する条例

(町の責務)

第2条 町は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するとともに、行政のすべての分野で町民の人権意識の高揚に努めなければならない。

●木島平村人権擁護に関する条例

(村の責務)

第2条 村は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するとともに、行政のすべての分野で村民の人権意識の高揚に努めなければならない。

●野沢温泉村差別撤廃・人権擁護に関する条例

(村の責務)

第2条 村は、前条の目的を達成するため、必要な施策を積極的に推進するとともに、行政のすべての分野で村民の人権意識の高揚に努めるものとする。

表 11 公務員の人の地元の人権擁護条例及び「差別解消三法」の認知状況

		どんな内容か知っている・内容を見たことがある	内容は知らないが、名称は聞いたことがある	知らなかった
あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例	住民全体	6.2%	40.3%	52.1%
	公務員	12.7%	47.3%	40.0%
障害者差別解消法	住民全体	11.9%	45.7%	40.5%
	公務員	25.5%	50.9%	23.6%
ヘイトスピーチ解消法	住民全体	7.7%	40.5%	49.7%
	公務員	7.3%	61.8%	30.9%
部落差別解消推進法	住民全体	14.1%	53.5%	30.8%
	公務員	14.5%	65.5%	20.0%

(3) デジタルディバイド問題への警戒

デジタルディバイド問題が提起されて久しい。デジタルディバイド問題とは、高度情報化社会が進む中でインターネットやパソコンなどの情報通信手段を利用できる人とできない人、使いこなせる人と使いこなせない人の間に生じる情報格差問題である。これによって経済的、社会的な格差が導かれるが、とりわけ年齢の高い人、学歴の低い人、所得の低い人、障がい者などの階層がより多くの社会的不利益を被る状況が生じていることが指摘されている。

部落問題では、差別の結果教育を受ける権利が十分には保障されないもとので、多くの地区住民に非識字の状況を生じさせてきた。こうした結果が、文字情報化社会においては生活や人生の全ての分野における不利益を強いてきたことは周知のとおりである。それが今、高度情報化社会において同質の人権課題がネット社会の下で広く進行していることが危惧される。

本調査ではデジタルディバイド問題をストレートに把握するデータは収集されていないが、表 12 に示した年齢階層別の「問 27 (1) あなたが日常に利用する主なメディアはどれですか」の調査結果は、この問題の存在を強く類推させている。

日常に利用する主なメディアが「インターネット (パソコン・スマートフォン)」とした人は 60 歳代以降大きく低下しており、70 歳代では 38.4%、80 歳以上では 17.5%であった。中高地区のいずれの市町村においても 65 歳以上の老年人口が 4 割前後の高い状況が生まれていることを踏まえれば、デジタルディバイド問題を人権の視点からしっかりとらえた対応が求められている。

なお、逆に「新聞」「書籍、雑誌」といった紙媒体の利用が年齢階層が若くなるほど低下傾向にある。啓発の取り組みにおいてこうした状況を踏まえた対応が必要と言えよう。

表 12 年齢階層別にみた「問 27（1）あなたが日常に利用する主なメディアはどれですか」（複数回答可）の調査結果

	新聞	書籍、雑誌	テレビ	ラジオ	インターネット（パソコン・スマートフォン）	その他
18～19歳	5.3%	10.5%	57.9%	15.8%	89.5%	5.3%
20～29歳	18.5%	8.6%	58.0%	12.3%	93.8%	0.0%
30～39歳	13.3%	15.6%	71.1%	16.7%	97.8%	0.0%
40～49歳	32.4%	21.3%	75.0%	19.1%	94.9%	0.0%
50～59歳	50.7%	21.8%	83.1%	29.6%	83.8%	0.7%
60～69歳	74.1%	24.9%	87.8%	35.4%	69.8%	0.0%
70～79歳	82.0%	26.7%	91.3%	27.3%	38.4%	0.7%
80歳以上	86.7%	30.0%	86.7%	30.0%	17.5%	1.7%

調查票

中高地区人権に係る住民意識調査

2025年 8月

中野市

山ノ内町

木島平村

野沢温泉村

■調査へのご協力をお願い

- 1 この調査は、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえで基礎資料として活用するため、人権問題についての意識やお考えをお聞きするもので、中高地区4市町村が協力して実施するものです。
- 2 この調査票は、4市町村の住民の中から、無作為に約3,000名の方々（18歳以上）を選び、送付させていただいておりますことから、ご病気等によりご回答いただけない方にも届いてしまう場合がございますので、その際はご容赦くださいますようお願いいたします。
- 3 無記名でお答えいただきますので、どなたのお答えかは、わからないようになっております。あなた自身にご迷惑をかけることは一切ありません。また、上記目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をお願いします。

■ご記入上の注意

- 1 あて名のご本人が、お答えになってください（ただし、外国人の方等で日本語の読み書きが困難な場合、ご家族等の協力で本人がお答えください）。
- 2 ご回答は、黒のボールペンか鉛筆で、設問の指示（「○は1つ」、「それぞれに○は1つ」、「○はいくつでも」、「問○へお進みください」など）にしたがって、選択回答もしくは記述回答してください。

※ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にお入れになり、2025年9月22日(月)必着で返送してください。

☆インターネットによる回答も可能です。詳しくは裏表紙をご覧ください。

<お問い合わせ先>

この調査票に関するご質問などは、下記までご連絡ください。

○中野市	人権・男女共同参画課	担当 西野	TEL 0269-26-2287 (直)
○山ノ内町	人権政策室	担当 堀内	TEL 0269-38-0373 (直)
○木島平村	人権推進室	担当 宮崎	TEL 0269-82-2041 (直)
○野沢温泉村	人権対策室	担当 片桐	TEL 0269-85-3112 (直)

A 人権や差別についての考え方・知識についてお尋ねします。

問1 次のような意見があります。あなたはどう思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に、例にならって○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらともい えない	4 どちらかといえ ばそう思わない	5 そう思わない
例: 法律で禁止すれば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5
(1) 外国人差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
(2) 障がい者差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
(3) HIV陽性者やハンセン病回復者(及びその家族)に対する差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5
(4) 部落差別は、そっとしておけば自然になくなる	1	2	3	4	5

問2 あなたは、「差別」というものについて、どのようなお考えをお持ちですか。次の(1)～(10)のすべてについて、あなたのお考えに一番近い番号に○をしてください。

(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらともい えない	4 どちらかといえ ばそう思わない	5 そう思わない
(1) 差別は人間として最も恥ずべき行為の一つである	1	2	3	4	5
(2) 差別は世の中に必要なこともある	1	2	3	4	5
(3) あらゆる差別をなくすために、行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(4) 差別の原因は、差別される人の側に問題がある	1	2	3	4	5
(5) 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(6) どのような手段を講じて、差別を完全になくすことは無理である	1	2	3	4	5
(7) 差別される人の話をきちんと聴く必要がある	1	2	3	4	5
(8) 思いやりややさしさを持てば、差別問題は解決できる	1	2	3	4	5
(9) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(10) 差別の原因は、差別をする人の側に問題がある	1	2	3	4	5

問3 あなたは、次の人権に関する法令や宣言等があることをどの程度ご存知ですか。次の(1)～(14)のすべてについて、該当する番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 どんな内容か 知っている・内容を 見たことがある	2 内容は知らない が、名称は聞いた ことがある	3 知らなかった
(1) あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例	1	2	3
(2) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	1	2	3
(3) 個人情報保護法	1	2	3
(4) 同和対策審議会答申	1	2	3
(5) 世界人権宣言	1	2	3
(6) いじめ防止対策推進法	1	2	3
(7) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3
(8) LGBT理解増進法	1	2	3
(9) アイヌ施策推進法	1	2	3
(10) 障害者差別解消法	1	2	3
(11) ヘイトスピーチ解消法	1	2	3
(12) 部落差別解消推進法	1	2	3
(13) 高齢者の虐待防止法	1	2	3
(14) ハンセン病問題基本法	1	2	3

問4 差別について、A、B二人の意見が次のように分かれました。

Aの意見: 今日では差別は許されない状況にあり、差別をする人がやがて孤立してしまう。
Bの意見: 世間ではまだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立してしまう。

あなたは次のAとBのどちらの意見に近いですか。(○は1つ)

- 1 Aの意見に賛成である
- 2 どちらかといえばAの意見に賛成である
- 3 わからない
- 4 どちらかといえばBの意見に賛成である
- 5 Bの意見に賛成である

B 人権問題に対する様々な課題についてお尋ねします。

問5 あなたのお子さんが恋愛をし、結婚を考えている相手またはパートナーとして考えている相手が次の人であれば、あなたはどのような態度をとると思いますか。次の(1)～(6)のすべてについて、あてはまる番号に○をしてください(お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください)。(それぞれに○は1つ)

	1 まったく問題に しない	2 迷いながらも、 結局は問題に しない	3 迷いながらも、 結局は考え直すよ うに言う	4 考え直すよ うに言う
(1) 障がい者	1	2	3	4
(2) 外国人	1	2	3	4
(3) 同和地区出身者	1	2	3	4
(4) ハンセン病回復者の家族	1	2	3	4
(5) HIV陽性者	1	2	3	4
(6) LGBTQ等の性的少数者	1	2	3	4

問6 あなたは、子どもの人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらとも いえ ない	4 どちらかといえ ばそう 思 わ ない	5 そう 思 わ な い
(1) 子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である	1	2	3	4	5
(2) 親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3) 学校での教育的な体罰は、やむを得ない	1	2	3	4	5
(4) 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ	1	2	3	4	5

問7 あなたは女性の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう 思 う	3 どちらとも いえ ない	4 どちらかといえ ばそう 思 わ ない	5 そう 思 わ な い
(1) 夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい	1	2	3	4	5
(2) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある	1	2	3	4	5
(3) 地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい	1	2	3	4	5
(4) 女性が責任ある役職に就くことには抵抗がある	1	2	3	4	5

問8 あなたは、高齢者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう 思 う	3 どちらとも いえ ない	4 どちらかといえ ばそう 思 わ ない	5 そう 思 わ な い
(1) 年老いたら、子どもに従う方がよい	1	2	3	4	5
(2) 高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である	1	2	3	4	5
(3) 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われることは、よいことである	1	2	3	4	5
(4) 特殊詐欺で多額のお金をだまされ送金等したとしても、本人が悪い	1	2	3	4	5

問9 あなたは、障がい者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらとも いえ ない	4 どちらかといえ ばそう 思 わ ない	5 そう 思 わ な い
(1) 障がい者が利用しやすくなるように、すべての公共の建物を改造すべきだ	1	2	3	4	5
(2) 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ	1	2	3	4	5
(3) 障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすい	1	2	3	4	5
(4) 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ	1	2	3	4	5

問10 あなたは、外国人の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう 思 う	3 どちらとも いえ ない	4 どちらかといえ ばそう 思 わ ない	5 そう 思 わ な い
(1) 定住外国人は、もっと日本の文化にとけ込む努力をするべきだ	1	2	3	4	5
(2) 外国人は、仕事をするうえで、待遇が悪くても仕方がない	1	2	3	4	5
(3) 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり賛成できない	1	2	3	4	5
(4) 外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念なことだ	1	2	3	4	5

問11 あなたは、ハンセン病や感染症患者等に関する人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう 思 う	3 どちらとも いえ ない	4 どちらかといえ ばそう 思 わ ない	5 そう 思 わ な い
(1) ハンセン病回復者が社会復帰できなくても仕方がない	1	2	3	4	5
(2) ハンセン病回復者の家族が結婚や就職などで不利な扱いを受けることは仕方がない	1	2	3	4	5
(3) 友人がHIVに感染していることがわかって、これまでと同じように付き合っていける	1	2	3	4	5
(4) コロナ感染者やこれに関わる医療従事者等が誹謗中傷されたり嫌がらせを受けたりしたことは差別であり許されない	1	2	3	4	5

問 12 あなたは、LGBTQ*等の性的少数者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。
(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかといえ ばそう思わない	5 そう 思わない
(1) LGBTQ等の性的少数者の入居を拒否するのは大家さんの自由である	1	2	3	4	5
(2) 友人がLGBTQ等の性的少数者とわかってこれまでと同じように付き合っていける	1	2	3	4	5
(3) LGBTQ等の性的少数者が就職で不利な取扱いをされるのは仕方がない	1	2	3	4	5
(4) 同性の婚姻を法的に認めるべきである	1	2	3	4	5

※ LGBTQ: 女性同性愛者(レズビアン)、男性同性愛者(ゲイ)、異性も同性も好きになる人(バイセクシャル)、生物学的な性と性自認が異なる人(トランスジェンダー)、性自認や性的指向が明確でない人(クエスチョニング)の略

問 13 あなたは、犯罪被害者やその家族の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。
(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかといえ ばそう思わない	5 そう 思わない
(1) 犯罪行為によって生じる経済的負担をできる限り軽減するための措置が取られるべきである	1	2	3	4	5
(2) 事件に関して興味本位でうわさ話をするのはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3) 刑事裁判手続きに被害者の声が十分反映されるようにすべきである	1	2	3	4	5
(4) 報道、取材や一般人のSNS等によってプライバシーに関することを公にして、私生活の平穏を犯してはならない	1	2	3	4	5

問 14 あなたは、インターネット上の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかといえば 思わない	5 そう 思わない
(1) インターネット上の差別的書き込みを行政が把握し、プロバイダーへ情報停止・削除を求めるべきだ	1	2	3	4	5
(2) ルールやマナーを守ってインターネットを利用するように日頃からの教育・住民啓発が必要である	1	2	3	4	5
(3) 表現の自由に関わる問題なので、安易に情報の規制は行うべきではない	1	2	3	4	5
(4) 差別をあおるような書き込みを行った人に対しては処罰すべきだ	1	2	3	4	5

C 人権問題や差別への対応についてお尋ねします。

問 15 もし、あなた自身やあなたの家族が人権を侵害されることがあったとき、あなたはまずどのような対応をしますか。(○は1つ)

1 相手に抗議する	→	問16へお進みください
2 身近な人に相談する	→	問15-1へお進みください
3 相談しないで我慢する	→	問16へお進みください

問 15で「2 身近な人に相談する」を選ばれた方にお尋ねします。

問 15-1 どのような人に相談しますか。(○はいくつでも)

1 家族	7 法務局や人権擁護委員
2 友人・知人	8 各地区の役員(区長・民生委員など)
3 教師	9 市町村の窓口
4 人権問題に詳しい人	10 警察
5 弁護士	11 その他(具体的に:)
6 NPOや市民団体等	

すべての方にお尋ねします。

問 16 あなたの知り合いの中で、差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人はいますか。(○は1つ)

1 いる → 問16-1へお進みください	2 いない → 問17へお進みください
----------------------	---------------------

問 16 で「1 いる」を選ばれた方にお尋ねします。

問 16-1 その差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人は誰ですか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 家族 | 5 職場の人 |
| 2 親戚 | 6 学校の先生 |
| 3 近所の人 | 7 県や市町村の職員 |
| 4 友人 | 8 その他(具体的に:) |

D 同和問題(部落問題)に関する学習経験についてお尋ねします。

すべての方にお尋ねします。

問 17 あなたは、学校で同和問題(部落問題)についての学習を受けましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 小学校で受けた | } 問17-1へお進みください |
| 2 中学校で受けた | |
| 3 高校で受けた | |
| 4 短大・大学で受けた | → 問18へお進みください |
| 5 受けたことはない | |

問 17-1 そうした学習を受けたことについて、どう感じていますか。(〇は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 学習を受けてよかったと思っている |
| 2 学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている |
| 3 受けない方がよかったと思っている |
| 4 わからない |
| 5 その他(具体的に:) |

すべての方にお尋ねします。

問 18 あなたは、地域や職場での同和問題についての学習や研修に参加したことはありますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------|
| 1 市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した | } 問18-1へお進みください |
| 2 職場の研修に参加した | |
| 3 地域(地区)懇談会に参加した | |
| 4 毎年8月に開催される、中高地区4市町村合同の「部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会」に参加した | |
| 5 その他() | → 問18-2へお進みください |
| 6 参加したことはない | |

問 18 で「1」から「5」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18-1 参加して最も印象に残っている研修会はどのような内容でしたか。(○は1つ)

- 1 市町村及び地域で人権問題に携わる人の話
- 2 学校の先生の話
- 3 被差別当事者(同和地区住民)の話
- 4 DVD、映画など
- 5 グループになって話し合ったこと
- 6 いろいろな住民が意見発表すること
- 7 その他(具体的に:)

問 18 で「6 参加したことはない」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18-2 どのような研修会であれば参加できますか。(○はいくつでも)

- 1 夜間に開催される研修会
- 2 日曜日や祝日に開催される研修会
- 3 内容が魅力的な研修会
- 4 自宅や職場の近くで開催される研修会
- 5 その他(具体的に:)

E 同和問題(部落問題)の認知や意識についてお尋ねします。

すべての方にお尋ねします。

問 19 あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている → 問19-1へお進みください 2 知らない → 問20へお進みください

問 19 で「1 知っている」を選ばれた方にお尋ねします。

問 19-1 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1 家族から聞いた | 7 テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った |
| 2 親戚の人から聞いた | 8 同和問題の集会や研修会で知った |
| 3 近所の人から聞いた | 9 県や市町村の広報紙や冊子で知った |
| 4 職場の人から聞いた | 10 はっきり覚えていない |
| 5 学校の友人から聞いた | 11 その他(具体的に:) |
| 6 学校の授業で聞いた | |

すべての方にお尋ねします。

問 20 あなたは、「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感情を持ちますか。次の(1)～(5)について、あなたの感情に一番近い番号に○をしてください。
(それぞれに○は1つ)

<A>	1 非常に Aに近い	2 ややAに 近い	3 どちらとも いえない (わからない)	4 ややBに 近い	5 非常にB に近い	
(1) 上品な	1	2	3	4	5	下品な
(2) やさしい	1	2	3	4	5	こわい
(3) 清潔な	1	2	3	4	5	不潔な
(4) 豊か	1	2	3	4	5	貧しい
(5) 働き者	1	2	3	4	5	なまけもの

問 21 学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか。(○は1つ)

1 差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)
2 気づかなかったふりをする(と思う)
3 表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)
4 その他(具体的に:)

問 22 あなたは現在、部落差別(同和問題)に関して、次にみられるような人権侵害や問題などがあるとご思いますか。次の(1)～(6)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 あると思う	2 どちらかと いえばあると 思う	3 どちらかと いえないと 思う	4 ないと思う	5 わからない
(1) 就職のときや職場で不利な扱いを受けること	1	2	3	4	5
(2) 地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること	1	2	3	4	5
(3) 身元調査をされること	1	2	3	4	5
(4) 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること	1	2	3	4	5
(5) インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること	1	2	3	4	5
(6) インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	1	2	3	4	5

問 23 部落差別は将来なくすことができますか。(○は1つ)

- 1 完全になくすことができる
- 2 かなりなくすことができる
- 3 なくすことは難しい

問 24 あなたは、「同和地区はこわい」というような話を聞いたことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある → 問24-1、24-2、24-3へお進みください
- 2 ない → 問25へお進みください

問 24 で「1 ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 24-1 こわいという話を誰から聞きましたか。(○は1つ)

- | | |
|--------|----------------|
| 1 家族 | 6 学校の先生 |
| 2 親戚 | 7 県や市町村の職員 |
| 3 近所の人 | 8 知らない人 |
| 4 友人 | 9 はっきり覚えていない |
| 5 職場の人 | 10 その他(具体的に:) |

問 24-2 その話を聞いたときどう感じましたか。(○は1つ)

- 1 そのとおりだと思った
- 2 そういう見方もあると思った
- 3 反発・疑問を感じた
- 4 特に何も思わなかった

問 24-3 それは、どんな内容でしたか。(自由記載)

すべての方にお尋ねします。

問 25 あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあってりしたことを聞いたことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 ない

問 26 あなたは、同和地区の人との付き合いはありますか。(○は1つ)

- 1 ある → 問26-1へお進みください
- 2 ない } 問27へお進みください
- 3 わからない

問 26 で「1 ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 26-1 それは、どの程度のお付き合いでしょうか。(〇はいくつでも)

- 1 近所付き合いをしている
- 2 自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている
- 3 福祉や教育のことなどでの地域の取組を一緒にしている
- 4 同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある
- 5 民謡や踊り、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習会などで一緒に習っている
- 6 盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている
- 7 学校時代から付き合いしている友人である
- 8 その他(具体的に: _____)

F あなた自身のことについてお尋ねします。

すべての方にお尋ねします。

問 27 あなた自身のことについて、次の(1)～(5)のすべてにお答えください。

(1) あなたが日常に利用する主なメディアはどれですか。(〇はいくつでも)

- 1 新聞 2 書籍、雑誌 3 テレビ 4 ラジオ
- 5 インターネット(パソコン・スマートフォン) 6 その他(_____)

(2) あなたがお住まいの市町村はどれですか。(〇は1つ)

- 1 中野市 2 山ノ内町 3 木島平村 4 野沢温泉村

(3) あなたの性別についてお答えください。(〇は1つ)

- 1 男性 2 女性 3 (_____)

(4) あなたの年代についてお答えください。(〇は1つ) 令和7年8月1日現在

- 1 18～19歳 5 50～59歳
- 2 20～29歳 6 60～69歳
- 3 30～39歳 7 70～79歳
- 4 40～49歳 8 80歳以上

(5) 現在、あなたはどのような仕事(主なもの)に就いていますか。(〇は1つ)

- 1 農林業(家事従事者も含む)
- 2 農林業以外の自営業(家事従事者も含む)
- 3 自由業・専門職(開業医・弁護士・芸術家・学者など)
- 4 商工サービス業(商店・飲食店の店員等)
- 5 会社員(民間企業、各種団体など)
- 6 公務員
- 7 家事専業
- 8 無職(学生含む)
- 9 その他(具体的に: _____)

G 自由意見

問 28 人権問題や差別に関して、何でも結構ですのでお聞かせください。

A large rectangular area with a blue border, containing 25 horizontal dashed lines for writing.

以上で調査は終わりです。ご協力いただきありがとうございました。